

令和6年度 弘前職業能力開発校移転改修工事(建築工事)(ゼロ市債)

設計図

株式会社エクラナー級建築士事務所

No	図面名	No	図面名	No	図面名
A-100	図面リスト				
A-101	改修特記仕様書(その1)	A-701	改修前 1階ホール・待合室・階段A 平面詳細図	A-741	改修前・後 ポーチ 平面詳細図
A-102	改修特記仕様書(その2)	A-702	改修後 1階ホール・建築板金科教室・倉庫・階段A 平面詳細図		
A-103	改修特記仕様書(その3)	A-703	改修前・後 1階玄関 展開図		
A-104	改修特記仕様書(その4)	A-704	改修前 1階ホール・喫煙コーナー 展開図	A-801	改修前 1階天井伏図
A-105	改修特記仕様書(その5)	A-705	改修後 1階ホール 展開図	A-802	改修後 1階天井伏図
A-106	改修特記仕様書(その6)	A-706	改修後 1階階段下倉庫 展開図	A-803	改修前 2階天井伏図
A-107	改修特記仕様書(その7)	A-707	改修前 1階待合室・改修後 建築板金科教室 展開図	A-804	改修後 2階天井伏図
A-108	改修特記仕様書(その8)	A-708	改修前 1階事務室・休憩室・診察室 平面詳細図		
A-109	改修特記仕様書(その9)	A-709	改修後 1階事務室・応接室・建築板金科実習場 平面詳細図		
A-110	工事区分表	A-710	改修前 1階事務室・休憩室・改修後 事務室・応接室 展開図	A-901	1階建具配置図
		A-711	改修前 1階診察室・心電図、改修後 建築板金科実習場 展開図	A-902	2階建具配置図
		A-712	改修前 1階集団指導室 平面詳細図	A-903	建具表 1
A-201	付近見取図・配置図	A-713	改修後 1階建築塗装科実習場・建築塗装科吹付室・コンプレッサー室 平面詳細図	A-904	建具表 2
		A-714	改修前 1階集団指導室 展開図、床の間・脇床・押入断面詳細図	A-905	建具表 3
		A-715	改修後 1階建築塗装科実習場・建築塗装科吹付室・コンプレッサー室 展開図	A-906	建具表 4
A-301	外部仕上表	A-716	改修前 1階機能訓練室 平面詳細図	A-907	建具表 5
A-302	内部仕上表 1	A-717	改修後 1階木造建築科実習場 平面詳細図	A-908	建具表 6
A-303	内部仕上表 2	A-718	改修前 1階機能訓練室、改修後 木造建築科実習場 展開図	A-909	建具表 7
A-304	内部仕上表 3	A-719	改修前 1階健康相談室・会議室、改修後 左官タイル施工科実習場 平面詳細図	A-910	建具表 8
A-305	内部仕上表 4	A-720	改修前 1階健康相談室・会議室、改修後 左官タイル施工科実習場 展開図	A-911	建具表 9
A-306	内部仕上表 5	A-721	改修前 1階廊下C、改修後 下足室 平面詳細図・断面詳細図・展開図	A-912	建具表 10
		A-722	改修前・後 1階トイレ 平面詳細図	A-913	移動間仕切 ハンガーレール取付詳細図
		A-723	改修前・後 1階男子・多目的トイレ・廊下A 展開図		
A-401	改修前 1階平面図	A-724	改修前・後 1階女子トイレ・廊下B 展開図		
A-402	改修後 1階平面図	A-725	改修前 2階ホール 平面詳細図	A-1001	サイン詳細図 1
A-403	改修前 2階平面図	A-726	改修後 2階ホール・会議室 平面詳細図	A-1002	サイン詳細図 2
A-404	改修後 2階平面図	A-727	改修前 2階ホール 展開図	A-1003	サイン詳細図 3
A-405	改修前・後 屋根伏図	A-728	改修後 2階ホール 展開図	A-1004	サイン詳細図 4
		A-729	改修後 2階会議室・物入 展開図		
		A-730	改修前 2階調理実習室・和室 平面詳細図・断面詳細図		
A-501	改修前 立面図・断面図	A-731	改修後 2階教室兼製図室 平面詳細図	A-1101	外部付帯・外構平面図
A-502	改修後 立面図・断面図	A-732	改修前 2階調理実習室・和室、改修後 教室兼製図室 展開図	A-1102	外部付帯・外構詳細図
		A-733	改修前 2階研修室 平面詳細図		
		A-734	改修後 2階第一教室、第二教室 平面詳細図		
A-601	改修前 矩計図	A-735	改修前 2階研修室 展開図	A-1201	採光・換気・排煙 法検討書
A-602	改修後 矩計図	A-736	改修後 2階第一教室、第二教室 展開図	A-1202	24時間換気設備 換気計算書
A-603	改修前 階段B・車庫 屋根部分詳細図	A-737	改修前・後 2階トイレ 平面詳細図		
A-604	改修後 階段B・車庫 屋根部分詳細図	A-738	改修前 2階喫煙室・トイレ前室、改修後 給湯室・トイレ前室 展開図		
A-605	軒先改修図	A-739	改修前・後 2階男子トイレ・女子トイレ 展開図	A-1301	仮設計画図
		A-740	改修前 1階機械室A・B、改修後 受水槽室・ポンプ室・受水槽室 平面詳細図・基礎詳細図		

1級建築士事務所 青森県知事登録第A1-1642号

株式会社 **イクラン** 一級建築士事務所
 門前 孝治 1級建築士登録第213201号

〒036-8353
 青森県弘前市下輪師町11
 TEL 0172-38-1900
 FAX 0172-39-6168

承認	設計	担当

縮尺 A1版 -
 A3版 -
 設計年月日 2024.03

工事名称 令和6年度 弘前職業能力開発校移転改修工事(建築工事)(ゼロ市債)
 図面名称 図面リスト

A-100
 NO.

4-3 外壁改修工事
タイル張り仕上げ外壁

・シーリング材
充填材料の種類
※1成分又は2成分ポリウレタン系
・シーリング材のうにポリマーセメントモルタルの充填
・行う・行わない
シーリング材の試験は改修標準仕様書3章 防水改修工事による。
・可とう性エポキシ樹脂
・シール工法

工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	延べ長さ (m)
・パテ状エポキシ樹脂	0.2未満	
・可とう性エポキシ樹脂		

・欠損部改修工法

・充填工法 [4.1.4] [4.3.9、10]

材料	平均深さ (mm)	平均広さ (㎡)	延べ箇所数 (-)
・ポリマーセメントモルタル	5~10未満 10~15未満 15~20未満 20~25未満 25~30未満 30~35未満 35~40未満		
・エポキシ樹脂モルタル			

・モルタル塗替え工法

材料	平均深さ (mm)	平均広さ (㎡)	延べ箇所数 (-)
・現場調査材料			
・既調合材料			

・現場調査材料
(セメントは改修特記仕様書8-2 コンクリート工事による)
・既調合材料 ()
既製目地材
・使用する (形状・図示による)
仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置
※図示による

・浮き部改修工法 [4.1.4] [4.3.11~16]

工法の種類	アンカーの本数 (本/㎡)		注入口の箇所数 (箇所/㎡)		注入量 (mL/箇所)	延べ広さ (㎡)	
	一般部	指定部	一般部	指定部		一般部	指定部
・アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	-	-	※25		
・アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25		
・アンカーピンニング 全面ポリマーセメント スラリー注入工法	※13	※20	※12	※20	※50		
・注入口付アンカーピンニング	※9	※16	-	-	※25		
・注入口付アンカーピンニング 全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※25		
・注入口付アンカーピンニング 全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※50		
・充填工法	-	-	-	-	-		
・モルタル塗替え工法	-	-	-	-	-		

アンカーピンの材質
※ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したものである
注入口付アンカーピンの材質
※ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径6mm程度
注入工法用材料
・ポリマーセメントスラリー

広がり速度 (cm/s)	長さ変化量 (収縮) (%)	引張接着性 (材齢28日) (N/?)	曲げ性能 (材齢28日) (N/?)	吸水性 (72時間) (%)	耐久性 (劣化曲げ強さ) (N/?)
3以上	3以下	0.5以上	5.0以上	15以下	5.0以上

保水係数 0.35~0.55
粘調係数 0.50~1.00

充填工法用材料
・エポキシ樹脂モルタル
・ポリマーセメントモルタル

モルタル塗替え工法用材料
・現場調査材料
(セメントは改修特記仕様書8-2 コンクリート工事による)
・既調合材料 ()
既製目地材
・使用する (形状・図示による)
仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置
※図示による

4-3 タイルの形状、寸法等 [4.4.5、8]

施工箇所	形状/寸法 (mm)	再生材料の吸水率による区分		役物	色	耐凍害性	耐汚濁性
		I類	II類				

備考欄：参照タイルシリーズ

標準的表曲がりの役物は一体成形とする。
見本焼き
・行う (施工箇所) ・行わない
試験張り
・行う (範囲、仕様等は図示による) ・行わない

・ひび割れ部改修工法

・樹脂注入工法 [4.1.4] [4.4.5、6]

工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (mL/m)	延べ長さ (m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0未満	※200~300	・130 ・	
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	・50~100	・40 ・	
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上~0.5未満	・100~200	・70 ・	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上~1.0未満	・150~250	・130 ・	

注入状況の確認方法
※コアの採取を行う
採取り箇所
※長さ500mmごと及びその端数につき1箇所
採取り部の補修方法
・図示による

・欠損部改修工法

・タイル部分張替え工法 [4.1.4] [4.4.5、7、8]

接着剤の種類
・ポリマーセメントモルタル
・JIS A 5557に基づく一液反応硬化形成シリコン樹脂系
施工数量：平均広さ () ㎡ 延べ箇所数 () 箇所

・タイル張替え工法
張替え用材料
・接着剤JIS A 5557に基づく一液反応硬化形成シリコン樹脂系
・張付けモルタル (・現場調査材料・既調合モルタル)
伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置
※改修標準仕様書表4.4.2による
・図示による
外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整剤塗りの接着力試験
・行う・行わない
施工数量：平均広さ () ㎡ 延べ箇所数 () 箇所

・セメントモルタルによるタイル (セラミックタイル) 張り
下地モルタル塗りをを行うコンクリート素地の処理
・目直し工法 (改修標準仕様書4.3.10(3)による)

・タイル張りの工法
・外装タイル
・密着張り
・改良圧着張り
・ユニットタイル
・マスク張り
・モザイクタイル張り
シーリング 改修特記仕様書3章 防水改修工事による。

・有機系接着剤によるタイル (セラミックタイル) 張り
モルタル塗りをを行うコンクリート素地の処理
・目直し工法 (改修標準仕様書4.3.10(3)による)

・シーリング材の種類
打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地
※ポリウレタン系
伸縮調整目地その他の目地
※変成シリコン系
シーリングのその他事項は、改修特記仕様書3章 防水改修工事による。

・浮き部改修工法 [4.1.4] [4.4.5、9~15] [4.5.9~15]

工法の種類	アンカーの本数 (本/㎡)		注入口の箇所数 (箇所/㎡)		注入量 (mL/箇所)	延べ広さ (㎡)	
	一般部	指定部	一般部	指定部		一般部	指定部
・アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	-	-	※25		
・アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25		
・アンカーピンニング 全面ポリマーセメント スラリー注入工法	※13	※20	※12	※20	※50		
・注入口付アンカーピンニング	※9	※16	-	-	※25		
・注入口付アンカーピンニング 全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※25		
・注入口付アンカーピンニング 全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※50		
・充填工法	-	-	-	-	-		
・モルタル塗替え工法	-	-	-	-	-		

アンカーピンの材質
※ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したものである
注入口付アンカーピンの材質
※ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径6mm程度

・タイル部分張替え工法
接着剤の種類
・ポリマーセメントモルタル
・JIS A 5557に基づく一液反応硬化形成シリコン樹脂系
施工数量：平均広さ () ㎡ 延べ箇所数 () 箇所

4-4 外壁改修工事
塗り仕上げ外壁

① 既存塗膜等の除去
下地処理及び下地調整 [4.5.4]

工法	処理範囲	下地面の補修
・サンダー工法	※既存仕上げ面全体 ・図示による	○ひび割れ部改修工法
・高圧水洗工法	※既存仕上げ面全体 ・図示による	○浮き部改修工法 ○欠損部改修工法
・塗膜はく離削工法	※既存仕上げ面全体 ・図示による	
○水洗い工法	※サンダー工法、高圧水洗工法、塗膜はく離削工法の処理範囲以外の既存仕上げ面全体 ・図示による	

※下地調整塗材 (0-2)
・ポリマーセメントモルタル [4.5.2]

② 下地調整塗材

③ 仕上塗材仕上げ [4.1.5] [4.5.2] [表4.5.1]

新規仕上塗材の種類
・薄付け仕上塗材 [5.1.3]

種類 (呼び名)	仕上げの形状	工法	防火材料
・外装薄塗材S	・砂壁状 ・ゆず肌状 ・さざ波状	・吹付け ・ローラー塗り	・
・可とう形外装塗材S	・砂壁状 ・ゆず肌状 ・さざ波状	・吹付け ・ローラー塗り	・
・外装薄塗材E	・平たん状 ・凹凸状	・こて塗り	・
・可とう形外装塗材E	・ゆず肌状 ・さざ波状	・ローラー塗り	・
・防水形外装薄塗材E	・ゆず肌状 ・さざ波状 ・凹凸状	・吹付け ・こて塗り	・
・外装薄塗材S	・砂壁状	・吹付け	・
・可とう形外装塗材E	・砂壁状 ・ゆず肌状 ・平たん状 ・凹凸状	・吹付け ・こて塗り	・
・外装薄塗材E	・吹付け ・凸部処理	・吹付け	・
・外装厚塗材S	・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし	・こて塗り	・
・外装厚塗材E	・吹付け ・凸部処理	・吹付け	・
・外装厚塗材S	・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし	・こて塗り ・ローラー塗り	・

④ 厚付け仕上塗材

種類 (呼び名)	仕上げの形状	工法	上塗り	防火材料
・外装厚塗材C	・吹付け ・凸部処理	・吹付け	・適用する	・
・外装厚塗材S	・吹付け ・凸部処理	・吹付け	・適用する	・

⑤ 5 建具改修工事

・改修工法 [5.1.3]

建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	適用箇所
○アルミニウム製建具	-	-	○建具表による
○樹脂製建具	-	-	○建具表による
○鋼製建具	・外部	-	○建具表による
○鋼製軽量建具	・内部	-	○建具表による
・ステンレス製建具	-	-	○建具表による
○木製建具	-	-	○建具表による

新規に建具を設ける場合
壁部分の開口の開け方
※図示による
新規建具周囲の補修工法及び範囲
※図示による
建具周囲のシーリングは、改修特記仕様書3章 防水改修工事による。

・防火戸 [5.1.4]

・指定する 適用箇所 (・建具表による)
・指定しない
防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸とヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動
・連動させる 適用箇所 (・建具表による)
・連動させない

・見本の製作等 [5.1.5]

・建具見本の製作
・行う (建具符号:)
・行わない
建具見本製作の目的等 ()
・特殊な建具の仮組
・行う (建具符号:)
・行わない

・防犯建物部品 [5.1.7]

・適用する (・建具表による)
・適用しない

⑥ 6 敷居仕上塗材

種類 (呼び名)	仕上げの形状	工法	上塗材の種類	耐凍性	防火材料
・複層塗材OE ・複層塗材RE ・複層塗材SI ・複層塗材E	・凸部処理 ・凹凸状	・吹付け	※779系 外観 ※つやあり ・9977 ・溶媒 ※水系	※耐凍性 3種	・
・可とう形複層塗材OE	・ゆず肌状	・ローラー塗り	・	・	・
・凸部処理 ・凹凸状	・吹付け	・	※779系 外観 ※つやあり ・9977 ・溶媒 ※水系	※耐凍性 3種	・
・ゆず肌状	・ローラー塗り	・	・	・	・
・凸部処理 ・凹凸状	・吹付け	・	※779系 外観 ※つやあり ・9977 ・溶媒 ※水系	※耐凍性 3種 ○1種	・
○ゆず肌状	○ローラー塗り	○	・	・	・

・可とう形改修用仕上塗材

種類 (呼び名)	仕上げの形状	工法	上塗材の種類	耐凍性	防火材料
・可とう形改修塗材E	・平たん状	・吹付け	樹脂 ・	・耐凍性 1種	・
・可とう形改修塗材RE	・さざ波状	・ローラー塗り	外観 ・	・耐凍性 2種	・
・可とう形改修塗材CE	・ゆず肌状	・ローラー塗り	溶媒 ・	・耐凍性 3種	・

種別
・A種
・B種 [4.1.5] [4.6.2] [表4.6.1]

仕上げの形状
・工法
・仕上塗材の耐凍性
下地準動線材の適用
・適用する
・適用しない
コンクリート面のひび割れ部及び欠損部の処理は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事 (コンクリート打ち直し仕上げ外壁改修) による。
モルタル面のひび割れ部、欠損部及び浮き部の処理は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事 (モルタル塗り仕上げ外壁改修) による。
吹付け工法の模様材の種類
・ (所要量 (kg/㎡))
外壁用仕上塗材の種類
・ (所要量 (kg/㎡))
既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事 (塗仕上げ外壁等改修) による。

<p>○アルミニウム製建具</p> <p>性能値等 [5.2.2~5] [表 5.2.2]</p> <p>耐風圧性の等級 () (建具符号・建具表による) 気密性の等級 () (建具符号・建具表による) 水密性の等級 () (建具符号・建具表による) 外部に面する建具の種類 ・A種 (建具符号・建具表による) ・B種 (建具符号・建具表による) ・C種 (建具符号・建具表による) 枠の見込み寸法 ○建具表による) 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 () (建具符号：・建具表による) 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級 (○H-3) (建具符号：・建具表による)</p> <p>材料 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ・ ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・ 形状及び仕上げ 表面処理 外部に面する建具 種類 ・BB-1 ○BB-2 (改修標準仕様書5.2.2) 着色 ○標準色 ・特注色 屋内の建具 種類 ・BC-1 ・BC-2 (改修標準仕様書5.2.2) 着色 ・標準色 ・特注色 結露水の処理方法 ・水貯め式 ・排水式 工法 水切り板、ぜん板 ※図示による</p>	<p>○鋼製軽量建具 [5.2.2][5.5.2~4]</p> <p>性能値等 簡易気密型ドアセット ・適用する (建具符号：・建具表による) ・適用しない 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 () (建具符号：・建具表による) 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級 () (建具符号：・建具表による) 耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による</p> <p>材料 鋼板 ・亜鉛めっき鋼板 ・ビニル被覆鋼板 ・カラー鋼板 ・ステンレス鋼板 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ・ 召合わせ、縦小口包み板の性質 ※鋼板 ・ ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・ 形状及び仕上げ 鋼板の厚さ ※改修標準仕様書5.5.1による ・ mm 使用箇所 () 標準型鋼製軽量建具の形式及び寸法 ※建具表による</p> <p>性能値等 [5.2.2][5.4.2][5.6.2~5]</p> <p>簡易気密型ドアセット ・適用する (建具符号：・建具表による) ・適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性の等級 () (建具符号：・建具表による) 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 () (建具符号：・建具表による) 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級 () (建具符号：・建具表による) 耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による</p> <p>材料 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ・ ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・ 形状及び仕上げ 表面仕上げ ※HL ・鏡面仕上げ 工法 ステンレス鋼板の曲げ加工 ・普通曲げ ・角出し曲げ</p> <p>建具材の加工、組立時の含水率 [5.7.2~4]</p> <p>※A種 ・ 建物内部の木製建具に使用する接着剤のホルムアルデヒド放数量 ※F☆☆☆☆ ・ ○フラッシュ戸 表面材のホルムアルデヒド放数量等 ※改修標準仕様書5.7.2(2)(4)(a)による</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="3">表面材の合板の種類</th> </tr> <tr> <th>合板の種類</th> <th>規格等</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・普通合板</td> <td>表面の樹種 ・ 板面の品質 (※広葉樹1等) 接着の程度 (・1類 ・2類)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・天然木化粧合板</td> <td>樹種名 () 接着の程度 (・1類 ・2類)</td> <td></td> </tr> </table>	表面材の合板の種類			合板の種類	規格等	備考	・普通合板	表面の樹種 ・ 板面の品質 (※広葉樹1等) 接着の程度 (・1類 ・2類)		・天然木化粧合板	樹種名 () 接着の程度 (・1類 ・2類)		<p>○鋼製重量建具 [5.2.2][5.5.2~4]</p> <p>性能値等 簡易気密型ドアセット ・適用する (建具符号：・建具表による) ・適用しない 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 () (建具符号：・建具表による) 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級 () (建具符号：・建具表による) 耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による</p> <p>材料 鋼板 ・亜鉛めっき鋼板 ・ビニル被覆鋼板 ・カラー鋼板 ・ステンレス鋼板 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ・ 召合わせ、縦小口包み板の性質 ※鋼板 ・ ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・ 形状及び仕上げ 鋼板の厚さ ※改修標準仕様書5.5.1による ・ mm 使用箇所 () 標準型鋼製重量建具の形式及び寸法 ※建具表による</p> <p>性能値等 [5.2.2][5.4.2][5.6.2~5]</p> <p>簡易気密型ドアセット ・適用する (建具符号：・建具表による) ・適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性の等級 () (建具符号：・建具表による) 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 () (建具符号：・建具表による) 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級 () (建具符号：・建具表による) 耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による</p> <p>材料 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ・ ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・ 形状及び仕上げ 表面仕上げ ※HL ・鏡面仕上げ 工法 ステンレス鋼板の曲げ加工 ・普通曲げ ・角出し曲げ</p> <p>建具材の加工、組立時の含水率 [5.7.2~4]</p> <p>※A種 ・ 建物内部の木製建具に使用する接着剤のホルムアルデヒド放数量 ※F☆☆☆☆ ・ ○フラッシュ戸 表面材のホルムアルデヒド放数量等 ※改修標準仕様書5.7.2(2)(4)(a)による</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="3">表面材の合板の種類</th> </tr> <tr> <th>合板の種類</th> <th>規格等</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・普通合板</td> <td>表面の樹種 ・ 板面の品質 (※広葉樹1等) 接着の程度 (・1類 ・2類)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・天然木化粧合板</td> <td>樹種名 () 接着の程度 (・1類 ・2類)</td> <td></td> </tr> </table>	表面材の合板の種類			合板の種類	規格等	備考	・普通合板	表面の樹種 ・ 板面の品質 (※広葉樹1等) 接着の程度 (・1類 ・2類)		・天然木化粧合板	樹種名 () 接着の程度 (・1類 ・2類)		<p>○特殊加工化粧合板</p> <p>化粧加工の方法 ※プリント ○ポリエステル化粧合板 ・メラミン化粧合板 ・ 接着の程度 (・1類 ・2類)</p> <p>・MDF</p> <p>表面板の厚さ ※改修標準仕様書5.7.6による ・ 引戸の召合せかまちのいんろう付きの適用 ・適用しない ・適用する ・かまち戸 かまち樹種 () 鏡板樹種 () 見込み寸法 ※36mm ・建具表による ・ふすま 張りの種別 (・I型 ・II型) 上張り (押入等の裏側以外) ・鳥の子 ・新鳥の子又はビニル紙程度 縁仕上げ ・塗り縁 ・生地縁 (素地) ・生地縁 (ウレタンクリヤー塗装) 見込み寸法 ※19.5mm ・建具表による ・戸ふすま 表面板の仕上 ・建具表による 見込み寸法 ※30mm ・建具表による ・紙張り障子 見込み寸法 ※30mm ・建具表による 枠、くつずりの材料 ※建具表による</p> <p>○建具用金物 [5.8.1~3]</p> <p>金物の種類及び見え掛り部の材質等 ※改修標準仕様書5.8.1により適用は建具表による ・ 金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※改修標準仕様書5.8.2による ・建具表による 樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※改修標準仕様書5.8.3による ・建具表による 木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※改修標準仕様書5.8.4による ・建具表による 木製建具に使用する戸車及びレール ※改修標準仕様書5.8.5による ・建具表による 握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付け位置 ・建具表による ・ ・シリング箱錠及びシリング本締まり錠 (品質・性能、試験方法は別表による) ・クローザ類 (品質・性能、試験方法は別表による)</p> <p>マスターキー [5.8.4] ・製作する ・製作しない ○既存のマスターキーに合わせる その他の鍵の製作本数 ※各室3本1組 (室名札付き) ・ 鍵箱 ○無し ・有り</p> <p>戸の開閉方式 [5.9.2.3] ・建具表による ・引き戸用駆動装置 性能値 ※改修標準仕様書5.9.1による (防錆 ・適用する ・適用しない) ・以下による 種類・開閉方式 () 耐電圧 () 温度上昇 () 耐久性 (サイクル) () 防錆 () 電源 () ・車椅子使用者用便房出入口引き戸用駆動装置 性能値 ※改修標準仕様書5.9.2による (防錆 ・適用する ・適用しない) ・以下による 耐電圧 () 温度上昇 () 耐久性 (サイクル) () 防錆 () 電源 () 引き戸用検出装置の種類及び必要性項目 ・建具表による ・ タッチスイッチの種類 ・無線式タッチスイッチ ・光線式タッチスイッチ</p>	<p>○自閉式上り引戸装置 [5.10.3]</p> <p>性能値等 ※改修標準仕様書5.10.1 ・以下による 手動開き力 () 手動閉じ力 () 閉じ速度の調整 () 制動区間 () 閉閉返し () 耐衝撃性 ()</p> <p>・重量シャッター [5.11.2.3]</p> <p>シャッターの種類 ・管理用シャッター ・外壁用防火シャッター ・屋内用防火シャッター ・防塵シャッター 外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度 () Pa 開閉方式の種類 ※電動式 (手動併用) ・手動式 安全装置 電動式シャッターの急降下制動装置、急降下停止装置 (設置箇所 ・建具表による) 電動式シャッターの障害物感知装置 (設置箇所 ・建具表による) 屋内用防火シャッター若しくは防塵シャッターの危害防止装置 (設置箇所 ・建具表による) 管理用シャッターのシャッターケース ・設ける ・設けない スラット及びシャッターケース用鋼板 鋼板の種類 ・JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) ・JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板鋼帯) めっきの付着量 ※Z12又はF12 ・ ガイドレール、まぐさ、雨掛りに用いる座板及び座板のカバー、雨掛りに用いるスイッチ ボックス類のふたの材質 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ・ 開閉方式の種類 [5.12.2~4] ※手動式 ・電動式 (手動併用) 耐風圧強度 () Pa 安全装置 電動シャッターの障害物感知装置 (設置箇所 ・建具表による) スラットの材質の種類 ・JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) めっきの付着量 (※Z06又はF06) ・JIS G 3322 (塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯) めっきの付着量 (※A290) スラットの形状 ・インターロッキング形 ・オーバーラッピング形 [5.13.2.3]</p> <table border="1"> <tr> <th>セクション材料による区分</th> <th>耐風圧性能区分</th> <th>開閉方式による区分</th> <th>収納形式による区分</th> <th>ガイドレールの材料</th> </tr> <tr> <td>※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ</td> <td>・50 ・75 ・100 ・125</td> <td>※バランス式 ・チェーン式 ・電動式</td> <td>・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形</td> <td>※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板</td> </tr> </table> <p>電動式オーバーヘッドドアの障害物感知装置 (設置箇所 ・建具表による)</p> <p>○フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類 [3.7] [5.14.2~4] ○建具表による ・ ○型板ガラスの厚さによる種類 ○建具表による ・ ・網入板ガラス及び網入板ガラスの網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類 ・建具表による ・合わせガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ ・建具表による ・ ・落球衝撃はく離特性並びにショットバック衝撃特性による種類 ・1類 ・II-1類 ・II-2類 ・III類 ・強化ガラス 形状による種類、材料板ガラスの種類による名称 ・建具表による ・ ・破片の形状及びショットバック衝撃特性による種類 ・1類 ・II類 ・熱線吸収板ガラス 板ガラスによる種類、厚さによる種類 ・建具表による ・ 性能による種類 ・1種 ・2種</p> <p>○ガラス</p> <p>○オーバーヘッドドア [5.13.2.3]</p>	セクション材料による区分	耐風圧性能区分	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材料	※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	・50 ・75 ・100 ・125	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形	※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板
表面材の合板の種類																																						
合板の種類	規格等	備考																																				
・普通合板	表面の樹種 ・ 板面の品質 (※広葉樹1等) 接着の程度 (・1類 ・2類)																																					
・天然木化粧合板	樹種名 () 接着の程度 (・1類 ・2類)																																					
表面材の合板の種類																																						
合板の種類	規格等	備考																																				
・普通合板	表面の樹種 ・ 板面の品質 (※広葉樹1等) 接着の程度 (・1類 ・2類)																																					
・天然木化粧合板	樹種名 () 接着の程度 (・1類 ・2類)																																					
セクション材料による区分	耐風圧性能区分	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材料																																		
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	・50 ・75 ・100 ・125	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形	※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板																																		
<p>○網戸等 [5.2.3.5.3.3]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>線径</th> <th>網目</th> </tr> <tr> <td>○防虫網</td> <td>※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス (SUS316) 製</td> <td>※0.25mm以上 ・</td> <td>※16~18メッシュ ・</td> </tr> <tr> <td>・防鳥網</td> <td>ステンレス (SUS304) 線材</td> <td>1.5mm</td> <td>網目寸法15mm</td> </tr> </table>	種類	材質	線径	網目	○防虫網	※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス (SUS316) 製	※0.25mm以上 ・	※16~18メッシュ ・	・防鳥網	ステンレス (SUS304) 線材	1.5mm	網目寸法15mm	<p>○樹脂製建具 [5.2.2][5.3.2~5]</p> <p>性能値等 耐風圧性の等級 () 気密性の等級 () 水密性の等級 () 外部に面する建具の種類 ・A種 (建具符号・建具表による) ・B種 (建具符号・建具表による) ・C種 (建具符号・建具表による) 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 (・T-1 ・T-2 ○T-4) (建具符号：・建具表による) 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級 (○H-4 ・H-5 ・H-6 ・H-7 ・H-8) (建具符号：○建具表による) 外部に面する建具の日射熱取得性の等級 ・ 枠の見込み寸法 ○建具表による ・ 材料 ガラス ※複層ガラス ○建具表による ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・ 形状及び仕上げ 表面色 ○標準色 ・特注色 工法 水切り板、ぜん板 ※図示による</p>	<p>○木製建具 [5.7.2~4]</p> <p>性能値等 [5.2.2][5.4.2~4][5.6.2~5]</p> <p>簡易気密型ドアセット ・適用する (建具符号：・建具表による) ・適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性の等級 () (建具符号：・建具表による) 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 () (建具符号：・建具表による) 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級 () (建具符号：・建具表による) 耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による</p> <p>材料 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ・ ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・ 形状及び仕上げ 表面仕上げ ※HL ・鏡面仕上げ 工法 ステンレス鋼板の曲げ加工 ・普通曲げ ・角出し曲げ</p> <p>建具材の加工、組立時の含水率 [5.7.2~4]</p> <p>※A種 ・ 建物内部の木製建具に使用する接着剤のホルムアルデヒド放数量 ※F☆☆☆☆ ・ ○フラッシュ戸 表面材のホルムアルデヒド放数量等 ※改修標準仕様書5.7.2(2)(4)(a)による</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="3">表面材の合板の種類</th> </tr> <tr> <th>合板の種類</th> <th>規格等</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・普通合板</td> <td>表面の樹種 ・ 板面の品質 (※広葉樹1等) 接着の程度 (・1類 ・2類)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・天然木化粧合板</td> <td>樹種名 () 接着の程度 (・1類 ・2類)</td> <td></td> </tr> </table>	表面材の合板の種類			合板の種類	規格等	備考	・普通合板	表面の樹種 ・ 板面の品質 (※広葉樹1等) 接着の程度 (・1類 ・2類)		・天然木化粧合板	樹種名 () 接着の程度 (・1類 ・2類)		<p>○鍵 [5.8.4]</p> <p>マスターキー ・製作する ・製作しない ○既存のマスターキーに合わせる その他の鍵の製作本数 ※各室3本1組 (室名札付き) ・ 鍵箱 ○無し ・有り</p> <p>自動ドア開閉装置 [5.9.2.3]</p> <p>戸の開閉方式 ・建具表による ・引き戸用駆動装置 性能値 ※改修標準仕様書5.9.1による (防錆 ・適用する ・適用しない) ・以下による 種類・開閉方式 () 耐電圧 () 温度上昇 () 耐久性 (サイクル) () 防錆 () 電源 () ・車椅子使用者用便房出入口引き戸用駆動装置 性能値 ※改修標準仕様書5.9.2による (防錆 ・適用する ・適用しない) ・以下による 耐電圧 () 温度上昇 () 耐久性 (サイクル) () 防錆 () 電源 () 引き戸用検出装置の種類及び必要性項目 ・建具表による ・ タッチスイッチの種類 ・無線式タッチスイッチ ・光線式タッチスイッチ</p>	<p>○オーバーヘッドドア [5.13.2.3]</p> <p>電動式オーバーヘッドドアの障害物感知装置 (設置箇所 ・建具表による)</p> <p>○フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類 [3.7] [5.14.2~4] ○建具表による ・ ○型板ガラスの厚さによる種類 ○建具表による ・ ・網入板ガラス及び網入板ガラスの網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類 ・建具表による ・合わせガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ ・建具表による ・ ・落球衝撃はく離特性並びにショットバック衝撃特性による種類 ・1類 ・II-1類 ・II-2類 ・III類 ・強化ガラス 形状による種類、材料板ガラスの種類による名称 ・建具表による ・ ・破片の形状及びショットバック衝撃特性による種類 ・1類 ・II類 ・熱線吸収板ガラス 板ガラスによる種類、厚さによる種類 ・建具表による ・ 性能による種類 ・1種 ・2種</p>										
種類	材質	線径	網目																																			
○防虫網	※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス (SUS316) 製	※0.25mm以上 ・	※16~18メッシュ ・																																			
・防鳥網	ステンレス (SUS304) 線材	1.5mm	網目寸法15mm																																			
表面材の合板の種類																																						
合板の種類	規格等	備考																																				
・普通合板	表面の樹種 ・ 板面の品質 (※広葉樹1等) 接着の程度 (・1類 ・2類)																																					
・天然木化粧合板	樹種名 () 接着の程度 (・1類 ・2類)																																					
<p>○鋼製建具 [5.2.2][5.4.2~4][5.6.2~5]</p> <p>性能値等 簡易気密型ドアセット ・適用する (建具符号：・建具表による) ・適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性の等級 () (建具符号：・建具表による) 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 () (建具符号：・建具表による) 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級 () (建具符号：・建具表による) 耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による</p>	<p>○鋼製重量建具 [5.2.2][5.5.2~4]</p> <p>性能値等 簡易気密型ドアセット ・適用する (建具符号：・建具表による) ・適用しない 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 () (建具符号：・建具表による) 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級 () (建具符号：・建具表による) 耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による</p> <p>材料 鋼板 ・亜鉛めっき鋼板 ・ビニル被覆鋼板 ・カラー鋼板 ・ステンレス鋼板 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ・ 召合わせ、縦小口包み板の性質 ※鋼板 ・ ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・ 形状及び仕上げ 表面仕上げ ※HL ・鏡面仕上げ 工法 ステンレス鋼板の曲げ加工 ・普通曲げ ・角出し曲げ</p> <p>建具材の加工、組立時の含水率 [5.7.2~4]</p> <p>※A種 ・ 建物内部の木製建具に使用する接着剤のホルムアルデヒド放数量 ※F☆☆☆☆ ・ ○フラッシュ戸 表面材のホルムアルデヒド放数量等 ※改修標準仕様書5.7.2(2)(4)(a)による</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="3">表面材の合板の種類</th> </tr> <tr> <th>合板の種類</th> <th>規格等</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・普通合板</td> <td>表面の樹種 ・ 板面の品質 (※広葉樹1等) 接着の程度 (・1類 ・2類)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・天然木化粧合板</td> <td>樹種名 () 接着の程度 (・1類 ・2類)</td> <td></td> </tr> </table>	表面材の合板の種類			合板の種類	規格等	備考	・普通合板	表面の樹種 ・ 板面の品質 (※広葉樹1等) 接着の程度 (・1類 ・2類)		・天然木化粧合板	樹種名 () 接着の程度 (・1類 ・2類)		<p>○鋼製重量建具 [5.2.2][5.5.2~4]</p> <p>性能値等 簡易気密型ドアセット ・適用する (建具符号：・建具表による) ・適用しない 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 () (建具符号：・建具表による) 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級 () (建具符号：・建具表による) 耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による</p> <p>材料 鋼板 ・亜鉛めっき鋼板 ・ビニル被覆鋼板 ・カラー鋼板 ・ステンレス鋼板 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ・ 召合わせ、縦小口包み板の性質 ※鋼板 ・ ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・ 形状及び仕上げ 表面仕上げ ※HL ・鏡面仕上げ 工法 ステンレス鋼板の曲げ加工 ・普通曲げ ・角出し曲げ</p> <p>建具材の加工、組立時の含水率 [5.7.2~4]</p> <p>※A種 ・ 建物内部の木製建具に使用する接着剤のホルムアルデヒド放数量 ※F☆☆☆☆ ・ ○フラッシュ戸 表面材のホルムアルデヒド放数量等 ※改修標準仕様書5.7.2(2)(4)(a)による</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="3">表面材の合板の種類</th> </tr> <tr> <th>合板の種類</th> <th>規格等</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・普通合板</td> <td>表面の樹種 ・ 板面の品質 (※広葉樹1等) 接着の程度 (・1類 ・2類)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・天然木化粧合板</td> <td>樹種名 () 接着の程度 (・1類 ・2類)</td> <td></td> </tr> </table>	表面材の合板の種類			合板の種類	規格等	備考	・普通合板	表面の樹種 ・ 板面の品質 (※広葉樹1等) 接着の程度 (・1類 ・2類)		・天然木化粧合板	樹種名 () 接着の程度 (・1類 ・2類)		<p>○特殊加工化粧合板</p> <p>化粧加工の方法 ※プリント ○ポリエステル化粧合板 ・メラミン化粧合板 ・ 接着の程度 (・1類 ・2類)</p> <p>・MDF</p> <p>表面板の厚さ ※改修標準仕様書5.7.6による ・ 引戸の召合せかまちのいんろう付きの適用 ・適用しない ・適用する ・かまち戸 かまち樹種 () 鏡板樹種 () 見込み寸法 ※36mm ・建具表による ・ふすま 張りの種別 (・I型 ・II型) 上張り (押入等の裏側以外) ・鳥の子 ・新鳥の子又はビニル紙程度 縁仕上げ ・塗り縁 ・生地縁 (素地) ・生地縁 (ウレタンクリヤー塗装) 見込み寸法 ※19.5mm ・建具表による ・戸ふすま 表面板の仕上 ・建具表による 見込み寸法 ※30mm ・建具表による ・紙張り障子 見込み寸法 ※30mm ・建具表による 枠、くつずりの材料 ※建具表による</p> <p>○建具用金物 [5.8.1~3]</p> <p>金物の種類及び見え掛り部の材質等 ※改修標準仕様書5.8.1により適用は建具表による ・ 金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※改修標準仕様書5.8.2による ・建具表による 樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※改修標準仕様書5.8.3による ・建具表による 木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※改修標準仕様書5.8.4による ・建具表による 木製建具に使用する戸車及びレール ※改修標準仕様書5.8.5による ・建具表による 握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付け位置 ・建具表による ・ ・シリング箱錠及びシリング本締まり錠 (品質・性能、試験方法は別表による) ・クローザ類 (品質・性能、試験方法は別表による)</p> <p>マスターキー [5.8.4] ・製作する ・製作しない ○既存のマスターキーに合わせる その他の鍵の製作本数 ※各室3本1組 (室名札付き) ・ 鍵箱 ○無し ・有り</p> <p>戸の開閉方式 [5.9.2.3] ・建具表による ・引き戸用駆動装置 性能値 ※改修標準仕様書5.9.1による (防錆 ・適用する ・適用しない) ・以下による 種類・開閉方式 () 耐電圧 () 温度上昇 () 耐久性 (サイクル) () 防錆 () 電源 () ・車椅子使用者用便房出入口引き戸用駆動装置 性能値 ※改修標準仕様書5.9.2による (防錆 ・適用する ・適用しない) ・以下による 耐電圧 () 温度上昇 () 耐久性 (サイクル) () 防錆 () 電源 () 引き戸用検出装置の種類及び必要性項目 ・建具表による ・ タッチスイッチの種類 ・無線式タッチスイッチ ・光線式タッチスイッチ</p>	<p>○自閉式上り引戸装置 [5.10.3]</p> <p>性能値等 ※改修標準仕様書5.10.1 ・以下による 手動開き力 () 手動閉じ力 () 閉じ速度の調整 () 制動区間 () 閉閉返し () 耐衝撃性 ()</p> <p>・重量シャッター [5.11.2.3]</p> <p>シャッターの種類 ・管理用シャッター ・外壁用防火シャッター ・屋内用防火シャッター ・防塵シャッター 外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度 () Pa 開閉方式の種類 ※電動式 (手動併用) ・手動式 安全装置 電動式シャッターの急降下制動装置、急降下停止装置 (設置箇所 ・建具表による) 電動式シャッターの障害物感知装置 (設置箇所 ・建具表による) 屋内用防火シャッター若しくは防塵シャッターの危害防止装置 (設置箇所 ・建具表による) 管理用シャッターのシャッターケース ・設ける ・設けない スラット及びシャッターケース用鋼板 鋼板の種類 ・JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) ・JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板鋼帯) めっきの付着量 ※Z12又はF12 ・ ガイドレール、まぐさ、雨掛りに用いる座板及び座板のカバー、雨掛りに用いるスイッチ ボックス類のふたの材質 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ・ 開閉方式の種類 [5.12.2~4] ※手動式 ・電動式 (手動併用) 耐風圧強度 () Pa 安全装置 電動シャッターの障害物感知装置 (設置箇所 ・建具表による) スラットの材質の種類 ・JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) めっきの付着量 (※Z06又はF06) ・JIS G 3322 (塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯) めっきの付着量 (※A290) スラットの形状 ・インターロッキング形 ・オーバーラッピング形 [5.13.2.3]</p> <table border="1"> <tr> <th>セクション材料による区分</th> <th>耐風圧性能区分</th> <th>開閉方式による区分</th> <th>収納形式による区分</th> <th>ガイドレールの材料</th> </tr> <tr> <td>※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ</td> <td>・50 ・75 ・100 ・125</td> <td>※バランス式 ・チェーン式 ・電動式</td> <td>・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形</td> <td>※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板</td> </tr> </table> <p>電動式オーバーヘッドドアの障害物感知装置 (設置箇所 ・建具表による)</p> <p>○フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類 [3.7] [5.14.2~4] ○建具表による ・ ○型板ガラスの厚さによる種類 ○建具表による ・ ・網入板ガラス及び網入板ガラスの網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類 ・建具表による ・合わせガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ ・建具表による ・ ・落球衝撃はく離特性並びにショットバック衝撃特性による種類 ・1類 ・II-1類 ・II-2類 ・III類 ・強化ガラス 形状による種類、材料板ガラスの種類による名称 ・建具表による ・ ・破片の形状及びショットバック衝撃特性による種類 ・1類 ・II類 ・熱線吸収板ガラス 板ガラスによる種類、厚さによる種類 ・建具表による ・ 性能による種類 ・1種 ・2種</p> <p>○ガラス</p> <p>○オーバーヘッドドア [5.13.2.3]</p> <p>電動式オーバーヘッドドアの障害物感知装置 (設置箇所 ・建具表による)</p> <p>○フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類 [3.7] [5.14.2~4] ○建具表による ・ ○型板ガラスの厚さによる種類 ○建具表による ・ ・網入板ガラス及び網入板ガラスの網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類 ・建具表による ・合わせガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ ・建具表による ・ ・落球衝撃はく離特性並びにショットバック衝撃特性による種類 ・1類 ・II-1類 ・II-2類 ・III類 ・強化ガラス 形状による種類、材料板ガラスの種類による名称 ・建具表による ・ ・破片の形状及びショットバック衝撃特性による種類 ・1類 ・II類 ・熱線吸収板ガラス 板ガラスによる種類、厚さによる種類 ・建具表による ・ 性能による種類 ・1種 ・2種</p>	セクション材料による区分	耐風圧性能区分	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材料	※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	・50 ・75 ・100 ・125	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形	※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板
表面材の合板の種類																																						
合板の種類	規格等	備考																																				
・普通合板	表面の樹種 ・ 板面の品質 (※広葉樹1等) 接着の程度 (・1類 ・2類)																																					
・天然木化粧合板	樹種名 () 接着の程度 (・1類 ・2類)																																					
表面材の合板の種類																																						
合板の種類	規格等	備考																																				
・普通合板	表面の樹種 ・ 板面の品質 (※広葉樹1等) 接着の程度 (・1類 ・2類)																																					
・天然木化粧合板	樹種名 () 接着の程度 (・1類 ・2類)																																					
セクション材料による区分	耐風圧性能区分	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材料																																		
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	・50 ・75 ・100 ・125	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形	※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板																																		

・複層ガラス
材料ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ
・建具表による
・断熱性による区分
・T1 ・T2 ・T3 ・T4 ・T5 ・T6
日射取得性、日射遮蔽性による区分
・G ・S
乾燥気体の種類
・空気 ・アルゴン
・熱線反射ガラス
材料ガラスの種類及び厚さによる種類
・建具表による
・日射熱遮へい性による区分
・1種 ・2種 ・3種
耐久性による区分（日射熱遮へい性が2種の場合）
・A種 ・B種
・倍強度ガラス
材料ガラスの種類及び厚さによる種類
・建具表による

ガラスの留め材及び溝の大きさ

建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ(mm)
アルミニウム製	・シーリング材 ・グレイジングチャンネル	※建具の製造所の仕様による ・図示による
鋼製及び鋼軽量	・シーリング材	※建具の製造所の仕様による ・図示による
ステンレス製	・シーリング材	※建具の製造所の仕様による ・図示による
樹脂製	・グレイジングガスケット	※建具の製造所の仕様による ・図示による

ガラスブロック積み [5.14.5]

呼び寸法 (mm)	厚さ (mm)	色調	目地幅 (mm)	伸縮調整目地位置 (mm)	防火性能
・160×160	・95				
・200×200	・95				

壁用金属枠及び補強材
※図示による
材質
※ステンレス鋼(SUS304)
寸法
※径 5.5mm
形状
※はしご形状覆筋及び単筋
化粧目地モルタルの色（・白 ・グレー）
シーリングの種類（・SR-1 ・PS-1）
金属製化粧カバー
材質
・ステンレス製
・アルミニウム製
寸法
※図示による
形状
※図示による
目地部の横骨の納まり
※ガラスブロック製造所の仕様による
・図示による
工法
1章 適用区分による風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法

ガラス用フィルム

種類	記号		その他性能等
	内貼り用	外貼り用	
・日射調整フィルム [G]	・SC-1	・SC-2	
・低放射フィルム	・LE		
・衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム	・GI-1	・GI-2	
・相関度位破壊対応ガラス飛散防止フィルム	・GD-1	・GD-1	
・ガラス貫通防止フィルム	・SF		

品質は、JIS A 5759による。

6 内装改修工事

○改修範囲

既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲 [6.1.3]
※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
○図示による
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲
※壁面より両側 600mm 程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
○図示による
既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修
※既存のまま
○図示による

○既存床の撤去及び下地補修

ビニル床シート等の除去 [6.2.2]
※仕上材のみ（接着剤とも）
・下地モルタルとも（・図示による ・除去範囲全て）
合成樹脂塗床材の除去工法
・機械的除去工法
・目荒し工法
既存のコンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4章外装改修工事による。
改修後の床の清掃範囲
※図示による

○既存壁の撤去及び下地補修

間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 [6.3.2]
※改修標準仕様書4.3.10によるモルタル塗（全塗厚が25mmを超える場合の処理 ※図示による）

○施工一般

材料のホルムアルデヒド放散量 [6.5.2]
※F☆☆☆☆又は改修標準仕様書6.5.2(1)(a)(b)による

○製材 [G]

・JAS 1083-5 製材・第5部に基づく下地用製材 [6.5.2]

施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用
		※2級	※A種・B種		・
		※2級	※A種・B種		・
		※2級	※A種・B種		・

・JAS 1083-2 製材・第2部に基づく造作用製材

施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用
見え掛り面		※上小節	※A種・B種		・
見え掛り面以外		※小節以上	※A種・B種		・

・JAS 1083-6 製材・第6部に基づく広葉樹製材

施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用
		※1等	※10%以下		・
		※1等	※10%以下		・
		※1等	※10%以下		・

○JAS 1083 (製材) 以外の製材

施工箇所	寸法 (mm)	材面の品質	防虫処理	含水率	間伐材等の適用
下地材 (松)	図示	(特1等) 造作材の場合 (※A種・B種)	・適用する ・適用しない	※A種・B種	・
		() 造作材の場合 (※A種・B種)	・適用する ・適用しない	※A種・B種	・
		() 造作材の場合 (※A種・B種)	・適用する ・適用しない	※A種・B種	・

○造作用集成材 [G]

○「集成材の日本農林規格」による造作用集成材 [6.5.2]

施工箇所	品名	樹種名	寸法 (mm)	見付け材面	見付け材面の品質	間伐材等の適用
	巾木	スプルース	図示		※1等・2等	・
	額縁	スプルース	図示		※1等・2等	・
	開口枠	スプルース	図示		※1等・2等	・

額縁・開口枠
・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材

施工箇所	品名	樹種名	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面	見付け材面の品質	間伐材等の適用
	化粧薄板:					※1等・2等	・
	芯材:					※1等・2等	・
	化粧薄板:					※1等・2等	・
	芯材:					※1等・2等	・

○造作用単板積層材 [G]

・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

施工箇所	樹種名	寸法 (mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
				※15%以下	・
				※15%以下	・
				※15%以下	・

○合板等

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材

施工箇所	樹種名	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
	化粧薄板:				※15%以下	・
	芯材:				※15%以下	・
	化粧薄板:				※15%以下	・
	芯材:				※15%以下	・

・JAS 0701に基づく造作用単板積層材 [6.5.2]

施工箇所	品名	寸法 (mm)	表面の品質	防虫処理	間伐材等の適用
				・適用する ・適用しない	・

・JAS 0701以外の造作用単板積層材

施工箇所	寸法 (mm)	表面の品質	含水率	防虫処理	間伐材等の適用
			※14%以下	・適用する ・適用しない	・

・JAS 3079に基づく直交集成板

施工箇所	品名	強度等級	種別	接着性能 (使用環境)	樹種名	寸法 (mm)	間伐材等の適用
							・

○「合板の日本農林規格」による普通合板 [G] [6.5.2]

施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	間伐材等の適用
床下地板	◎9.5 ○12	ラワン	※1類 ・2類	広葉樹 ※2等以上 ・1等 針葉樹 ※C-D以上	・適用する ・適用しない	・

・「合板の日本農林規格」による構造用合板 [G]

施工箇所	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	厚さ (mm)	防虫処理	強度等級	間伐材等の適用
	※2級以上 ・1級		※1類 ・特類	※C-D以上	※12	・適用する ・適用しない	()	・

・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板 [G]

施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理	間伐材等の適用
			・特類 ・1類	・適用する ・適用しない	・

・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 [G]

施工箇所	化粧板に使用する単板の樹種名	厚さ (mm)	接着の程度	防虫処理の適用
			・1類 ・2類	・適用する ・適用しない

・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 [G]

施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理の適用
		・1類 ・2類			・適用する ・適用しない

・接合員等

・パーティクルボード [G]

施工箇所	表表面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	厚さ (mm)
		※13タイプ	※P又はM		※15

・JAS 0360に基づく構造用パネル

施工箇所	寸法 (mm)

・MDF [G]

施工箇所	厚さ (mm)	表表面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分

造作材の化粧面の釘打ち [6.5.3]
※隠し釘打ち
・釘頭埋め木
・つぶし頭釘打ち
・釘頭現し
積合物
※かすがい、産金、箱金物、短冊金物
(改修標準仕様書表6.5.3~5に示す程度の市販品 表8.20.1のF種程度)
・ (形状: 寸法: 材質:)

・接着剤 [6.5.3.4]

接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆

・薬剤の加圧注入による防虫・防蟻処理 [6.5.5]

適用部材	保存処理性能区分
	・K2 ・K3 ・K4

・薬剤の塗布等による防虫・防蟻処理

適用部材	処理の方法	薬剤の種類
	※薬剤の製造所の仕様による	※JIS K 1571に適合又は同等品

・薬剤の接着材への混入による防虫・防蟻処理
適用部位 ()
・合板等の加圧注入処理等の適用
適用部位 ()

・内部間仕切軸組及び床組み [6.5.6]
・間仕切軸組に用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合)
※杉又は松
・床組に用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合)
※杉又は松

・窓、出入口その他 [6.5.7]
・窓、出入口その他に用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合)
※吊元枠、水掛りの下枠及び敷居はひのき、その他は松又は杉

○軽量鉄骨天井下 [6.6.2~4]
野縁等の種類
屋外
※25形 ・19形
屋内
※19形 ・25形
屋外の形式及び寸法
野縁受、つりボルト及びびん挿入の間隔
・図示による
周辺部の端からの間隔
・図示による
野縁の間隔
・図示による

既存の埋込みインサート
・使用する
・使用しない
あと施工アンカーの施工後の確認試験
・行う
試験箇所数 ※屋内の場合、当該箇において3箇所
・ ()箇所
引張試験にて確認する強度 ※吊りボルト受け等の間隔が900mm程度以下かつ天井面積構成部材等の単位面積あたりの質量が20kg/m²以内の天井の場合は400N程度
・ ()N
・行わない
・つりボルトの間隔が900mmを超える場合 (補強方法 ※図示による)
・天井のふところ高が3.0mを超える場合 (補強方法 ※図示による)
・天井下地材における耐震性を考慮した補強 (補強箇所 ※図示による)
(補強方法 ※図示による)

<p>○軽量鉄骨壁下地</p> <p>スタッド、ランナの種類 [6.7.3、4] [表6.7.1] ※改修標準仕様書表6.7.1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類 ・ 図示による ・ スタッドの高さが5.0mを超える場合 ※ 図示による 出入口及びこれに準ずる開口部の補強 ※改修標準仕様書6.7.4(5)による ・</p>	<p>○ビニル床シート</p> <p>[6.8.2、3]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類の記号</th> <th>色柄</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※FS (複層ビニル床シート)</td> <td>・無地 ・マーブル柄 ・柄物</td> <td>※2.0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>接合部の処理 ※ 熱溶接工法</p>	種類の記号	色柄	厚さ (mm)	備考	※FS (複層ビニル床シート)	・無地 ・マーブル柄 ・柄物	※2.0		<p>○ビニル床タイル</p> <p>[6.8.2]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類の記号</th> <th>色柄</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※KT (コボジションビニル床タイル)</td> <td>・無地 ・柄物</td> <td>・300×300 ・450×450</td> <td>※2.0 ・3.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・TT (単層ビニル床タイル)</td> <td>・無地 ・柄物</td> <td>・300×300 ・450×450</td> <td>・2.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・FT (複層ビニル床タイル)</td> <td>・無地 ・柄物</td> <td>・300×300 ・450×450</td> <td>・2.0 ・2.5 ・3.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・FOA (置敷きビニル床タイル)</td> <td>・無地 ・柄物</td> <td>・500×500</td> <td>・4.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・FOB (薄型置敷きビニル床タイル)</td> <td>・無地 ・柄物</td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種類の記号	色柄	寸法 (mm)	厚さ (mm)	備考	※KT (コボジションビニル床タイル)	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450	※2.0 ・3.0		・TT (単層ビニル床タイル)	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450	・2.0		・FT (複層ビニル床タイル)	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450	・2.0 ・2.5 ・3.0		・FOA (置敷きビニル床タイル)	・無地 ・柄物	・500×500	・4.0		・FOB (薄型置敷きビニル床タイル)	・無地 ・柄物	・	・		<p>○特殊機能床材</p> <p>[6.8.2]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・帯電防止床シート <ul style="list-style-type: none"> 種類 () 性能 () 厚さ (mm) () ・帯電防止床タイル <ul style="list-style-type: none"> 種類 () 性能 () 寸法 (mm) () × () 厚さ (mm) () ・視覚障害者用床タイル <ul style="list-style-type: none"> 視覚障害者誘導用ブロック等の突起の形状・寸法及びその配列はJIS T 9251による。 種類 () 形状 () ・耐動荷重性床シート <ul style="list-style-type: none"> 種類 () 厚さ (mm) () ・防滑性床シート <ul style="list-style-type: none"> 種類 () 厚さ (mm) () ・防滑性床タイル <ul style="list-style-type: none"> 種類 () 寸法 (mm) () × () 厚さ (mm) () 	<p>○ビニル幅木</p> <p>[6.8.2]</p> <p>材質の種類 ○ 軟質 ・ 硬質 高さ (mm) ※60 ・ 75 ○100 厚さ (mm) ※1.5以上</p>	<p>○ゴム床タイル</p> <p>[6.8.2]</p> <p>種類 ・ 単層品 ・ 積層品 色柄 () 厚さ (mm) ・ 3.0 ・ 4.5 ・ 6.0 ・ 9.0 寸法 (mm) () × ()</p>	<p>○カーペット敷き</p> <p>[6.9.2、3] [表6.9.1]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>織り方</th> <th>バイル形状</th> <th>備考 (参考価格)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ウィルトンカーペット ・ダブルフェースカーペット ・アキスミンスターカーペット</td> <td>・カットバイル ・ループバイル ・カット/ループバイル</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>色柄 ※模様のない無地 ・ バイル糸の織り種等 ※無地の織りじゅうたんの種類 (・A種 ・ B種 ・ C種) ・ 帯電性 ・適用する ・適用しない 織りじゅうたんの接合方法 ※ヒートボンド工法 ・ つづり縫い 下敷き材 ※反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種1号 呼び厚さ 8mm ・</p>	織り方	バイル形状	備考 (参考価格)	・ウィルトンカーペット ・ダブルフェースカーペット ・アキスミンスターカーペット	・カットバイル ・ループバイル ・カット/ループバイル																																																																																																																																																																																					
種類の記号	色柄	厚さ (mm)	備考																																																																																																																																																																																																																																			
※FS (複層ビニル床シート)	・無地 ・マーブル柄 ・柄物	※2.0																																																																																																																																																																																																																																				
種類の記号	色柄	寸法 (mm)	厚さ (mm)	備考																																																																																																																																																																																																																																		
※KT (コボジションビニル床タイル)	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450	※2.0 ・3.0																																																																																																																																																																																																																																			
・TT (単層ビニル床タイル)	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450	・2.0																																																																																																																																																																																																																																			
・FT (複層ビニル床タイル)	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450	・2.0 ・2.5 ・3.0																																																																																																																																																																																																																																			
・FOA (置敷きビニル床タイル)	・無地 ・柄物	・500×500	・4.0																																																																																																																																																																																																																																			
・FOB (薄型置敷きビニル床タイル)	・無地 ・柄物	・	・																																																																																																																																																																																																																																			
織り方	バイル形状	備考 (参考価格)																																																																																																																																																																																																																																				
・ウィルトンカーペット ・ダブルフェースカーペット ・アキスミンスターカーペット	・カットバイル ・ループバイル ・カット/ループバイル																																																																																																																																																																																																																																					
	<p>○タフテッドカーペット</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>バイル形状</th> <th>バイル長さ (mm)</th> <th>工法</th> <th>帯電性</th> <th>備考 (参考価格)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・カットバイル</td> <td>・5~7</td> <td>・全面接着工法</td> <td>・適用する</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ループバイル</td> <td>・4~6</td> <td>・グリッパ-工法</td> <td>・適用しない</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・カット、ループ併用</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>下敷き材 (グリッパ-工法の場合) ※反毛フェルト (JIS L 3204) の第212号 呼び厚さ 8mm ・ タフテッドカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆</p> <p>○タイルカーペット</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>バイルの形状</th> <th>種類</th> <th>施工箇所</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>総厚さ (mm)</th> <th>備考 (参考価格)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※ループバイル</td> <td>※第一種 ・第二種</td> <td></td> <td>※500×500</td> <td>※6.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・カットバイル</td> <td>・第一種 ・第二種</td> <td></td> <td>※500×500</td> <td>※6.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・カット・ループ併用</td> <td>・第一種 ・第二種</td> <td></td> <td>※500×500</td> <td>※6.5</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>タイルカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ タイルカーペットの敷き方 平場 ※市松敷き ・ 模様流し ・ 階段部分 ※模様流し ・ 市松敷き ・ 見切り、押え金物 材質 () 種類 () 形状等 ※ 図示による</p> <p>○ 図示による [6.10.2、3]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>工法</th> <th>仕上げの種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・厚膜型塗床材 弾性樹脂系塗床</td> <td></td> <td></td> <td>※平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ</td> </tr> <tr> <td>・厚膜型塗床材 非弾性樹脂系塗床</td> <td></td> <td>・ 薄床流しのべ工法 ・ 厚床流しのべ工法 ・ 樹脂材料工法</td> <td>・ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ</td> </tr> <tr> <td>・薄膜型塗床材</td> <td></td> <td></td> <td>※平滑仕上げ</td> </tr> </tbody> </table> <p>塗床材のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆</p> <p>○ フローリング張り</p> <p>[6.11.2~6]</p> <p>フローリングのホルムアルデヒドの放散量等 ※改修標準仕様書6.11.2(2)による ・ 各工法に使用する接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ※F☆☆☆☆</p> <p>・単層フローリング (フローリングボード1等) 工法 ・ 釘留め工法 (・ 根太張り ・ 直張り) ・ 接着工法 樹種 ※ なら 間伐材等の適用 ・ 適用する ・ 適用しない</p> <p>・単層フローリング (フローリングブロック1等) 樹種 ・ 厚さ (mm) ・ 大きさ ・ 間伐材等の適用 ・ 適用する ・ 適用しない</p> <p>・複合フローリング 工法 ・ 釘留め工法 (・ 根太張り ・ 直張り) ・ 接着工法 樹種 ※ なら 種類 ・ A種 ・ B種 ・ C種 間伐材等の適用 ・ 適用する ・ 適用しない</p> <p>接着工法の場合の不陸緩和材 ※合成樹脂発泡シート ・ ・現場塗装仕上げ ※ウレタン樹脂ワニス塗り ・ オイルステインの上、ワックス塗り ・ 生地そのままワックス塗り</p> <p>種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 (畳床: ・ KT-I ・ KT-II ・ KT-III ・ KT-K ・ KT-N)</p> <p>下地の種類 ・ 標準仕様書表12.6.11による床組 ・ ポリスチレンフォーム床下地 (ノンフロン)</p> <p>畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発生が極めて少ない材料を使用したものとする。 衝撃緩和型畳 (畳表: ・ C1 ・ C2)</p>	バイル形状	バイル長さ (mm)	工法	帯電性	備考 (参考価格)	・カットバイル	・5~7	・全面接着工法	・適用する		・ループバイル	・4~6	・グリッパ-工法	・適用しない		・カット、ループ併用	・	・	・		バイルの形状	種類	施工箇所	寸法 (mm)	総厚さ (mm)	備考 (参考価格)	※ループバイル	※第一種 ・第二種		※500×500	※6.5		・カットバイル	・第一種 ・第二種		※500×500	※6.5		・カット・ループ併用	・第一種 ・第二種		※500×500	※6.5		種別	施工箇所	工法	仕上げの種類	・厚膜型塗床材 弾性樹脂系塗床			※平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ	・厚膜型塗床材 非弾性樹脂系塗床		・ 薄床流しのべ工法 ・ 厚床流しのべ工法 ・ 樹脂材料工法	・ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ	・薄膜型塗床材			※平滑仕上げ	<p>○せっこうボード、その他のボード及び合板張り</p> <p>MOF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 [6.13.2、3] ※F☆☆☆☆ 合板のホルムアルデヒド放散量 ※改修標準仕様書6.13.2(2) (イ)の(a)~(d)のいずれか 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 表面への化粧張り等の加工 ※ 図示による</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類等</th> <th>厚さ (mm)、規格等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>木質系セメント板</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 木毛セメント板 ・ 硬質 (HW) ・ 中質 (MW) ・ 普通 (NW)</td> <td>※ 図示による ・ 15 ・ 20 ・ 25</td> </tr> <tr> <td>・ 木片セメント板 ・ 硬質 (HF) ・ 普通 (NF)</td> <td>※ 図示による ・ 12 ・ 15 ・ 18 ・ 21 ・ 30</td> </tr> <tr> <td>繊維強化セメント板</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ けい酸カルシウム板 (タイプ2) 普通ボード 0.8FK</td> <td>※ 図示による ○6 ・ 8</td> </tr> <tr> <td>火山性ガラス質複層板</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 火山性ガラス質複層板 種類 ※ 図示による</td> <td>※ 図示による</td> </tr> <tr> <td>繊維板</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 繊維板 (MDF)</td> <td>※ 図示による ・ 3 ・ 7 ・ 9 ・ 12</td> </tr> <tr> <td>・ ハードボード ・ スパンボード (無処理) ・ 素地ハードボード ・ 未研磨板 (RN) ・ 研磨板 (RS) ・ 内装用化粧ハードボード (DI) ・ フォーミカルド (処理) ・ 素地ハードボード ・ 未研磨板 (RN) ・ 研磨板 (RS) ・ 外表用化粧ハードボード (DE)</td> <td>※ 図示による ・ 2.5 ・ 3.5 ・ 5 ・ 7</td> </tr> <tr> <td>・ アクリルボード ・ A級イソシアネート (A-IB)</td> <td>※ 図示による ・ 9 ・ 12 ・ 15 ・ 18</td> </tr> <tr> <td>・ 繊維板 (MDF) ・ 単板張りハードボード ・ 無研磨板 (VN) ・ 研磨板 (VS)</td> <td>※ 図示による ・ 10 ・ 12 ・ 15 ・ 18</td> </tr> <tr> <td>・ 化粧ハードボード ・ 単板張り (DV) ・ フォーミカルド (DO) ・ 塗装 (DC)</td> <td>※ 図示による ・ 10 (難燃) ・ 12 (難燃)</td> </tr> </tbody> </table> <p>吸音材料</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>○ 吸音化粧板 (DR) ○ フラット ○ 凹凸</td> <td>○9 (不燃) ・ 12 (不燃) ・ 12 (不燃) ・ 15 (不燃)</td> </tr> <tr> <td>・ 凹凸吸音板 (1号)</td> <td>※ 図示による ・ 25</td> </tr> <tr> <td>○ 凹凸吸音板 (32K)</td> <td>・ 25 (凹凸包み) ○50 (凹凸包み)</td> </tr> </tbody> </table> <p>せっこうボード</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>○ せっこうボード (GB-R)</td> <td>○12.5 (不燃) ・ 15 (不燃) ○9.5 (準不燃)</td> </tr> <tr> <td>○ ジェンク せっこうボード (GB-S)</td> <td>○12.5 (不燃) ・ 準不燃</td> </tr> <tr> <td>・ 強化せっこうボード (GB-F)</td> <td>・ 12.5 (不燃) ○15 (不燃)</td> </tr> <tr> <td>・ せっこうラスボード (GB-L)</td> <td>・ 9.5</td> </tr> <tr> <td>・ 不燃積層せっこうボード (GB-NC) ・ 化粧無し (下地張り用) ・ 化粧有り (フラット仕様)</td> <td>・ 9.5 (不燃)</td> </tr> </tbody> </table> <p>合板類</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>・ 普通合板 表板の種類名: 板面品質、 防虫処理</td> <td>※ 図示による ・ ・ 行う ・ 行わない</td> </tr> <tr> <td>・ 天然木化粧合板 化粧板の種類名: 防虫処理</td> <td>※ 図示による ・ ・ 行う ・ 行わない</td> </tr> <tr> <td>・ 特殊加工化粧合板 化粧加工の方法 ・ オパール ・ フラット ・ 塗装 表面性能 防虫処理</td> <td>※ 図示による ・ ・ 行う ・ 行わない</td> </tr> </tbody> </table> <p>天井のボード類 (ロックウール吸音板を除く) の重ね張りを行う場合 ※ 図示による 合板類の張り付け ・ A種 ・ B種 せっこうボードの目地工法等 目地工法の種類 ※ 仕上表による 突出工法及び目隠し工法のエッジの種類 ・ ベベルエッジ ・ スクエアエッジ 化粧加工の方法 (・ オパールレイ ・ プリント ・ 塗装)</p>	種類等	厚さ (mm)、規格等	木質系セメント板		・ 木毛セメント板 ・ 硬質 (HW) ・ 中質 (MW) ・ 普通 (NW)	※ 図示による ・ 15 ・ 20 ・ 25	・ 木片セメント板 ・ 硬質 (HF) ・ 普通 (NF)	※ 図示による ・ 12 ・ 15 ・ 18 ・ 21 ・ 30	繊維強化セメント板		○ けい酸カルシウム板 (タイプ2) 普通ボード 0.8FK	※ 図示による ○6 ・ 8	火山性ガラス質複層板		・ 火山性ガラス質複層板 種類 ※ 図示による	※ 図示による	繊維板		・ 繊維板 (MDF)	※ 図示による ・ 3 ・ 7 ・ 9 ・ 12	・ ハードボード ・ スパンボード (無処理) ・ 素地ハードボード ・ 未研磨板 (RN) ・ 研磨板 (RS) ・ 内装用化粧ハードボード (DI) ・ フォーミカルド (処理) ・ 素地ハードボード ・ 未研磨板 (RN) ・ 研磨板 (RS) ・ 外表用化粧ハードボード (DE)	※ 図示による ・ 2.5 ・ 3.5 ・ 5 ・ 7	・ アクリルボード ・ A級イソシアネート (A-IB)	※ 図示による ・ 9 ・ 12 ・ 15 ・ 18	・ 繊維板 (MDF) ・ 単板張りハードボード ・ 無研磨板 (VN) ・ 研磨板 (VS)	※ 図示による ・ 10 ・ 12 ・ 15 ・ 18	・ 化粧ハードボード ・ 単板張り (DV) ・ フォーミカルド (DO) ・ 塗装 (DC)	※ 図示による ・ 10 (難燃) ・ 12 (難燃)	○ 吸音化粧板 (DR) ○ フラット ○ 凹凸	○9 (不燃) ・ 12 (不燃) ・ 12 (不燃) ・ 15 (不燃)	・ 凹凸吸音板 (1号)	※ 図示による ・ 25	○ 凹凸吸音板 (32K)	・ 25 (凹凸包み) ○50 (凹凸包み)	○ せっこうボード (GB-R)	○12.5 (不燃) ・ 15 (不燃) ○9.5 (準不燃)	○ ジェンク せっこうボード (GB-S)	○12.5 (不燃) ・ 準不燃	・ 強化せっこうボード (GB-F)	・ 12.5 (不燃) ○15 (不燃)	・ せっこうラスボード (GB-L)	・ 9.5	・ 不燃積層せっこうボード (GB-NC) ・ 化粧無し (下地張り用) ・ 化粧有り (フラット仕様)	・ 9.5 (不燃)	・ 普通合板 表板の種類名: 板面品質、 防虫処理	※ 図示による ・ ・ 行う ・ 行わない	・ 天然木化粧合板 化粧板の種類名: 防虫処理	※ 図示による ・ ・ 行う ・ 行わない	・ 特殊加工化粧合板 化粧加工の方法 ・ オパール ・ フラット ・ 塗装 表面性能 防虫処理	※ 図示による ・ ・ 行う ・ 行わない	<p>○壁紙張り</p> <p>ホルムアルデヒド放散量 [6.14.2、3] ※F☆☆☆☆</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th colspan="5">壁紙の種類</th> <th rowspan="2">防火性能</th> <th rowspan="2">備考 (参考価格)</th> </tr> <tr> <th>紙</th> <th>繊維</th> <th>強化ビニル</th> <th>フッ素樹脂</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>壁</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>○</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>○不燃 ○準不燃 ・ 難燃</td> <td></td> </tr> <tr> <td>天井</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>○</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>○不燃 ○準不燃 ・ 難燃</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 難燃</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 難燃</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>モルタル及びせっこうプラスター面の素地ごしらえの種類 ※B種 ・ A種 コンクリート面の素地ごしらえの種類 ※B種 ・ A種 せっこうボード面及びその他のボード面の素地ごしらえの種類 ※B種 ・ A種</p> <p>モルタル [6.15.3、5、6]</p> <p>・ モルタル塗り</p> <p>モルタル ・ 現場調合材料 ・ 既調合材料 既製目地材 ・ 設ける 施工箇所 () 形状 (※ 図示による) ・ 設けない 床の目地 ・ 設ける 目地割り ※2m程度 (最大目地間隔3m程度) ・ 目地の種類 ※押し目地 ・ ・ 設けない 壁面の仕上げ厚又は全塗り厚が25mmを超える場合の下部処理 ・ 図示による</p> <p>伸縮目地の位置 [6.16.2~4]</p> <p>床タイル ※縦、横とも4m以内ごと ・ 図示による ・ 床タイル以外 ・ 図示による ・ 伸縮調整目地のシーリング材、目地寸法は改修特記仕様書第3章による 見本焼き ・ 行う (施工箇所:) ・ 行わない 試験張り ・ 行う (範囲、仕様等は図示による) ・ 行わない ○セメントモルタルによるタイル (セラミックタイル) 張り タイルの形状、寸法等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種類 (mm)</th> <th>形状/寸法</th> <th>再生材料の吸水率による区分</th> <th>有</th> <th>無</th> <th>標準</th> <th>特注</th> <th>有</th> <th>無</th> <th>耐凍害性</th> <th>耐滑</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ボーチ床</td> <td>150角</td> <td></td> <td>I</td> <td>○</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>・</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>トイレ床</td> <td>100角</td> <td></td> <td>I</td> <td>○</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>・</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>トイレ壁</td> <td>100角</td> <td></td> <td>I</td> <td>○</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>・</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>備考欄: 参照タイルシリーズ</p> <p>標準的な割りの役物は一体成形とする 既調合モルタル (品質・性能、試験方法は別表による) モルタル下地としたタイル工事に使用する張り付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。 既調合目地材 (品質・性能、試験方法は別表による)</p> <p>壁タイル張りの工法 内装タイル ・ 密着張り ・ 改良接着張り ○改良積上げ張り 内装タイル以外のユニットタイル ・ マスク張り ・ モザイクタイル張り ・ 有機系接着剤によるタイル (セラミックタイル) 張り タイルの形状、寸法等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種類 (mm)</th> <th>形状/寸法</th> <th>再生材料の吸水率による区分</th> <th>有</th> <th>無</th> <th>標準</th> <th>特注</th> <th>有</th> <th>無</th> <th>耐凍害性</th> <th>耐滑</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>I</td> <td>○</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>・</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>備考欄: 参照タイルシリーズ</p> <p>標準的な割りの役物は一体成形とする 内装タイル接着剤張りの接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆</p> <p>塗厚 (mm) ・</p> <p>セルフレベリング材塗り [6.17.2、3]</p>	施工箇所	壁紙の種類					防火性能	備考 (参考価格)	紙	繊維	強化ビニル	フッ素樹脂	その他	壁	・	・	○	・	・	○不燃 ○準不燃 ・ 難燃		天井	・	・	○	・	・	○不燃 ○準不燃 ・ 難燃			・	・	・	・	・	・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 難燃			・	・	・	・	・	・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 難燃		施工箇所	種類 (mm)	形状/寸法	再生材料の吸水率による区分	有	無	標準	特注	有	無	耐凍害性	耐滑	ボーチ床	150角		I	○	・	・	○	○	・	○	○	トイレ床	100角		I	○	・	・	○	○	・	○	○	トイレ壁	100角		I	○	・	・	○	○	・	○	○	施工箇所	種類 (mm)	形状/寸法	再生材料の吸水率による区分	有	無	標準	特注	有	無	耐凍害性	耐滑				I	○	・	・	○	○	・	○	○
バイル形状	バイル長さ (mm)	工法	帯電性	備考 (参考価格)																																																																																																																																																																																																																																		
・カットバイル	・5~7	・全面接着工法	・適用する																																																																																																																																																																																																																																			
・ループバイル	・4~6	・グリッパ-工法	・適用しない																																																																																																																																																																																																																																			
・カット、ループ併用	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																			
バイルの形状	種類	施工箇所	寸法 (mm)	総厚さ (mm)	備考 (参考価格)																																																																																																																																																																																																																																	
※ループバイル	※第一種 ・第二種		※500×500	※6.5																																																																																																																																																																																																																																		
・カットバイル	・第一種 ・第二種		※500×500	※6.5																																																																																																																																																																																																																																		
・カット・ループ併用	・第一種 ・第二種		※500×500	※6.5																																																																																																																																																																																																																																		
種別	施工箇所	工法	仕上げの種類																																																																																																																																																																																																																																			
・厚膜型塗床材 弾性樹脂系塗床			※平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ																																																																																																																																																																																																																																			
・厚膜型塗床材 非弾性樹脂系塗床		・ 薄床流しのべ工法 ・ 厚床流しのべ工法 ・ 樹脂材料工法	・ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ																																																																																																																																																																																																																																			
・薄膜型塗床材			※平滑仕上げ																																																																																																																																																																																																																																			
種類等	厚さ (mm)、規格等																																																																																																																																																																																																																																					
木質系セメント板																																																																																																																																																																																																																																						
・ 木毛セメント板 ・ 硬質 (HW) ・ 中質 (MW) ・ 普通 (NW)	※ 図示による ・ 15 ・ 20 ・ 25																																																																																																																																																																																																																																					
・ 木片セメント板 ・ 硬質 (HF) ・ 普通 (NF)	※ 図示による ・ 12 ・ 15 ・ 18 ・ 21 ・ 30																																																																																																																																																																																																																																					
繊維強化セメント板																																																																																																																																																																																																																																						
○ けい酸カルシウム板 (タイプ2) 普通ボード 0.8FK	※ 図示による ○6 ・ 8																																																																																																																																																																																																																																					
火山性ガラス質複層板																																																																																																																																																																																																																																						
・ 火山性ガラス質複層板 種類 ※ 図示による	※ 図示による																																																																																																																																																																																																																																					
繊維板																																																																																																																																																																																																																																						
・ 繊維板 (MDF)	※ 図示による ・ 3 ・ 7 ・ 9 ・ 12																																																																																																																																																																																																																																					
・ ハードボード ・ スパンボード (無処理) ・ 素地ハードボード ・ 未研磨板 (RN) ・ 研磨板 (RS) ・ 内装用化粧ハードボード (DI) ・ フォーミカルド (処理) ・ 素地ハードボード ・ 未研磨板 (RN) ・ 研磨板 (RS) ・ 外表用化粧ハードボード (DE)	※ 図示による ・ 2.5 ・ 3.5 ・ 5 ・ 7																																																																																																																																																																																																																																					
・ アクリルボード ・ A級イソシアネート (A-IB)	※ 図示による ・ 9 ・ 12 ・ 15 ・ 18																																																																																																																																																																																																																																					
・ 繊維板 (MDF) ・ 単板張りハードボード ・ 無研磨板 (VN) ・ 研磨板 (VS)	※ 図示による ・ 10 ・ 12 ・ 15 ・ 18																																																																																																																																																																																																																																					
・ 化粧ハードボード ・ 単板張り (DV) ・ フォーミカルド (DO) ・ 塗装 (DC)	※ 図示による ・ 10 (難燃) ・ 12 (難燃)																																																																																																																																																																																																																																					
○ 吸音化粧板 (DR) ○ フラット ○ 凹凸	○9 (不燃) ・ 12 (不燃) ・ 12 (不燃) ・ 15 (不燃)																																																																																																																																																																																																																																					
・ 凹凸吸音板 (1号)	※ 図示による ・ 25																																																																																																																																																																																																																																					
○ 凹凸吸音板 (32K)	・ 25 (凹凸包み) ○50 (凹凸包み)																																																																																																																																																																																																																																					
○ せっこうボード (GB-R)	○12.5 (不燃) ・ 15 (不燃) ○9.5 (準不燃)																																																																																																																																																																																																																																					
○ ジェンク せっこうボード (GB-S)	○12.5 (不燃) ・ 準不燃																																																																																																																																																																																																																																					
・ 強化せっこうボード (GB-F)	・ 12.5 (不燃) ○15 (不燃)																																																																																																																																																																																																																																					
・ せっこうラスボード (GB-L)	・ 9.5																																																																																																																																																																																																																																					
・ 不燃積層せっこうボード (GB-NC) ・ 化粧無し (下地張り用) ・ 化粧有り (フラット仕様)	・ 9.5 (不燃)																																																																																																																																																																																																																																					
・ 普通合板 表板の種類名: 板面品質、 防虫処理	※ 図示による ・ ・ 行う ・ 行わない																																																																																																																																																																																																																																					
・ 天然木化粧合板 化粧板の種類名: 防虫処理	※ 図示による ・ ・ 行う ・ 行わない																																																																																																																																																																																																																																					
・ 特殊加工化粧合板 化粧加工の方法 ・ オパール ・ フラット ・ 塗装 表面性能 防虫処理	※ 図示による ・ ・ 行う ・ 行わない																																																																																																																																																																																																																																					
施工箇所	壁紙の種類					防火性能	備考 (参考価格)																																																																																																																																																																																																																															
	紙	繊維	強化ビニル	フッ素樹脂	その他																																																																																																																																																																																																																																	
壁	・	・	○	・	・	○不燃 ○準不燃 ・ 難燃																																																																																																																																																																																																																																
天井	・	・	○	・	・	○不燃 ○準不燃 ・ 難燃																																																																																																																																																																																																																																
	・	・	・	・	・	・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 難燃																																																																																																																																																																																																																																
	・	・	・	・	・	・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 難燃																																																																																																																																																																																																																																
施工箇所	種類 (mm)	形状/寸法	再生材料の吸水率による区分	有	無	標準	特注	有	無	耐凍害性	耐滑																																																																																																																																																																																																																											
ボーチ床	150角		I	○	・	・	○	○	・	○	○																																																																																																																																																																																																																											
トイレ床	100角		I	○	・	・	○	○	・	○	○																																																																																																																																																																																																																											
トイレ壁	100角		I	○	・	・	○	○	・	○	○																																																																																																																																																																																																																											
施工箇所	種類 (mm)	形状/寸法	再生材料の吸水率による区分	有	無	標準	特注	有	無	耐凍害性	耐滑																																																																																																																																																																																																																											
			I	○	・	・	○	○	・	○	○																																																																																																																																																																																																																											

1級建築士事務所 青森県知事登録第A1-1642号
株式会社 **エクラ** 一級建築士事務所
青森県弘前市下輪師町11
TEL 0172-38-1900
FAX 0172-39-6168

承認 設計 担当
縮尺 A1版 ー
A3版 ー
設計年月日 2024.03
工事名称 令和6年度 弘前職業能力開発校移転改修工事(建築工事)(ゼロ市債)
図面名称 改修特記仕様書(その6)

縮尺 A1版 ー
A3版 ー
設計年月日 2024.03
工事名称 令和6年度 弘前職業能力開発校移転改修工事(建築工事)(ゼロ市債)
図面名称 改修特記仕様書(その6)
A-106
NO.

<p>・高力ボルト</p> <p>・普通ボルト</p> <p>・溶融亜鉛めっき高力ボルト</p> <p>・アンカーボルト</p> <p>・溶接材料</p> <p>・スタッド</p> <p>・製作精度</p> <p>・仮組</p> <p>・溶接作業を行う技能資格者の技量付加試験</p>	<p>高力ボルトの種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トルシア形高力ボルト ・JIS形高力ボルト <p>ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図示による() <p>摩擦面の処理方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・改修標準仕様書8.14.2(1)による。 <p>・すべり試験の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すべり係数試験 ・すべり耐力試験 <p>すべり試験を実施する場合、改修標準仕様書8.14.2(1)(4)による摩擦面の確認は、本試験で作成した対比試験片で行うこと。</p> <p>ボルト及びナットの種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・標準仕様書 表7.2.3 (JIS附属書品)又は次による ボルトの規格は、JIS B 1180とする。 ボルトの種類は、呼び径六角ボルト又は金ねじ六角ボルトとし、材料は鋼とする。 ボルトの強度区分は、4.6又は4.8とする。なお、呼び径六角ボルトの軸径の最大寸法は、ボルトの径の値以下とする。 ナットの規格は、JIS B 1181とする。 ナットの種類は、六角ナットとし、材料は鋼とする。 <p>座金</p> <ul style="list-style-type: none"> ※JIS B 1256による <p>ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図示による() <p>母屋又は胴縁の取付けに使用するボルトの孔径</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ねじの呼び径+1.0mm <p>ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図示による() <p>摩擦面の処理方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プラスト処理(表面粗度50μmRz以上) ・りん酸塩処理 <p>・すべり試験の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すべり係数試験 ・すべり耐力試験 <p>すべり試験を実施する場合、改修標準仕様書8.20.5(1)(7)又は(4)による摩擦面の確認は、本試験で作成した対比試験片で行うこと。</p> <p>・構造用アンカーボルト種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ABR400 ・ ABR490 <p>・建方用アンカーボルト種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ SS400 <p>アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度</p> <ul style="list-style-type: none"> ※標準仕様書 表7.2.3による <p>・標準仕様書7.2.4以外のアンカーボルト適用箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図示による() <p>種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ SS400 <p>アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度</p> <ul style="list-style-type: none"> ※標準仕様書 表7.2.3による <p>ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図示による(構造関係共通事項(鉄骨標準図)1-1 縁端距離及びボルト間隔) <p>溶接材料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・改修標準仕様書 8.2.10(1)(2)による <p>種類等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>呼び名</th> <th>呼び長さ(mm)</th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・16</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・19</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・22</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>鉄骨の製作精度は、JASS 6 付則 6 [鉄骨精度検査基準]に加えて、次による</p> <p>通しダイアグラムの突合せ継手の食い違いの寸法</p> <ul style="list-style-type: none"> ※H12建告第1464号第二号イ(2)による <p>アンダーカットの寸法</p> <ul style="list-style-type: none"> ※H12建告第1464号第二号イ(3)による <p>食い違い・仕口のずれの検査方法及び補強方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による <p>仮組を行う範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図示による() <p>試験の要領</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図示による() 	呼び名	呼び長さ(mm)	適用箇所	・16			・19			・22			<p>・溶接接合</p> <p>・入熱、バス間温度の溶接条件</p> <p>・溶接部の試験</p> <p>・錆止め塗装</p> <p>・耐火被覆</p> <p>・アンカーボルト等の設置等</p> <p>・鉄骨ブレース設置後の仕上げ</p>	<p>開先の形状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図示による() <p>・鋼製エンドタブの切断部分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・切断する箇所 ・図示による() <p>切断範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鋼製エンドタブ、裏当て金等は、梁フランジの幅から5mm以下を残して直線状に切断する。 なお、切断線が交差する場合は、交差部をアール状に加工する <p>切断面の仕上げ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・改修標準仕様書8.15.7(1)(h)(b)②による <p>スカラップの形状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図示による() <p>鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図示による() <p>適用箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図示による() ・柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部 <p>平12建告第1464号第二号に関する外観試験方法等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」3.5.2 受入検査による ・抜き取り検査① ※抜き取り検査② <p>JASS 6 付則 6 [鉄骨精度検査基準]の付表3「溶接」に関する試験方法等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JASS 6 10.4 [受入検査]e. 溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。ただし、完全溶け込み溶接部の外観検査の抜き取り箇所は、超音波探傷試験の抜き取り箇所と同一とする。外観試験の不合格箇所は、すべて標準仕様書7.6.13による補修を行い、再試験する <p>完全溶け込み溶接部の超音波探傷試験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工場溶接の場合 ※全数 ・工場現場溶接の場合 ※全数 <p>塗料の種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下記以外の鉄鋼面は、7章[塗装改修工事]による ・鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリープで鉄骨に溶接されたもの内側の錆止め塗料の種類 ※A種 ・耐火被覆材が接合する面の塗料の種類 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>材料・工法</th> <th>性能(耐火時間)</th> <th>適用箇所(部位・部分)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">・耐火材吹付け</td> <td>・乾式吹付けロックウール</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・半乾式吹付けロックウール</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・湿式ロックウール</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・耐火板張り</td> <td>・繊維混入けい酸カルシウム板</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・耐火材巻付け</td> <td>・高断熱ロックウール</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ラス張りモルタル塗り</td> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・耐火塗料</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>構造用アンカーボルトの形状及び寸法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図示による() <p>構造用アンカーフレームの形状及び寸法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図示による() <p>建方用アンカーボルトの形状及び寸法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図示による() <p>建方用アンカーボルトの保持及び埋込み工法</p> <p>種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A種 ・B種 <p>柱底均しモルタル厚さ及び工法の種類</p> <p>厚さ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <p>種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ※A種 ・B種 <p>・図示による()</p>	種類	材料・工法	性能(耐火時間)	適用箇所(部位・部分)	・耐火材吹付け	・乾式吹付けロックウール			・半乾式吹付けロックウール			・湿式ロックウール			・耐火板張り	・繊維混入けい酸カルシウム板			・			・耐火材巻付け	・高断熱ロックウール			・			・ラス張りモルタル塗り	・			・耐火塗料			<p>8-4 あと施工アンカー工事</p> <p>・あと施工アンカー</p> <p>・穿孔</p> <p>・施工確認試験</p> <p>・あと施工アンカー穿孔工法</p> <p>8-5 グラウト工事</p> <p>・柱底均しモルタル及び</p> <p>8-6 連続繊維補強工事</p> <p>8-7 耐震スリット新設工事</p>	<p>材料等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金属系アンカー ・引張耐力 ・せん断耐力 アンカー本体の径及び埋込み長さ ・図示による() セット方式 ※本体打込み式改良型 接合部の種類、径、長さ ・図示による() ・性能確認試験 試験方法及び試験数 ・図示による() ・接着系アンカー ・引張耐力 ・せん断耐力 アンカーの種類 ※カプセル方式回転打撃式 接着剤の品質 ・有機系 ・無機系 アンカーの径及び埋込み長さ ・図示による() アンカー筋の種類 ・ アンカー筋の新設壁内への定着の長さ ・図示による() ・性能確認試験 試験方法及び試験数 ・図示による() <p>埋込み配管等の探査方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉄筋探知器(金属探知器)により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う ・はつり出しによる <p>試験方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ※引張試験機による引張試験 確認強度 ・図示による(耐震補強共通図) <p>※改修標準仕様書8.12.1(2)による。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・耐震改修部位に使用するD13以上のあと施工アンカーは、ケーシング又はダイヤモンドビット等を用いた低騒音工法を採用する。 	<p>8-8 土工事及び地業工事</p> <p>・埋戻し及び盛土</p> <p>・杭地業</p> <p>・砂利地業</p> <p>・捨コンクリート地業</p> <p>撤去工事</p> <p>・一般事項</p> <p>・施工計画書</p> <p>・工法等</p> <p>・分別解体等に係る施工方法</p> <p>・石膏ボードの処分方法</p>	<p>材料及び工法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材料() 工法() ※改修標準仕様書表8.28.11による ・A種 適用場所() ・B種 適用場所() ・C種 適用場所() 土質() 受渡場所() ・D種 適用場所() (品質 細粒分(75μm以下)の含有率(重量百分率)の上限を50%未満とする。) <p>支持層の位置及び土質(基礎ぐいの先端位置含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図示による() <p>杭の材料、工法、寸法、施工方法等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図示による() ・試験杭の位置、本数及び寸法並びに施工方法 ・図示による() ・杭の継手の箇所数、材料、工法等 ・図示による() ・杭の溶接継手 技能資格者の技量 ・図示による() 溶接部の確認 ・図示による() ・杭頭の処理 ・処理しない ・処理する 処理方法(切断にともなう補強方法含む) ・図示による() ・杭頭の中詰め材料 ・基礎のコンクリートと同調合のもの <p>杭の精度</p> <p>水平方法の位置ずれ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・杭径の1/4かつ100mm以下 ・評定等の評価内容による <p>建て込み時の杭の鉛直度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1/100以内 ・評定等の評価内容による <p>記録する施工状況等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図示による() <p>材料</p> <ul style="list-style-type: none"> ○再生クラッシャーラン [] ・切込砂利又は切込砕石 <p>砂利厚さ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>厚さ</th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※60mm</td> <td>・基礎下、基礎梁下、土間スラブ下、土間コンクリート下</td> </tr> <tr> <td>○ 150</td> <td>○ オイルタンク基礎</td> </tr> </tbody> </table> <p>捨コンクリートの厚さ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>厚さ</th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※50mm</td> <td>・基礎下、基礎梁下、土間スラブ下</td> </tr> </tbody> </table> <p>コンクリートの種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ※普通コンクリート <p>設計基準強度</p> <ul style="list-style-type: none"> ※18N/mh <p>スラブ</p> <ul style="list-style-type: none"> ※15cm又は18cm <p>(1) 建設廃棄物等の処分は、関係法令に従い安全かつ公害を発生させない方法で行うこと。</p> <p>(2) 計画内容は工事施工関係者に広く周知徹底させる。</p> <p>(3) 騒音、振動は使用機器の能力等により、事前に所要の手續きをして解体に伴う関係官庁の了解を得ること。</p> <p>(1) 使用機械器具、各工種の材料、工法、日程等の内容を記載すること。</p> <p>(2) 重機械等を建築物等に載せる場合は、構造体の安全を確認する検査書を添付すること。</p> <p>内装材の撤去は原則として火気を使用しないこと。やむを得ず使用する場合は、消火器具等を準備し監視人を配置するなど防火対策を入念に行う。</p> <p>内装仕上げ材、建築設備の撤去</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ビニル床タイル、間仕切壁、天井材、建具類等の内装仕上げ材及び建築設備は、コンクリート製の再資源化を図るため、手作業による先行撤去とし、コンクリート類とは分別解体とすること。 <ul style="list-style-type: none"> ・手作業、機械作業の併用による。 <p>屋根ふき材</p> <ul style="list-style-type: none"> ※手作業による。 ・手作業、機械作業の併用による。 <p>撤去は手作業を原則とし、管理型処分場で処分すること。</p> <p>石膏・カドミウム含有せっこうボードは、出来る限り製造業者に処分を依頼すること。</p>	厚さ	適用箇所	※60mm	・基礎下、基礎梁下、土間スラブ下、土間コンクリート下	○ 150	○ オイルタンク基礎	厚さ	適用箇所	※50mm	・基礎下、基礎梁下、土間スラブ下
呼び名	呼び長さ(mm)	適用箇所																																																														
・16																																																																
・19																																																																
・22																																																																
種類	材料・工法	性能(耐火時間)	適用箇所(部位・部分)																																																													
・耐火材吹付け	・乾式吹付けロックウール																																																															
	・半乾式吹付けロックウール																																																															
	・湿式ロックウール																																																															
・耐火板張り	・繊維混入けい酸カルシウム板																																																															
	・																																																															
・耐火材巻付け	・高断熱ロックウール																																																															
	・																																																															
・ラス張りモルタル塗り	・																																																															
	・耐火塗料																																																															
厚さ	適用箇所																																																															
※60mm	・基礎下、基礎梁下、土間スラブ下、土間コンクリート下																																																															
○ 150	○ オイルタンク基礎																																																															
厚さ	適用箇所																																																															
※50mm	・基礎下、基礎梁下、土間スラブ下																																																															

項目		A	E	M	備考	項目		A	E	M	備考	項目		A	E	M	備考								
躯体関係						ユニットバス・シャワーユニット						自家発電設備						エレベーター設備							
RC造(梁・壁・床)の貫通孔・開口部	貫通スリーブ	○	○	○			既製浴槽			○			自家発電装置			○		機械室・昇降路の躯体	○						
	貫通スリーブの補強	○					コンクリート浴槽	○					発電装置 基礎	○				機械室の床開口	○						
	開口部の型枠・補強	○					浴槽排水金物			○			トレンチ	○				機械室の床配管ビット・蓋	○						
	貫通スリーブ・開口部の墨出し	○	○	○			洗濯機パン			○			トレンチ用 蓋	○				機械室の上げ床コンクリート打設・仕上	○						
	貫通スリーブ・型枠部の穴埋め	○	○	○		防火・防煙区画	事務室廻り	フリーアクセスフロアパネル切込み加工	○				主燃料タンク(充填砂共)		○			巻上機周囲のチェッカープレート敷							
								フリーアクセスフロア給排気グリル	○				主燃料タンク用 基礎、外郭工事	○				昇降路内ビット防水	○						
S・SRC造(梁・壁・床)の貫通孔・開口部	鉄骨貫通鋼管スリーブ	○					フリーアクセスフロアコンセント		○			同上杭及び杭頭処理	○				ビット点検タラップ								
	貫通スリーブ	○	○	○			壁・天井空調用給排気グリル			○		燃料小出タンク		○			各階出入口穴あけ・同補強	○							
	貫通スリーブの補強	○					感知器連動防火戸のレリーズ用切込み	○				燃料小出タンク基礎	○				三方枠取付・枠廻り埋戻し・同補強								
	開口部の型枠・補強	○					消火器ボックス	○	○			防油堤	○				昇降路がS造の場合の出入口扉・三方枠及び扉の受け	○							
	貫通スリーブ・開口部の墨出し	○	○	○			表面仕上が必要な全熱交換機等の表面仕上	○			ボード類、塗装のみ		○			昇降路の中間ビーム、ブラケット、レールブラケット支持柱、他昇降路内の鋼製部材一式									
	貫通スリーブ・型枠部の穴埋め	○	○	○		防火・防煙区画	壁・天井・床点検口	○			M・E用含む		給油ボックス	○			昇降路がS造の場合の中間ビーム及びブラケットの受けベース	○							
予備スリーブの穴埋め	○	○	○		防火・防煙区画	駆動装置が電動の建具類の1次電源、1次・2次配管、及び手元電源スイッチ			○	レールピタ用の手元スイッチを含む		給油ボックス 基礎	○			機械室天井・昇降路内フック取付	○								
設備機器の基礎	機器取り付け用アンカー・架台			○	○		同上本体・駆動装置・検出装置(センサー)	○				屋外トレンチ	○				ホール押印・インジケータなどの壁開口	○							
	基礎	○					駆動装置が電動のブラインド・排煙オペレーター等の1次配線及び1次・2次配管			○		屋外トレンチ用 蓋	○				機械室内換気設備			○					
	太陽光発電設備基礎	○					同上本体・操作スイッチ及び2次配線	○				危険物表示板		○			エレベーター制御盤までの一次側動力用配管配線工事(AC3相 200V50HZ)			○					
	太陽光発電設備架台			○			電動スクリーン用ボックス	○				電気配管配線					エレベーター制御盤までの一次側電灯用配管配線工事(AC単相 100V50HZ)			○					
その他	トラフ・ビット類(ふたを含む)	○					電気錠及び扉〜枠通電金具及び2次配線	○				機器付属の制御盤以降の2次側配管配線(接地線共)			○			エレベーター制御盤までの一次側電灯用配管配線工事(AC単相 100V50HZ)			○				
	RC造各種ビット	○					同上用1次配線及び1次・2次配管			○		機器付属の制御盤への1次側電源供給配管配線(接地線共)			○			エレベーター制御盤までの一次側電灯用配管配線工事(AC単相 100V50HZ)			○				
	同上用マンホール・タラップ	○					避雷導体の接続			○		自動制御盤と動力盤との電源供給の渡り配管配線(接地線共)			○			エレベーター制御盤までの接地用配管配線工事(D種接地)			○				
	排水溝	○					笠木を棟上げ導体とした場合の笠木〜笠木の接続	○				機器と附属操作スイッチの渡り配管配線			○			エレベーター制御盤までの火災警報用配管配線工事			○				
	オイルサービスタンの防油堤				○		ルーフトレン及びびたてどい	○				注油口内アース端子からのアース用配管配線			○	○		エレベーター制御盤までの非常用インターホンまでの配線及びインターホン取付工事							
	フリーアクセスフロア内の防水堤	○					煙突の水抜き管(排水管)	○				ACP屋外機と屋内機の渡り電源信号・アース用配管配線			○			エレベーター制御盤からの緊急地震速報受信用配管工事			○				
	設備室内床排水管				○		地震感知器の配管配線			○		ACPマルチ形屋内機の電源・アース用配管配線			○			エレベーター保守遠隔監視用(電話回線)配線工事(MDFからエレベーター制御盤まで)※図示された場合							
	既設埋設配管配線調査(X線探査含む)	○	○	○			防煙ダンパーと連動制御器までの配管配線及び連動制御器から煙感知器までの配管配線			○		機器・電極棒用の電源配管配線			○			エレベーター保守遠隔監視用(電話回線)配管工事(MDFからエレベーター制御盤まで)			○				
仕上関係	軽鉄天井・壁下地					排水・ハンドホール廻り					雨water排水設備					○									
	ボード類の切り込み					○					くつ洗いの排水金物・排水管					○									
	下地材の切込み・補強					○					駐車場・車庫廻りのガソリントラップ					○									
可動間仕切	開口部の墨だし					○					雑排水・汚水排水設備					○									
	切込み・補強					○					ハンドホール					○									
吊りボルト及びインサート	各種ボックス類					○					E・M棟で充填用マンホールふたを使用した場合の表面仕上					○									
	設備機器類用					○					雨水利用設備(ルーフトレン、縦樋はA、縦樋から集水機まで)					○									
給排気関係	外壁ガラリ					○					オイルタンク廻り					オイルタンク本体(充填砂共)					○				
	防風板					○					オイルタンクの外郭、基礎					○									
	ウェザーカバー・ベントキャップ					○					同上杭及び杭頭処理					○									
	ウエザーカバー・ベントキャップ					○					ユニット型浄化槽					ビット型の躯体					○				
水廻り機器	抹気フード(標準詳細図によるステンレス製)					○					上記以外のユニット型浄化槽本体配管及び据付等(充填砂共)					○									
	抹気フード(レンジフード等既製品)					○																			
	流し台・吊り戸棚・水切り棚・コンロ台					○					厨房用はM														
	手洗い・洗面器カウンター					○																			
	鏡(既製品)					○																			
	鏡(注文品)					○																			
	バリアフリートイレ手すり・便器類手すり					○																			
	トイレブース内小物棚					○																			
ペーパーシート					○																				

この工事区分表は、建築工事(A)、電気設備工事(E)、機械設備工事(M)、エレベーター工事(EV)といった施工上密接に関連する各工事において、材料や作業がどの工事に含まれているかを明確にするために共通事項として添付しているものである。よって、本工事の設計図書に記載されていない、工事範囲外の項目も含んでおり、本工事の具体的な工事内容を示すものではないことに留意すること。

■ 外部仕上表 ※赤文字は、改修内容を表す。

部 位		仕 上	部 位	仕 上	
大屋根	改修前	コンクリートスラブ+t25特殊木毛板（金属タルキ使用）+ アスファルトルーフィング22kg +t0.4定尺カラー鉄板葺き（t3ポリエチレンフォーム裏張り） 軒先R部：鉄骨母屋+t25特殊木毛板+アスファルトルーフィング22kg+t0.4定尺カラー鉄板横葺き（t3ポリエチレンフォーム裏張り） 棟包み板 105×36 t0.4カラー鉄板包み、軒先包み板 105×65 t0.4カラー鉄板包み	外壁 根廻り	改修前	コンクリート打放し下地 複層塗材仕上 、化粧型枠コンクリート打放し下地複層塗材仕上
	改修後	既存屋根、ルーフィング撤去後、アスファルトルーフィング940+t0.4ガルバリウム鋼板立平葺き（はげ締結 動き巾490）、雪止め付き【新設】 軒先部：既存屋根、ルーフィング撤去後、軒先形状改良（鉄骨母屋改修）+t18耐火野地板+アスファルトルーフィング940+t0.4ガルバリウム鋼板立平葺き・横葺き【新設】 棟包み板：既存撤去後、105×36×2 t0.4カラーガルバリウム鋼板包み【新設】、下り棟包み板：105×36×2 t0.4カラーガルバリウム鋼板包み【新設】 破風板：30×280 t0.4カラーガルバリウム鋼板包み【新設】、下端包み板：75×65 t0.4カラーガルバリウム鋼板包み【新設】		改修後	水洗い工法・下地調整の上 防水形複層塗材E【新設】 一部石綿含有部塗膜：集じん装置付き高圧水併用ディスクグラインダーケレン工法・下地調整の上 防水形複層塗材E【新設】 ひび割れ部補修：0.2mm以上～1.0mm未満、自動式エポキシ樹脂工法、欠損部補修：ポリマーセメントモルタル補修100×100程度毎
吹抜部屋根	改修前	コンクリートスラブ+t25特殊木毛板（金属タルキ使用）+ アスファルトルーフィング22kg +t0.4定尺カラー鉄板葺き（t3ポリエチレンフォーム裏張り） 唐草 30×30 t0.4カラー鉄板包み、破風板 30×300 t0.4カラー鉄板包み 棟包み板 105×36 t0.4カラー鉄板包み、ケラバ水切り 105×36+36×150 t0.4カラー鉄板包み	シーリング	改修前	打継ぎ目地、豎目地、サッシ廻り、取合い
	改修後	既存屋根、ルーフィング撤去後、アスファルトルーフィング940+t0.4ガルバリウム鋼板立平葺き（はげ締結 動き巾490）、雪止め付き【新設】 唐草：既存撤去後、30×30 t0.4カラーガルバリウム鋼板包み【新設】、破風板：既存撤去後、30×300 t0.4カラーガルバリウム鋼板包み【新設】 棟包み板：既存撤去後、105×36×2 t0.4カラーガルバリウム鋼板包み【新設】 雨押え：既存撤去後、105×36+36×150 t0.4カラーガルバリウム鋼板包み【新設】		改修後	打継ぎ目地・豎目地：既存撤去後、PU-2 ポリウレタン系 10×10【新設】 サッシ廻り・取合い部：既存撤去後、MS-2 変成シリコン 15×10【新設】
階段室屋根	改修前	コンクリートスラブ+t0.6カラー鉄板加工折板 H=170（t4ポリエチレンフォーム裏打ち） 雨押え：下地用アングル L=30×30×3 @450+t25特殊木毛板+t0.4カラー鉄板 ケラバ取合水切 t0.6カラー鉄板加工、水上取合水切 t0.6カラー鉄板加工、破風板 30×180 t0.4カラー鉄板包み	外部建具	改修前	アルミ製ビル用サッシ 枠見込119、100、70 スチール製オーバースライダー
	改修後	既存屋根撤去後、t0.6カラーガルバリウム鋼板加工折板 H=170（t4ポリエチレンフォーム裏打ち）、雪止め付き【新設】 雨押え：既存鉄板・ルーフィング撤去後、アスファルトルーフィング940+t0.4カラーガルバリウム鋼板【新設】 ケラバ取合水切：既存屋根撤去後、t0.6カラーガルバリウム鋼板加工【新設】、水上取合水切：既存屋根撤去後、t0.6カラーガルバリウム鋼板加工【新設】 破風板：既存撤去後、30×180 t0.4カラーガルバリウム鋼板包み【新設】		改修後	アルミ製ビル用サッシ【既存のまま：クリーニング、1ヶ所撤去後、新設】 スチール製オーバースライダー【既存のまま：クリーニング】
屋上	改修前	コンクリートスラブ+アスファルト防水（A-2）+t40硬質押出発泡ポリスチレンフォーム+t120保護コンクリート（ワイヤーマッシュ4φ×100目） 伸縮目地 W25合成ゴムシーラント、堅型ルーフトレイン 鋳鉄製 φ100	外部床	改修前	ポーチ床：モルタル塗り下地150角磁器質タイル張り、立上り：化粧型枠コンクリート打放し下地複層塗材仕上 靴洗い 垂鉛引きグレーチング蓋600×450×2ヶ所
	改修後	高圧水洗浄後、平場：改質アスファルト防水 機械固定工法 2層t6.5複層絶縁工法 保護塗料仕上、立上り：密着工法1層t4 保護塗料仕上【新設】 立上り端部アルミ押え金物【新設】 伸縮目地：既存撤去後、目地埋め処理、堅型ルーフトレイン：既存撤去後、改修用トレイン【新設】 屋根軒先落雪部：防水保護板敷き（t6アスファルト成形板）【新設】		改修後	ポーチ床：既存撤去後、モルタル塗り下地150角磁器質タイル張り【新設】、立上り：高圧水洗工法・下地調整の上 防水形複層塗材E【新設】 靴洗い：既存グレーチング蓋撤去後、コンクリート穴埋め後、モルタル塗り下地150角磁器質タイル張り【新設】 テラス床：【既存のまま：クリーニング】、立上り：高圧水洗工法・下地調整の上 防水形複層塗材E【新設】
笠木	改修前	屋上笠木：アルミ製 既製品 W=350、W=275 屋上腰壁笠木：t0.8着色被覆鋼板加工 W=117 屋根笠木：t0.8着色被覆鋼板加工 W=250、W=275	外部サイン	改修前	外壁建物名称板：ステンレス SUS304 300角文字 自動ドア誘導サイン：220×300 ポールサイン：950×2000
	改修後	屋上笠木：【既存のまま：クリーニング】 屋上腰壁笠木：既存撤去後、アルミ製 既製品 W=115【新設】 屋根笠木：既存撤去後、アルミ製 既製品 W=250、W=275【新設】		改修後	外壁建物名称板：既存撤去の上、H300 D50 SUS304 箱文字【新設】 自動ドア誘導サイン：【撤去】 ポールサイン：950×2000 既存本体利用、表示全面張り【改修】
軒天	改修前	コンクリート打放し下地 複層塗材仕上 ポーチ：LGS25+t12防水石膏ボード下地t12耐湿岩綿吸音板（キューブ）、ポーチ一部 t9岩綿吸音板	外部付帯 外構	改修前	キュービクル基礎、フェンス、温泉源ビット
	改修後	石綿含有部塗膜：集じん装置付き高圧水併用ディスクグラインダーケレン工法・下地調整（RC種）の上、DP-2【新設】 ポーチ：【既存のまま：クリーニング】		改修後	キュービクル基礎、フェンス【既存のまま：クリーニング】、温泉源ビット：既存鋼板蓋撤去後、ビット内砕石埋め ホームタンク基礎【新設】 配管設備工事に伴うアスファルト舗装復旧工事、テラス床コンクリート復旧工事

■ 石綿含有建材・石綿含有みなし材 リスト

部位	アスベスト含有建材	除去方法
屋根	下張り アスファルトルーフィング	粉塵飛散抑制剤吹付、アスファルトルーフィング除去、廃棄物袋詰め、清掃
外壁・軒天 （立面図・天井伏図 図示）	複層塗材 下地調整材	床面養生、集じん装置付き高圧水併用ディスクグラインダーケレン工法で除去、 吸水性凝固樹脂処理後2重密封、清掃
1階会議室 健康相談室	内部壁	コンクリート打放し下地 マスチック塗材 下地調整材
内部床	t2.8ビニル床シート+接着剤	床面養生、集じん装置付き高圧水併用ディスクグラインダーケレン工法で除去、 吸水性凝固樹脂処理後2重密封、清掃
	t2.0ビニル床シート+接着剤	
1階診察室 待合室 1階会議室 健康相談室	内部壁	t12+t9石膏ボード バテ +マスチック塗材
1階ホール・廊下B 機能訓練室	内部壁	t12+t9石膏ボード バテ +薄付け仕上塗材
1階廊下C	内部壁	t12.5石膏ボード バテ +薄付け仕上塗材
1階集団指導室 機能訓練室・休憩室 2階研修室・和室	内部天井	t9石膏ボード バテ +ビニルクロス
2階研修室	内部天井	ビニルクロス バテ
	内部壁	銘木化粧クロス バテ
1階事務室・玄関吹抜 2階トイレ前室	内部天井	ビニルクロス バテ
		粉塵飛散抑制剤吹付、石膏ボード毎除去、廃棄物袋詰め、清掃
		クロス除去、廃棄物袋詰め、清掃

■ 特記
・石綿含有みなし材（アスファルトルーフィング、石膏ボード バテ +薄付け仕上塗材・マスチック塗材）撤去に先立ち、石綿含有分析調査を行うこと。
なお、調査の結果、石綿が含有されていない場合は監督職員及び発注者と協議を行う。

■ 凡例

- ・防水形複層塗材E - 耐候形1種 透湿形：アクリルシリコン
- ・DP-2（コンクリート面） - 建築用耐候用性上塗り塗料 2級
- ・カラーガルバリウム鋼板 - Hyper GLカラー：艶消し塗装鋼板（同等品）
- ・耐火野地板 - 建告 準不燃材適合品、屋根30分耐火構造 認定品
- ・クリーニング - 洗浄、汚れ落とし 程度とする。
- 石綿含有建材を示す。
- 石綿含有みなし材を示す。

■ 内部仕上表 1 ※ 赤字は改修部分を表す。

階	改修前	改修後	室名	床		巾木	壁		天井		柱型		廻り縁	天井高	備考	
				下地	仕上		方向	下地	仕上	下地	仕上	下地				仕上
1階	1	改修前	玄関	モルタル	150角磁器質タイル	二丁掛磁器質タイル	A B C D	モルタル 二丁掛磁器質タイル	LGS19+t9石膏ボード LGS19+t6石綿セメント板 二重張り	t12岩綿吸音板 ビニルクロス			アルミ製	3.030 ~3.050	1	
	2	改修後	玄関	【既存のまま】	【既存のまま】	【既存のまま】	A B C D	【既存のまま】 【既存のまま】	【既存のまま】 【既存のまま】	【既存のまま】 【既存のまま】	【既存のまま】 【既存のまま】	【既存のまま】 【既存のまま】	【既存のまま】 【既存のまま】	アルミ製	3.030 ~3.050	2
	3	改修前	ホール	押えコンクリート 金ごて	t2.8ビニル床シート	木製巾木 H=100 OP	A B C D	LGS90+ t12+t9石膏ボード LGS90+ t12+t9石膏ボード コンクリート打放し コンクリート打放し	薄付け仕上塗材 薄付け仕上塗材 薄付け仕上塗材 薄付け仕上塗材	LGS19+t9石膏ボード	t12岩綿吸音板(キューブ) ボーダー部 t9岩綿吸音板	コンクリート打放し	薄付け仕上塗材	アルミ製	2.900	3
	4	改修後	ホール	【既存のまま】	既存仕上・接着剤撤去後、 下地処理の上、 t2.0ビニル床シート【新設】	既存下地調整の上、 EP-G塗替え 既存撤去後、 ソフト巾木 H=100【新設】	A B C D	既存下地撤去後、 LGS65+t12.5石膏ボード【新設】 【既存のまま】	EP【新設】 既存下地調整(RC種)の上、 EP塗替え	既存PB撤去後、LGS補修 +t9.5石膏ボード【新設】	既存仕上撤去後、 +t9岩綿吸音板【新設】	【既存のまま】	既存下地調整(RC種)の上、 EP塗替え	アルミ製	2.900	4
	5	改修前	廊下C	コンクリート金ごて	t4カーペット	木製巾木 H=100 OP	A C D B C	LGS50+ t12.5+t9.5石膏ボード LGS65+ t12.5石膏ボード LGS50+ t12.5石膏ボード コンクリート打放し	薄付け仕上塗材 薄付け仕上塗材 薄付け仕上塗材 薄付け仕上塗材	LGS19	t9.5化粧石膏ボード	t27複合板 (GL工法)	薄付け仕上塗材	アルミ製	2.700 2.400	5
	6	改修後	下足室	【既存のまま】	【既存のまま】	既存下地調整の上、 EP-G塗替え 既存撤去後、 集成材巾木 H=100 EP-G 【新設】	A C D B C	【既存のまま】 一部 既存下地撤去後、LGS65 (LGS50) +t12.5石膏ボード【新設】 一部 既存のまま	【既存のまま】 EP塗【新設】 既存下地調整(RC種)の上、 EP塗替え	一部 LGS調整 一部 既存下地撤去後、 LGS19【新設】	一部 既存仕上撤去後、 t9.5化粧石膏ボード【新設】 一部 既存仕上撤去後、 t9.5化粧石膏ボード【新設】	【既存のまま】	【既存のまま】	アルミ製	2.700 2.400	6
	7	改修前	廊下A	コンクリート金ごて コンクリート金ごて	t2.8ビニル床シート	木製巾木 H=100 OP モルタル金ごて H=100	A B C D	LGS90+ t12+t9石膏ボード コンクリート打放し LGS90+ t12+t9石膏ボード	薄付け仕上塗材 薄付け仕上塗材 薄付け仕上塗材	LGS19+t9石膏ボード	t9岩綿吸音板			アルミ製	2.600 2.700	7
	8	改修後	廊下A	【既存のまま】	既存仕上・接着剤撤去後、 下地処理の上、 t2.0ビニル床シート【新設】	既存下地調整の上、 EP-G塗替え 【既存のまま】	A B C D	【既存のまま】	既存下地調整(RC種)の上、 EP塗替え	既存PB撤去後、 LGS調整	既存仕上撤去後、 t9.5化粧石膏ボード【新設】			アルミ製	2.600 2.700	8
	9	改修前	廊下B	コンクリート金ごて	t2.8ビニル床シート	木製巾木 H=100 OP	A B C D	LGS90+ t12.5+t9.5石膏ボード LGS90+ t12.5+t9.5石膏ボード LGS90+ t12.5+t9.5石膏ボード LGS90+ t12.5+t9.5石膏ボード	薄付け仕上塗材 薄付け仕上塗材 薄付け仕上塗材 薄付け仕上塗材	LGS19	t9.5化粧石膏ボード			アルミ製	2.400	9
	10	改修後	廊下B	【既存のまま】	既存仕上・接着剤撤去後、 下地処理の上、 t2.0ビニル床シート【新設】	既存下地調整の上、 EP-G塗替え	A B C D	【既存のまま】 一部 既存PB撤去後、 t12.5+t9.5石膏ボード【新設】	既存下地調整(RC種)の上、 EP塗替え EP【新設】	LGS調整	既存仕上撤去後、 t9.5化粧石膏ボード【新設】			アルミ製	2.400	10
	11	改修前	事務室	コンクリート金ごて	t2.0ビニル床シート	木製巾木 H=100 OP	A B C D	LGS50+ t12+t9石膏ボード LGS90+ t12+t9石膏ボード コンクリート打放し コンクリート打放し	マスチック塗材 マスチック塗材 マスチック塗材 マスチック塗材	LGS19 LGS19+t9石膏ボード	t9吸音化粧石膏ボード ビニルクロス	t27複合板 (GL工法)	マスチック塗材	アルミ製	2.700	11
	12	改修後	事務室	【既存のまま】	【既存のまま】	【既存のまま】	A B C D	【既存のまま】	一部 既存下地調整(RC種)の上、 EP塗替え 【既存のまま】	LGS調整 【既存のまま】	既存仕上撤去後、 t9.5化粧石膏ボード【新設】 既存仕上撤去後、 クロス【新設】	【既存のまま】	【既存のまま】	アルミ製	2.700	12
	13	改修前	休憩室	コンクリート金ごて t65ネダフォーム 木下地組+t12コンパネ	t2.0ビニル床シート t55化学塗 t15フローリングボード PP	木製巾木 H=150 PP 畳寄せ 寄せ	A B C D	LGS50+ t12+t9石膏ボード コンクリート打放し+YNプラスター コンクリート打放し+YNプラスター LGS90+ t12+t9石膏ボード	薄付け仕上塗材(ジュラク) 薄付け仕上塗材(ジュラク) 薄付け仕上塗材(ジュラク) 薄付け仕上塗材(ジュラク)	LGS19+t9石膏ボード	ビニルクロス	t27複合板 (GL工法)	薄付け仕上塗材 (ジュラク)	アルミ製	2.700 2.550	13
	14	改修後	応接室	【既存のまま】 【撤去】	既存仕上・接着剤撤去後、 下地処理の上、 t2.0ビニル床シート【新設】 既存仕上撤去後、 下地処理の上、 t2.0ビニル床シート【新設】	既存撤去後、 集成材巾木 H=150 EP-G 【新設】	A B C D	【既存のまま】	【既存のまま】	既存PB撤去後、 LGS調整	既存仕上撤去後、 t9.5化粧石膏ボード【新設】	【既存のまま】	【既存のまま】	アルミ製	2.700	14
	15	改修前	書庫	コンクリート金ごて	t2.0ビニル床シート	ソフト巾木 H=100	A B C D	コンクリート打放し コンクリート打放し コンクリート打放し コンクリート打放し	薄付け仕上塗材 薄付け仕上塗材 薄付け仕上塗材 薄付け仕上塗材	LGS19	t9吸音化粧石膏ボード	コンクリート打放し	薄付け仕上塗材	アルミ製	2.700	15
	16	改修後	書庫	【既存のまま】	【既存のまま】	【既存のまま】	A B C D	【既存のまま】	【既存のまま】	【既存のまま】	【既存のまま】	【既存のまま】	【既存のまま】	【既存のまま】	アルミ製	2.700

■ 内部仕上表2 ※ 赤字は改修部分を表す。

階	室名	床		巾木	壁		天井		柱型		廻り縁	天井高	備考		
		下地	仕上		方向	下地	仕上	下地	仕上	下地				仕上	
1階	17 改修前	診察室 心電図室	コンクリート金ごて	t2.0ビニル床シート	木製巾木 H=100 OP	A LGS50+ t12+t9石膏ボード B LGS50+ t12+t9石膏ボード C コンクリート打放し D コンクリート打放し	マスチック塗材 マスチック塗材 マスチック塗材 マスチック塗材	LGS19	t9吸音化粧石膏ボード	t27複合板 (GL工法) コンクリート打放し	マスチック塗材 マスチック塗材	アルミ製	2.700		
	18 改修後	建築板金科実習場	【既存のまま】	既存仕上・接着剤撤去後、 下地処理の上、 t2.0ビニル床シート【新設】 一部 t3.0塗床材【新設】	・既存下地調整の上、 EP-G塗替え ・既存撤去後、 ソフト巾木 H=100【新設】 不燃R巾木 H=100 塗床仕上【新設】	A 既存PB撤去後、 t9.5石膏ボード【新設】 B 【既存のまま】 C 【既存のまま】 D 【既存のまま】	t25化粧ガラスウールボード 【新設】 下地調整 (RC種)の上、 EP塗替え	・LGS調整 ・既存下地撤去後、 LGS19+t9.5石膏ボード【新設】	・既存仕上撤去後、 t9.5不燃化粧石膏ボード【新設】 ・t25化粧ガラスウールボード 【新設】	【既存のまま】	下地調整 (RC種)の上、 EP塗替え	・【既存のまま】 一部 既存撤去後、 アルミ製 【新設】	2.700	室名札【新設】 ホワイトボード W4500×H1200【新設】 流し台 W900×D600×2【新設】	
	19 改修前	待合室	押えコンクリート 金ごて	t2.0ビニル床シート	木製巾木 H=100 OP	A コンクリート打放し B LGS100+ t15+t15+t9.5石膏ボード C LGS90+ t12+t9石膏ボード D コンクリート打放し	マスチック塗材 マスチック塗材 マスチック塗材 マスチック塗材	LGS19	t9吸音化粧石膏ボード	コンクリート打放し	マスチック塗材	アルミ製	2.700		
	20 改修後	建築板金科教室	【既存のまま】	既存仕上・接着剤撤去後、 下地処理の上、 t2.0ビニル床シート【新設】	・既存下地調整の上、 EP-G塗替え ・既存撤去後、 ソフト巾木 H=100【新設】	A 【既存のまま】 B 【既存のまま】 C 【既存のまま】 D 【既存のまま】	下地調整 (RC種)の上、 EP塗替え	・LGS調整 ・既存下地撤去後、 LGS19【新設】	・既存仕上撤去後、 t9.5化粧石膏ボード【新設】 ・既存仕上撤去後、 t9.5化粧石膏ボード【新設】	【既存のまま】	下地調整 (RC種)の上、 EP塗替え	・【既存のまま】 一部 既存撤去後、 アルミ製 【新設】	2.700	室名札【新設】 ホワイトボード W3600×H1200【新設】	
	21 改修前	喫煙コーナー	コンクリート金ごて	t2.8ビニル床シート	木製巾木 H=100 OP	A コンクリート打放し B コンクリート打放し C コンクリート打放し D LGS50+ t12+t9石膏ボード	薄付け仕上塗材 薄付け仕上塗材 薄付け仕上塗材 薄付け仕上塗材	コンクリート打放し	薄付け仕上塗材	コンクリート打放し	薄付け仕上塗材				
	22 改修後	階段下倉庫	【既存のまま】	既存仕上・接着剤撤去後、 下地処理の上、 t2.0ビニル床シート【新設】	・既存下地調整の上、 EP-G塗替え ・ソフト巾木 H=100 【新設】	A 【既存のまま】 B 【既存のまま】 C 【既存のまま】 D LGS65+t12.5石膏ボード【新設】	【既存のまま】	【既存のまま】	【既存のまま】	【既存のまま】	【既存のまま】	【既存のまま】			
	23 改修前	集団指導室	t30均しモルタル +t65ネダフォーム 木下地組+t12コンパネ	t55化学量 t15フローリングボード PP	寄せ	A コンクリート打放し+YNプaster B C LGS50+ t12+t9石膏ボード D	薄付け仕上塗材 (ジュラク) 薄付け仕上塗材 (ジュラク)	LGS19+t9石膏ボード	ビニルクロス	t27複合板 (GL工法)	薄付け仕上塗材 (ジュラク)	アルミ製	2.700 2.900		
	24 改修後	建築塗装科実習場	既存下地撤去後、 ダンゴモルタル +t110ネダフォーム +t12合板+t5.5合板【新設】	既存仕上撤去後、 t2.0ビニル床シート【新設】	既存撤去後、 ソフト巾木 H=100 【新設】	A 【既存のまま】 B 既存PB撤去後、 t12.5+t9.5石膏ボード【新設】 C LGS65+t12.5石膏ボード【新設】 D LGS65+t12.5石膏ボード【新設】	下地調整 (RA種)の上、 EP塗替え EP【新設】 EP【新設】	既存下地撤去後、 LGS19【新設】	既存仕上撤去後、 t9.5化粧石膏ボード【新設】	既存仕上撤去後、 t27.5複合板 (GL工法) 【新設】	EP【新設】	既存撤去後、 塩ビ製 【新設】	2.700	室名札【新設】 ホワイトボード W3600×H1200【新設】 流し台 W1200×D600×2【新設】	
	25 改修前	集団指導室	t30均しモルタル +t65ネダフォーム 木下地組+t12コンパネ	t55化学量 t15フローリングボード PP	寄せ	A 木下地組+ t12+t9石膏ボード B LGS50+ t12+t9石膏ボード C LGS50+ t12+t9石膏ボード D	薄付け仕上塗材 (ジュラク) 薄付け仕上塗材 (ジュラク) 薄付け仕上塗材 (ジュラク)	LGS19+t9石膏ボード	ビニルクロス	t27複合板 (GL工法)	薄付け仕上塗材 (ジュラク)	アルミ製	2.700 2.900		
	26 改修後	建築塗装科吹付室	既存下地撤去後、 ダンゴモルタル +t110ネダフォーム +t12合板+t5.5合板【新設】	既存仕上撤去後、 t2.0ビニル床シート【新設】	既存撤去後、 ソフト巾木 H=100 【新設】	A 既存LGS下地 PBのみ撤去後、 t12.5+t9.5石膏ボード【新設】 B C 既存下地撤去の上、 LGS65+t12.5石膏ボード【新設】	・EP【新設】 ・EP【新設】	既存下地撤去後、 LGS19【新設】	既存仕上撤去後、 t9.5化粧石膏ボード【新設】	既存仕上撤去後、 t27.5複合板 (GL工法) 【新設】	EP【新設】	既存撤去後、 塩ビ製 【新設】	2.700		
	27 改修前	押入	木下地組+t12コンパネ	t5.5合板	寄せ	A 木脚縁組 B 木脚縁組 C 木下地組 D 木下地組	t9石膏ボード t9石膏ボード t9石膏ボード t9石膏ボード	木野縁組	t9石膏ボード	木脚縁組	t9石膏ボード		2.400		
	28 改修後	コンプレッサー室	既存下地撤去後、 ダンゴモルタル +t110ネダフォーム +t12合板+t5.5合板【新設】	既存仕上撤去後、 t2.0ビニル床シート【新設】	既存撤去後、 ソフト巾木 H=100 【新設】	A 既存下地の上、 t9.5石膏ボード【新設】 B t9.5石膏ボード【新設】 C 既存下地撤去の上、 LGS65+t9.5石膏ボード【新設】 D LGS65+t9.5石膏ボード【新設】	既存仕上撤去の上、 t50グラスウールボード (32K) ガラスクロス額縁貼【新設】 既存仕上撤去の上、 t50グラスウールボード (32K) ガラスクロス額縁貼【新設】	既存下地撤去後、 LGS19+t9.5石膏ボード 【新設】	既存仕上撤去後、 t50グラスウールボード (32K) ガラスクロス額縁貼【新設】	既存下地の上、 t9.5石膏ボード【新設】	既存仕上撤去後、 t50グラスウールボード (32K) ガラスクロス額縁貼 【新設】	塩ビ製 【新設】	2.400		
	29 改修前	集団指導室 機能訓練室	t65ネダフォーム 押えコンクリート 金ごて	t55化学量 t2.0ビニル床シート	寄せ	A コンクリート打放し+YNプaster コンクリート打放し C LGS50+ t12+t9石膏ボード D コンクリート打放し	薄付け仕上塗材 (ジュラク) 薄付け仕上塗材 薄付け仕上塗材 (ジュラク)	LGS19+t9石膏ボード	ビニルクロス	t27複合板 (GL工法)	薄付け仕上塗材 (ジュラク) 薄付け仕上塗材	アルミ製	2.700 2.900		
	30 改修後	木造建築科実習場	・既存下地撤去後、 ダンゴモルタル +t110ネダフォーム +t12合板+t5.5合板【新設】 ・【既存のまま】	・既存仕上撤去後、 t2.0ビニル床シート【新設】 ・既存仕上・接着剤撤去後、 下地処理の上、 t2.0ビニル床シート【新設】	・ソフト巾木 H=100 【新設】 ・既存下地調整の上、 EP-G塗替え	A 【既存のまま】 B 下地調整 (RC種)の上、EP塗替え C 既存PB撤去後、 t9.5石膏ボード【新設】 D LGS65+t12.5石膏ボード【新設】	・既存下地撤去後、 LGS19【新設】 ・既存下地撤去後、 LGS19+t9.5石膏ボード【新設】	・既存仕上撤去後、 t9.5化粧石膏ボード【新設】 ・t25化粧ガラスウールボード 【新設】	・【既存のまま】 ・下地調整の上、EP塗替え	・既存仕上撤去後、 t27.5複合板 (GL工法) 【新設】	・EP【新設】	・既存撤去後、 塩ビ製 【新設】	2.700	室名札【新設】 ホワイトボード W3600×H1200【新設】 流し台 W1200×D510×4【新設】 流し台 W600×D510×1【新設】	
	31 改修前	倉庫	コンクリート金ごて	t2.0ビニル床シート	木製巾木 H=100 OP	A コンクリート打放し B +t12石膏ボード (GL工法) C コンクリート打放し+t15断熱材 D +t12石膏ボード (GL工法)	EP EP	LGS19	t9吸音化粧石膏ボード	t27複合板 (GL工法)	EP	アルミ製	2.700		
	32 改修後	木造建築科倉庫	【既存のまま】	【既存のまま】	【既存のまま】	A 【既存のまま】 B 【既存のまま】 C 【既存のまま】 D 【既存のまま】	【既存のまま】	LGS調整	既存仕上撤去後、 t9.5化粧石膏ボード【新設】	【既存のまま】	【既存のまま】	【既存のまま】	2.700		

■ 内部仕上表3 ※ 赤字は改修部分を表す。

階	室名	床		巾木	壁		天井		柱型		廻り縁	天井高	備考		
		下地	仕上		方向	下地	仕上	下地	仕上	下地				仕上	
1階	改修前	健康相談室	コンクリート金ごて	t2.0ビニル床シート	木製巾木 H=100 OP	A B	コンクリート打放し コンクリート打放し	マスチック塗材 マスチック塗材	LGS19	t9吸音化粧石膏ボード	t27複合板 (GL工法)	マスチック塗材	アルミ製	2.700	
	改修後	会議室	コンクリート金ごて	t2.0ビニル床シート	木製巾木 H=100 OP	C D	コンクリート打放し LGS50+t12+t9石膏ボード	マスチック塗材 マスチック塗材							
1階	改修前	左官タイル施工実習場	【既存のまま】	既存仕上・接着剤撤去後、 下地処理の上、 t2.0ビニル床シート【新設】	・既存下地調整の上、 EP-G塗替え ・一部既存撤去後、 集成材巾木 H=100 EP-G 【新設】	B C D	・【既存のまま】 ・LGS65+t12.5石膏ボード【新設】 ・既存下地、PB撤去後、 LGS50+t12.5+t9.5石膏ボード【新設】	・下地調整(RC種)の上、EP塗替え ・EP塗【新設】 ・EP塗【新設】	・LGS調整 ・既存下地撤去後、 LGS19【新設】	・既存仕上撤去後、 t9.5化粧石膏ボード【新設】 ・既存仕上撤去後、 t9.5化粧石膏ボード【新設】	【既存のまま】	下地調整(RC種)の上、 EP塗替え	・【既存のまま】 ・一部 既存撤去後、 アルミ製 【新設】	2.700	室名札【新設】 ホワイトボード W3600×H1200【移設】 掲示板 W1070・1065×H900【移設】 足洗場 W2400×D640【新設】
	改修後	男子トイレ	コンクリート金ごて	t2.8ビニル床シート	100角磁器質タイル H=100	A C D	LGS90+ t12.5石膏ボード +t4フレキシブルボード 木脚縁組+ t12.5石膏ボード +t4フレキシブルボード	VP VP	LGS19	t9.5化粧石膏ボード			アルミ製	2.400 2.500	
1階	改修前	男子トイレ	モルタル	100角磁器質タイル	100角磁器質タイル H=200	B								2.400	
	改修後	男子トイレ	・【既存のまま】 ・既存下地撤去後、 モルタル【新設】	・既存仕上・接着剤撤去後、 下地処理の上、 t2.0ビニル床シート【新設】 ・既存仕上撤去後、 モルタル【新設】	・【既存のまま】 ・一部 既存仕上撤去後、 100角磁器質タイル【新設】	A C D B	【既存のまま】 【既存のまま】	下地調整の上、EP塗替え 下地調整の上、EP塗替え	既存下地撤去後、 LGS19【新設】	既存仕上撤去後、 t9.5化粧石膏ボード【新設】			【既存のまま】	2.400 2.500	手洗いカウンター【新設】
1階	改修前	女子トイレ	コンクリート金ごて	t2.8ビニル床シート	100角磁器質タイル H=100	A C D	木脚縁組+ t12.5石膏ボード +t4フレキシブルボード LGS90+ t12.5石膏ボード +t4フレキシブルボード	VP VP	LGS19	t9.5化粧石膏ボード			アルミ製	2.400 2.500	
	改修後	女子トイレ	・【既存のまま】 ・既存下地撤去後、 モルタル【新設】	・既存仕上・接着剤撤去後、 下地処理の上、 t2.0ビニル床シート【新設】 ・一部 既存仕上撤去後、 モルタル【新設】	・【既存のまま】 ・一部 既存仕上撤去後、 100角磁器質タイル【新設】	A C D B	【既存のまま】 【既存のまま】	下地調整の上、EP塗替え 下地調整の上、EP塗替え	既存下地撤去後、 LGS19【新設】	既存仕上撤去後、 t9.5化粧石膏ボード【新設】			【既存のまま】	2.400 2.500	手洗いカウンター【新設】
1階	改修前	多目的トイレ	コンクリート金ごて	t2.8ビニル床シート	木製巾木 H=100 OP	A B C D	LGS90+ t12.5石膏ボード	t5化粧ケイカル板 (シーリング工法)	LGS19	t9.5化粧石膏ボード			アルミ製	2.400	
	改修後	多目的トイレ	【既存のまま】	既存仕上・接着剤撤去後、 下地処理の上、 t2.0ビニル床シート【新設】	既存下地調整の上、 EP-G塗替え	A B C D	【既存のまま】	【既存のまま】	LGS調整	既存仕上撤去後、 t9.5化粧石膏ボード【新設】			【既存のまま】	2.400	
1階	改修前	車庫	コンクリート金ごて	コンクリート金ごて	ソフト巾木 H=100	A B C D		コンクリート打放し コンクリート打放し コンクリート打放し コンクリート打放し		コンクリート打放し		コンクリート打放し			41
	改修後	倉庫	【既存のまま】	【既存のまま】	【既存のまま】	A B C D	【既存のまま】	【既存のまま】	【既存のまま】	【既存のまま】		【既存のまま】			42
1階	改修前	機械室A	コンクリート金ごて	コンクリート金ごて		A B C D		コンクリート打放し コンクリート打放し コンクリート打放し コンクリート打放し		コンクリート打放し		コンクリート打放し			43
	改修後	ポンプ室	【既存のまま】	【既存のまま】	【既存のまま】	A B C D	【既存のまま】	【既存のまま】	【既存のまま】	【既存のまま】		【既存のまま】			44
1階	改修前	機械室B	コンクリート金ごて	コンクリート金ごて		A B C D		コンクリート打放し コンクリート打放し コンクリート打放し コンクリート打放し		コンクリート打放し		コンクリート打放し			45
	改修後	受水槽室	【既存のまま】	【既存のまま】	【既存のまま】	A B C D	【既存のまま】	【既存のまま】	【既存のまま】	【既存のまま】		【既存のまま】			46
2階	改修前	ホール	コンクリート金ごて	t2.8ビニル床シート	木製巾木 H=100 OP	A B C D	コンクリート打放し LGS90+ t12+t9石膏ボード コンクリート打放し コンクリート打放し	薄付け仕上塗材 薄付け仕上塗材 薄付け仕上塗材 薄付け仕上塗材	LGS19+t9石膏ボード	t12岩綿吸音板(キューブ) ボーダー部 t9岩綿吸音板	コンクリート打放し	薄付け仕上塗材	アルミ製	3.000	
	改修後	ホール	【既存のまま】	【既存のまま】	・既存下地調整の上、 EP-G塗替え ・ソフト巾木 H=100【新設】	A B C D	・LGS65+t12.5石膏ボード【新設】 ・【既存のまま】	・EP【新設】 ・既存下地調整(RC種)の上、 EP塗替え ・既存下地調整(RC種)の上、 EP塗替え	・【既存のまま】 ・一部 既存PB下地撤去後、 LGS調整の上、 +t9.5石膏ボード【新設】	・【既存のまま】 ・既存仕上撤去後、 t9岩綿吸音板【新設】	【既存のまま】	下地調整(RC種)の上、 EP塗替え	・【既存のまま】 ・アルミ製 【新設】	3.000	

■ 内部仕上表 4 ※ 赤字は改修部分を表す。

階	室名	床		巾木	壁		天井		柱型		廻り縁	天井高	備考	
		下地	仕上		方向	下地	仕上	下地	仕上	下地				仕上
2階	49 改修前	和室	木下地組+t12コンパネ	t15フローリングボード PP t55化学畳	寄せ 畳寄せ	和室 ・LGS50+ t12+t9石膏ボード ・木下地組+ t12+t9石膏ボード	薄付け仕上塗材(ジュラク)	LGS19+t9石膏ボード	ビニルクロス	t27複合板 (GL工法)	マスチック塗材	木製	2.775	
		調理実習室	コンクリート金ごて	t2.0ビニル床シート	木製巾木 H=100 OP	・コンクリート打放し ・LGS50+ t12+t9石膏ボード	マスチック塗材	LGS19	t9.5化粧石膏ボード	【既存のまま】	【既存のまま】	アルミ製	3.000	
	50 改修後	教室兼製図室	・【撤去】 ・【既存のまま】	・既存仕上撤去後、 下地処理の上、 t2.0ビニル床シート【新設】 ・既存仕上・接着剤撤去後、 下地処理の上、 t2.0ビニル床シート【新設】	・集成材巾木 H=100 EP-G 【新設】 ・既存下地調整の上、 EP-G塗替え	和室 ・既存PB撤去の上、 t2.5(一部+t9.5)石膏ボード【新設】 ・既存木組下地撤去の上、 LGS50+t12.5石膏ボード【新設】 ・【既存のまま】 ・【既存のまま】 ・LGS50+t12.5石膏ボード【新設】	・EP【新設】 ・EP【新設】 ・下地調整(RC種)の上、EP塗替え ・下地調整(RC種)の上、EP塗替え ・EP【新設】	・既存下地撤去後、 LGS19【新設】 ・LGS調整	・既存仕上撤去後、 t9.5化粧石膏ボード【新設】 ・既存仕上撤去後、 t9.5化粧石膏ボード【新設】	【既存のまま】	下地調整(RC種)の上、 EP塗替え	・既存撤去後、 アルミ製 【新設】 ・【既存のまま】	3.000	室名札【新設】 ホワイトボード W3600×H1200【新設】
	51 改修前	研修室	コンクリート +セルフレベリング	t15フローリングブロック PP	木製巾木 H=100 OP	A LGS50+ t12+t9石膏ボード B C LGS50+ t12+t9石膏ボード D LGS90+ t12+t9石膏ボード	銘木化粧クロス	LGS19+t9石膏ボード	t19岩綿吸音板(キューブ) ボーダー部 t12岩綿吸音板	t27複合板 (GL工法)	ビニルクロス	アルミ製	3.000 ~4.000	
	52 改修後	第一教室	【既存のまま】	【既存のまま】	既存下地調整の上、 EP-G塗替え	A C 【既存のまま】	銘木化粧クロス 既存仕上撤去後、下地調整の上、 クロス張り【新設】	・既存下地撤去後、 LGS19【新設】 ・既存下地撤去後、 LGS19+t9.5石膏ボード【新設】 ・【既存のまま】	・既存仕上撤去後、 t9.5化粧石膏ボード【新設】 ・t9岩綿吸音板【新設】 ・既存仕上撤去後、下地調整の上、 クロス張り【新設】	【既存のまま】	既存仕上撤去後、 下地調整の上、 クロス張り【新設】	既存撤去後、 塩ビ製 【新設】	3.000	室名札【新設】
	53 改修前	研修室	コンクリート +セルフレベリング	t15フローリングブロック PP	木製巾木 H=100 OP	A LGS50+ t12+t9石膏ボード B LGS90+t9石膏ボード+t20石綿複合板 C LGS50+ t12+t9石膏ボード D	銘木化粧クロス 銘木化粧クロス 銘木化粧クロス	LGS19+t9石膏ボード	t19岩綿吸音板(キューブ) ボーダー部 t12岩綿吸音板	t27複合板 (GL工法)	ビニルクロス	アルミ製	3.000 ~4.000	
	54 改修後	第二教室	【既存のまま】	【既存のまま】	既存下地調整の上、 EP-G塗替え	A B C 【既存のまま】	銘木化粧クロス 既存仕上撤去後、下地調整の上、 クロス張り【新設】	既存下地撤去後、 LGS19【新設】	既存仕上撤去後、 t9.5化粧石膏ボード【新設】	【既存のまま】	既存仕上撤去後、 下地調整の上、 クロス張り【新設】	既存撤去後、 塩ビ製 【新設】	3.000	室名札【新設】
	55 改修前	物置A	コンクリート +鋼製床組 +t12耐水合板	t18フローリングボード	木製巾木 H=100 OP	A LGS50+ t12石膏ボード B LGS90+ t12石膏ボード C LGS90+ t12石膏ボード D LGS50+ t12石膏ボード	EP EP EP EP	LGS19+t9石膏ボード	EP	t12石膏ボード (GL工法)	EP		2.700	
	56 改修後	物置A	【既存のまま】	【既存のまま】	【既存のまま】	A B C D 【既存のまま】	【既存のまま】 【既存のまま】 【既存のまま】 【既存のまま】	【既存のまま】	【既存のまま】	【既存のまま】	【既存のまま】	【既存のまま】	2.700	天井点検口600角【新設】
	57 改修前	ホール	コンクリート金ごて	t2.8ビニル床シート	木製巾木 H=100 OP	A LGS50+ t12+t9石膏ボード B LGS100+ t15+t15+t9.5石膏ボード C D	薄付け仕上塗材 薄付け仕上塗材	LGS19+t9石膏ボード	t12岩綿吸音板(キューブ) ボーダー部 t9岩綿吸音板	コンクリート打放し 化粧型枠表し		アルミ製	3.000	
	58 改修後	会議室	【既存のまま】	既存仕上・接着剤撤去後、 下地処理の上、 t2.0ビニル床シート【新設】	・既存下地調整の上、 EP-G塗替え ・集成材巾木 H=100 EP-G 【新設】	A B D 【既存のまま】 LGS65+t12.5石膏ボード【新設】 LGS100+t12.5石膏ボード【新設】	・下地調整(RC種)の上、EP塗替え ・下地調整(RC種)の上、EP塗替え EP【新設】 EP【新設】	既存PB撤去後、LGS補修 +t9.5石膏ボード【新設】	既存仕上撤去後、 +t9岩綿吸音板【新設】	【既存のまま】	【既存のまま】	既存撤去後、 塩ビ製 【新設】	3.0000	室名札【新設】 ホワイトボード W2700×H1200【新設】
	59 改修前	ホール	コンクリート金ごて	t2.8ビニル床シート	木製巾木 H=100 OP	A LGS100+ t15+t15+t9.5石膏ボード B C D	薄付け仕上塗材	LGS19+t9石膏ボード	t12岩綿吸音板(キューブ) ボーダー部 t9岩綿吸音板			アルミ製	3.000	
	60 改修後	物入	【既存のまま】	既存仕上・接着剤撤去後、 下地処理の上、 t2.0ビニル床シート【新設】	ソフト巾木 H=100 【新設】	A B C D 【既存のまま】 LGS50+t12.5石膏ボード【新設】 LGS65+t12.5石膏ボード【新設】 LGS65+t12.5石膏ボード【新設】 LGS65+t12.5石膏ボード【新設】	EP【新設】 EP【新設】 EP【新設】 EP【新設】	既存PB撤去後、LGS補修 +t9.5石膏ボード【新設】	既存仕上撤去後、 +t9岩綿吸音板【新設】			塩ビ製 【新設】	3.000	
	61 改修前	喫煙室	コンクリート金ごて	t2.0ビニル床シート	木製巾木 H=100 OP	A LGS90+ t12+t9石膏ボード B LGS90+ t12+t9石膏ボード C LGS90+ t12+t9石膏ボード D	薄付け仕上塗材 薄付け仕上塗材 薄付け仕上塗材	LGS19+t9石膏ボード	t9岩綿吸音板	コンクリート打放し	薄付け仕上塗材	アルミ製	3.000	
	62 改修後	給湯室	【既存のまま】	既存仕上・接着剤撤去後、 下地処理の上、 t2.0ビニル床シート【新設】	既存下地調整の上、 EP-G塗替え	A B C D 【既存のまま】 【既存のまま】 【既存のまま】 【既存のまま】	下地調整(RC種)の上、EP塗替え 下地調整(RC種)の上、EP塗替え 下地調整(RC種)の上、EP塗替え 下地調整(RC種)の上、EP塗替え	既存PB撤去後、LGS補修 +t9.5石膏ボード【新設】	既存仕上撤去後、 +t9岩綿吸音板【新設】	【既存のまま】	下地調整(RC種)の上、 EP塗替え	【既存のまま】	3.000	室名札【新設】 ミニキッチン W1500(IHヒータ付き)【新設】
	63 改修前	トイレ前室	コンクリート金ごて	t2.8ビニル床シート	木製巾木 H=100 OP	A LGS90+ t12+t9石膏ボード B LGS90+ t12+t9石膏ボード C LGS90+ t12+t9石膏ボード D LGS90+ t12+t9石膏ボード	薄付け仕上塗材 薄付け仕上塗材 薄付け仕上塗材 薄付け仕上塗材	LGS19+t9石膏ボード	ビニルクロス			アルミ製	2.400	
64 改修後	トイレ前室	【既存のまま】	既存仕上・接着剤撤去後、 下地処理の上、 t2.0ビニル床シート【新設】	既存下地調整の上、 EP-G塗替え	A B C 【既存のまま】 【既存のまま】 【既存のまま】	下地調整(RC種)の上、EP塗替え 下地調整(RC種)の上、EP塗替え 下地調整(RC種)の上、EP塗替え 下地調整(RC種)の上、EP塗替え	【既存のまま】	既存仕上撤去後、 ビニルクロス【新設】			【既存のまま】	2.400		

1級建築士事務所 青森県知事登録第A1-1642号

株式会社 **イクラン** 一級建築士事務所
門前 孝治 1級建築士登録第213201号

〒036-8353
青森県弘前市下輪師町11
TEL 0172-38-1900
FAX 0172-39-6168

承認 設計 担当

縮尺 A1版 -
A3版 -
設計年月日 2024.03

工事名称 令和6年度 弘前職業能力開発校移転改修工事(建築工事)(ゼロ市債)
図面名称 内部仕上表 4

■ 内部仕上表 4 ※ 赤字は改修部分を表す。

階	室名		床		巾木	壁		天井		柱型		廻り縁	天井高	備考		
			下地	仕上		方向	下地	仕上	下地	仕上	下地				仕上	
2階	65	改修前	男子トイレ	コンクリート金ごて	t2.0ビニル床シート	100角磁器質タイル H=100	A LGS90+19+ t12石膏ボード	VP	LGS19	t9吸音化粧石膏ボード	t27複合板 (GL工法)	VP	アルミ製	2.400	65	
				モルタル	100角磁器質タイル	100角磁器質タイル H=200	B +t4フレキシブルボード	VP								
							C 木脚縁組+ t12石膏ボード	VP								
							D +t4フレキシブルボード	VP								
	66	改修後	男子トイレ	・【既存のまま】 ・既存下地撤去後、 モルタル【新設】	・既存仕上・接着剤撤去後、 下地処理の上、 t2.0ビニル床シート【新設】 ・既存仕上撤去後、 100角磁器質タイル【新設】	・【既存のまま】 ・一部 既存仕上撤去後、 100角磁器質タイル【新設】	A 【既存のまま】	下地調整の上、EP塗替え	LGS19【新設】	既存仕上撤去後、 t9.5化粧石膏ボード【新設】	【既存のまま】	下地調整の上、 EP塗替え	【既存のまま】	2.400	2.500	手洗いカウンター【新設】
							B 【既存のまま】	下地調整の上、EP塗替え								
							C 【既存のまま】	下地調整の上、EP塗替え								
							D 【既存のまま】	下地調整の上、EP塗替え								
67	改修前	女子トイレ	コンクリート金ごて	t2.0ビニル床シート	100角磁器質タイル H=100	A 木脚縁組+ t12石膏ボード	VP	LGS19	t9吸音化粧石膏ボード			アルミ製	2.400	67		
			モルタル	100角磁器質タイル	100角磁器質タイル H=200	B +t4フレキシブルボード	VP									
						C LGS90+19+ t12石膏ボード	VP									
						D +t4フレキシブルボード	VP									
68	改修後	女子トイレ	・【既存のまま】 ・既存下地撤去後、 モルタル【新設】	・既存仕上・接着剤撤去後、 下地処理の上、 t2.0ビニル床シート【新設】 ・一部 既存仕上撤去後、 100角磁器質タイル【新設】	・【既存のまま】 ・一部 既存仕上撤去後、 100角磁器質タイル【新設】	A 【既存のまま】	下地調整の上、EP塗替え	LGS19【新設】	既存仕上撤去後、 t9.5化粧石膏ボード【新設】	【既存のまま】	下地調整の上、 EP塗替え	【既存のまま】	2.400	2.500		
						B 【既存のまま】	下地調整の上、EP塗替え									
						C 【既存のまま】	下地調整の上、EP塗替え									
						D 【既存のまま】	下地調整の上、EP塗替え									
69	改修前	倉庫 (2)	コンクリート金ごて	t2.0ビニル床シート	ソフト巾木 H=100	A LGS50+ t12石膏ボード	EP	LGS19	t9吸音化粧石膏ボード			アルミ製	2.500	69		
						B コンクリート打放し	EP									
						C コンクリート打放し	EP									
						D LGS50+ t12石膏ボード	EP									
70	改修後	物置	【既存のまま】	【既存のまま】	【既存のまま】	A 【既存のまま】	【既存のまま】	LGS調整	既存仕上撤去後、 t9.5化粧石膏ボード【新設】	【既存のまま】		【既存のまま】	2.500	70		
						B 【既存のまま】	【既存のまま】									
						C 【既存のまま】	【既存のまま】									
						D 【既存のまま】	【既存のまま】									
共通	71	改修前	階段A	モルタル金ごて	t15フローリングブロック PP	ササラム製 PP	A LGS90+ t12+t9石膏ボード	薄付け仕上塗材	LGS19+t9石膏ボード	t12岩綿吸音板(キューブ) ボーダー部 t9岩綿吸音板	コンクリート打放し	薄付け仕上塗材	アルミ製		71	
							B コンクリート打放し	薄付け仕上塗材								
							C コンクリート打放し	薄付け仕上塗材								
							D コンクリート打放し	薄付け仕上塗材								
	72	改修後	階段A	【既存のまま】	段板 コーナーカット後、 PP	【既存のまま】	A 【既存のまま】	下地調整(RC種)の上、EP塗替え	【既存のまま】	【既存のまま】	【既存のまま】	下地調整(RC種)の上、 EP塗替え	【既存のまま】		72	
							B 【既存のまま】	下地調整(RC種)の上、EP塗替え								
							C 【既存のまま】	下地調整(RC種)の上、EP塗替え								
							D 【既存のまま】	下地調整(RC種)の上、EP塗替え								
73	改修前	階段B	コンクリート金ごて	t2.0ビニル床シート	ソフトササラ巾木	A LGS90+ t12+t9石膏ボード	薄付け仕上塗材	LGS19	t9吸音化粧石膏ボード			アルミ製		73		
						B LGS50+ t12+t9石膏ボード	薄付け仕上塗材									
						C LGS90+ t12+t9石膏ボード	薄付け仕上塗材									
						D コンクリート打放し	薄付け仕上塗材									
74	改修後	階段B	【既存のまま】	【既存のまま】	【既存のまま】	A 【既存のまま】	【既存のまま】	【既存のまま】	【既存のまま】	【既存のまま】		【既存のまま】		74		
						B 【既存のまま】	【既存のまま】									
						C 【既存のまま】	【既存のまま】									
						D 【既存のまま】	【既存のまま】									

■ 塗装凡例

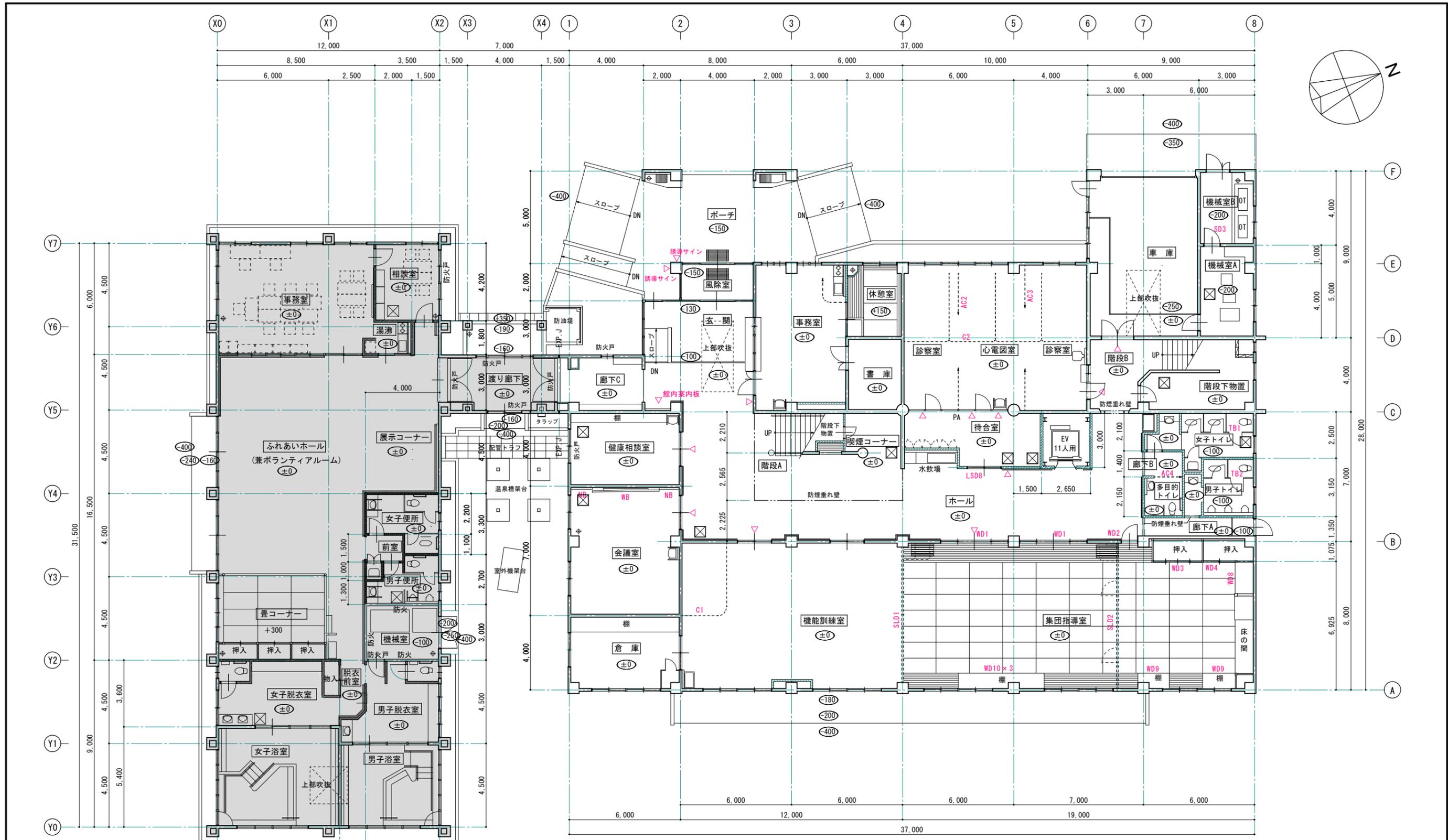
- ・ EP - 合成樹脂エマルジョンペイント1種 - 不燃 NM-8585 - 準不燃 QM-9816
- ・ EP-G - つや有合成樹脂エマルジョンペイント
- ・ PP - 1液形ポリウレタン樹脂ワニス

■ 凡例

- ・ t12.5PB - 不燃 NM-8619
- ・ t9.5PB - 準不燃 QM-9828
- ・ t9.5化粧石膏ボード - 準不燃 QM-0524
- ・ t9.5不燃化粧石膏ボード - 不燃 NM-1864
- ・ t27.5複合板 - t12.5PB+t15硬質ウレタンフォーム 準不燃 QM-0762-1(1)
- ・ t9岩綿化粧吸音板 - 平板 不燃 NM-8599
- ・ t25化粧グラスウールボード - 吸音性製品 密度80K 厚手ガラスクロス表面仕上げ 不燃 NM-2640
- ・ クロス - 不燃 NM-3992 同等品

■ 凡例

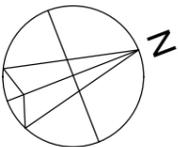
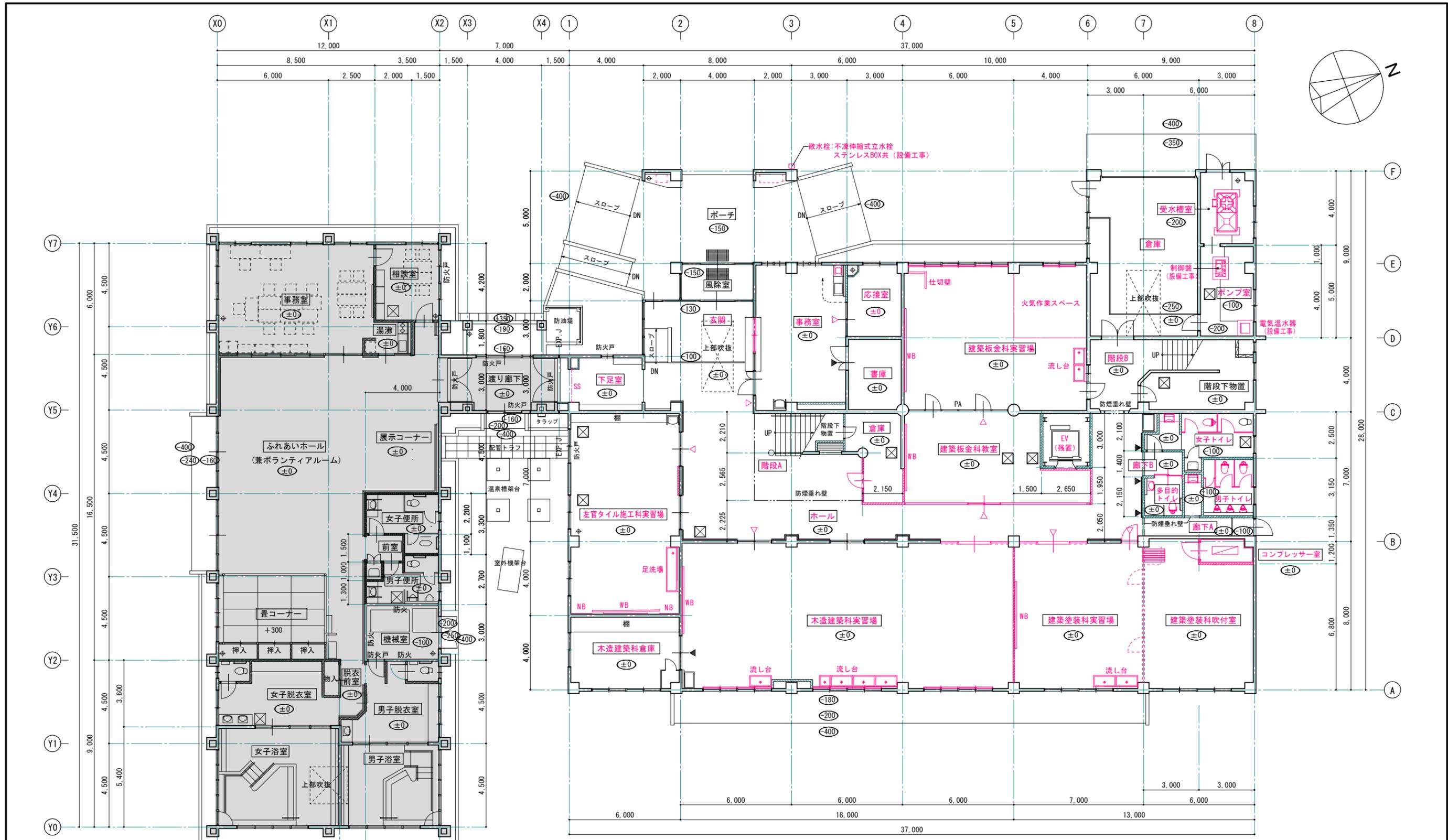
- ・ 床 下地処理 - 清掃、ケレン
- ・ 下地調整 (RA種) - RA種
- ・ 下地調整 (RC種) - RC種
- ・ 下地調整 - RB種
- ・ t3塗床材 - ウレセラミック系水性硬質ウレタン系塗床 (薄塗仕様)
- ・ 不燃R巾木 - 繊維混入セメントケイ酸カルシウム板
- ・ 集材巾木 - スプルス積層材
- 石綿含有建材を示す。
- 石綿含有みなし材を示す。



改修前 1階平面図 S=1:100 (1:200)

■ 凡例		
<p>符号 建具・カーテン類【撤去】</p> <p>WB ホワイトボード【移設】</p> <p>NB 掲示板【移設】</p> <p>▽ 室名札、館内案内板、誘導サイン【撤去】</p>	<p>工事対象外部分</p> <p>鉄筋コンクリート造壁</p> <p>コンクリートブロック造壁</p> <p>軽量鉄骨間仕切造壁</p> <p>木造間仕切造壁</p>	<p>⊗ 床下点検口の位置を表わす</p> <p>○ 床レベルを表わす</p> <p>⊕ 壁とい位置を表わす</p> <p>防火戸 法第2条9号二ロに規定する防火設備及び令第112条第1項の規定による特定防火設備を表わす</p>

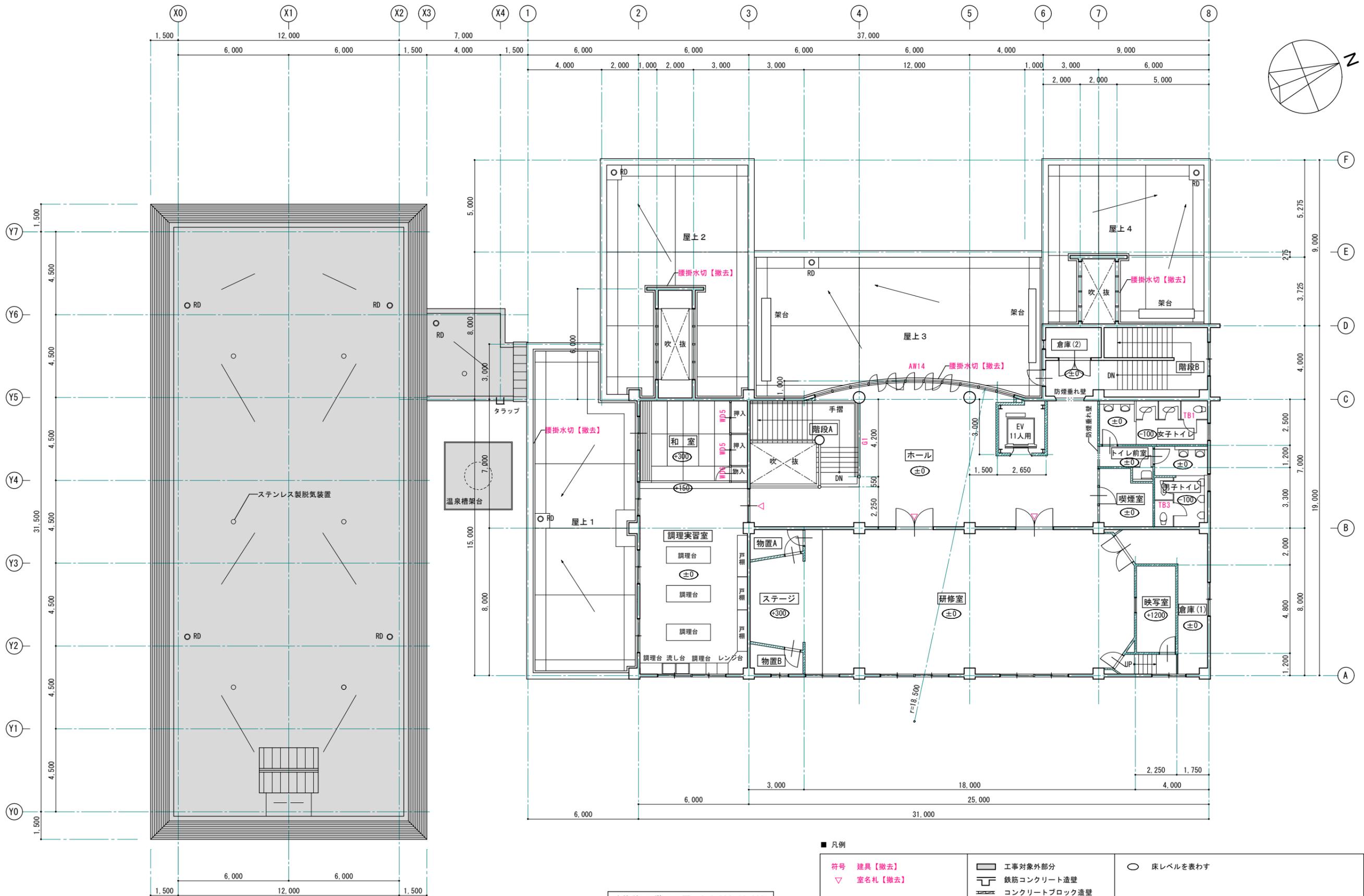
■ 特記
 ・エレベーターは、EVシャフト内のワイヤーを切断し、かごをEVピット内に降ろしてワイヤーのみ撤去、処分とする。



6,000	600	1,400	4,000
6,600			5,400
12,000			
排水槽			

改修後 1階平面図 S=1:100 (1:200)

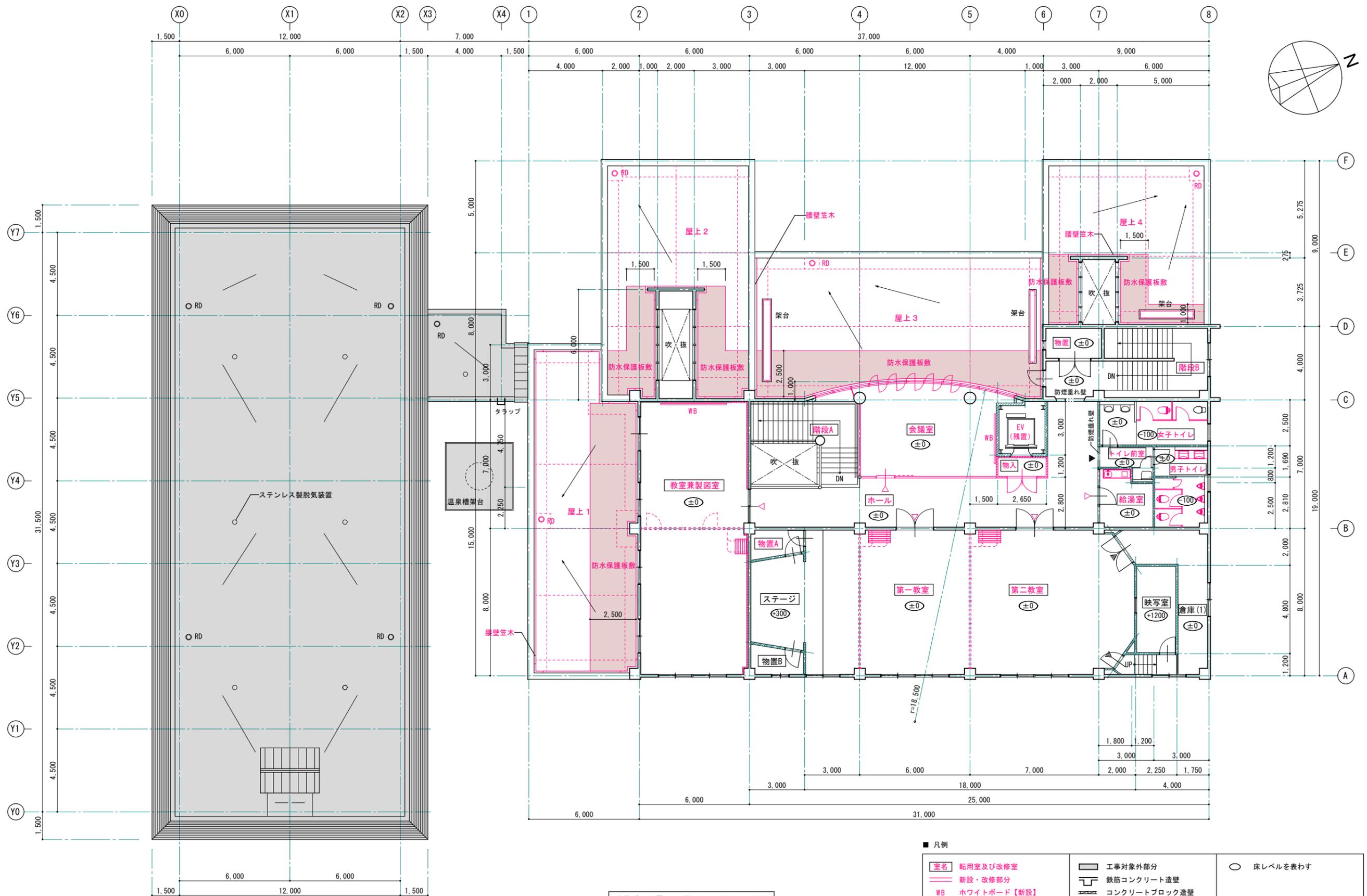
■ 凡例	
室名	転用室及び改修室
WB	ホワイトボード【新設・移設】
NB	掲示板【移設】
▼	室名札【新設】
▼	室名札、ビュート【既存のまま】
□	工事対象外部分
■	鉄筋コンクリート造壁
■	コンクリートブロック造壁
■	軽量鉄骨間仕切造壁
■	木造間仕切造壁
⊗	床下点検口の位置を表わす
○	床レベルを表わす
⊕	壁とい位置を表わす
防火戸 法第2条9号二ロに規定する防火設備及び令第112条第1項の規定による特定防火設備を表わす	



改修前 2階平面図 S=1:100 (1:200)

<p>■ 凡例</p> <p>符号 建具【撤去】 ▽ 室名札【撤去】</p>			<p>○ 床レベルを表わす</p>
<p>■ 工事対象外部分</p> <p>■ 鉄筋コンクリート造壁</p> <p>■ コンクリートブロック造壁</p> <p>■ 軽量鉄骨間仕切造壁</p> <p>■ 木造間仕切造壁</p>			

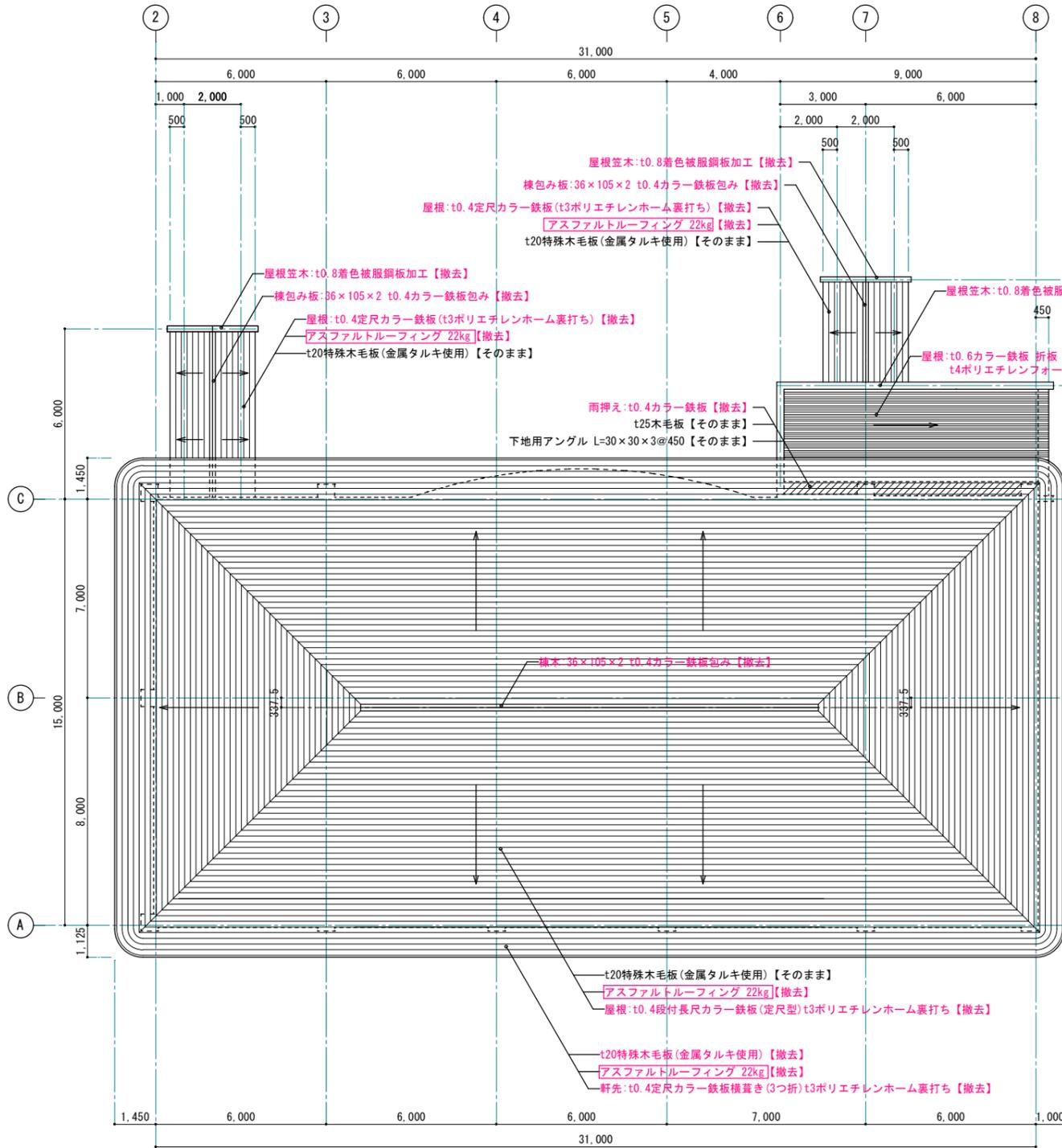
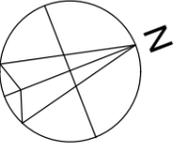
■ 特記
 ・エレベーターは、EVシャフト内のワイヤーを切断し、かごをEVピット内に降ろしてワイヤーのみ撤去、処分とする。



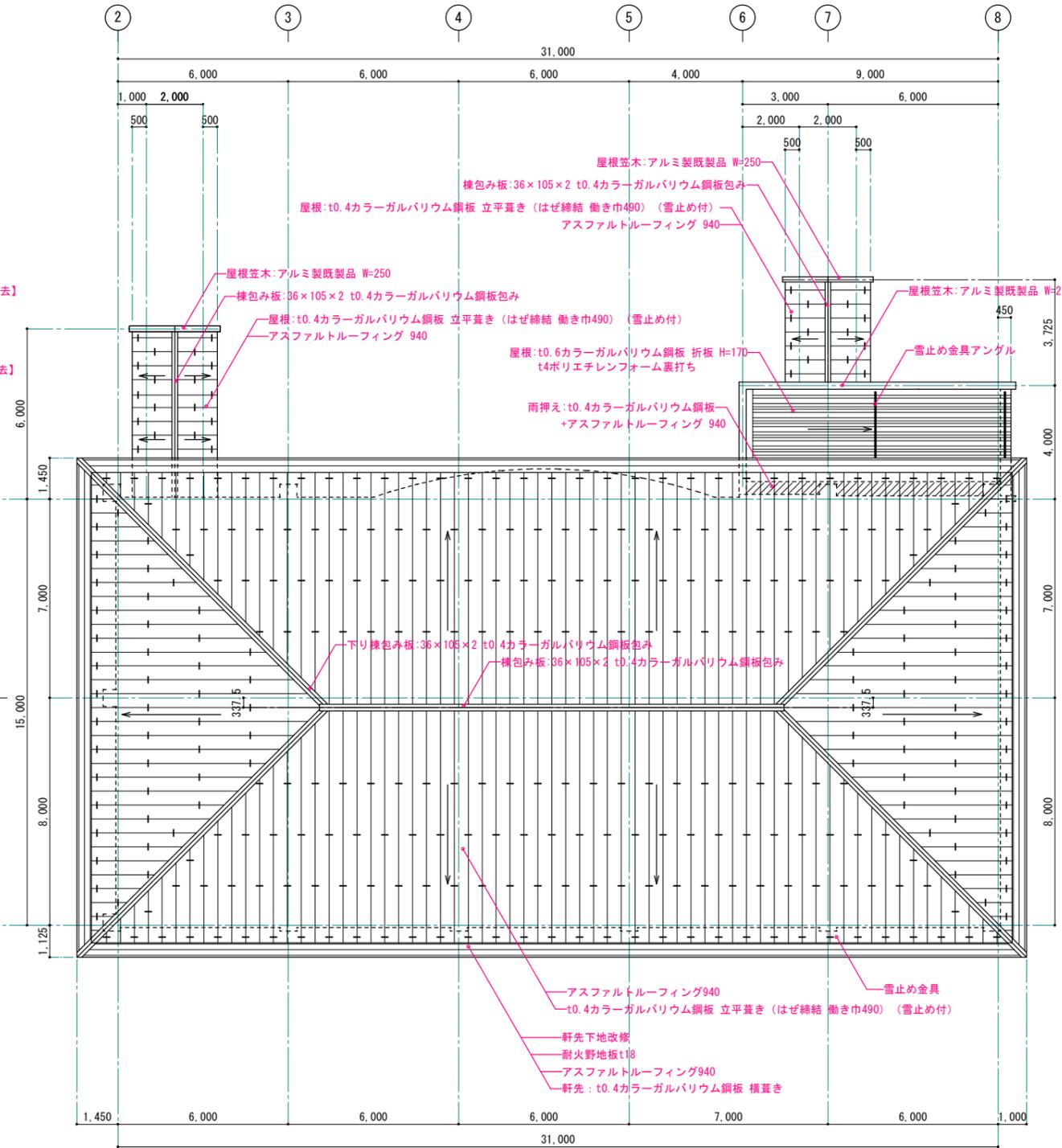
改修後 2階平面図 S=1:100 (1:200)

■ 凡例

<ul style="list-style-type: none"> 室名 転用室及び改修室 新設・改修部分 WB ホワイトボード【新設】 室名札【新設】 室名札、ピクトサイン【既存のまま】 	<ul style="list-style-type: none"> 工事対象外部分 鉄筋コンクリート造壁 コンクリートブロック造壁 軽量鉄骨間仕切造壁 木造間仕切造壁 	<ul style="list-style-type: none"> 床レベルを表わす
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------

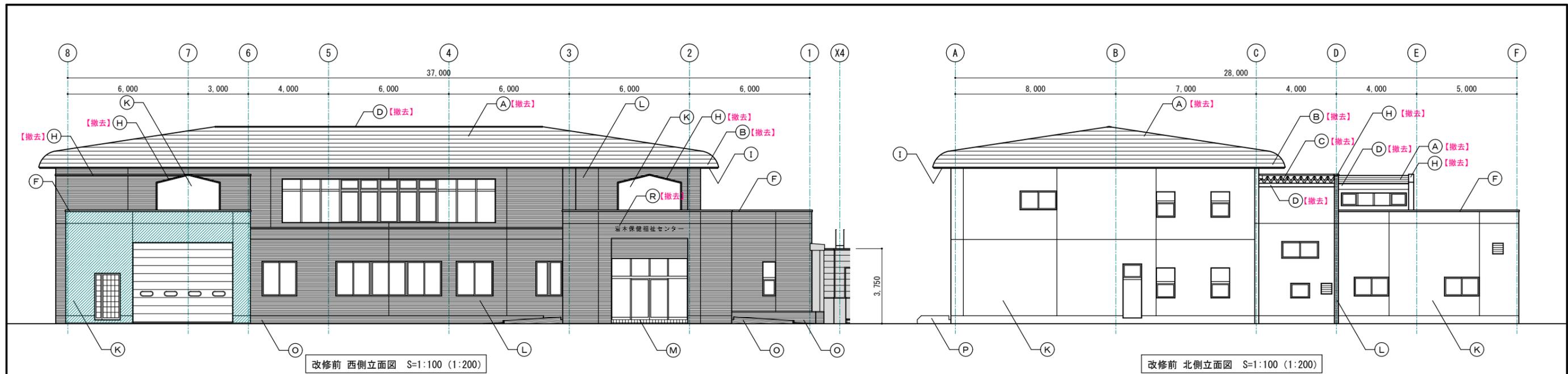


改修前 屋根伏図 S=1:100 (1:200)



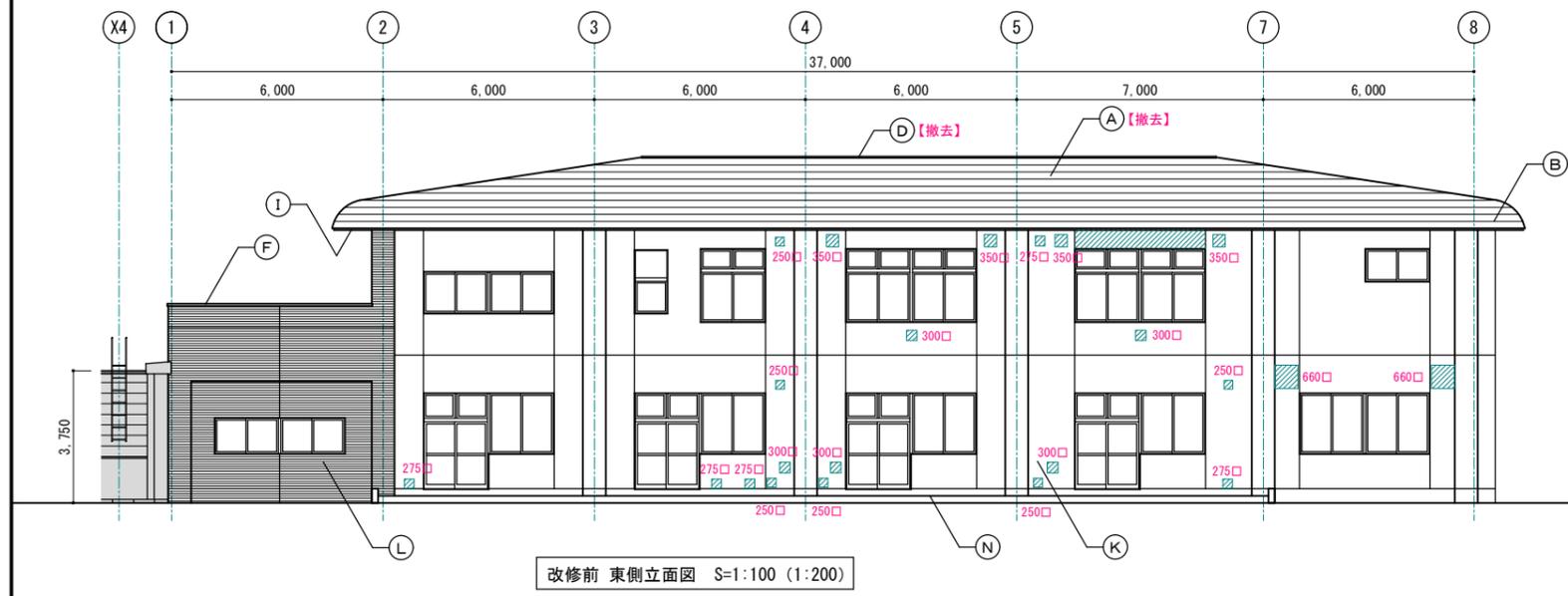
改修後 屋根伏図 S=1:100 (1:200)

※赤字は、改修部分を表す。
 ※改修後 屋根伏図表記は、全て【新設】とする。
 □ - 石綿含有みなし材を示す。

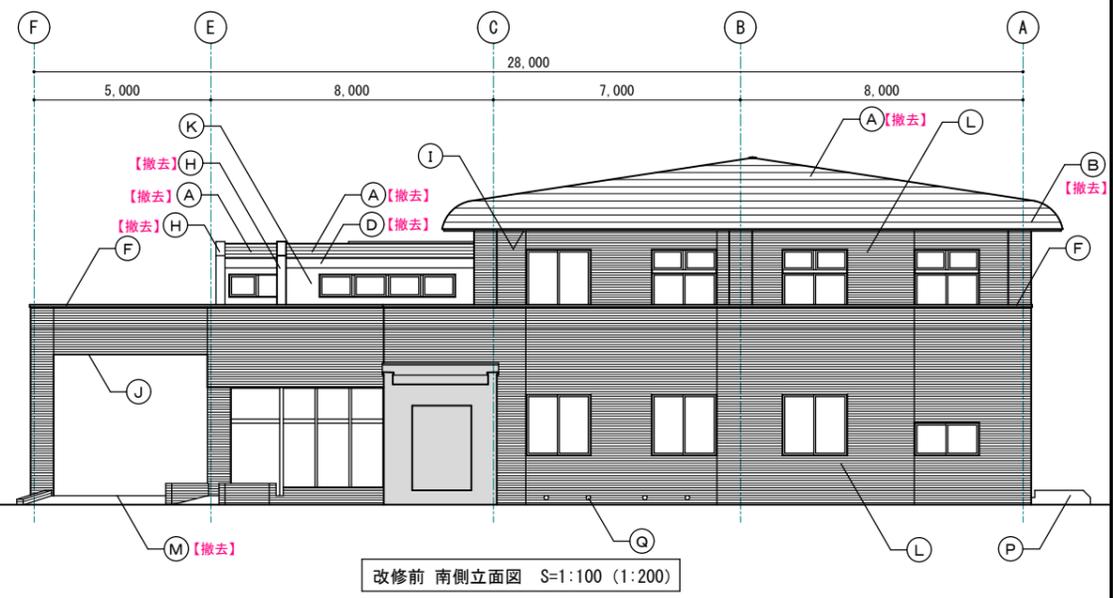


改修前 西側立面図 S=1:100 (1:200)

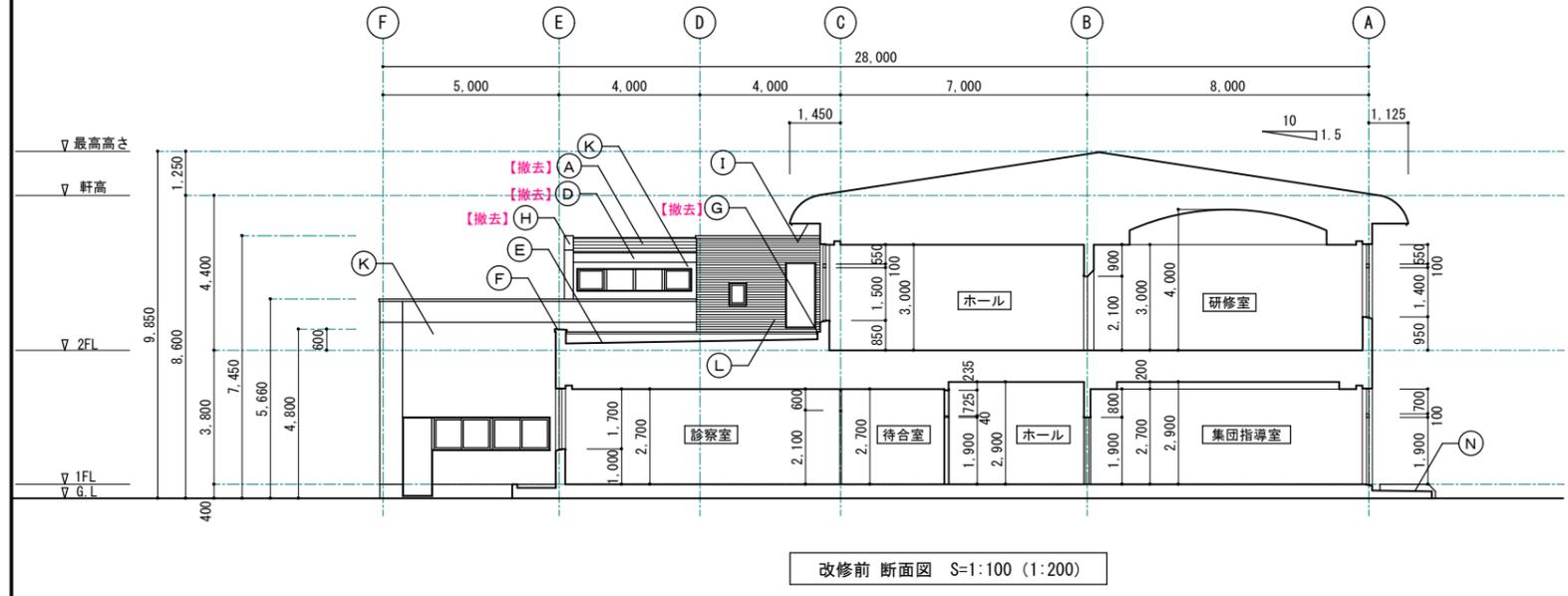
改修前 北側立面図 S=1:100 (1:200)



改修前 東側立面図 S=1:100 (1:200)



改修前 南側立面図 S=1:100 (1:200)

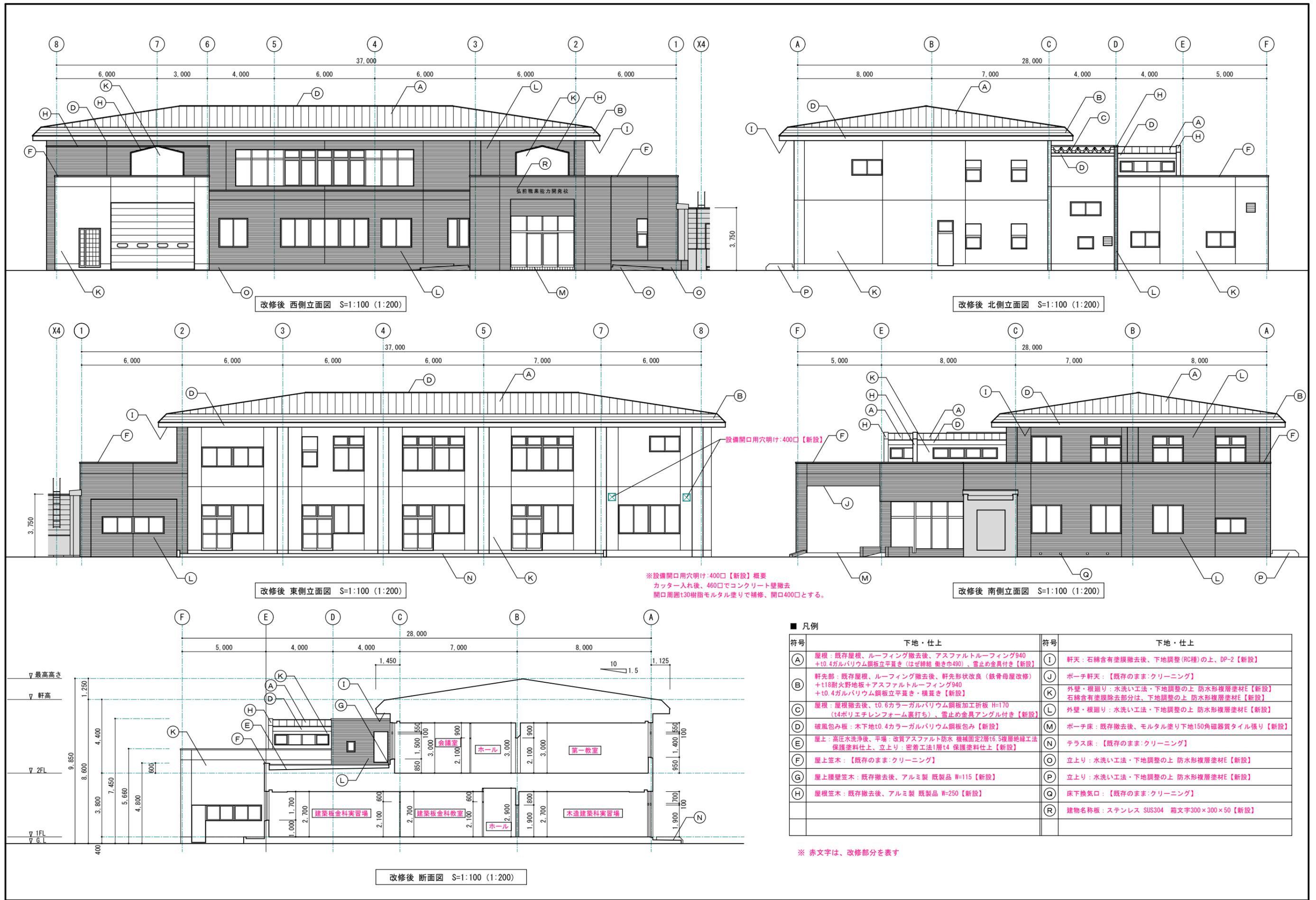


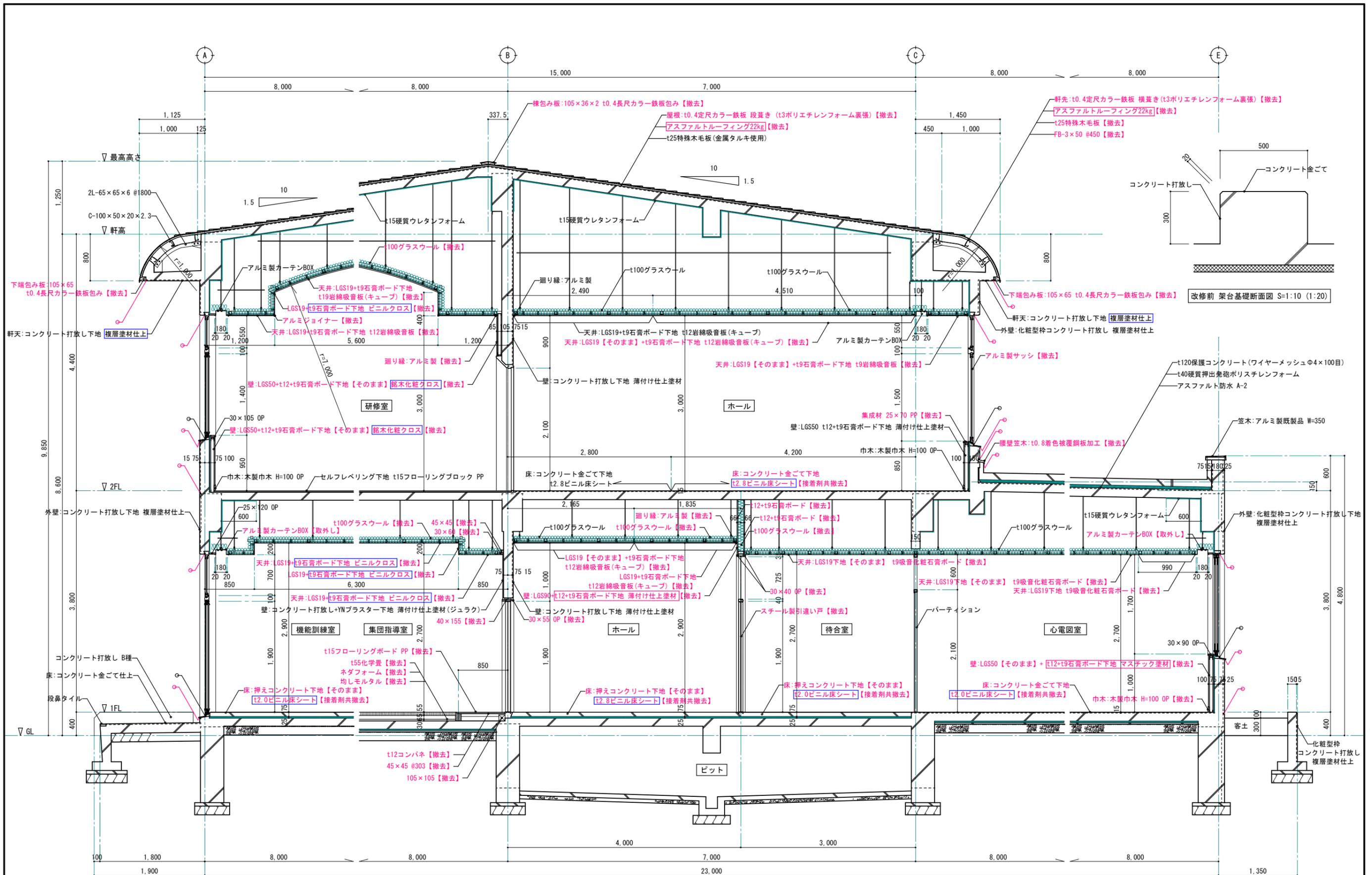
改修前 断面図 S=1:100 (1:200)

■ 凡例

符号	下地・仕上	符号	下地・仕上
(A)	屋根：コンクリートスラブ+t25特殊木毛板（金属タルキ使用） +アスファルトルーフィング22kg +t0.4定尺カラー鉄板葺き（t3ポリエチレンフォーム裏張り）	(I)	軒天：コンクリート打放し下地複層塗材仕上
(B)	軒先R部：鉄骨母屋+t25特殊木毛板 +アスファルトルーフィング22kg +t0.4定尺カラー鉄板横葺き（t3ポリエチレンフォーム裏張り）	(J)	軒天：LGS25+t12防水石膏ボード下地t12耐湿岩綿吸音板（キューブ） ボーダー部 t9岩綿吸音板
(C)	屋根：コンクリートスラブ+t0.6カラー鉄板加工折板 H=170 （t4ポリエチレンフォーム裏打ち）	(K)	外壁・根廻り：コンクリート打放し下地複層塗材仕上
(D)	t0.4カラー鉄板包み	(L)	外壁・根廻り：化粧型枠コンクリート打放し下地複層塗材仕上
(E)	屋上：コンクリートスラブ+アスファルト防水（A-2） +t40硬質押出発泡ポリスチレンフォーム+t120保護コンクリート	(M)	ポーチ床：モルタル塗り下地150角磁器質タイル張り
(F)	屋上笠木：アルミ製 既製品 W=350、W=275	(N)	テラス床：コンクリート金ごて（段鼻タイル）
(G)	屋上腰壁笠木：t0.8着色被覆鋼板加工 W=117	(O)	立上り：化粧型枠コンクリート打放し下地複層塗材仕上
(H)	屋根笠木：t0.8着色被覆鋼板加工 W=250	(P)	立上り：コンクリート打放し下地複層塗材仕上
		(Q)	床下換気口：アルミ製ガラリφ100
		(R)	建物名称板：ステンレス SUS304 箱文字300×300×50

【撤去】— 撤去部分を表す
 — 石綿含有部塗膜除去：集じん装置付き高圧水併用ディスクグラインダーケレン工法
 サイズは、設備用開口部分石綿含有塗膜除去範囲を示す。位置は設備工事との打合せにより決定する事。





改修前 矩計図 S=1:30 (1:60)

- ※ 赤字は、改修部分を表す。
- ※ / シーリング【撤去】
- - 石綿含有建材を示す。
- - 石綿含有みなし材を示す。

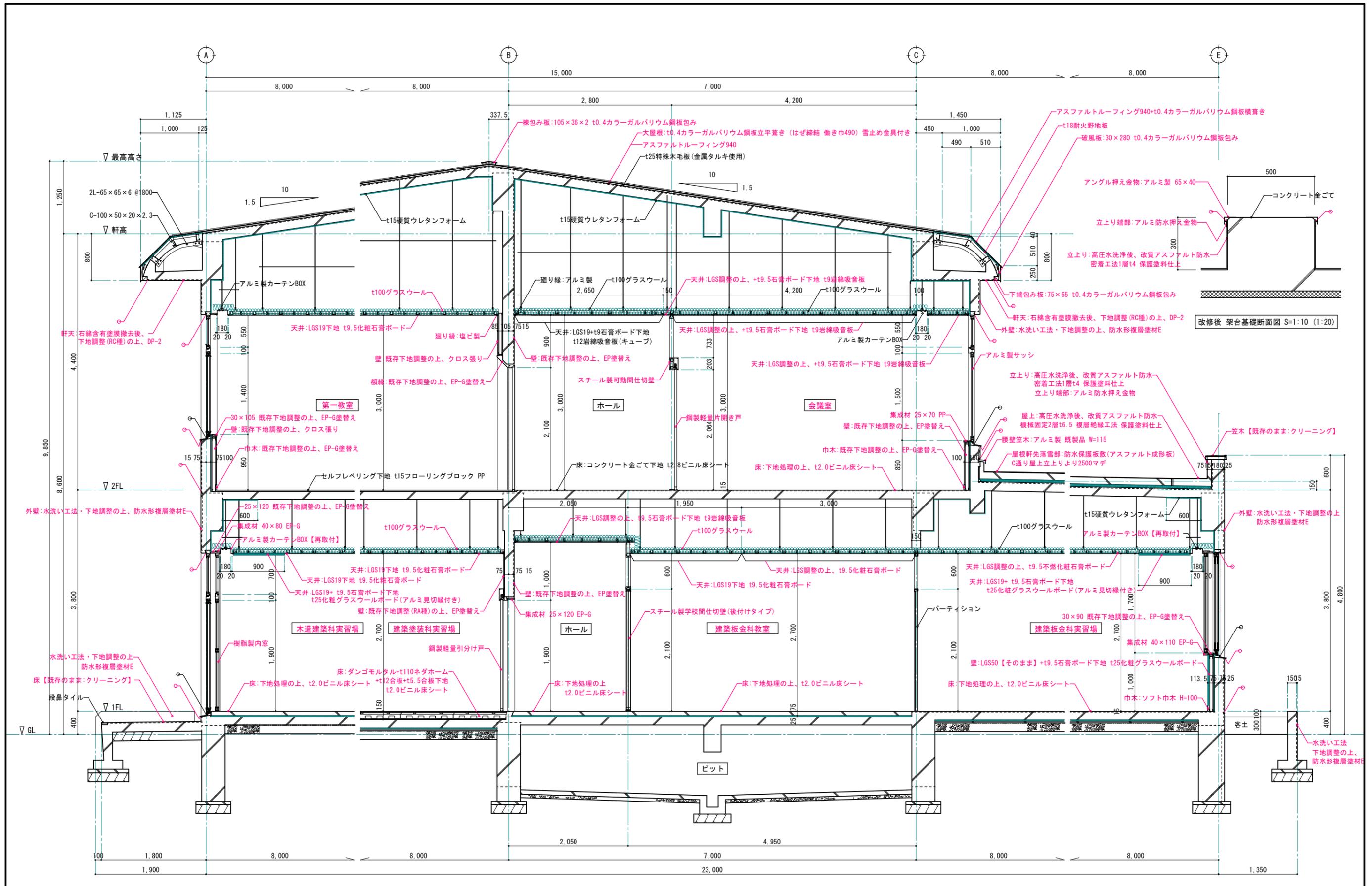
1級建築士事務所 青森県知事登録第A1-1642号
 株式会社 **イクラン** 一級建築士事務所
 門前 孝治 1級建築士登録第213201号

〒036-8353
 青森県弘前市下輪師町11
 TEL 0172-38-1900
 FAX 0172-39-6168

承認 設計 担当
 縮尺 A1版 1:30
 A3版 1:60
 設計年月日 2024.03

工事名称 令和6年度 弘前職業能力開発校移転改修工事(建築工事)(ゼロ市債)
 図面名称 改修前 矩計図

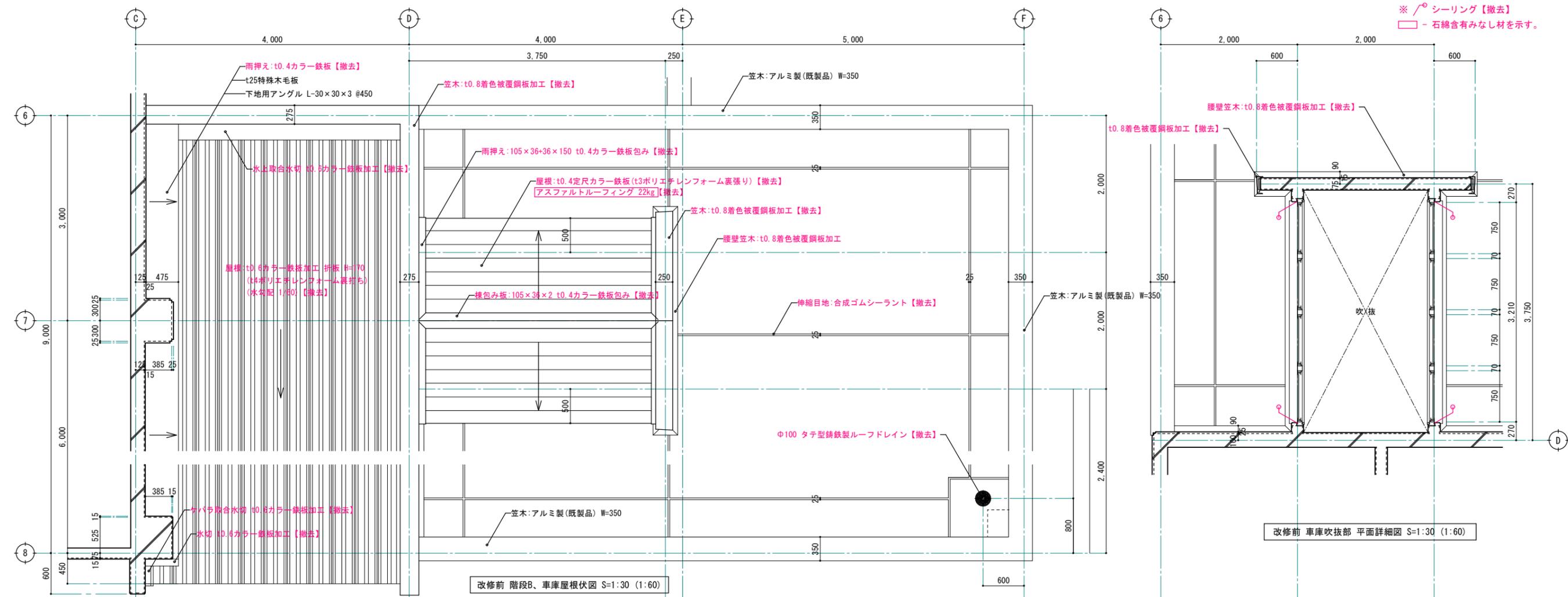
A-601
 NO.



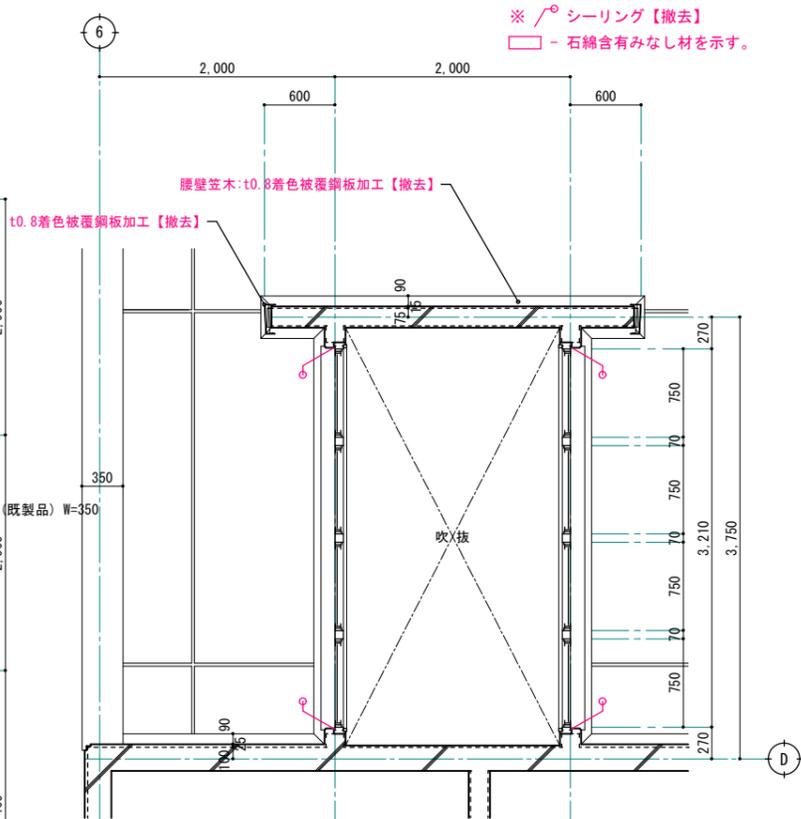
改修後 矩計図 S=1:30 (1:60)

※ 赤字は、改修部分を表す。
 ※ シーリング【新設】

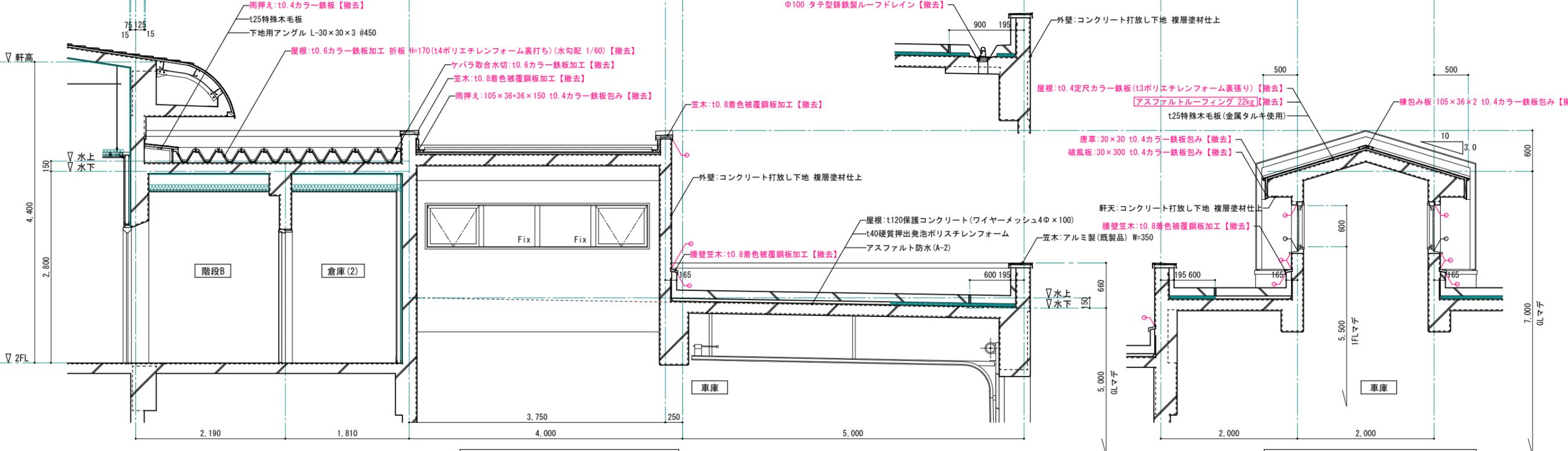
※ 赤字は、改修部分を表す。
 ※ シーリング【撤去】
 □ - 石綿含有みなし材を示す。



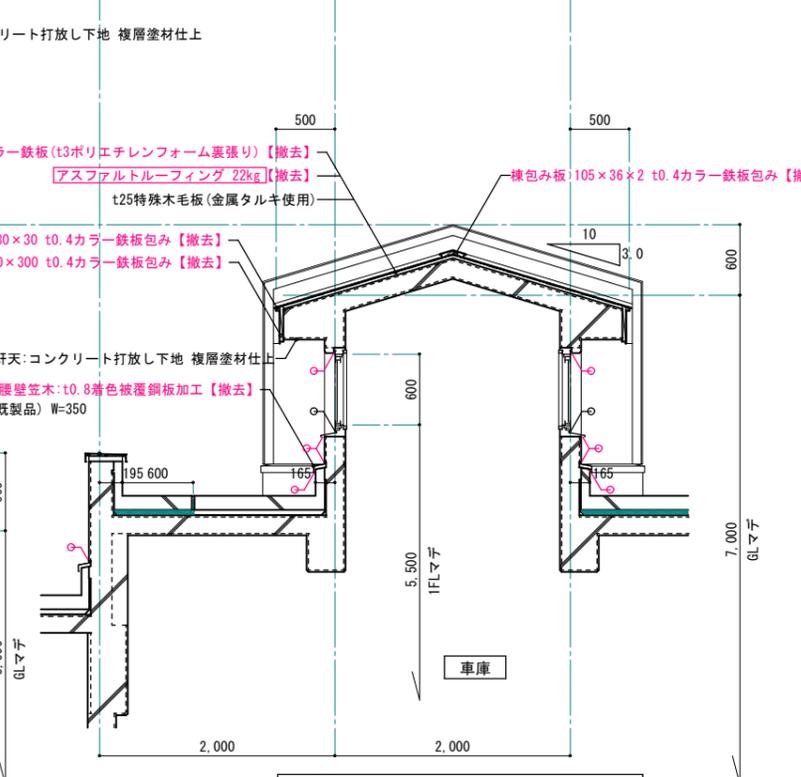
改修前 階段B、車庫屋根伏図 S=1:30 (1:60)



改修前 車庫吹抜部 平面詳細図 S=1:30 (1:60)



改修前 階段B、車庫断面詳細図 S=1:30 (1:60)



改修前 車庫吹抜部 断面詳細図 S=1:30 (1:60)

1級建築士事務所 青森県知事登録第A1-1642号
 株式会社 **イクラン** 一級建築士事務所
 門前 孝治 1級建築士登録第213201号

〒036-8353
 青森県弘前市下輪師町11
 TEL 0172-38-1900
 FAX 0172-39-6168

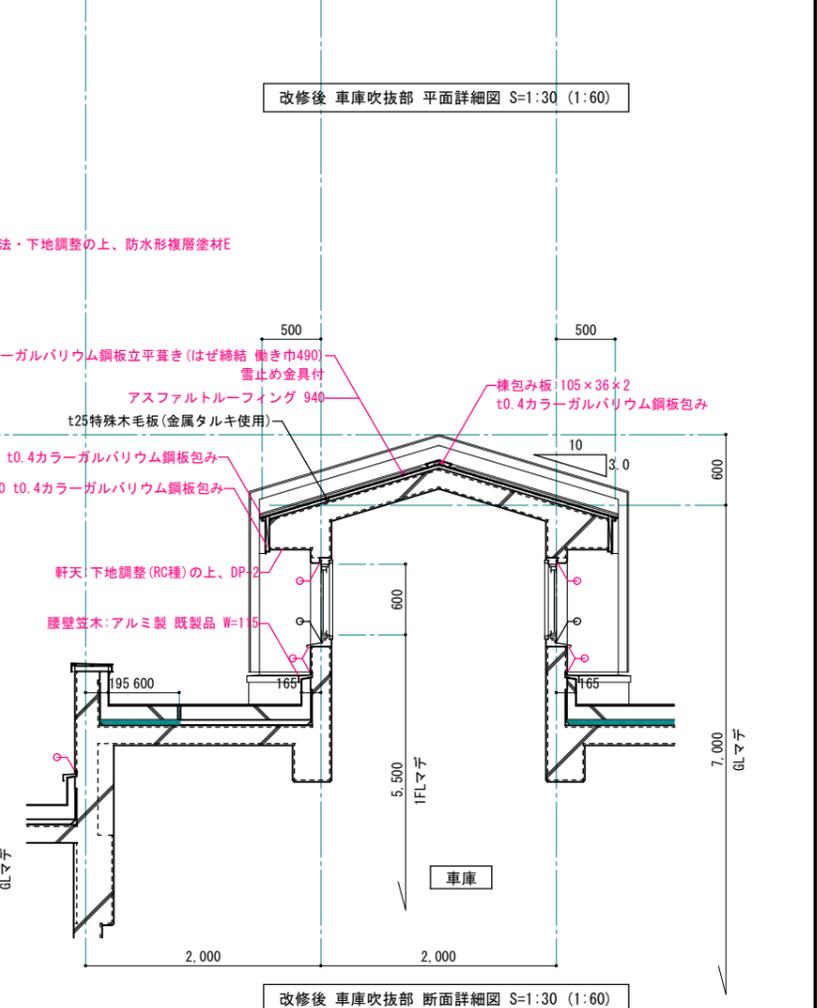
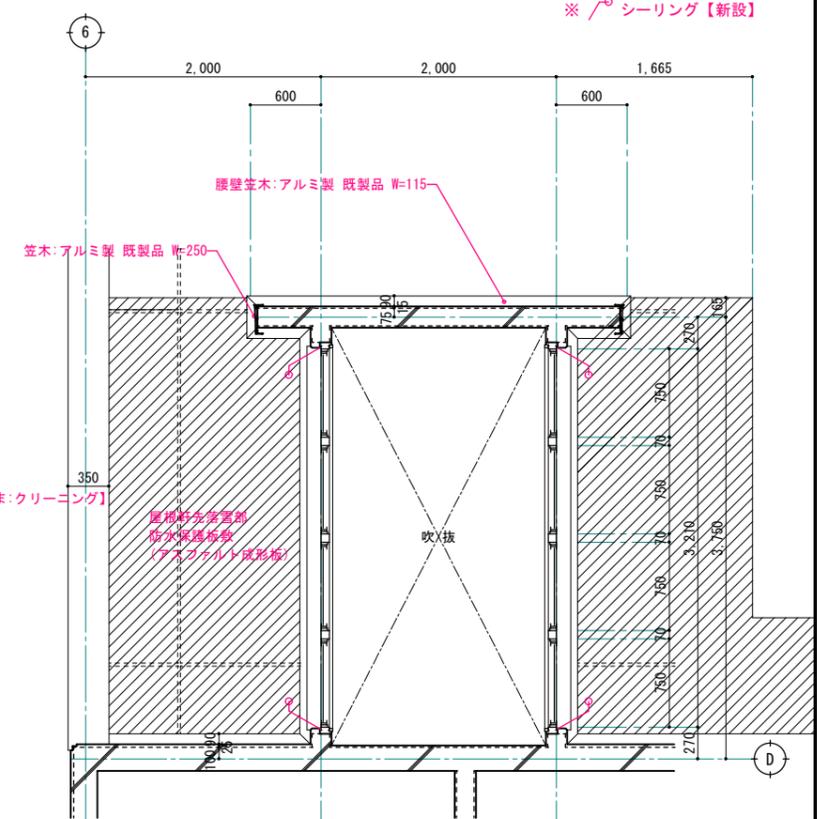
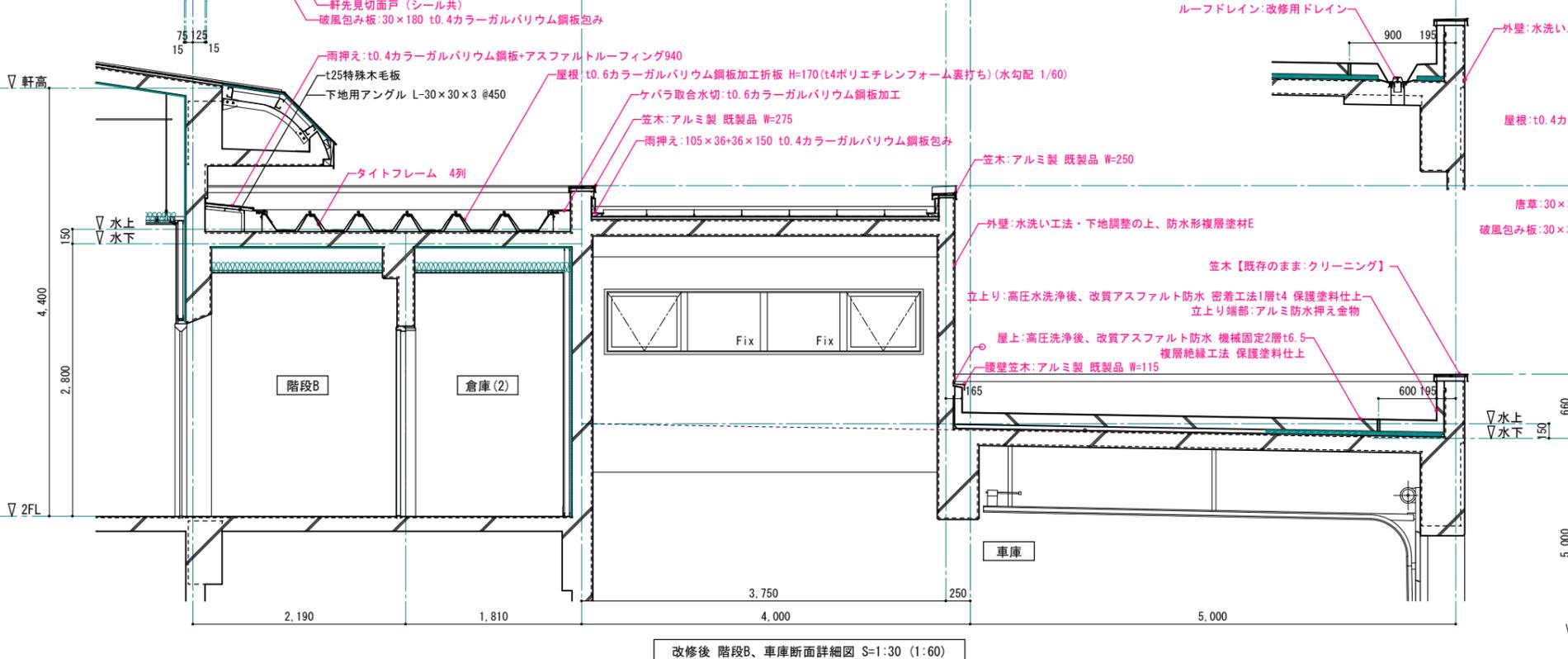
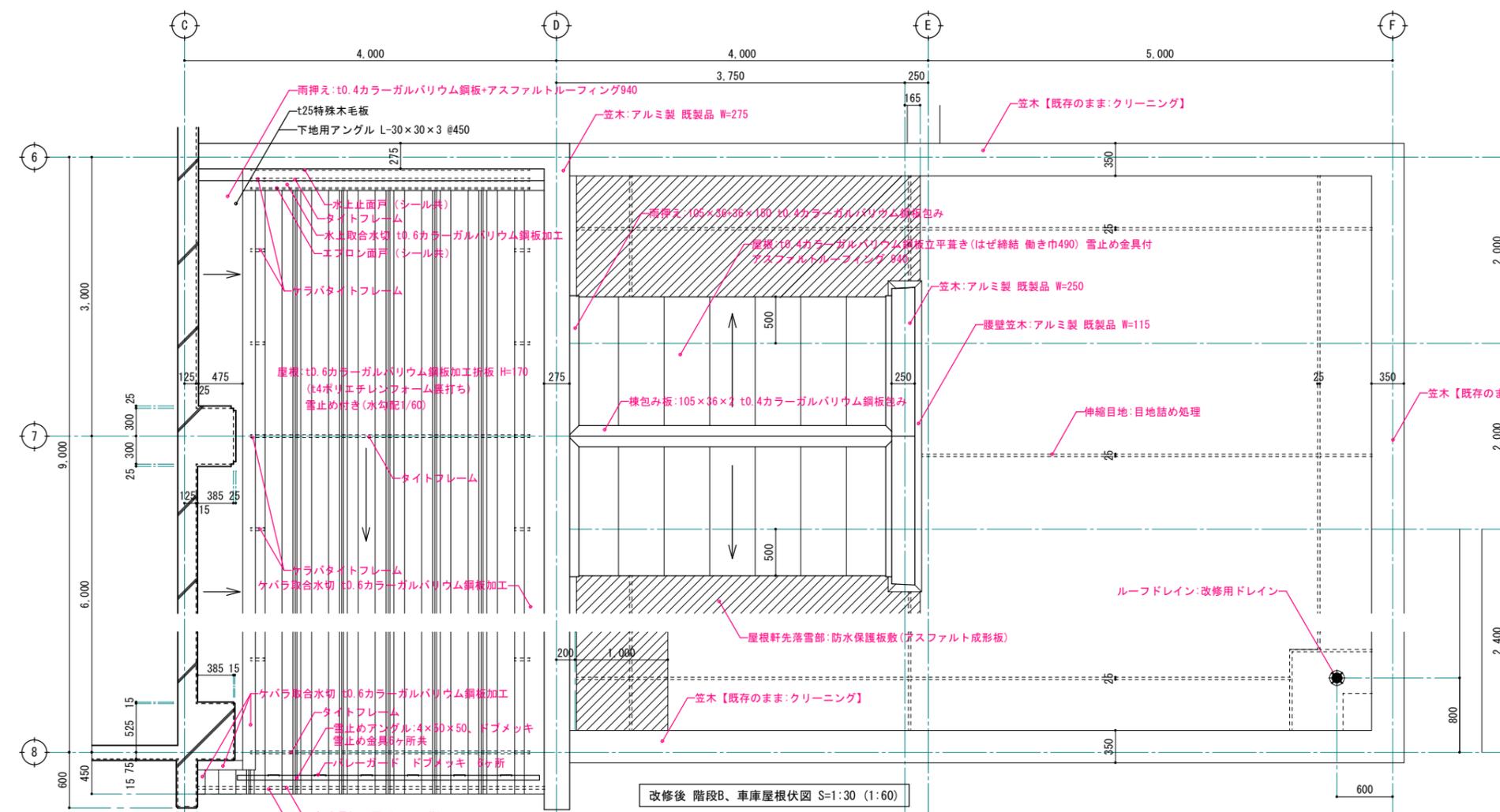
承認 設計 担当

縮尺 A1版 1:30
 A3版 1:60
 設計年月日 2024.03

工事名称 令和6年度 弘前職業能力開発校移転改修工事(建築工事)(ゼロ市債)
 図面名称 改修前 階段B、車庫 屋根部分詳細図

A-603
 NO.

※ 赤文字は、改修部分を表す。
※ / シーリング【新設】



1級建築士事務所 青森県知事登録第A1-1642号
株式会社 **イクラン** 一級建築士事務所
青森県弘前市下輪師町11
門前 孝治 1級建築士登録第213201号

〒036-8353
TEL 0172-38-1900
FAX 0172-39-6168

承認 設計 担当
縮尺 A1版 1:30
A3版 1:60
設計年月日 2024.03

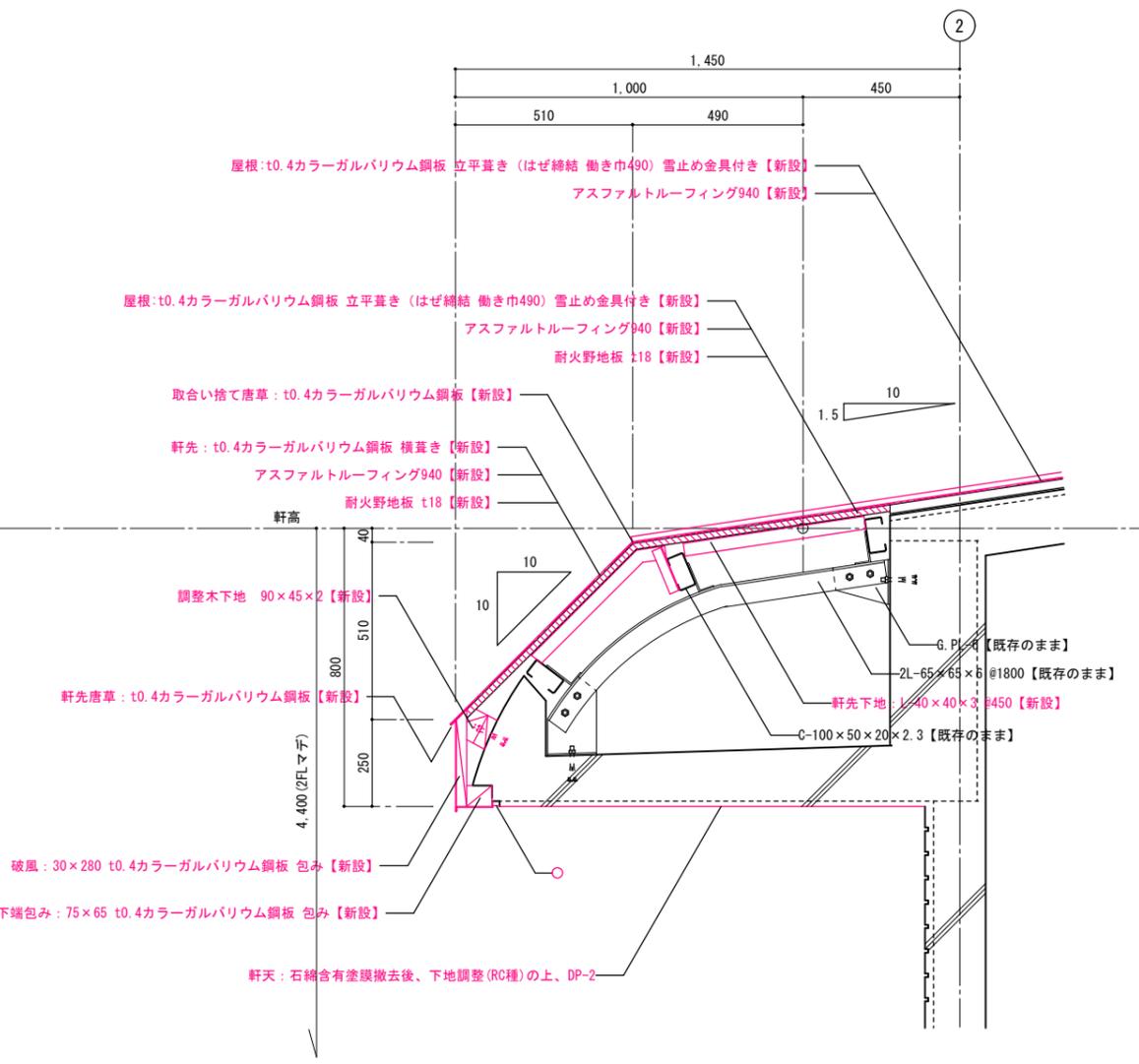
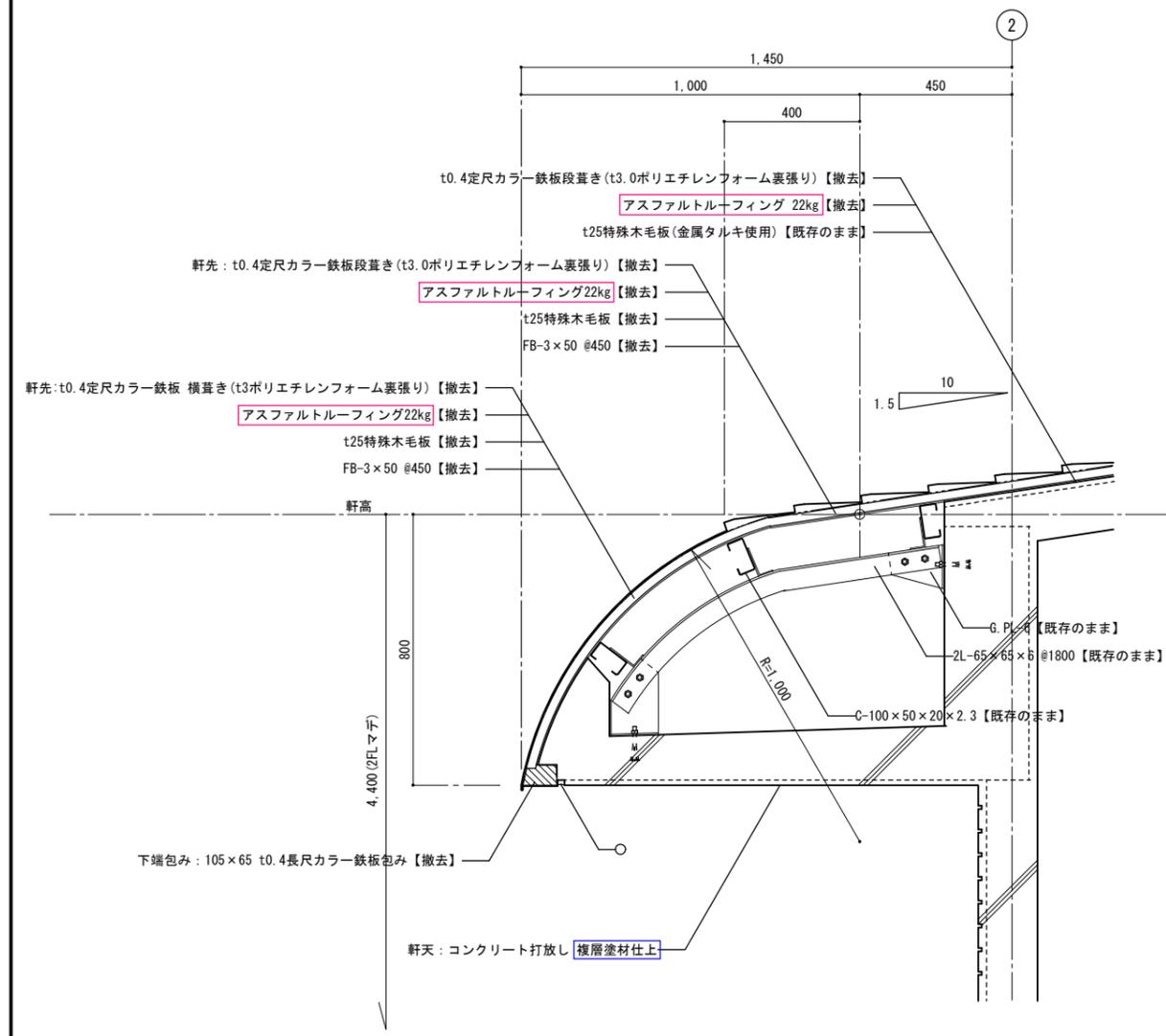
工事名称 令和6年度 弘前職業能力開発校移転改修工事(建築工事)(ゼロ市債)
図面名称 改修後 階段B、車庫 屋根部分詳細図

A-604
NO.

改修前

改修後

※既存屋根材撤去・軒先形状改良による葺替え（立平葺き+軒先 横葺き）

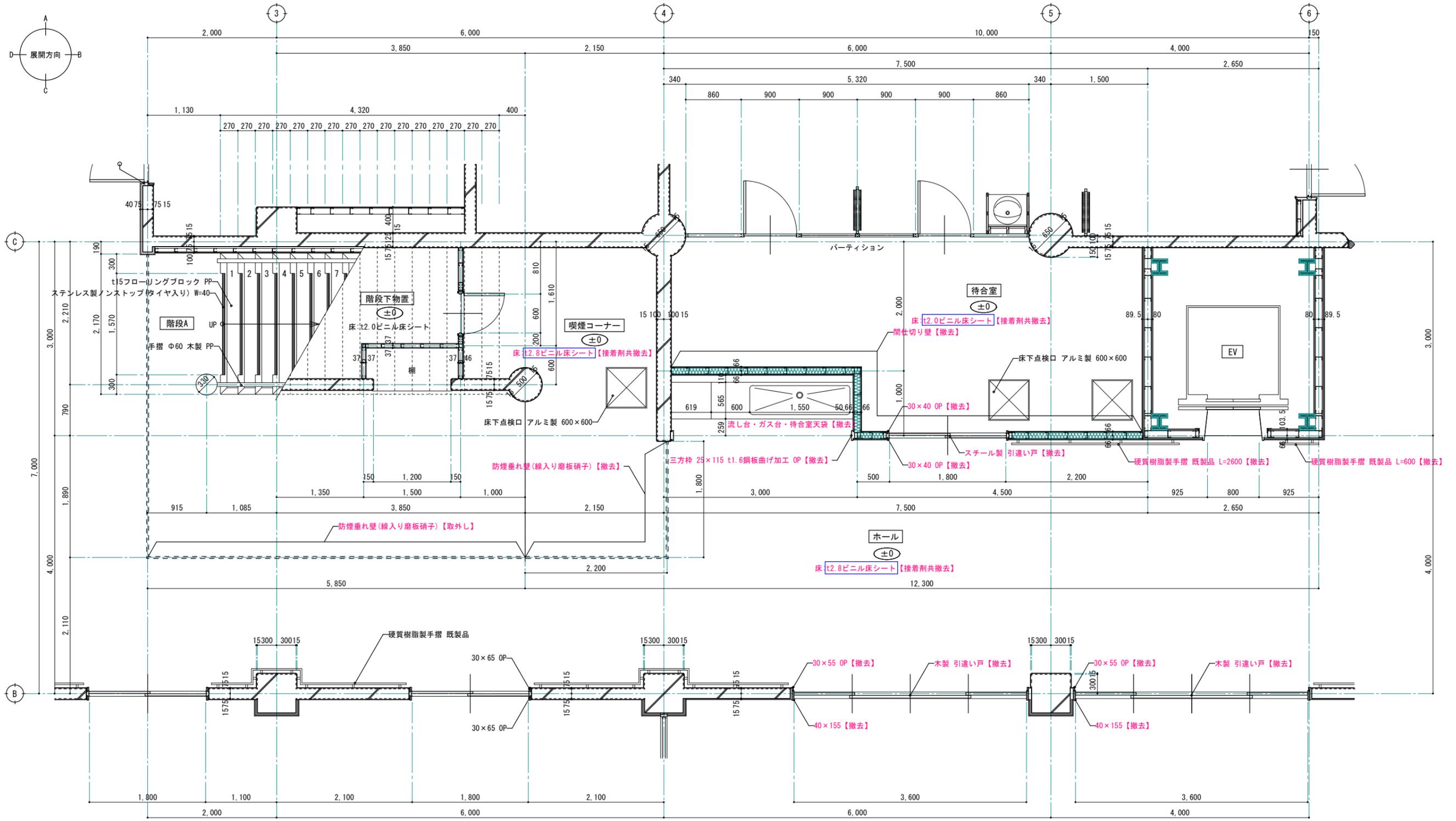


軒先・屋根詳細図 S=1:10 (1:20)

軒先・屋根詳細図 S=1:10 (1:20)

- 石綿含有建材を示す。
 - 石綿含有みなし材を示す。

改修前



改修前 1階ホール、待合室、階段A 平面詳細図 S=1:30 (1:60)

※ 赤文字は、改修部分を表す。
 - 石綿含有建材を示す。

1級建築士事務所 青森県知事登録第A1-1642号
 株式会社 **イクラン** 一級建築士事務所
 青森県弘前市下輪師町11
 門前 孝治 1級建築士登録第213201号

〒036-8353
 青森県弘前市下輪師町11
 TEL 0172-38-1900
 FAX 0172-39-6168

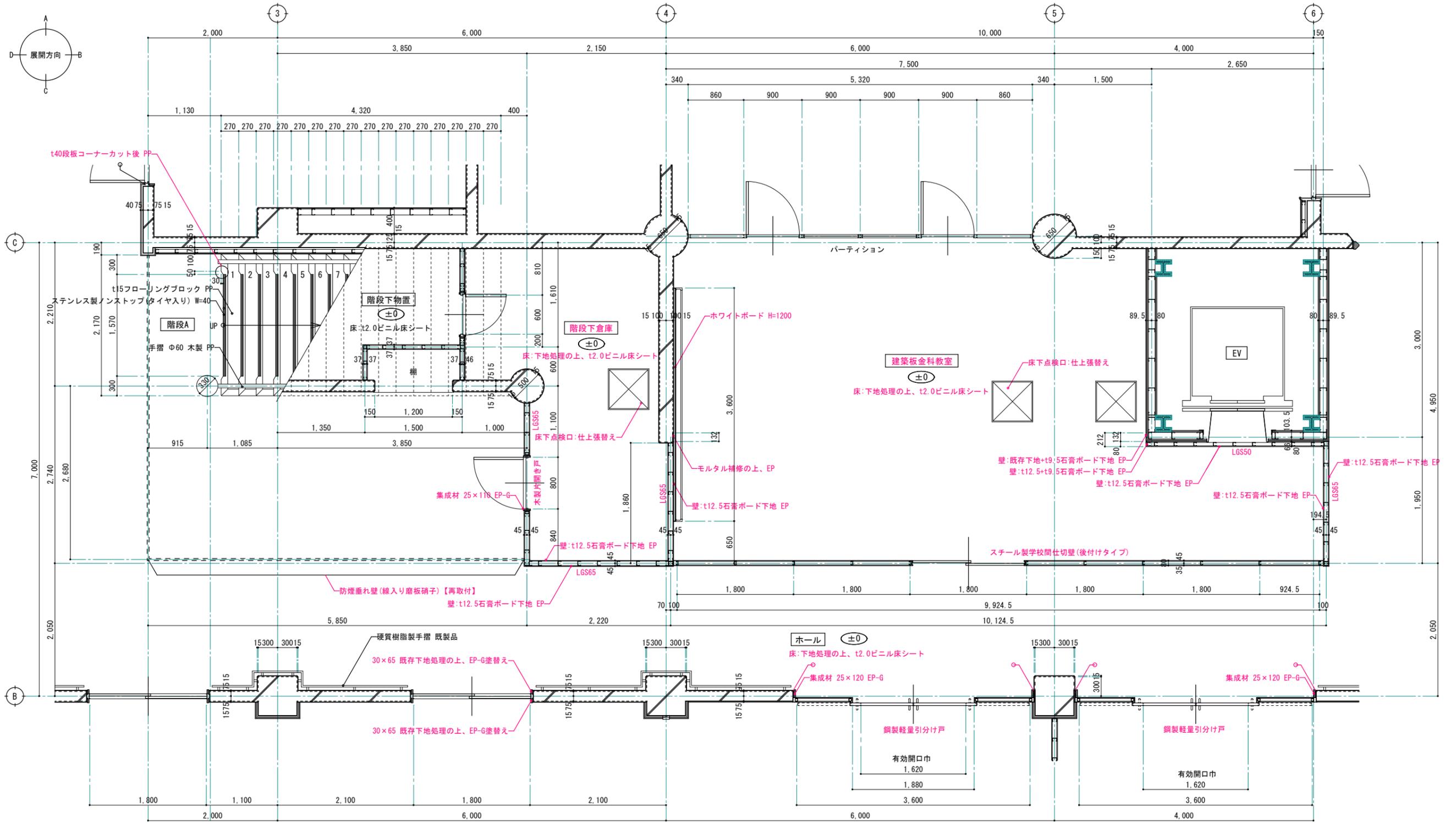
承認	設計	担当

縮尺 A1版 1:30
 A3版 1:60
 設計年月日 2024.03

工事名称 令和6年度 弘前職業能力開発校移転改修工事(建築工事)(ゼロ市債)
 図面名称 改修前 1階ホール、待合室、階段A 平面詳細図

A-701
 NO.

改修後



改修後 1階ホール、建築板金科教室、倉庫、階段A 平面詳細図 S=1:30 (1:60)

※ 赤字は、改修部分を表す。
 ※ シーリング【新設】

1級建築士事務所 青森県知事登録第A1-1642号
 株式会社 **イクラン** 一級建築士事務所
 門前 孝治 1級建築士登録第213201号

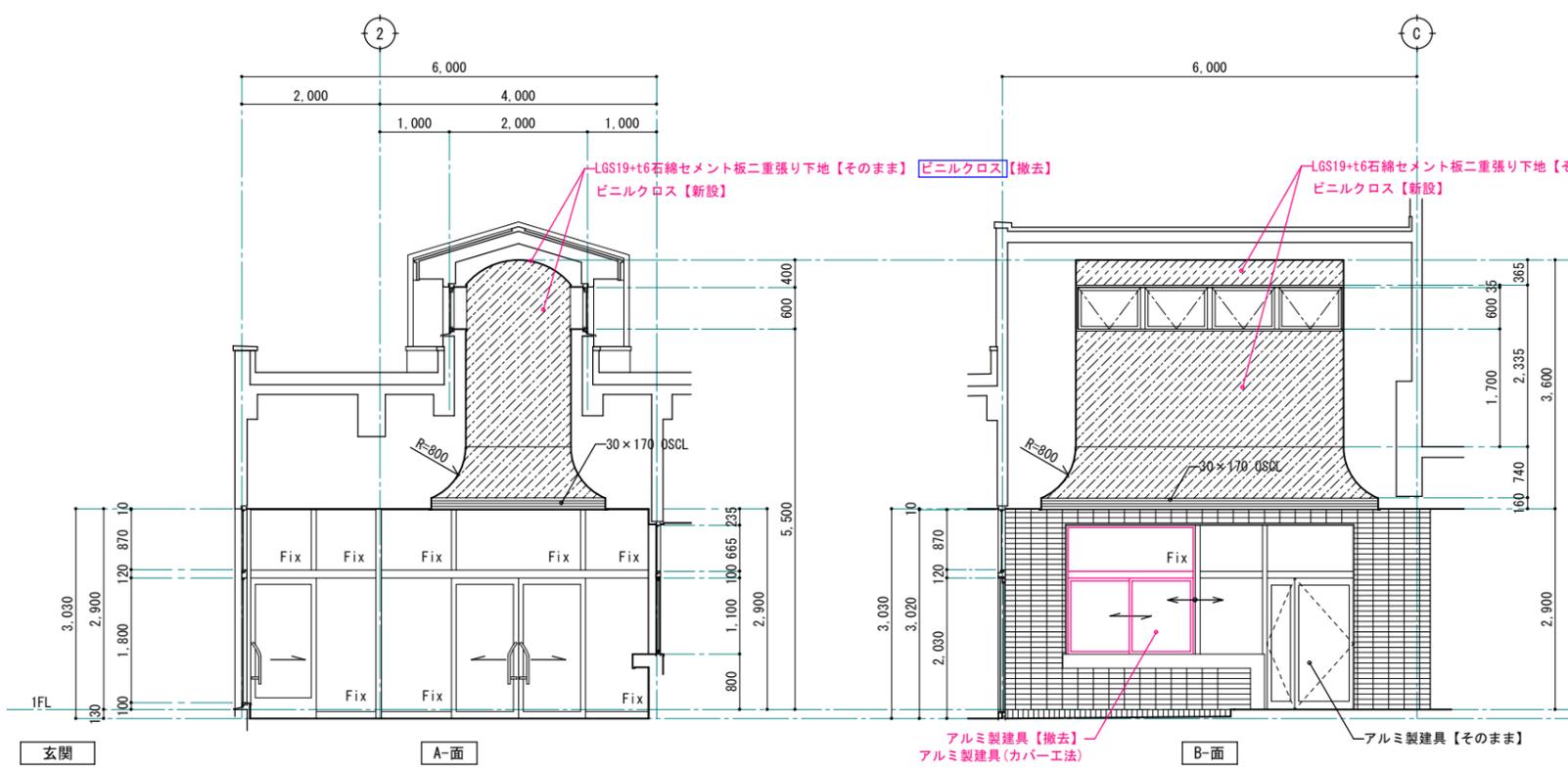
〒036-8353
 青森県弘前市下輪師町11
 TEL 0172-38-1900
 FAX 0172-39-6168

承認	設計	担当

縮尺 A1版 1:30
 A3版 1:60
 設計年月日 2024.03

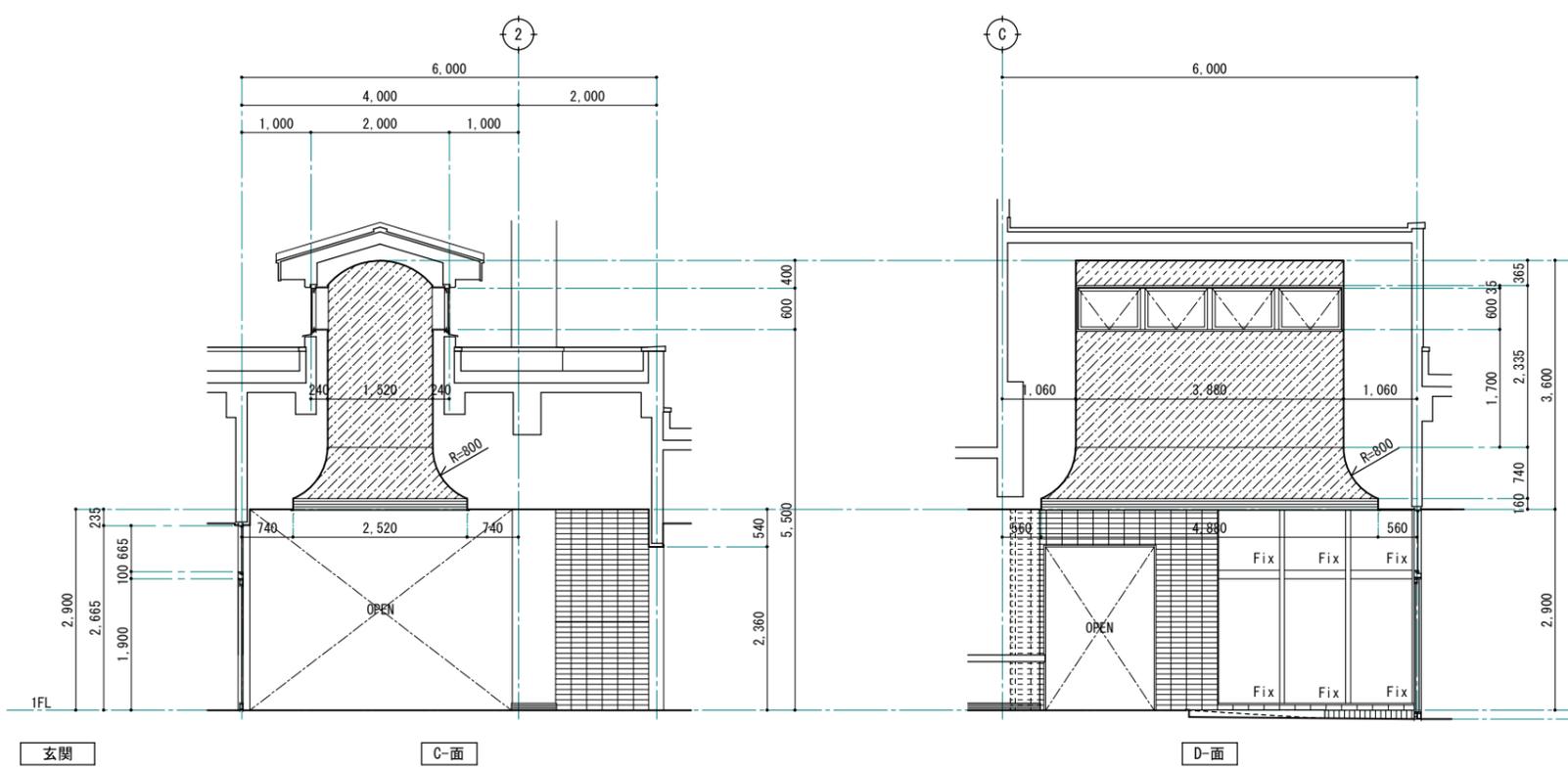
工事名称 令和6年度 弘前職業能力開発校移転改修工事(建築工事)(ゼロ市債)
 図面名称 改修後 1階ホール、建築板金科教室、倉庫、階段A 平面詳細図

A-702
 NO.

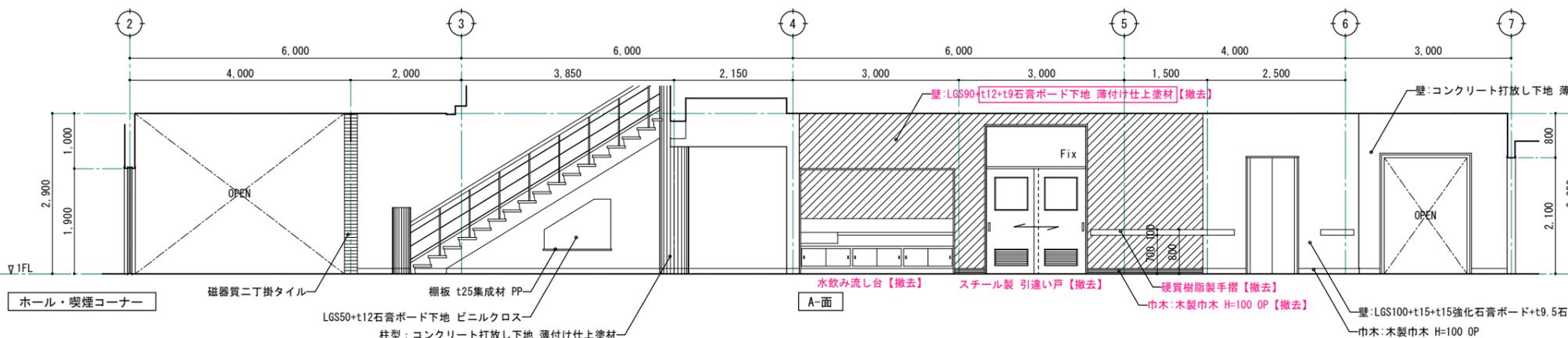


玄関	CH=3000~3130
床	150角磁器質タイル
巾木	二丁掛磁器質タイル
壁	A面:
	B面:モルタル下地 二丁掛磁器質タイル
	C面:
天井	LGS19+t9石膏ボード下地 t12岩綿吸音板(キューブ)
吹抜	LGS19+t6石綿セメント板二重張り下地【そのまま】 ビニルクロス【新設】
備考	

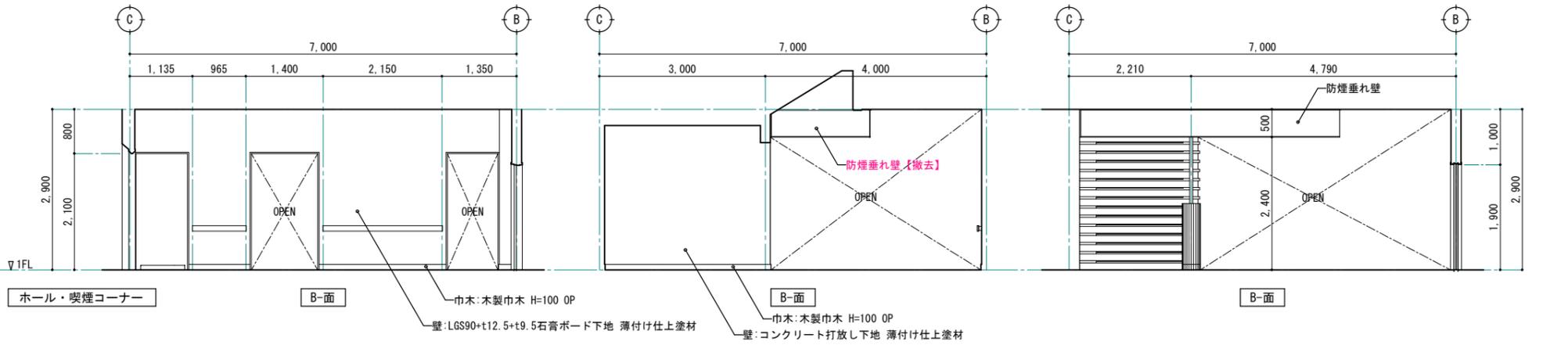
※ 赤字は、改修部分を表す。
 □ - 石綿含有建材を示す。



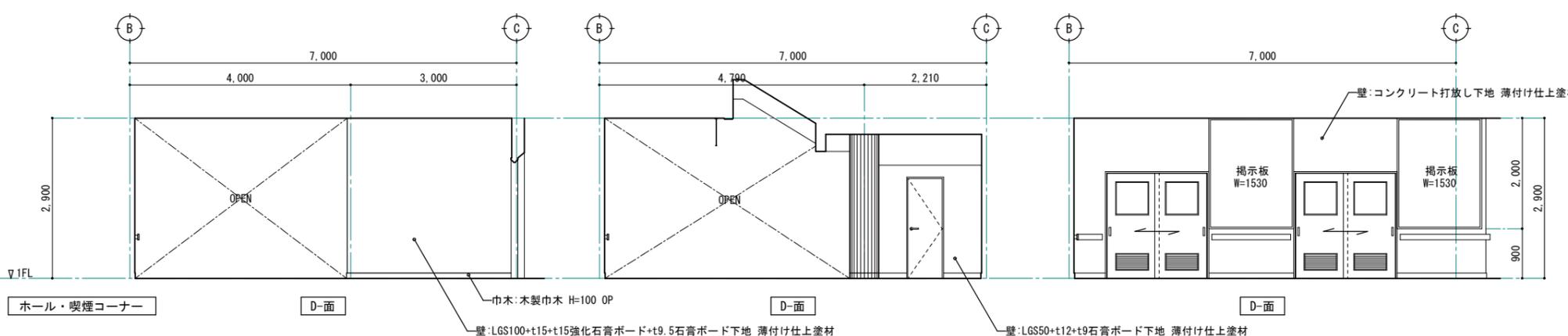
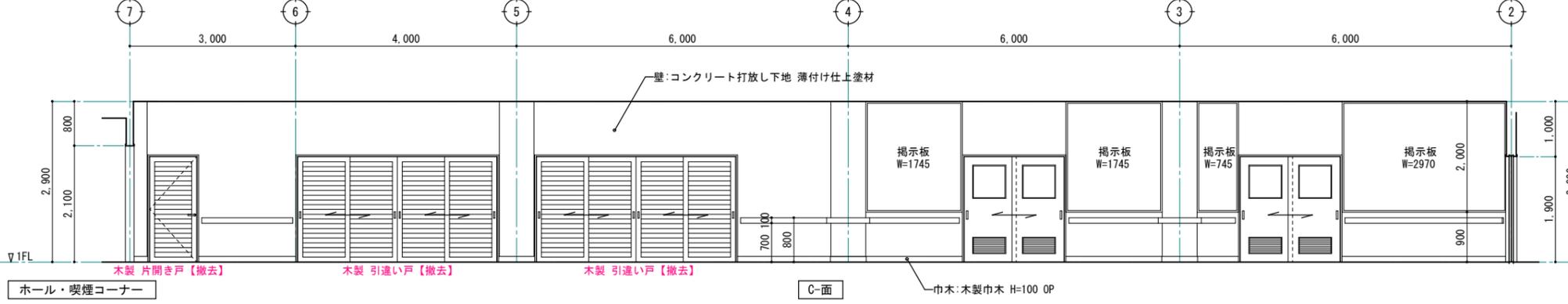
改修前



ホール	CH=2900
床	t2.8ビニル床シート【撤去】
巾木	木製巾木 H=100 OP 一部 木製巾木 H=100 OP【撤去】
壁	A面：コンクリート打放し下地 薄付け仕上塗材 LGS100+t15+t15強化石膏ボード+t9.5石膏ボード下地 薄付け仕上塗材 LGS90+t12+t9石膏ボード下地 薄付け仕上塗材【撤去】
	B面：LGS90+t12.5+t9.5石膏ボード下地 薄付け仕上塗材 コンクリート打放し下地 薄付け仕上塗材
	C面：コンクリート打放し下地 薄付け仕上塗材
	D面：コンクリート打放し下地 薄付け仕上塗材 LGS100+t15+t15強化石膏ボード+t9.5石膏ボード下地 薄付け仕上塗材
天井	LGS19【そのまま】+t9石膏ボード下地 t12岩綿吸音板(キューブ)【撤去】 ポスター部 t9岩綿吸音板【撤去】
備考	水飲み流し台【撤去】、防煙垂れ壁【一部撤去】、硬質樹脂製手摺【一部撤去】

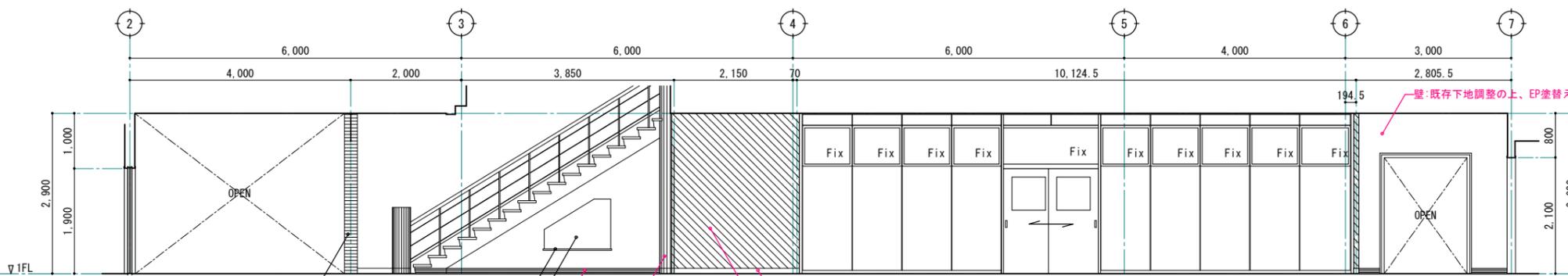


喫煙コーナー	
床	t2.8ビニル床シート【撤去】
巾木	木製巾木 H=100 OP
壁	A面：コンクリート打放し下地 薄付け仕上塗材
	B面：コンクリート打放し下地 薄付け仕上塗材
	C面：コンクリート打放し下地 薄付け仕上塗材
	D面：LGS50+t12+t9石膏ボード下地 薄付け仕上塗材
天井	コンクリート打放し下地 薄付け仕上塗材
備考	



※ 赤文字は、改修部分を表す。
 - 石綿含有建材を示す。
 - 石綿含有みなし材を示す。

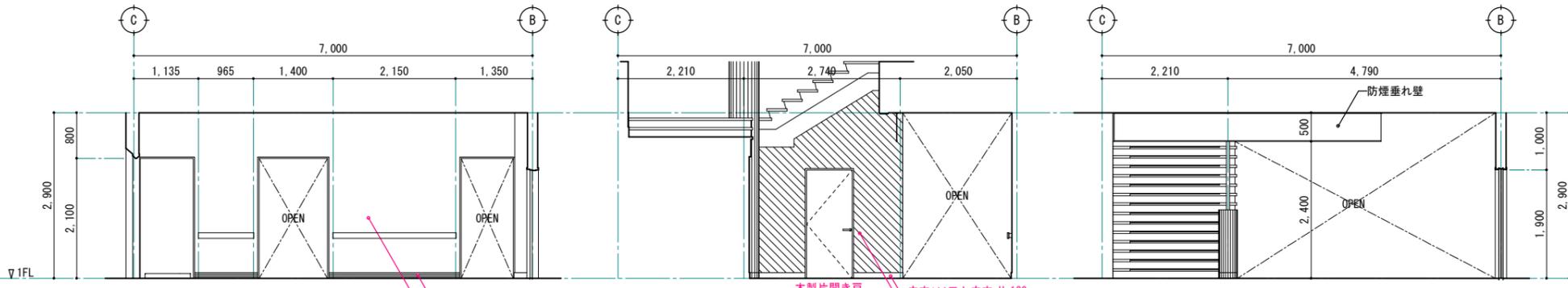
改修後



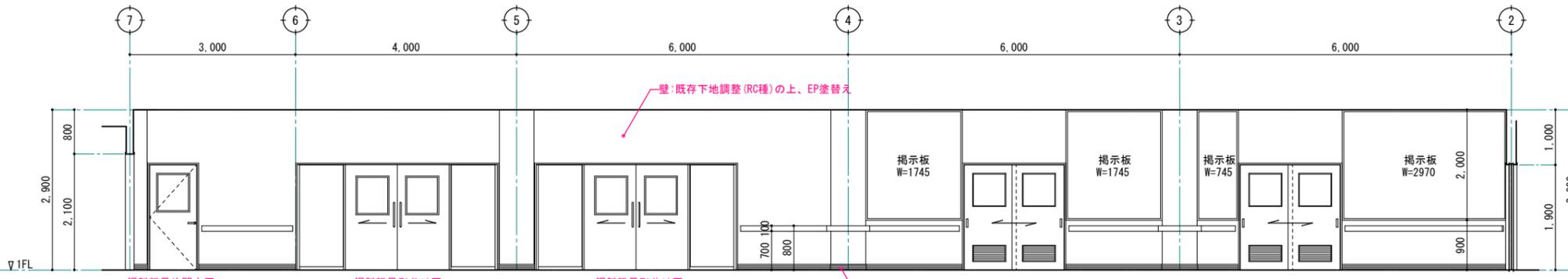
ホール

ホール	CH=2900
床	t2.0ビニル床シート
巾木	木製巾木 下地調整の上、EP-G塗替え、ソフト巾木 H=100
壁	A面:既存下地調整(RC種)の上、EP塗替え LGS65+t12.5石膏ボード下地 EP
	B面:既存下地調整(RC種)の上、EP塗替え LGS65+t12.5石膏ボード下地 EP
	C面:既存下地調整(RC種)の上、EP塗替え
	D面:既存下地調整(RC種)の上、EP塗替え LGS65+t12.5石膏ボード下地 EP
天井	LGS19下地調整の上、t9.5石膏ボード下地 t9岩綿吸音板
備考	

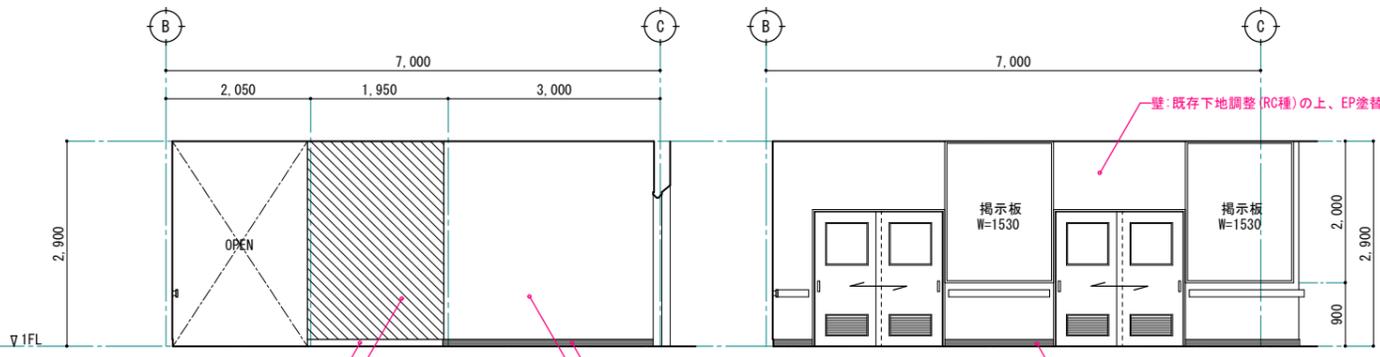
※ 赤字は、改修部分を表す。



ホール

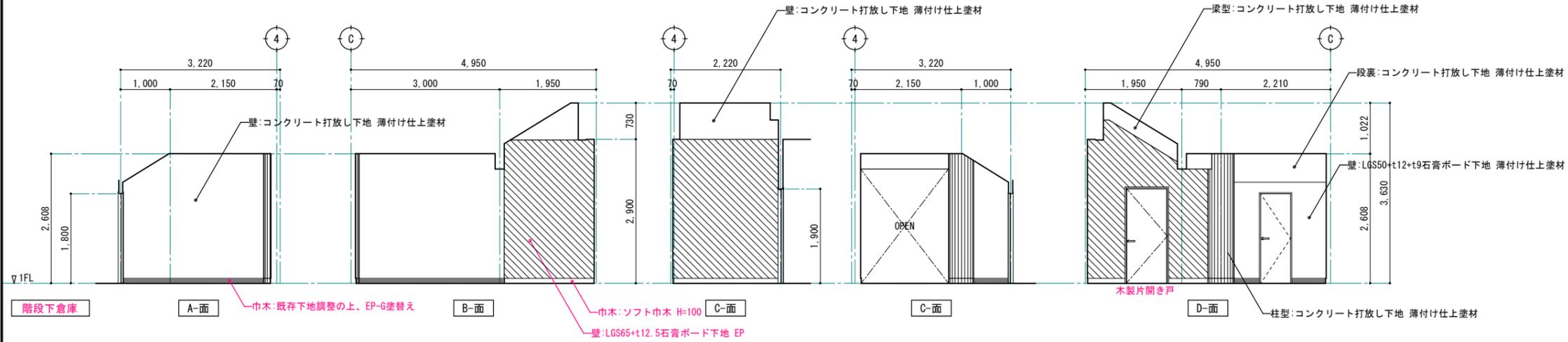


ホール



ホール

改修後



階段下倉庫	
床	t2.0ビニル床シート
巾木	木製巾木 下地調整の上、EP-G塗替え、ソフト巾木 H=100
壁	A面:コンクリート打放し下地 薄付け仕上塗材
	B面:コンクリート打放し下地 薄付け仕上塗材 LGS65+t12.5石膏ボード下地 EP
	C面:コンクリート打放し下地 薄付け仕上塗材 LGS65+t12.5石膏ボード下地 EP
	D面:LGS50+t12+t9石膏ボード下地 薄付け仕上塗材 LGS65+t12.5石膏ボード下地 EP
天井	コンクリート打放し下地 薄付け仕上塗材
備考	

※ 赤字は、改修部分を表す。

1級建築士事務所 青森県知事登録第A1-1642号

株式会社 **イクラン** 一級建築士事務所
 門前 孝治 1級建築士登録第213201号

〒036-8353

青森県弘前市下輪師町11
 TEL 0172-38-1900
 FAX 0172-39-6168

承認	設計	担当

縮尺 A1版 1:50
 A3版 1:100

設計年月日 2024.03

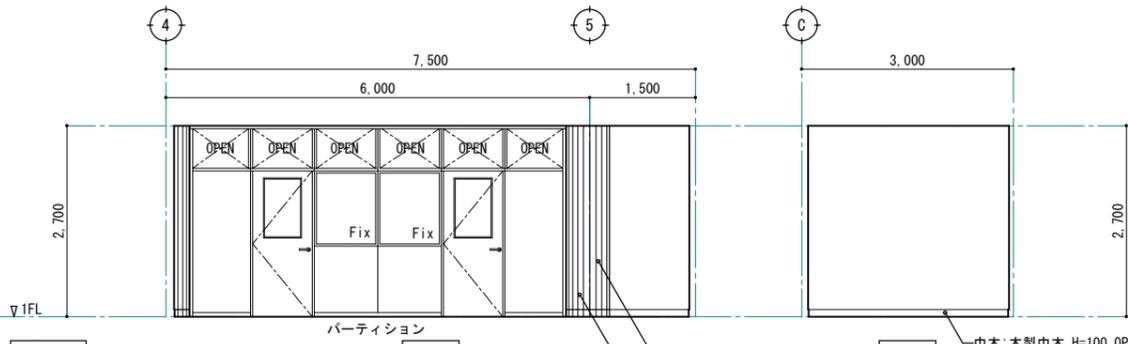
工事名称 令和6年度 弘前職業能力開発校移転改修工事(建築工事)(ゼロ市債)

図面名称 改修後 1階階段下倉庫 展開図

A-706

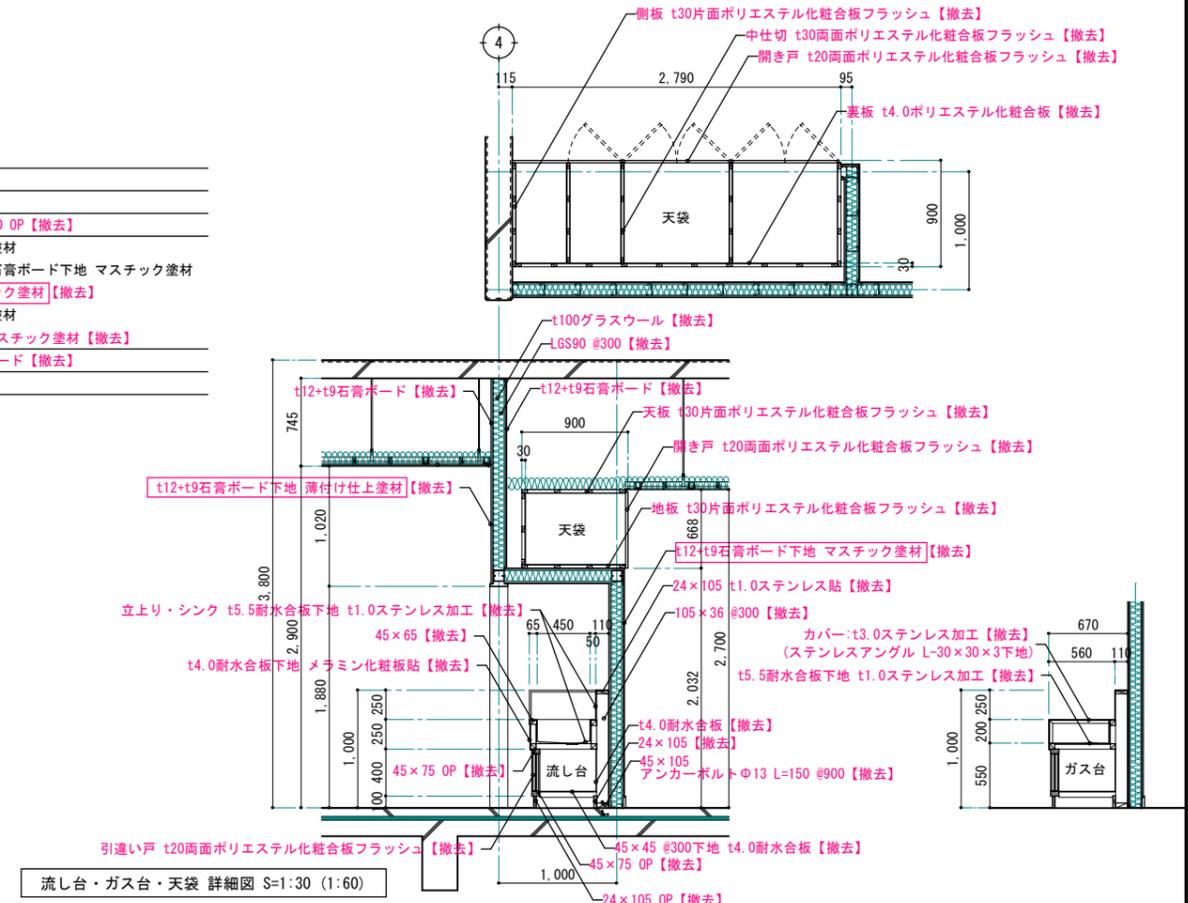
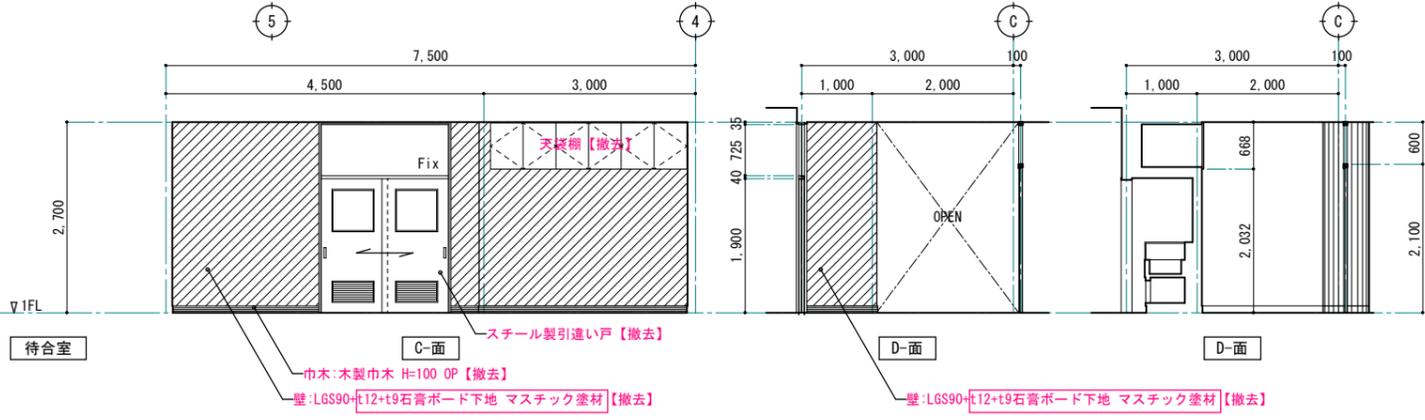
NO.

改修前

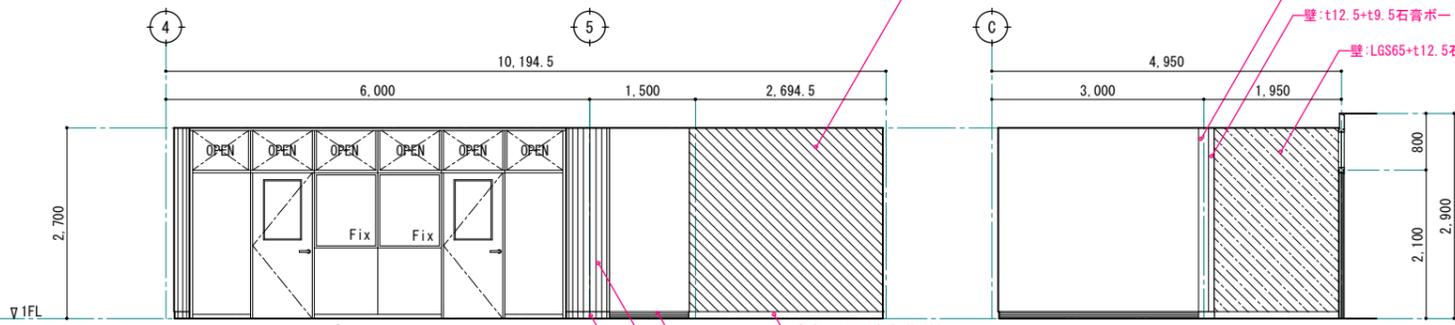


待合室	CH=2700
床	t2.0ビニル床シート【撤去】
巾木	木製巾木 H=100 OP 一部 木製巾木 H=100 OP【撤去】
壁	A面: コンクリート打放し下地 マスチック塗材
	B面: LGS100+t15+t15強化石膏ボード+t9.5石膏ボード下地 マスチック塗材
	C面: LGS90+t12+t9石膏ボード下地 マスチック塗材【撤去】
	D面: コンクリート打放し下地 マスチック塗材 一部 LGS90+t12+t9石膏ボード下地 マスチック塗材【撤去】
天井	LGS19下地【そのまま】 t9吸音化粧石膏ボード【撤去】
備考	室名札、天袋棚【撤去】

※ 赤字は、改修部分を表す。
 - 石綿含有建材を示す。
 - 石綿含有みなし材を示す。

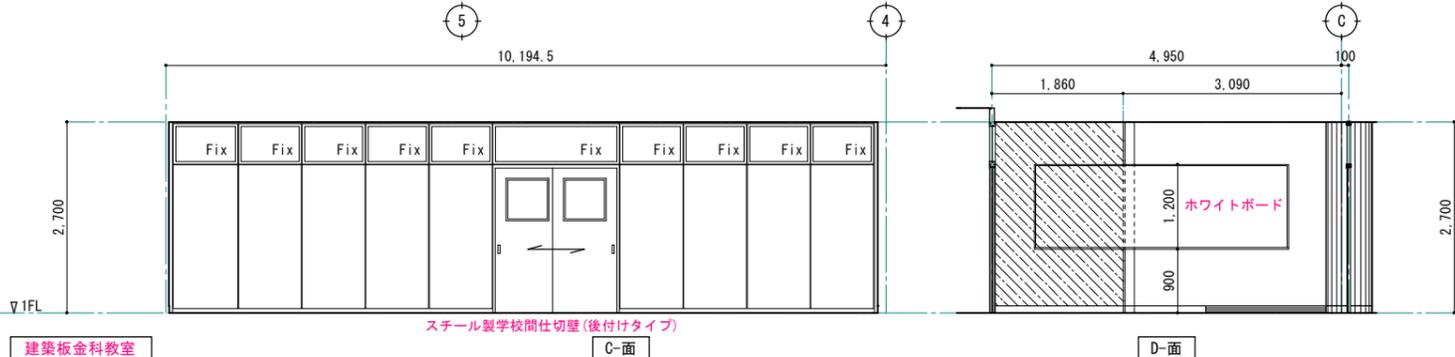


改修後

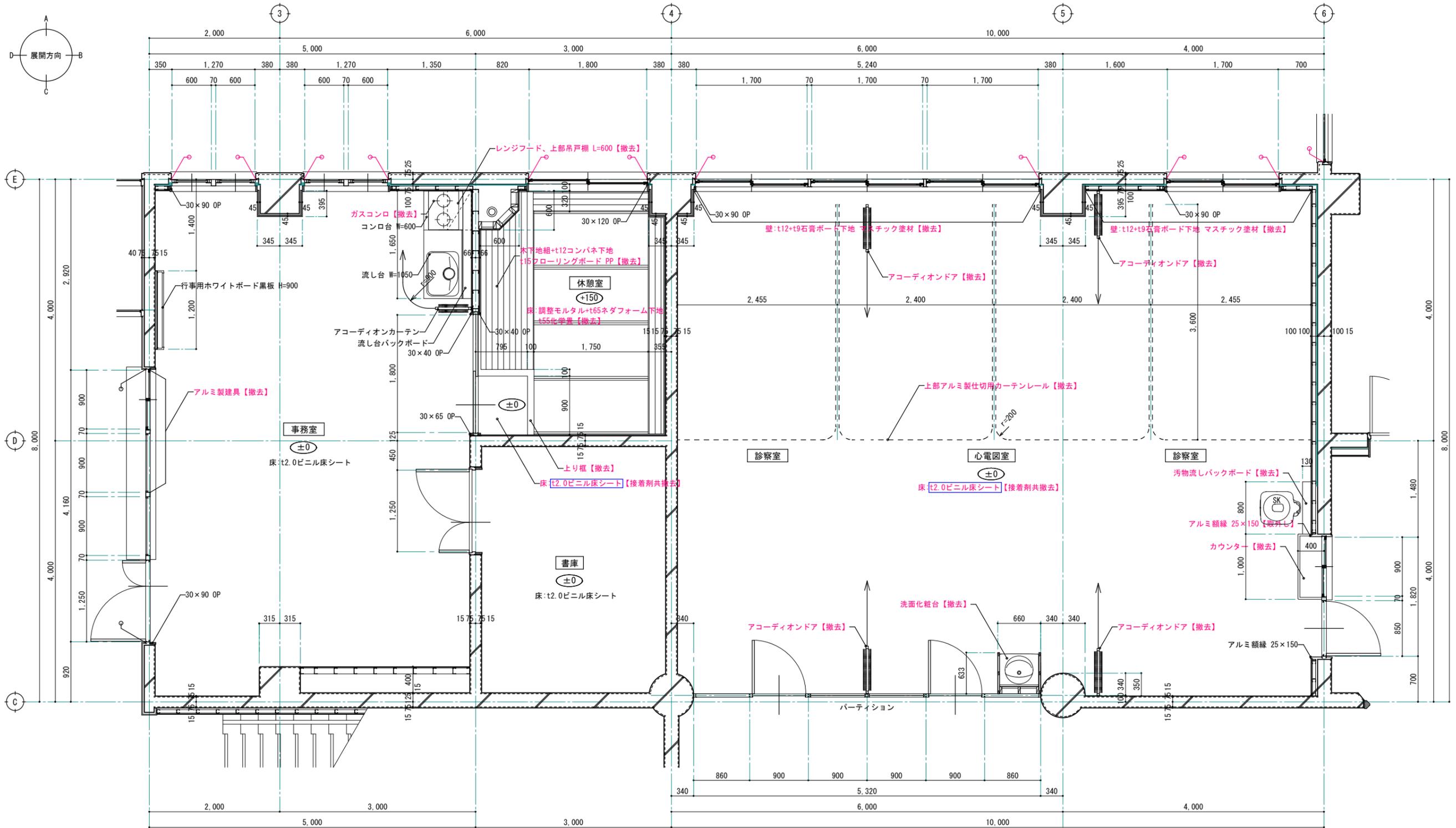


建築板金科教室	CH=2700
床	t2.0ビニル床シート
巾木	木製巾木 下地調整の上、EP-G塗替え、ソフト巾木 H=100
壁	A面: 下地調整 (RC種)の上、EP塗替え LGS50+t12.5石膏ボード下地 EP
	B面: 下地調整 (RC種)の上、EP塗替え LGS65+t12.5石膏ボード下地 EP
	C面: LGS65+t12.5石膏ボード下地 EP
	D面: 下地調整 (RC種)の上、EP塗替え LGS65+t12.5石膏ボード下地 EP
天井	LGS下地調整の上、t9.5化粧石膏ボード
備考	室名札、ホワイトボード

※ 赤字は、改修部分を表す。



改修前



改修前 1階事務室、休憩室、診察室 平面詳細図 S=1:30 (1:60)

- ※ 赤文字は、改修部分を表す。
- ※ / シーリング【撤去】
- - 石綿含有建材を示す。

1級建築士事務所 青森県知事登録第A1-1642号
 株式会社 **イクラン** 一級建築士事務所
 青森県弘前市下輪師町11
 門前 孝治 1級建築士登録第213201号

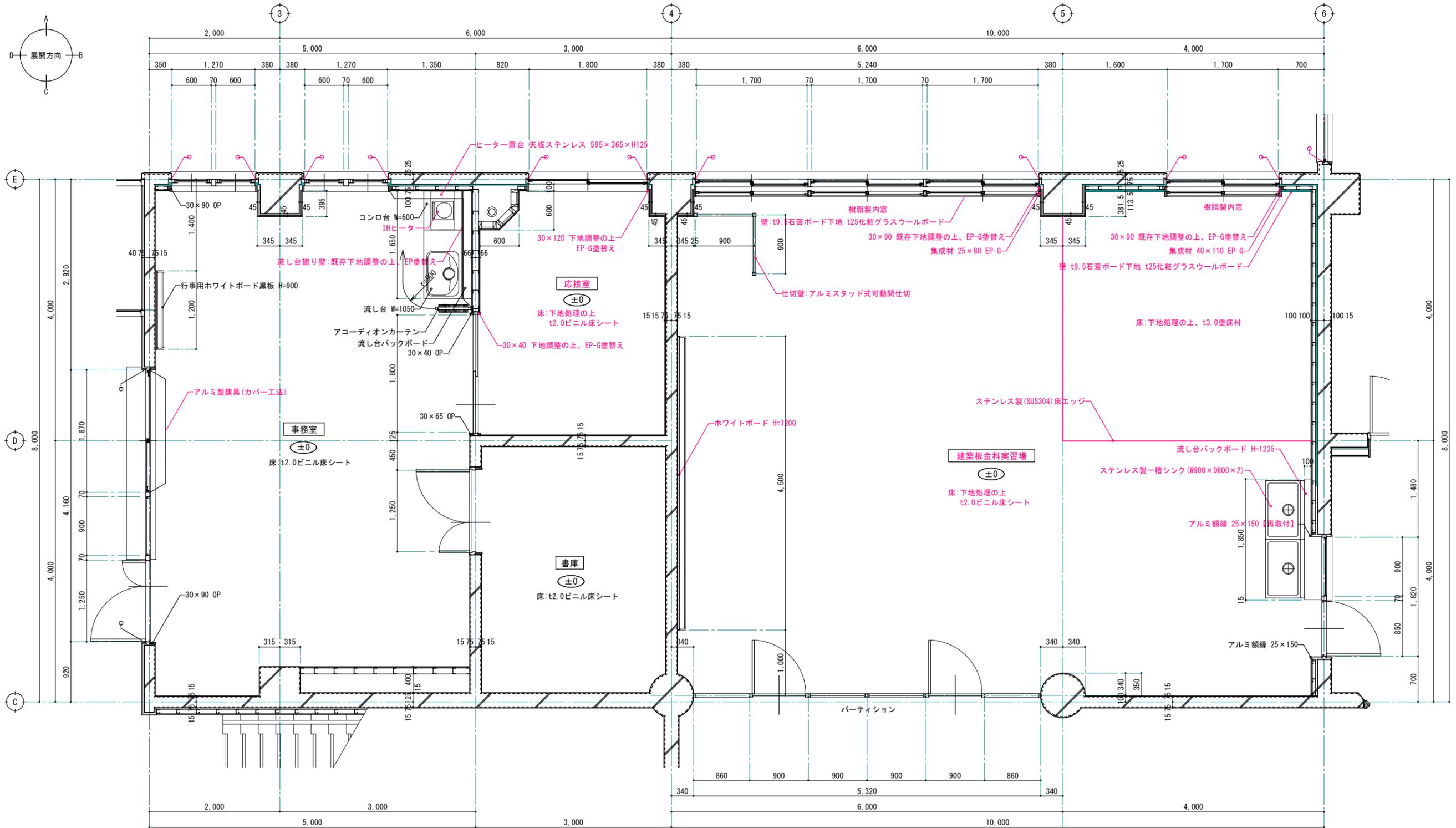
〒036-8353
 青森県弘前市下輪師町11
 TEL 0172-38-1900
 FAX 0172-39-6168

承認	設計	担当

縮尺 A1版 1:30
 A3版 1:60
 設計年月日 2024.03

工事名称 令和6年度 弘前職業能力開発校移転改修工事(建築工事)(ゼロ市債)
 図面名称 改修前 1階事務室、休憩室、診察室 平面詳細図

改修後



改修後 1階事務室、応接室、建築板金科実習場 平面詳細図 S=1:30 (1:60)

※ 赤文字は、改修部分を表す。

※ シーリング【新設】

1級建築士事務所 青森県知事登録第A1-1642号

株式会社 **イクラン** 一級建築士事務所
門前 孝治 1級建築士登録第213201号

〒036-8353

青森県弘前市下輪師町11
TEL 0172-38-1900
FAX 0172-39-6168

承認	設計	担当

縮尺 A1版 1:30
A3版 1:60

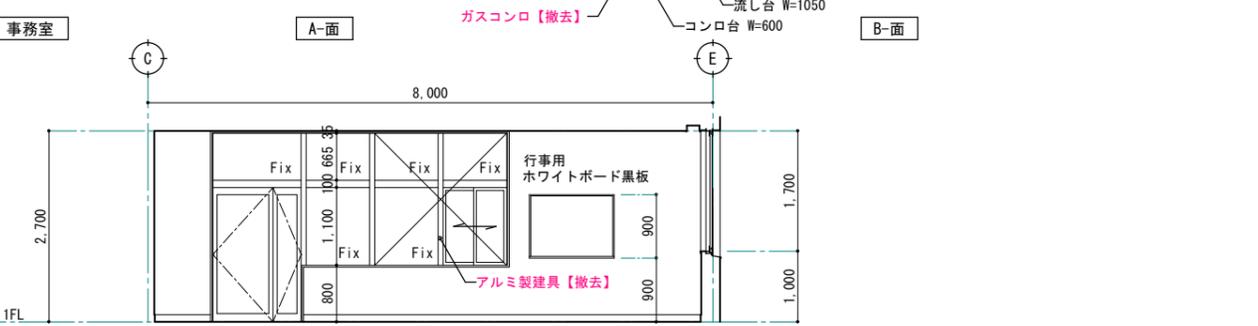
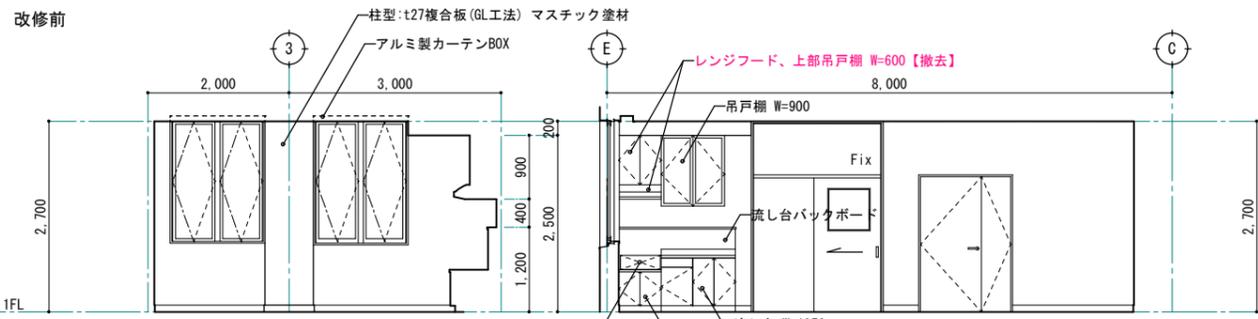
設計年月日 2024.03

工事名称 令和6年度 弘前職業能力開発校移転改修工事(建築工事)(ゼロ市債)

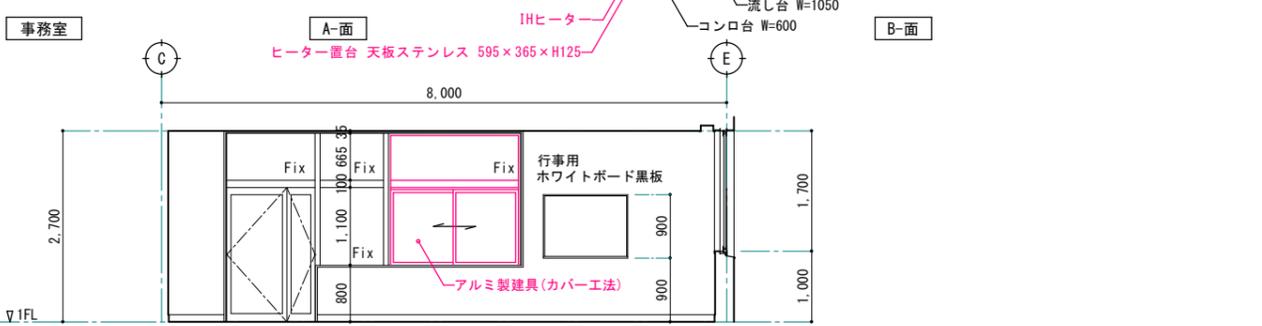
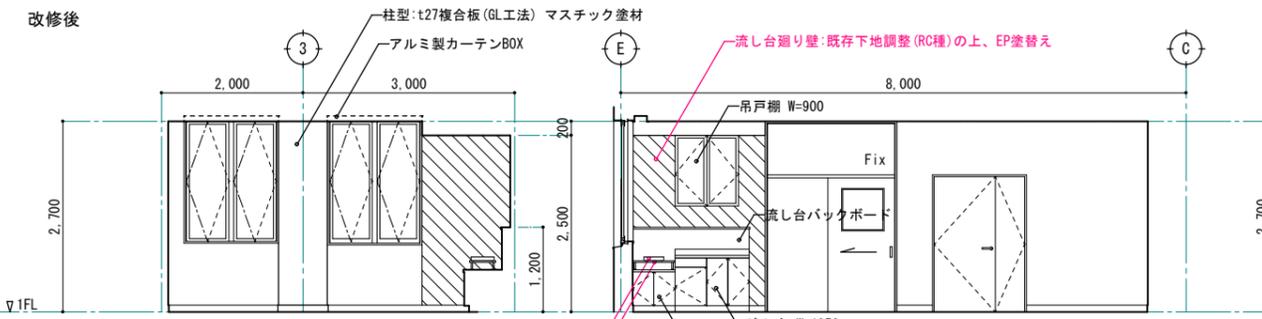
図面名称 改修後 1階事務室、応接室、建築板金科実習場 平面詳細図

A-709

NO.



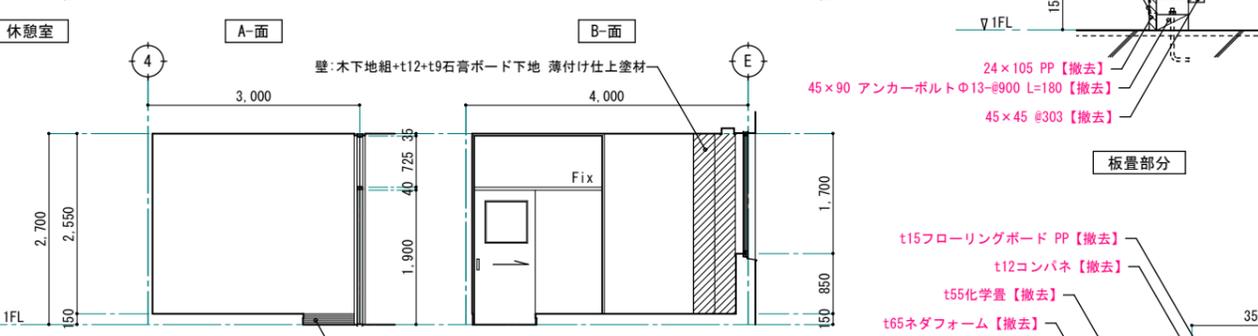
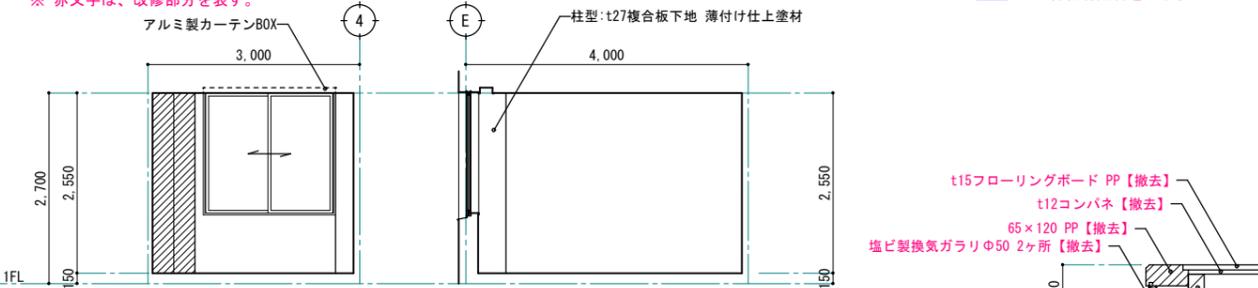
事務室		CH=2700
床	t2.0ビニル床シート	
巾木	木製巾木 H=100 OP	
壁	A面:LGS50+t12+t9石膏ボード下地 マスチック塗材	
	B面:LGS90+t12+t9石膏ボード下地 マスチック塗材 一部 コンクリート打放し下地 マスチック塗材	
	C面:LGS90+t12+t9石膏ボード下地 マスチック塗材 一部 コンクリート打放し下地 マスチック塗材	
	D面:コンクリート打放し下地 マスチック塗材	
天井	LGS19下地【そのまま】 t9吸音化粧石膏ボード【撤去】 一部 LGS19+t9石膏ボード下地【そのまま】 ビニルクロス【撤去】	
備考	室名札【撤去】、アルミ製建具【一部撤去】	



事務室		CH=2700
床	t2.0ビニル床シート	
巾木	木製巾木 H=100 OP	
壁	A面:LGS50+t12+t9石膏ボード下地 マスチック塗材 流し台廻り:既存下地調整 (RC種)の上、EP塗替え	
	B面:LGS90+t12+t9石膏ボード下地 マスチック塗材 一部 コンクリート打放し下地 マスチック塗材 流し台廻り:既存下地調整 (RC種)の上、EP塗替え	
	C面:LGS90+t12+t9石膏ボード下地 マスチック塗材 一部 コンクリート打放し下地 マスチック塗材	
	D面:コンクリート打放し下地 マスチック塗材	
天井	LGS下地調整の上、t9.5化粧石膏ボード 一部 LGS19+t9石膏ボード下地【そのまま】 クロス張り	
備考	室名札、一部 アルミ製建具 (カバー工法)、IHヒーター、置台	

※ 赤字は、改修部分を表す。

□ - 石綿含有建材を示す。

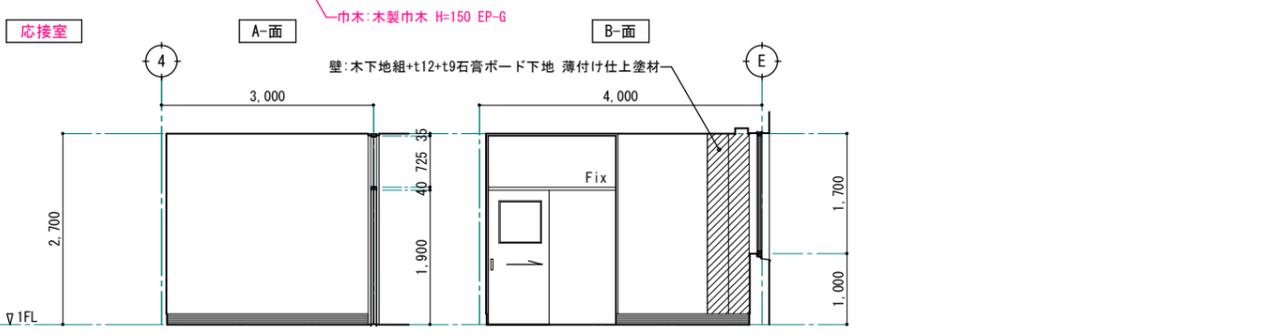
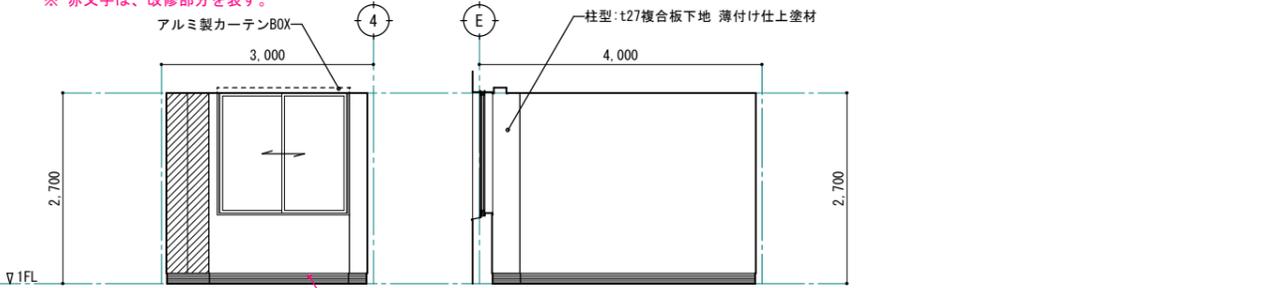


休憩室		CH=2550, CH=2700
床	t55化学量【撤去】一部 t15フローリングボードPP及t2.0ビニル床シート【撤去】	
巾木	木製巾木 H=150 PP【撤去】	
壁	A面:LGS50+t12+t9石膏ボード下地 薄付け仕上塗材	
	B面:コンクリート打放し+YNプラスター下地 薄付け仕上塗材	
	C面:コンクリート打放し+YNプラスター下地 薄付け仕上塗材	
	D面:LGS90+t12+t9石膏ボード下地 薄付け仕上塗材	
天井	LGS19【そのまま】 t9石膏ボード下地 ビニルクロス【撤去】	
備考		

※ 赤字は、改修部分を表す。 □ - 石綿含有建材を示す。

※ 赤字は、改修部分を表す。

□ - 石綿含有建材を示す。



応接室		CH=2700
床	t2.0ビニル床シート	
巾木	木製巾木 H=150 EP-G	
壁	A面:LGS50+t12+t9石膏ボード下地 薄付け仕上塗材	
	B面:コンクリート打放し+YNプラスター下地 薄付け仕上塗材	
	C面:コンクリート打放し+YNプラスター下地 薄付け仕上塗材	
	D面:LGS90+t12+t9石膏ボード下地 薄付け仕上塗材	
天井	LGS下地調整の上、t9.5化粧石膏ボード	
備考	室名札	

※ 赤字は、改修部分を表す。

1級建築士事務所 青森県知事登録第A1-1642号

株式会社 **イクラン** 一級建築士事務所
門前 孝治 1級建築士登録第213201号

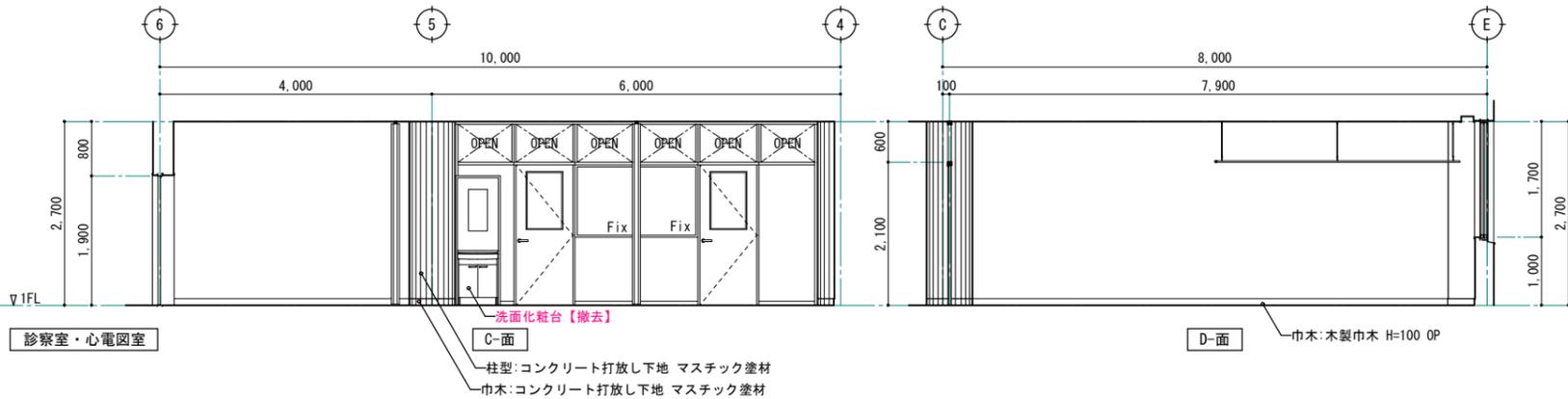
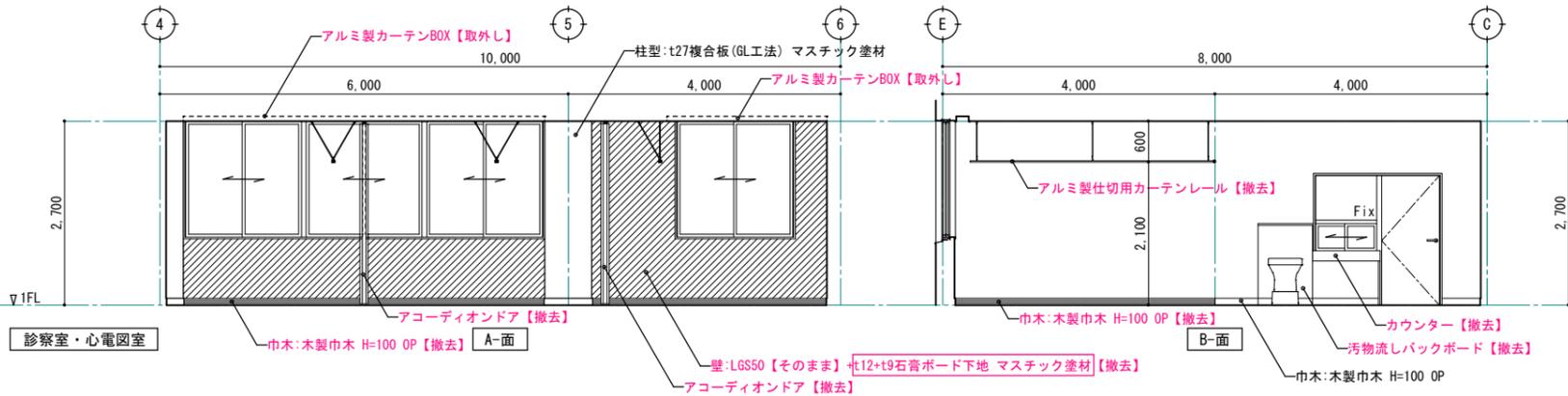
〒036-8353
青森県弘前市下輪師町11
TEL 0172-38-1900
FAX 0172-39-6168

承認 設計 担当
縮尺 A1版 1:50
A3版 1:100
設計年月日 2024.03

工事名称 令和6年度 弘前職業能力開発校移転改修工事(建築工事)(ゼロ市債)
図面名称 改修前 1階事務室、休憩室 改修後 1階事務室、応接室 展開図

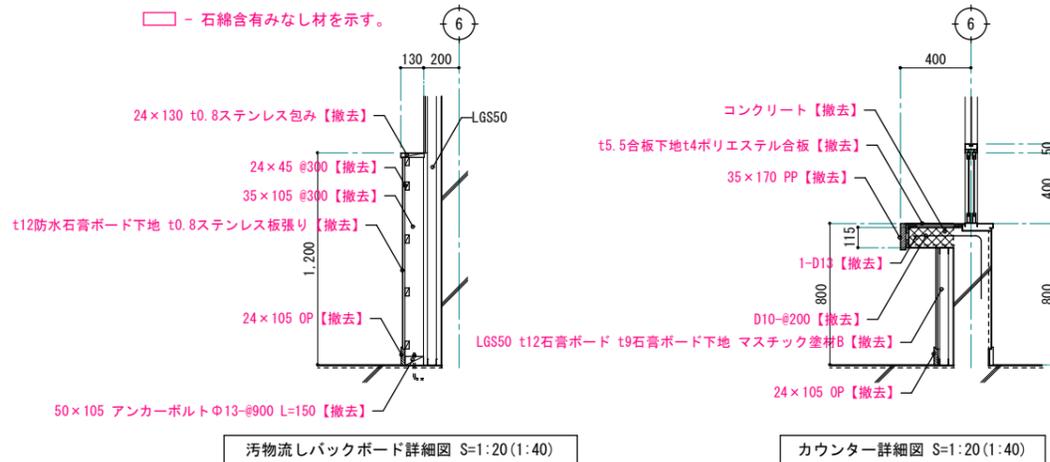
A-710
NO.

改修前

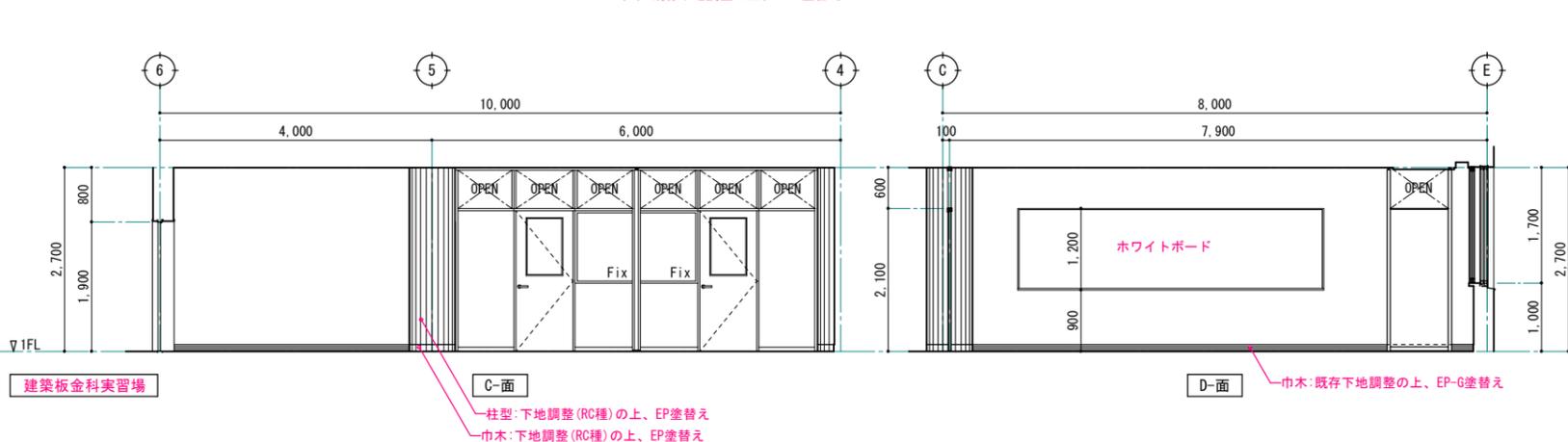
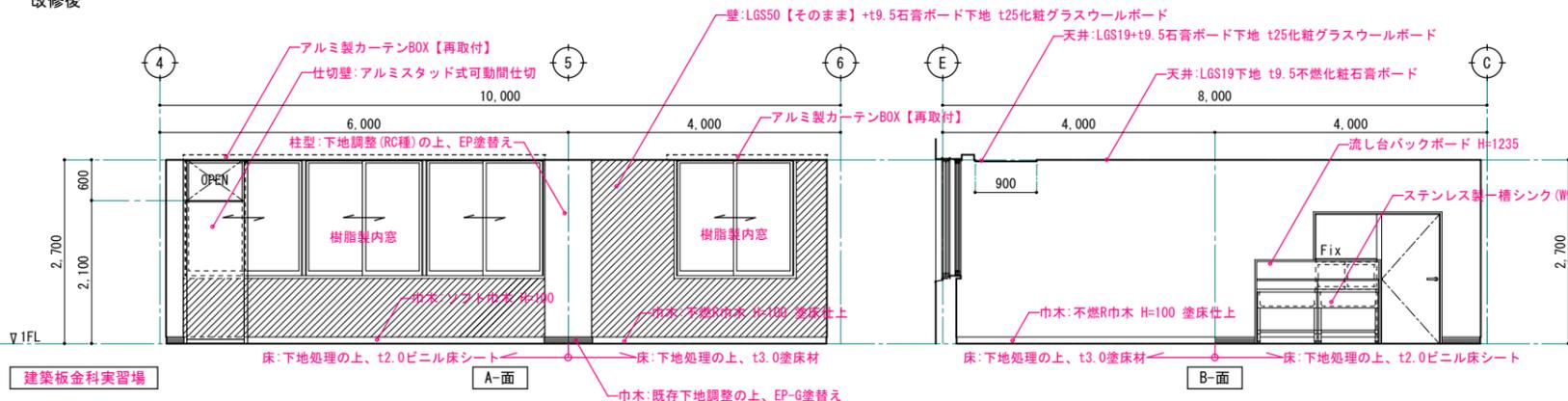


診察室・心電図室		CH=2700
床	t2.0ビニル床シート	【撤去】
巾木	木製巾木 H=100 OP	一部 木製巾木 H=100 OP【撤去】
壁	A面:LGS50【そのまま】	t12+t9石膏ボード下地 マスチック塗材【撤去】
	B面:LGS50+t12+t9石膏ボード下地	マスチック塗材
	C面:コンクリート打放し下地	マスチック塗材
	D面:コンクリート打放し下地	マスチック塗材
天井	LGS19下地 t9吸音化粧石膏ボード	【撤去】
備考	室名札×4【撤去】、カウンター【撤去】、仕切用カーテンレール【撤去】 アコーディオンドア【撤去】、汚物流しバックボード【撤去】、洗面化粧台【撤去】	

※ 赤字は、改修部分を表す。
 □ - 石綿含有建材を示す。
 □ - 石綿含有みなし材を示す。

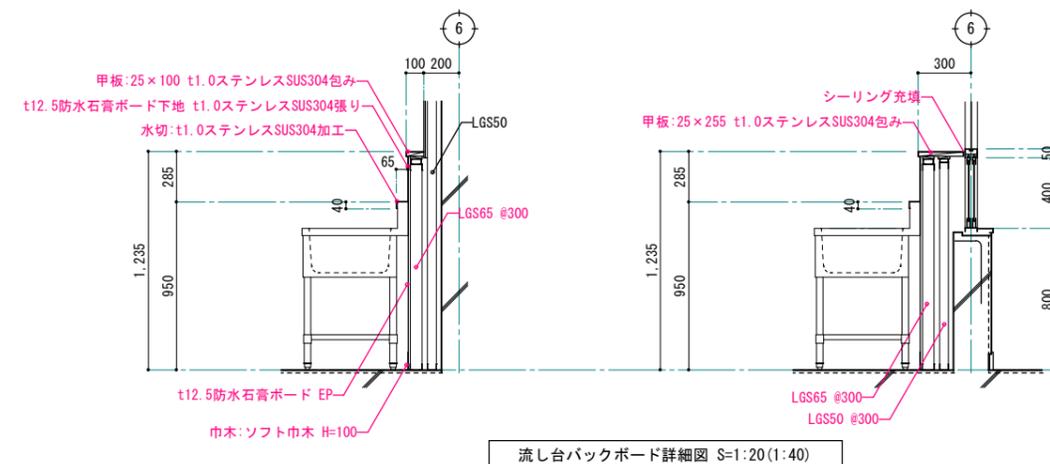


改修後

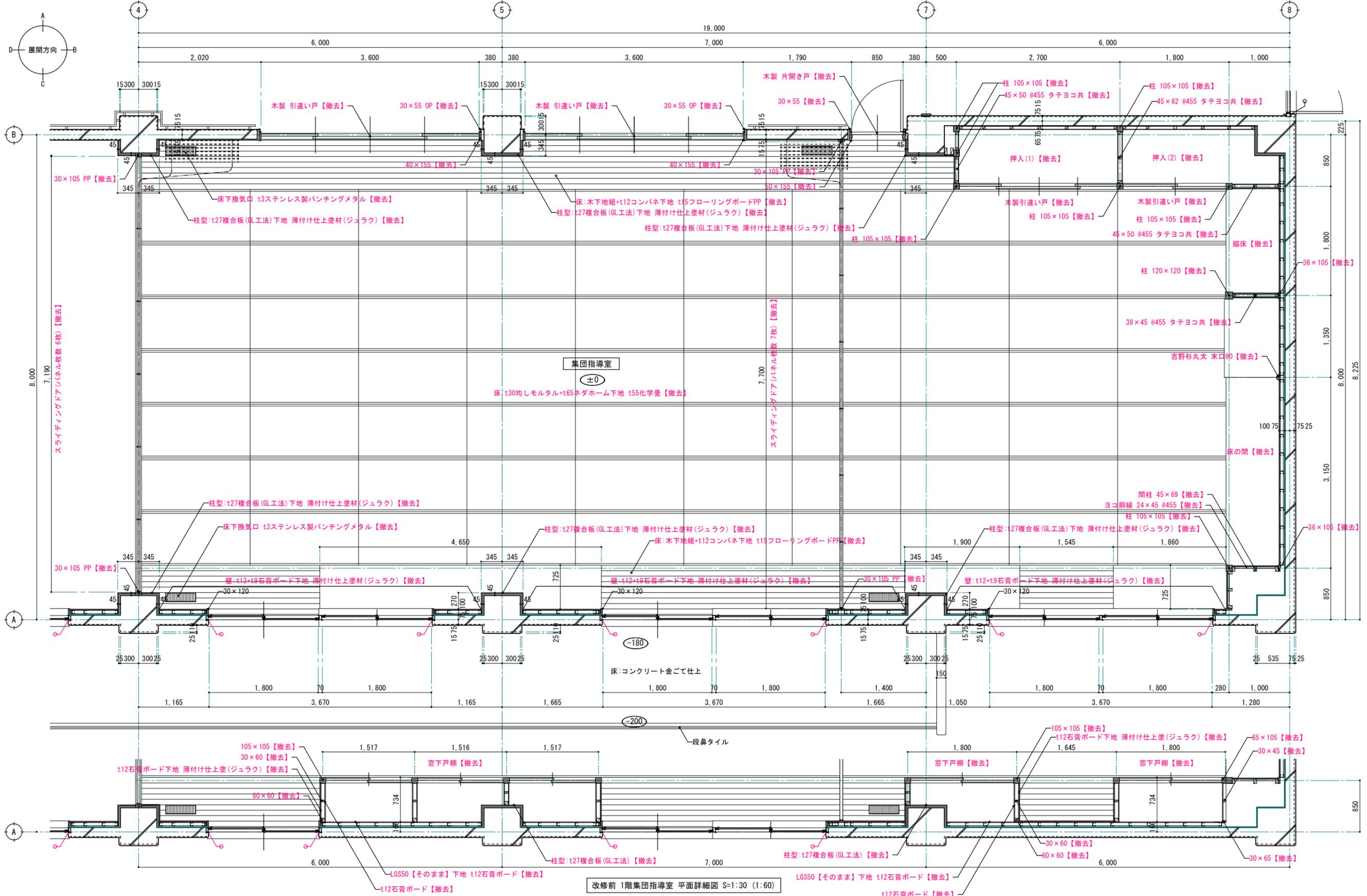


建築板金科実習場		CH=2700
床	t2.0ビニル床シート	一部 t3.0塗床材
巾木	木製巾木 下地調整の上、EP-G塗替え、ソフト巾木 H=100、不燃R巾木 H=100	塗装仕上
壁	A面:LGS50【そのまま】	+t9.5石膏ボード下地 t25化粧ガラスウールボード
	B面:下地調整(RC種)の上、EP塗替え	
	C面:下地調整(RC種)の上、EP塗替え	
	D面:下地調整(RC種)の上、EP塗替え	
天井	LGS下地調整の上、t9.5不燃化粧石膏ボード	一部 LGS19+t9.5石膏ボード下地 t25化粧ガラスウールボード張り
備考	室名札、ステンレス製一槽シンク×2、流し台バックボード ホワイトボード、ステンレス製(SUS304)床エッジ	

※ 赤字は、改修部分を表す。



改修前



改修前 1階集团指導室 平面詳細図 S=1:30 (1:60)

※ 赤字は、改修部分を表す。

※ シーリング【撤去】

1級建築士事務所 青森県知事登録第A1-1642号

株式会社 **イクラン** 一級建築士事務所
青森県弘前市下輪師町11
TEL 0172-38-1900
FAX 0172-39-6168
門前 孝治 1級建築士登録第213201号

〒036-8353
承認 設計 担当

縮尺 A1版 1:30
A3版 1:60

設計年月日 2024.03

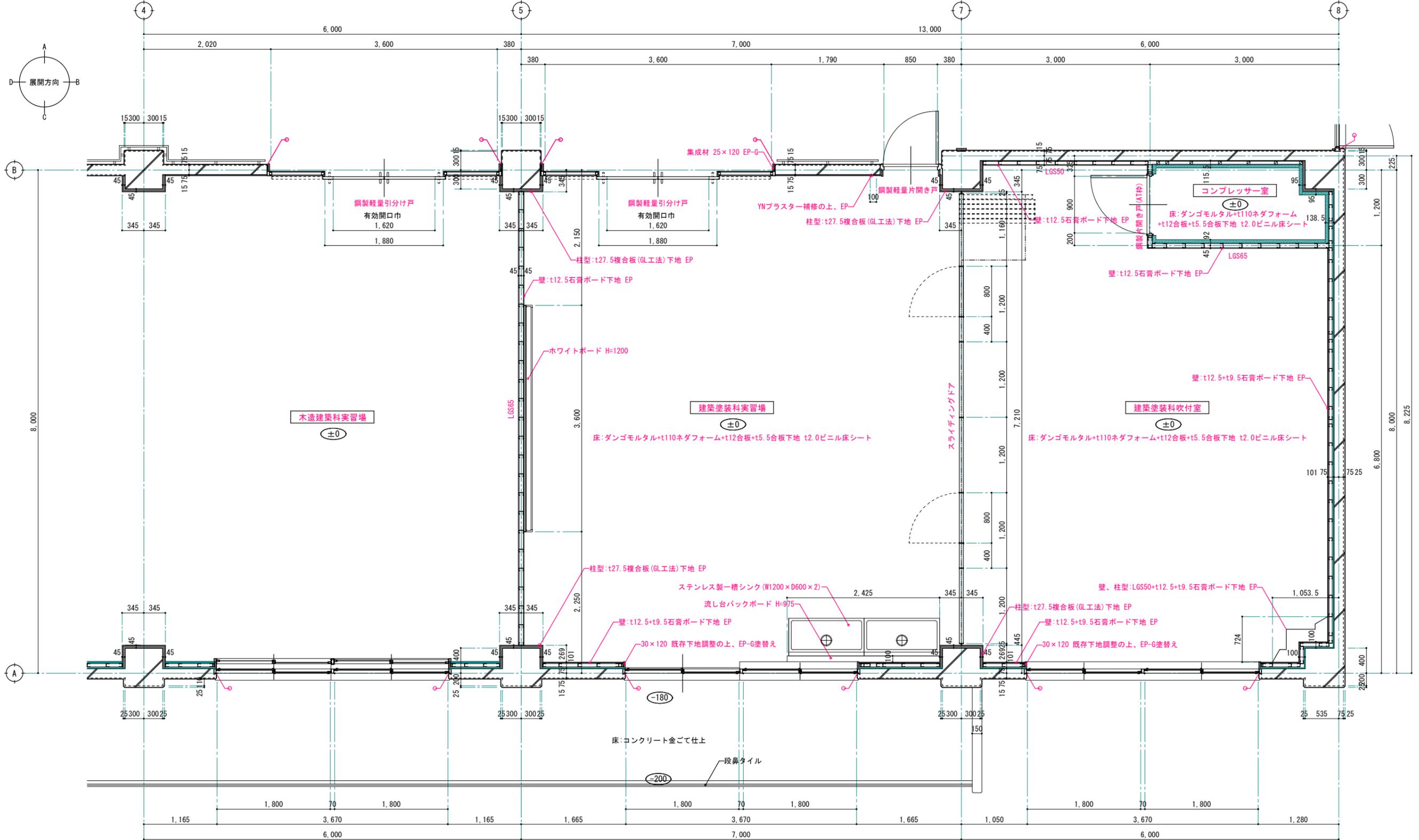
工事名称 令和6年度 弘前職業能力開発校移転改修工事(建築工事)(ゼロ市債)

図面名称 改修前 1階集团指導室 平面詳細図

A-712

NO.

改修後



改修後 1階建築塗装科実習場、建築塗装科吹付室、コンプレッサー室 平面詳細図 S=1:30 (1:60)

※ 赤字は、改修部分を表す。

※ / シーリング【新設】

1級建築士事務所 青森県知事登録第A1-1642号

株式会社 **エクラ** 一級建築士事務所
青森県弘前市下輪師町11
TEL 0172-38-1900
FAX 0172-39-6168

〒036-8353
承認 設計 担当

縮尺 A1版 1:30
A3版 1:60

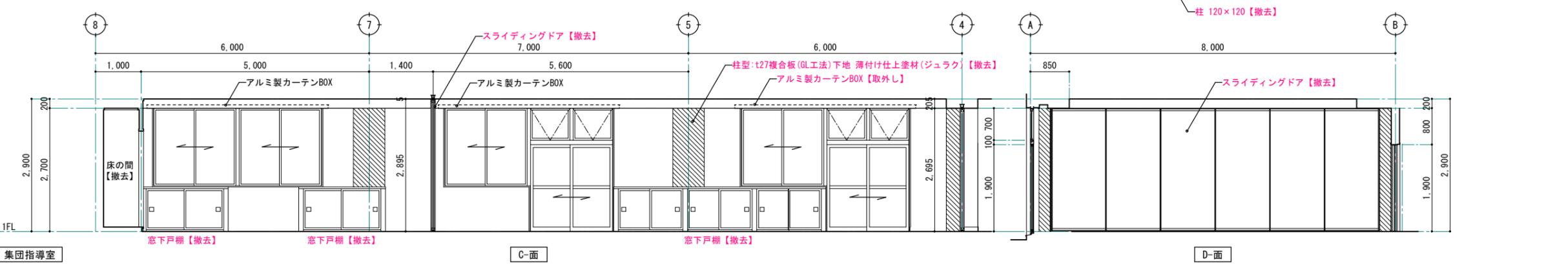
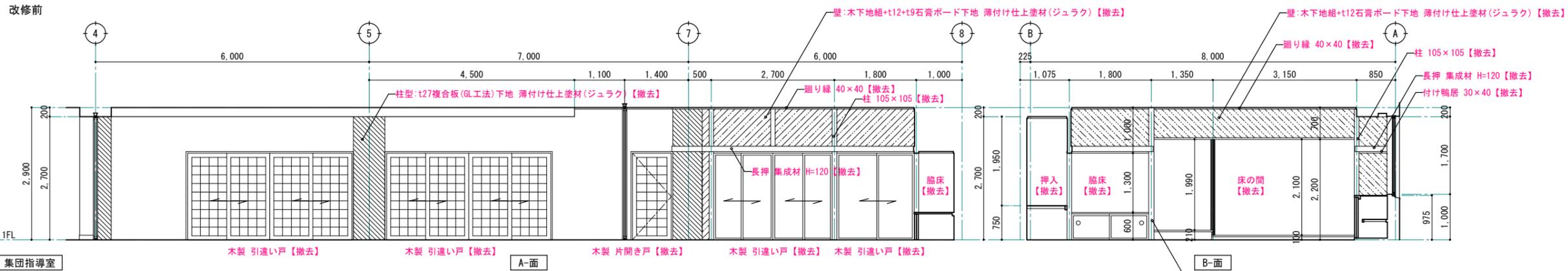
設計年月日 2024.03

工事名称 令和6年度 弘前職業能力開発校移転改修工事(建築工事)(ゼロ市債)

図面名称 改修後 1階建築塗装科実習場、建築塗装科吹付室、コンプレッサー室 平面詳細図

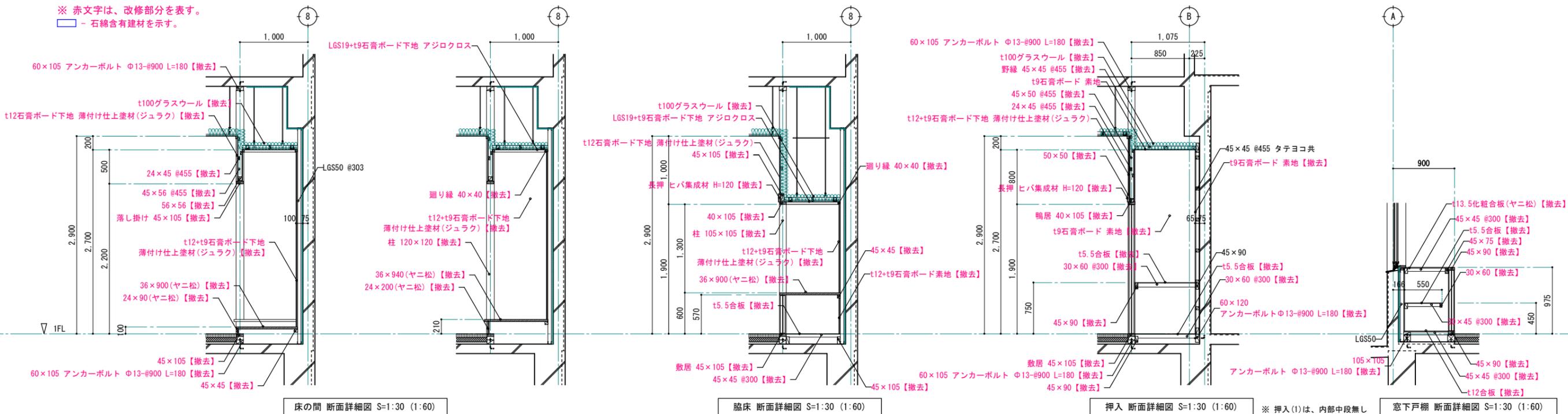
A-713

NO.



集団指導室		CH=2700、CH=2900
床	t65ネダホーム下地 t55化学塗	【撤去】
巾木	木下地組+t12コンパネ下地 t15フローリングボード	【撤去】
壁	A面:コンクリート打放し YNプラスター下地 薄付け仕上塗材(ジュラク)	
	木下地組+t12+t9石膏ボード下地 薄付け仕上塗材(ジュラク)	【撤去】
	B面:LGS50【そのまま】+t12+t9石膏ボード下地 薄付け仕上塗材(ジュラク)	【撤去】
	C面:LGS50【そのまま】+t12+t9石膏ボード下地 薄付け仕上塗材(ジュラク)	【撤去】
	D面:	
天井	LGS19+t9石膏ボード下地 ビニールクロス	【撤去】
備考	室名札【撤去】、スライディングドア【撤去】、押入(1)、押入(2)【撤去】	
	床の間【撤去】、脇床【撤去】、窓下戸棚【撤去】	

※ 赤文字は、改修部分を表す。
 □ - 石綿含有建材を示す。



床の間 断面詳細図 S=1:30 (1:60)

脇床 断面詳細図 S=1:30 (1:60)

押入 断面詳細図 S=1:30 (1:60)

窓下戸棚 断面詳細図 S=1:30 (1:60) ※ 押入(1)は、内部中段無し

1級建築士事務所 青森県知事登録第A1-1642号
 株式会社 **イクラン** 一級建築士事務所
 門前 孝治 1級建築士登録第213201号

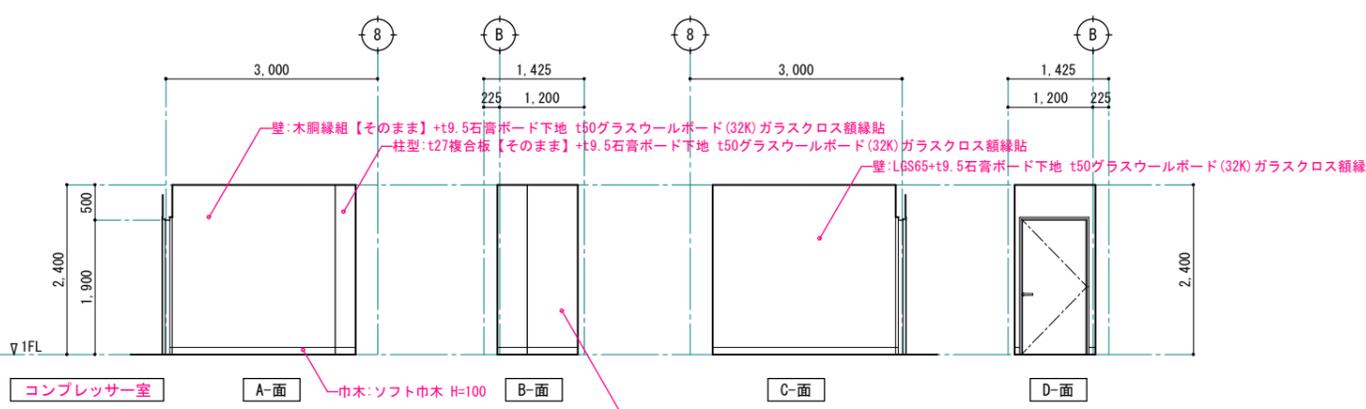
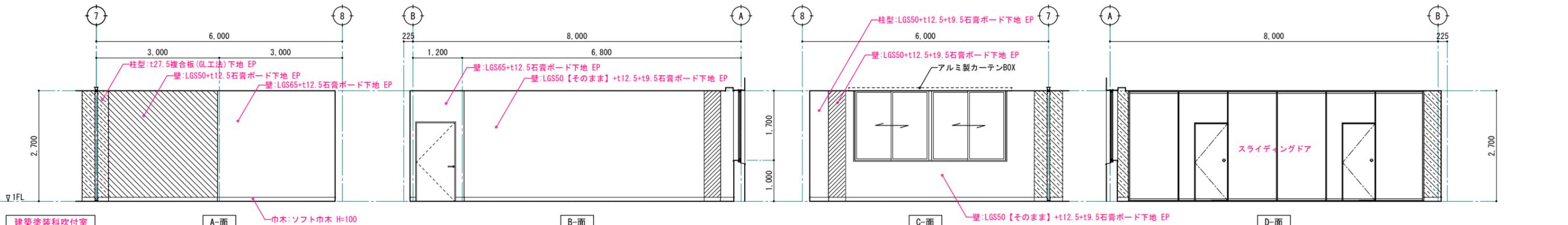
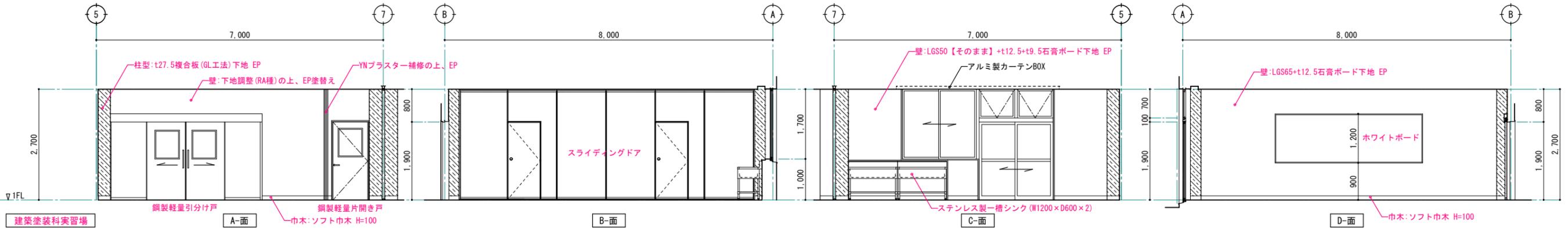
〒036-8353
 青森県弘前市下輪町11
 TEL 0172-38-1900
 FAX 0172-39-6168

承認 設計 担当
 縮尺 A1版 1:50
 A3版 1:100
 設計年月日 2024.03

工事名称 令和6年度 弘前職業能力開発校移転改修工事(建築工事)(ゼロ市債)
 図面名称 改修前 1階集団指導室 展開図、床の間・脇床・押入断面詳細図

A-714
 NO.

改修後

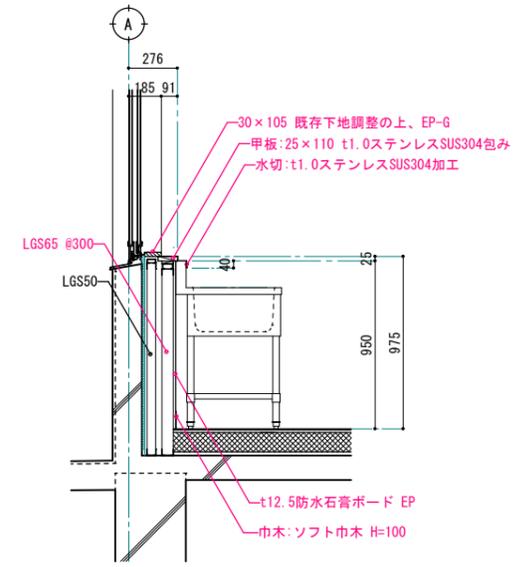


建築塗装科実習場		CH=2700
床	t2.0ビニル床シート	
巾木	ソフト巾木 H=100	
壁	A面:下地調整(RA種)の上、EP塗替え B面:LGS50【そのまま】+t12.5+t9.5石膏ボード下地 EP C面:LGS50【そのまま】+t12.5+t9.5石膏ボード下地 EP D面:LGS65+t12.5石膏ボード下地 EP	
天井	LGS19下地 t9.5化粧石膏ボード	
備考	室名札×2、ホワイトボード、ステンレス製一槽シンク×2、流し台バックボード	

建築塗装科吹付室		CH=2700
床	t2.0ビニル床シート	
巾木	ソフト巾木 H=100	
壁	A面:LGS50+t12.5石膏ボード下地 EP LGS65+t12.5石膏ボード下地 EP B面:LGS65+t12.5石膏ボード下地 EP LGS50【そのまま】+t12.5+t9.5石膏ボード下地 EP C面:LGS50【そのまま】+t12.5+t9.5石膏ボード下地 EP D面:	
天井	LGS19下地 t9.5化粧石膏ボード	
備考		

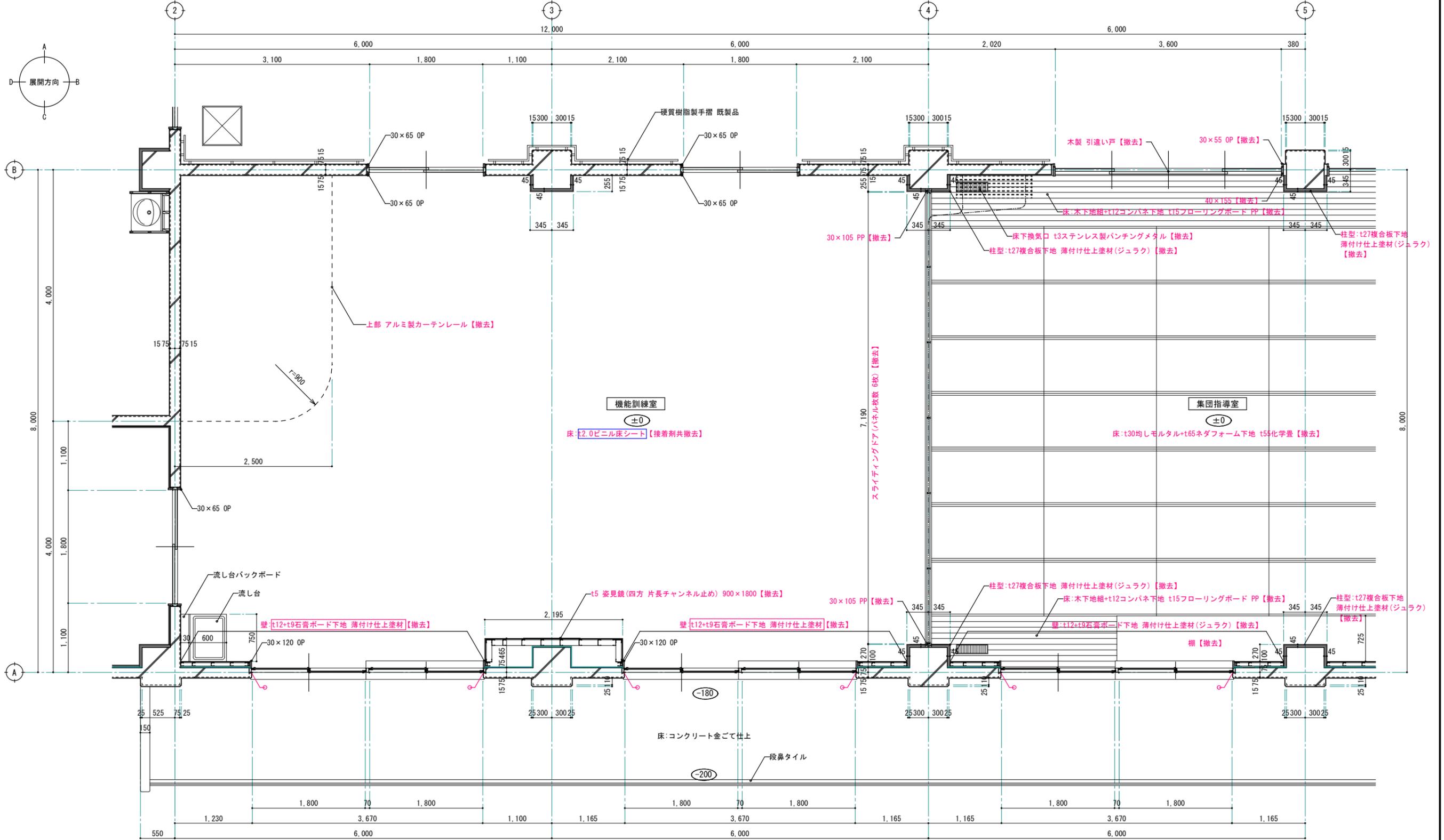
※ 赤字は、改修部分を表す。

コンプレッサー室		CH=2400
床	t2.0ビニル床シート	
巾木	ソフト巾木 H=100	
壁	A面:木脚縁組【そのまま】+t9.5石膏ボード下地 t50グラスウールボード(32K)ガラスクロス額縁貼 B面:LGS50【そのまま】+t9.5石膏ボード下地 t50グラスウールボード(32K)ガラスクロス額縁貼 C面:LGS65+t9.5石膏ボード下地 t50グラスウールボード(32K)ガラスクロス額縁貼 D面:LGS65+t9.5石膏ボード下地 t50グラスウールボード(32K)ガラスクロス額縁貼	
天井	LGS19+t9.5石膏ボード下地 t50グラスウールボード(32K)ガラスクロス貼り	
備考		



流し台バックボード詳細図 S=1:20(1:40)

改修前



改修前 1階機能訓練室 平面詳細図 S=1:30 (1:60)

- ※ 赤文字は、改修部分を表す。
- ※ / シーリング【撤去】
- - 石綿含有建材を示す。
- - 石綿含有みなし材を示す。

1級建築士事務所 青森県知事登録第A1-1642号
 株式会社 **イクラ** 一級建築士事務所
 門前 孝治 1級建築士登録第213201号

〒036-8353
 青森県弘前市下輪師町11
 TEL 0172-38-1900
 FAX 0172-39-6168

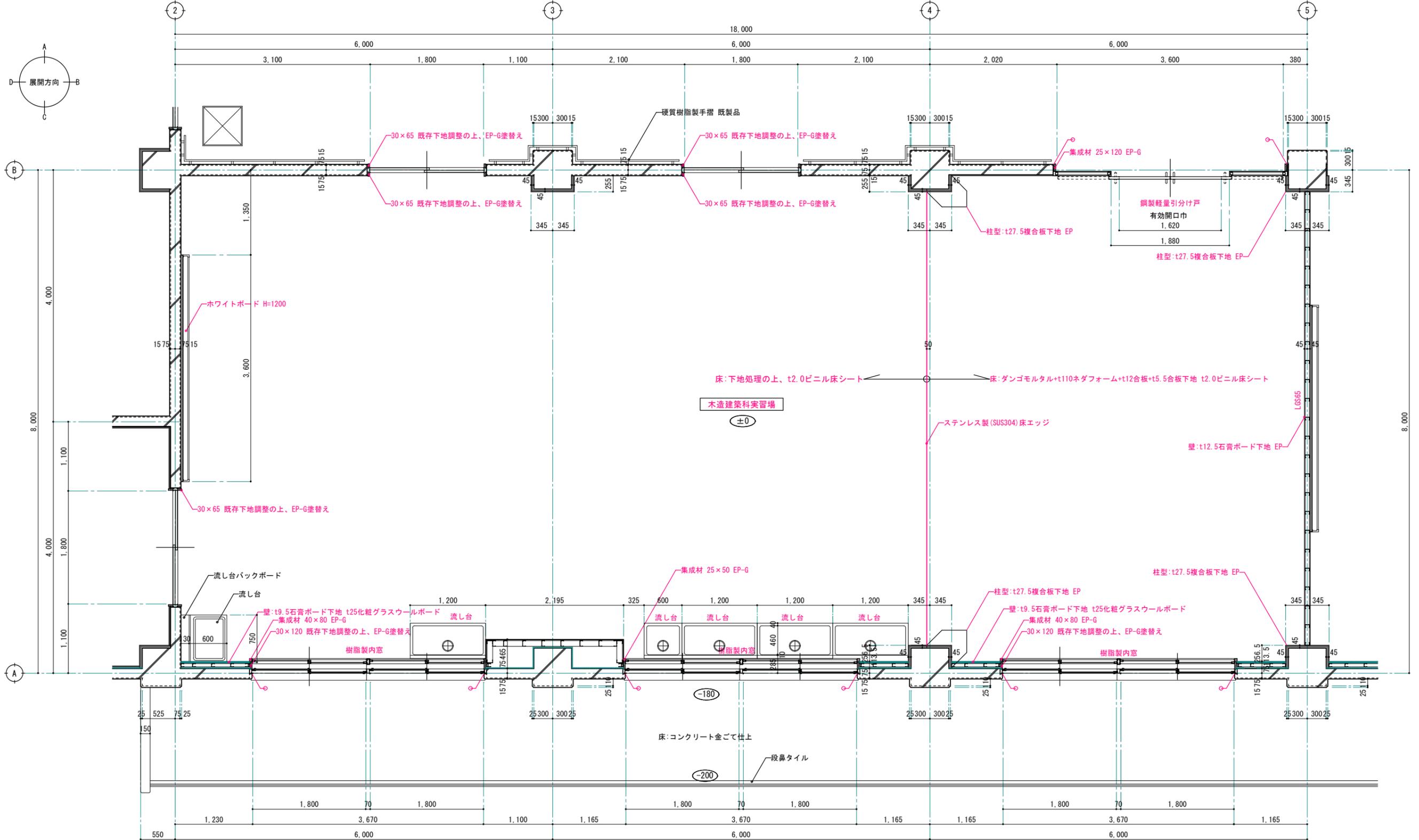
承認	設計	担当

縮尺 A1版 1:30
 A3版 1:60
 設計年月日 2024.03

工事名称 令和6年度 弘前職業能力開発校移転改修工事(建築工事)(ゼロ市債)
 図面名称 改修前 1階機能訓練室 平面詳細図

A-716
 NO.

改修後

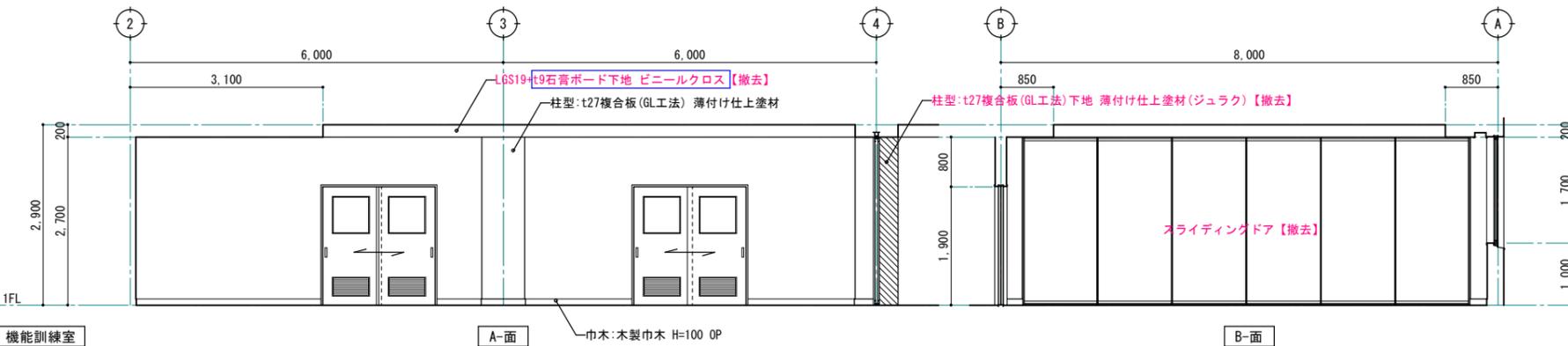


改修後 1階木造建築科実習場 平面詳細図 S=1:30 (1:60)

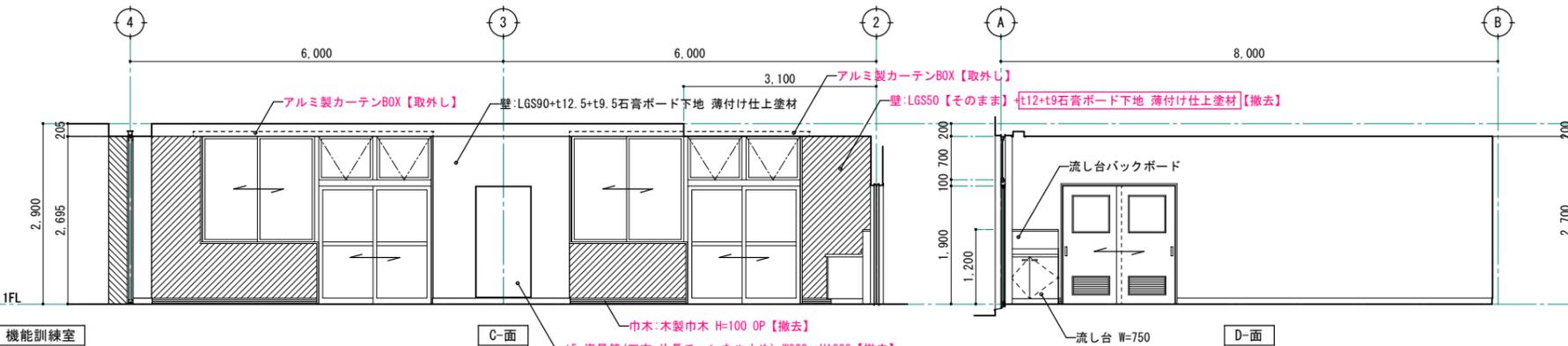
※ 赤文字は、改修部分を表す。
 ※ / シーリング【新設】

1級建築士事務所 青森県知事登録第A1-1642号 株式会社 エクラ 1級建築士事務所 門前 孝治 1級建築士登録第213201号	〒036-8353 青森県弘前市下輪師町11 TEL 0172-38-1900 FAX 0172-39-6168	承認	設計	担当	縮尺	工事名称 令和6年度 弘前職業能力開発校移転改修工事(建築工事)(ゼロ市債) 図面名称 改修後 1階木造建築科実習場 平面詳細図	A-717 NO.
					縮尺 A1版 1:30 A3版 1:60		
					設計年月日	2024.03	

改修前



機能訓練室

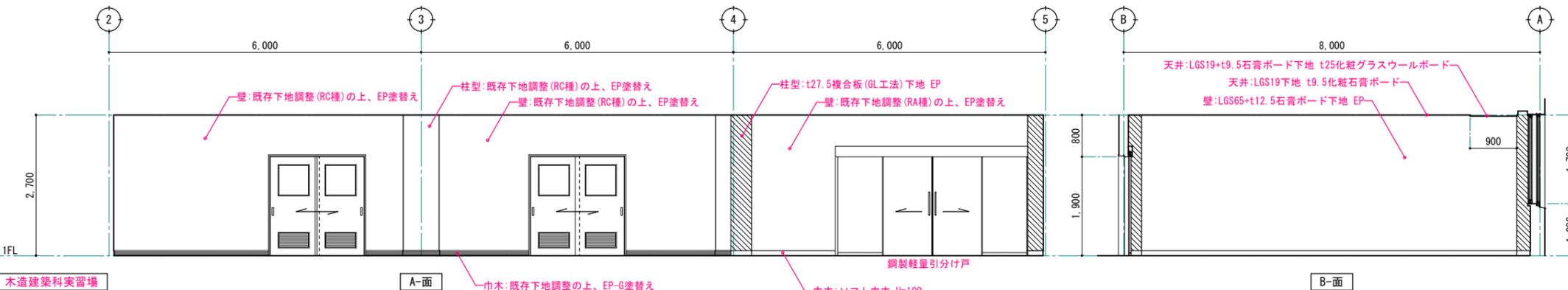


機能訓練室

機能訓練室	CH=2700、CH=2900
床	t2.0ビニル床シート【撤去】
巾木	木製巾木 H=100 OP 一部 木製巾木 H=100 OP【撤去】
壁	A面:コンクリート打放し下地 薄付け仕上塗材 B面: C面:LGS50+t12.5+t9.5石膏ボード下地 薄付け仕上塗材 LGS50+t12.5+t9.5石膏ボード下地 薄付け仕上塗材【撤去】 D面:コンクリート打放し下地 薄付け仕上塗材
天井	LGS19+t9石膏ボード下地 ビニルクロス【撤去】
備考	室名札【撤去】、スライディングドア【撤去】、姿見鏡【撤去】

※ 赤字は、改修部分を表す。
 □ - 石綿含有建材を示す。
 □ - 石綿含有みなし材を示す。

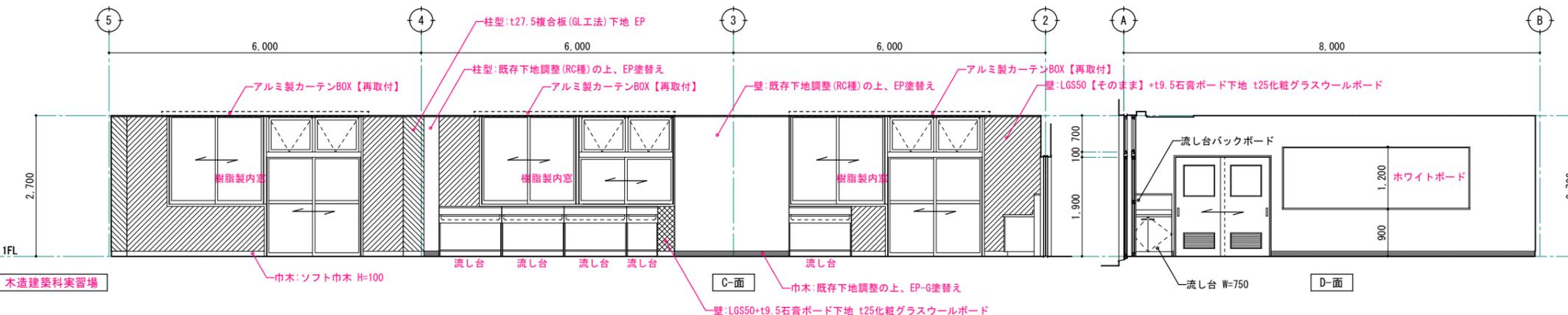
改修後



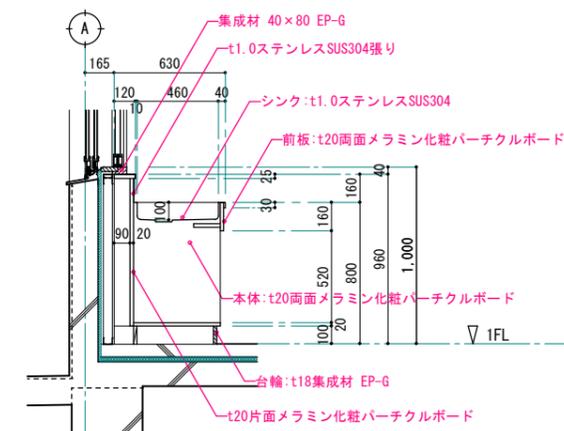
木造建築科実習場

木造建築科実習場	CH=2700
床	t2.0ビニル床シート【撤去】
巾木	木製巾木 下地調整の上、EP-G塗替え、ソフト巾木 H=100
壁	A面:既存下地調整(RC種)の上、EP塗替え 一部 既存下地調整(RA種)の上、EP塗替え B面:LGS65+t12.5石膏ボード下地 EP C面:LGS50【そのまま】+t9.5石膏ボード下地 t25化粧グラスウールボード 下地調整(RC種)の上、EP塗替え D面:下地調整(RC種)の上、EP塗替え
天井	LGS19下地 t9.5化粧石膏ボード 一部 LGS19+t9.5石膏ボード下地 t25化粧グラスウールボード
備考	室名札、ホワイトボード、流し台 W=1200×4、W=600×1 ステンレス製(SUS304)床エッジ

※ 赤字は、改修部分を表す。

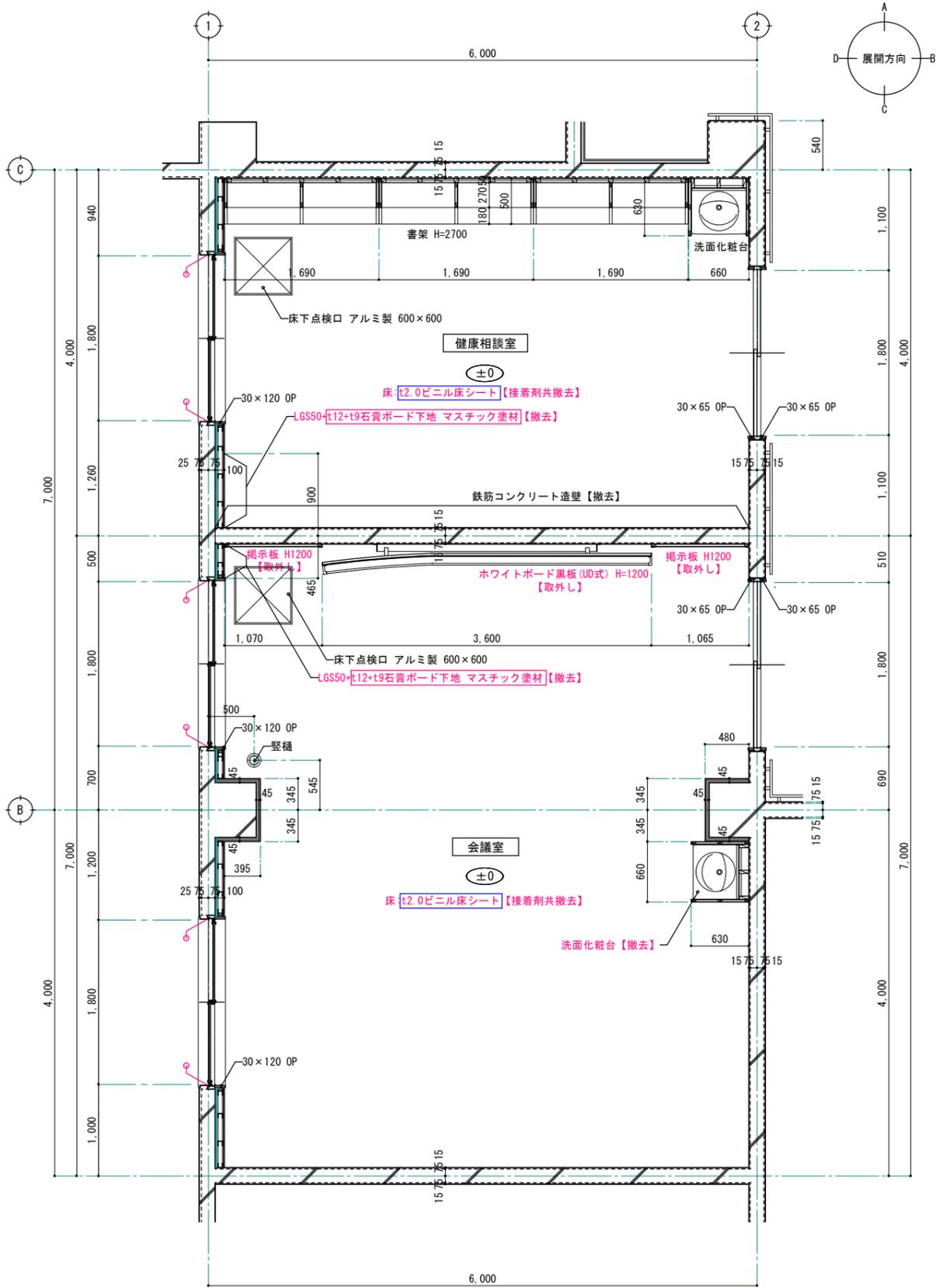


木造建築科実習場



流し台詳細図 S=1:20(1:40)

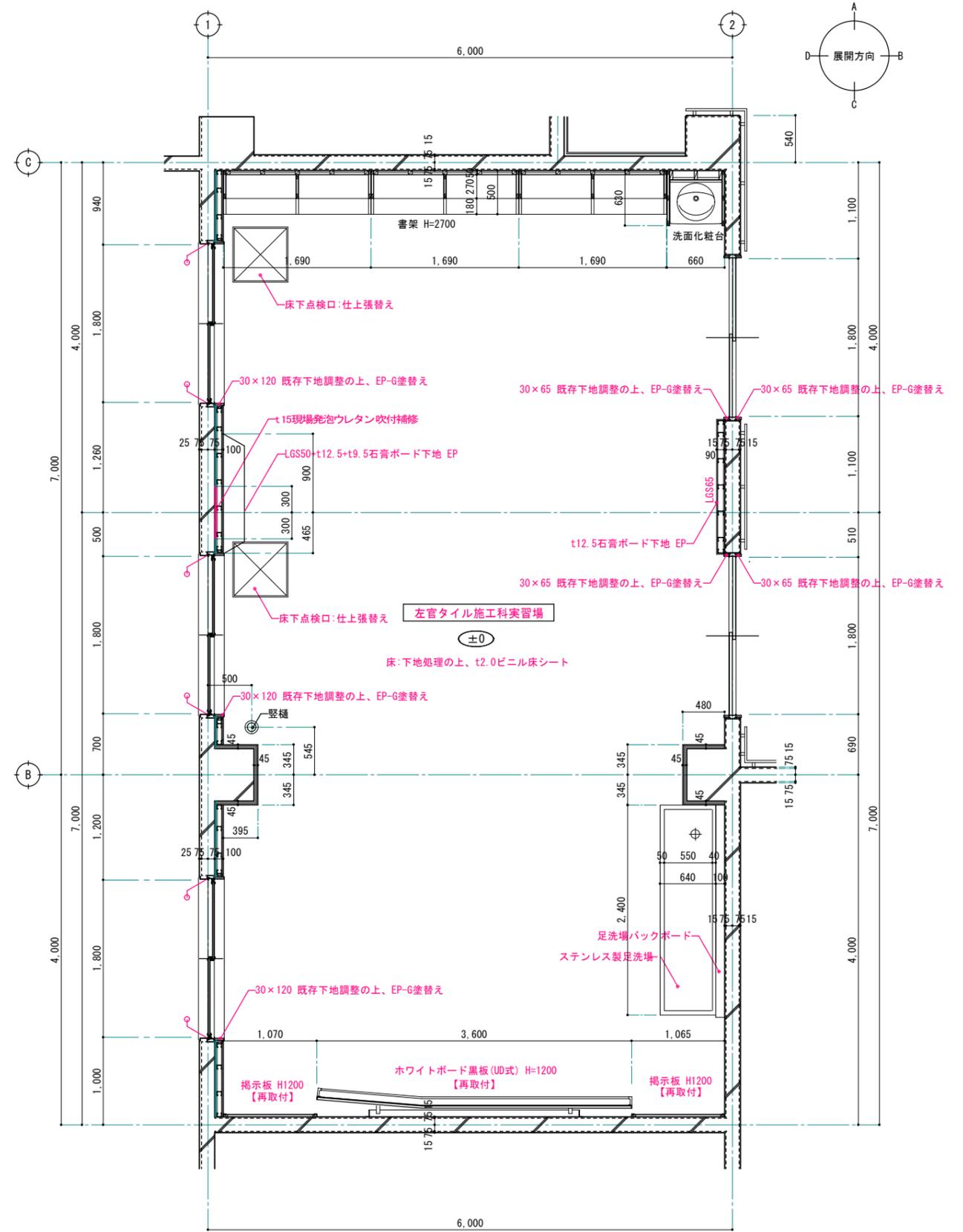
改修前



改修前 1階健康相談室、会議室 平面詳細図 S=1:30 (1:60)

※ 赤文字は、改修部分を表す。 - 石綿含有建材を示す。
 ※ シーリング【撤去】 - 石綿含有みなし材を示す。

改修後



改修後 1階左官・タイル施工科実習場 平面詳細図 S=1:30 (1:60)

※ 赤文字は、改修部分を表す。
 ※ シーリング【新設】

1級建築士事務所 青森県知事登録第A1-1642号

株式会社 **イクラン** 一級建築士事務所
 青森県弘前市下輪師町11
 門前 孝治 1級建築士登録第213201号

〒036-8353
 TEL 0172-38-1900
 FAX 0172-39-6168

承認	設計	担当

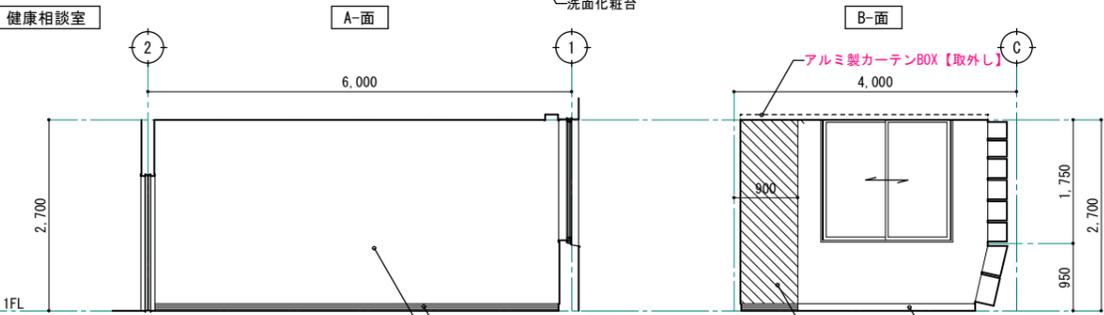
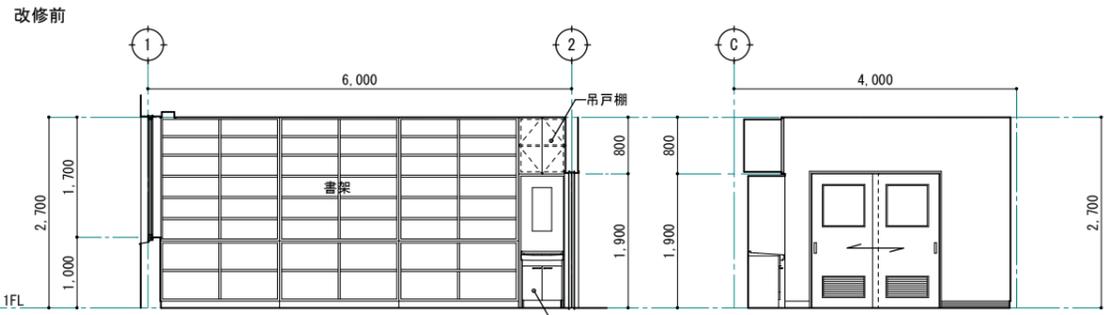
縮尺	A1版 1:30 A3版 1:60
設計年月日	2024.01

工事名称 令和6年度 弘前職業能力開発校移転改修工事(建築工事)(ゼロ市債)

図面名称 改修前 1階健康相談室、会議室 改修後 1階左官タイル施工科実習場平面詳細図

A-719

NO.



健康相談室 CH=2700

床 t2.0ビニル床シート【撤去】

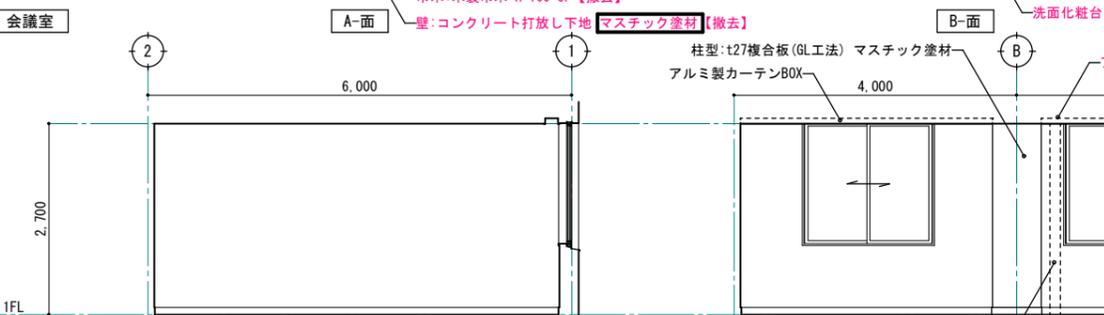
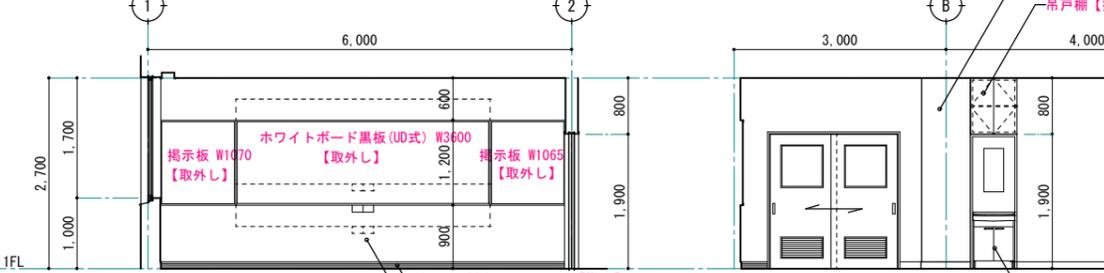
巾木 木製巾木 H=100 OP 一部 木製巾木 H=100 OP【撤去】

壁 A面: コンクリート打放し下地 マスチック塗材
B面: コンクリート打放し下地 マスチック塗材
C面: コンクリート打放し下地 マスチック塗材【撤去】
D面: LGS50+t12+t9石膏ボード下地 マスチック塗材
LGS50+t12+t9石膏ボード下地 マスチック塗材【撤去】

天井 LGS19【そのまま】下地 t9吸音化粧石膏ボード【撤去】一部 下地仕上共【撤去】

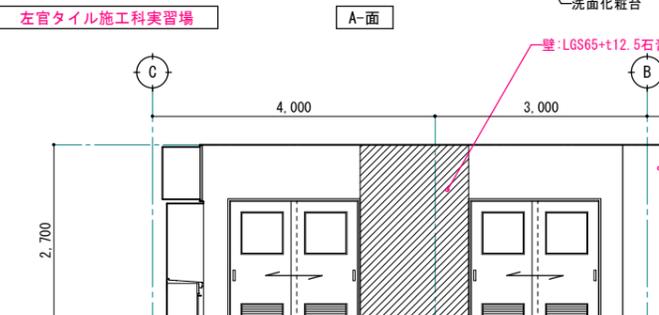
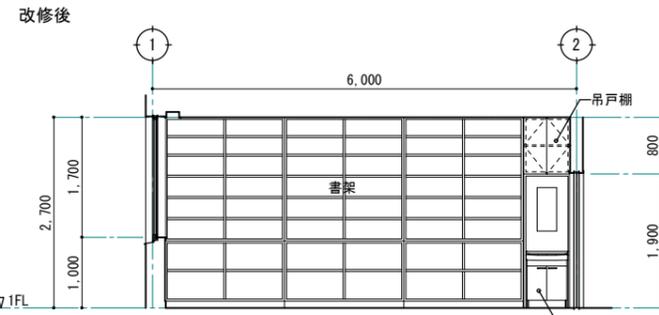
備考 室名札【撤去】

健康相談室 CH=2700	
床	t2.0ビニル床シート【撤去】
巾木	木製巾木 H=100 OP 一部 木製巾木 H=100 OP【撤去】
壁	A面: コンクリート打放し下地 マスチック塗材 B面: コンクリート打放し下地 マスチック塗材 C面: コンクリート打放し下地 マスチック塗材【撤去】 D面: LGS50+t12+t9石膏ボード下地 マスチック塗材 LGS50+t12+t9石膏ボード下地 マスチック塗材【撤去】
天井	LGS19【そのまま】下地 t9吸音化粧石膏ボード【撤去】一部 下地仕上共【撤去】
備考	室名札【撤去】



会議室 CH=2700	
床	t2.0ビニル床シート【撤去】
巾木	木製巾木 H=100 OP 一部 木製巾木 H=100 OP【撤去】
壁	A面: コンクリート打放し下地 マスチック塗材【撤去】 B面: コンクリート打放し下地 マスチック塗材 C面: コンクリート打放し下地 マスチック塗材 D面: LGS50+t12+t9石膏ボード下地 マスチック塗材 LGS50+t12+t9石膏ボード下地 マスチック塗材【撤去】
天井	LGS19【そのまま】下地 t9吸音化粧石膏ボード【撤去】一部 下地仕上共【撤去】
備考	室名札【撤去】、洗面化粧台【撤去】、吊り戸【撤去】

※ 赤文字は、改修部分を表す。
 ■ - 石綿含有建材を示す。
 □ - 石綿含有みなし材を示す。



左官タイル施工科実習場 CH=2700

床 t2.0ビニル床シート

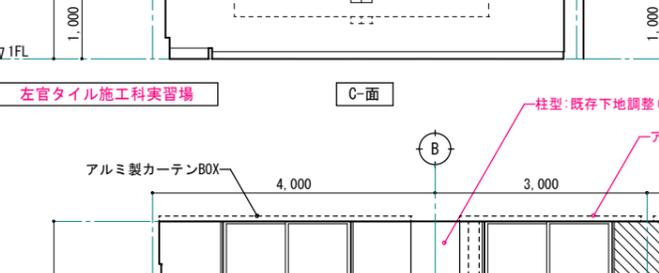
巾木 木製巾木 下地調整の上、EP-G塗替え、一部 集成材巾木 H=100 EP-G

壁 A面: 既存下地調整(RC種)の上、EP塗替え
B面: 既存下地調整(RC種)の上、EP塗替え
C面: 既存下地調整(RC種)の上、EP塗替え
D面: 既存下地調整(RC種)の上、EP塗替え
LGS50+t12.5+t9.5石膏ボード下地 EP

天井 LGS調整の上、t9.5化粧石膏ボード 一部 LGS19下地 t9.5化粧石膏ボード

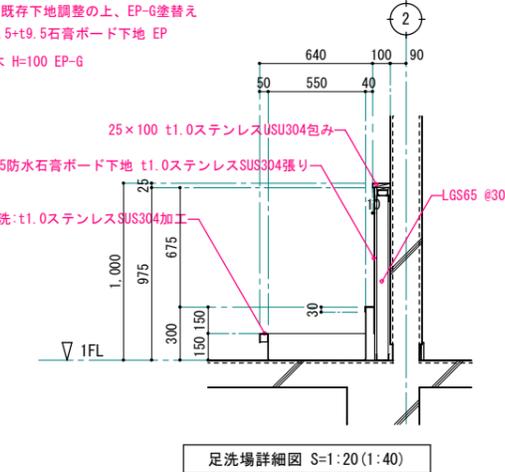
備考 室名札、足洗場

左官タイル施工科実習場 CH=2700	
床	t2.0ビニル床シート
巾木	木製巾木 下地調整の上、EP-G塗替え、一部 集成材巾木 H=100 EP-G
壁	A面: 既存下地調整(RC種)の上、EP塗替え B面: 既存下地調整(RC種)の上、EP塗替え C面: 既存下地調整(RC種)の上、EP塗替え D面: 既存下地調整(RC種)の上、EP塗替え LGS50+t12.5+t9.5石膏ボード下地 EP
天井	LGS調整の上、t9.5化粧石膏ボード 一部 LGS19下地 t9.5化粧石膏ボード
備考	室名札、足洗場

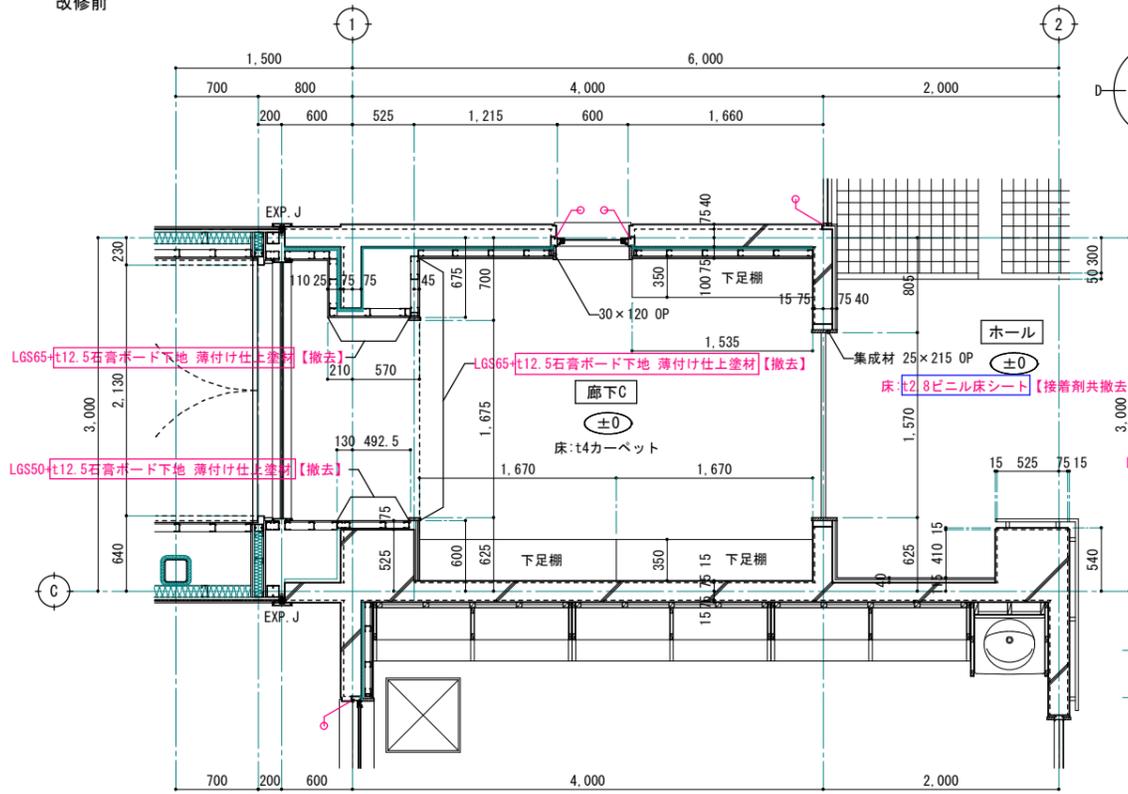


左官タイル施工科実習場 CH=2700	
床	t2.0ビニル床シート
巾木	木製巾木 下地調整の上、EP-G塗替え、一部 集成材巾木 H=100 EP-G
壁	A面: 既存下地調整(RC種)の上、EP塗替え B面: 既存下地調整(RC種)の上、EP塗替え C面: 既存下地調整(RC種)の上、EP塗替え D面: 既存下地調整(RC種)の上、EP塗替え LGS50+t12.5+t9.5石膏ボード下地 EP
天井	LGS調整の上、t9.5化粧石膏ボード 一部 LGS19下地 t9.5化粧石膏ボード
備考	室名札、足洗場

※ 赤文字は、改修部分を表す。

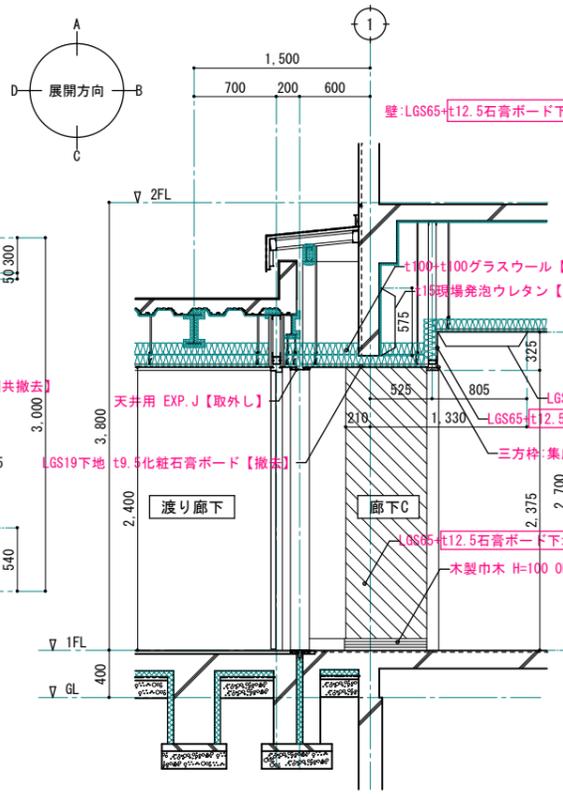


改修前

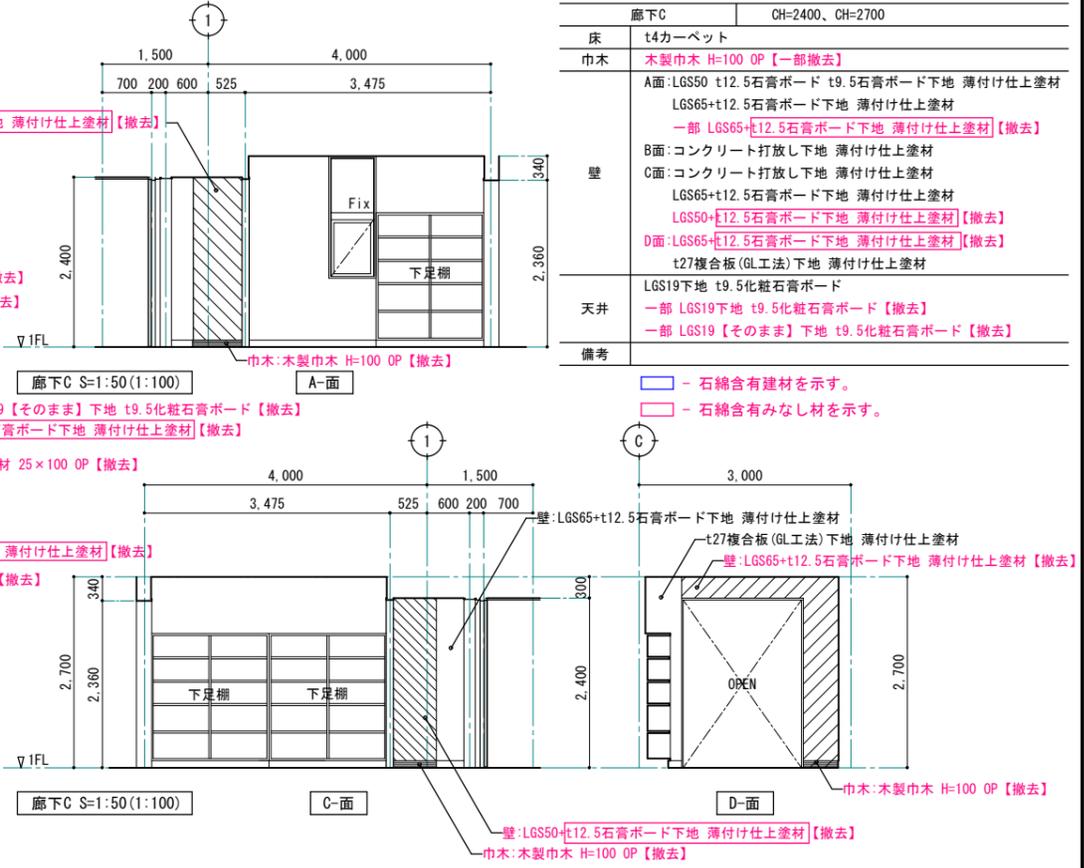


改修前 1階廊下C 平面詳細図 S=1:30 (1:60)

※ 赤字は、改修部分を表す。
※ シーリング【撤去】

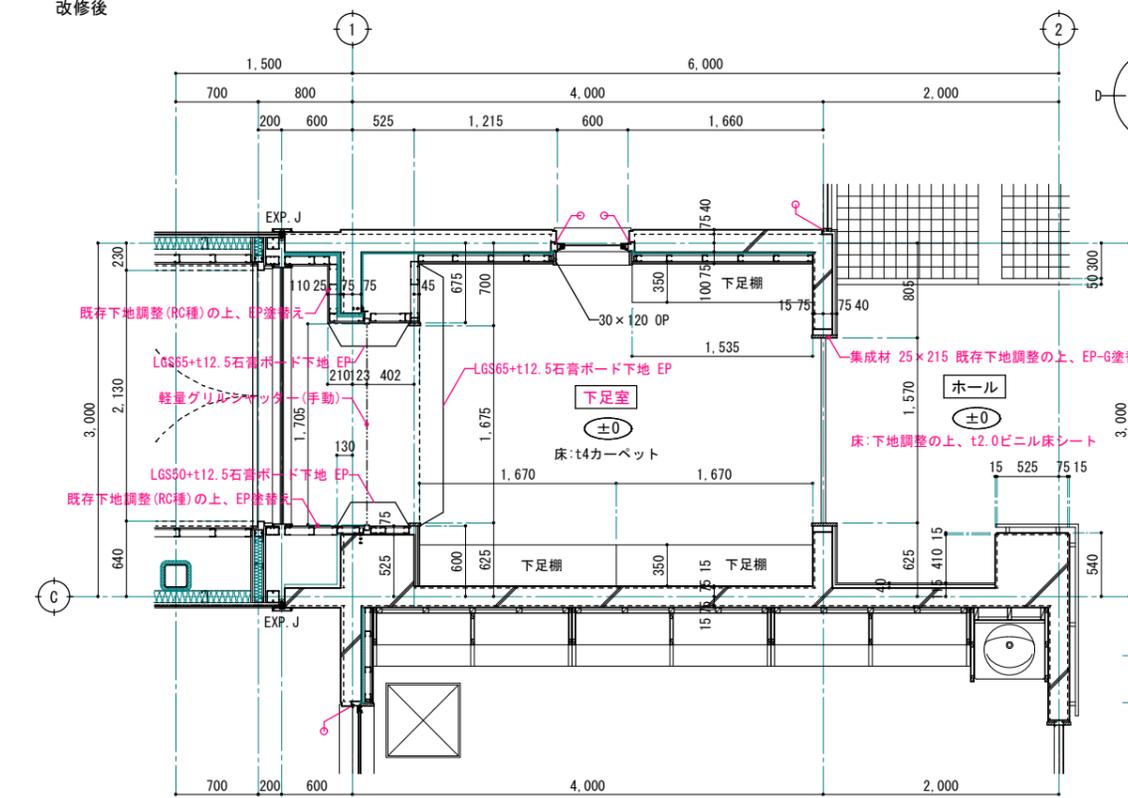


改修前 1階廊下C 断面詳細図 S=1:30 (1:60)



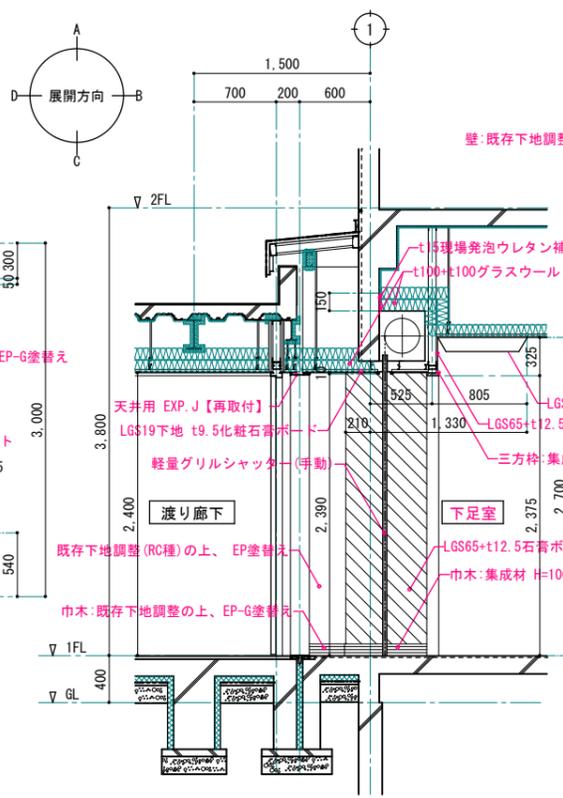
廊下C	CH=2400、CH=2700
床	t4カーペット
巾木	木製巾木 H=100 OP【一部撤去】
壁	A面:LGS50+t12.5石膏ボード t9.5石膏ボード下地 薄付け仕上塗材 LGS65+t12.5石膏ボード下地 薄付け仕上塗材 一部 LGS65+t12.5石膏ボード下地 薄付け仕上塗材【撤去】 B面:コンクリート打放し下地 薄付け仕上塗材 C面:コンクリート打放し下地 薄付け仕上塗材 LGS65+t12.5石膏ボード下地 薄付け仕上塗材 LGS50+t12.5石膏ボード下地 薄付け仕上塗材【撤去】 D面:LGS65+t12.5石膏ボード下地 薄付け仕上塗材【撤去】 t27複合板(GL工法)下地 薄付け仕上塗材
天井	LGS19下地 t9.5化粧石膏ボード 一部 LGS19下地 t9.5化粧石膏ボード【撤去】 一部 LGS19【そのまま】下地 t9.5化粧石膏ボード【撤去】
備考	□ - 石綿含有建材を示す。 □ - 石綿含有みなし材を示す。

改修後

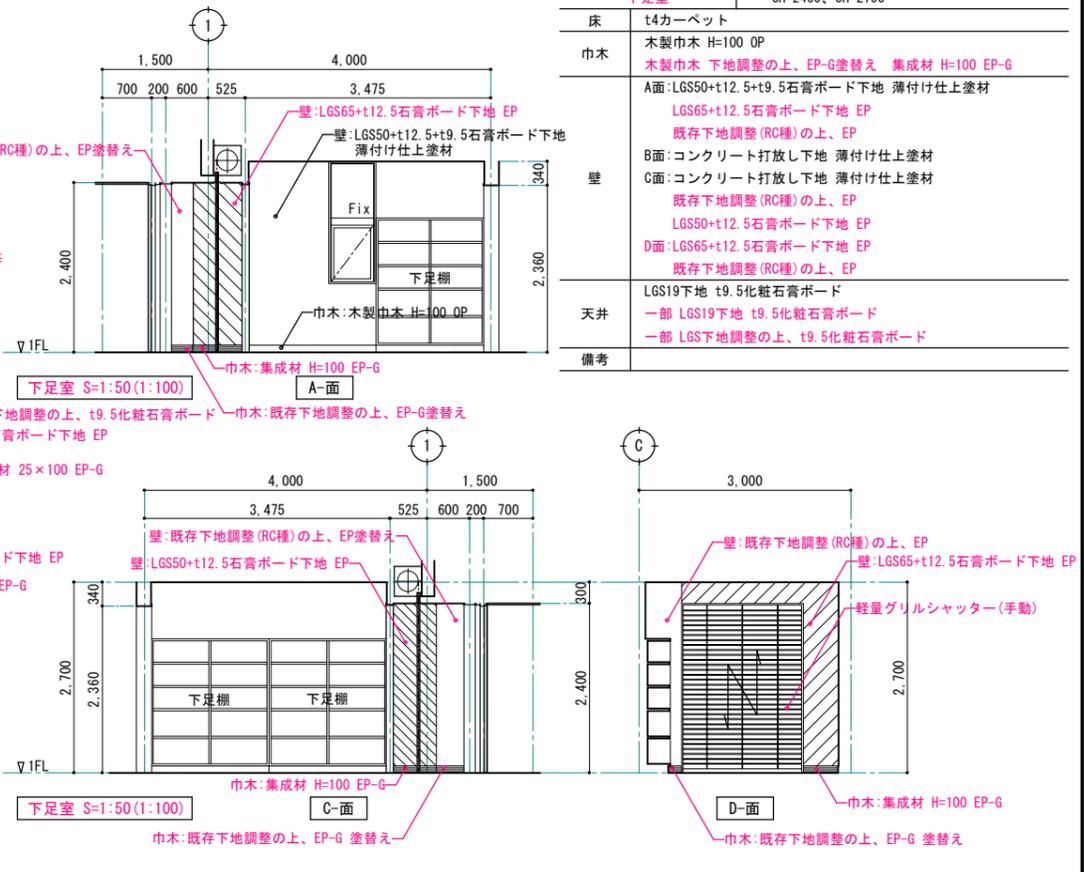


改修後 1階廊下C 平面詳細図 S=1:30 (1:60)

※ 赤字は、改修部分を表す。
※ シーリング【新設】

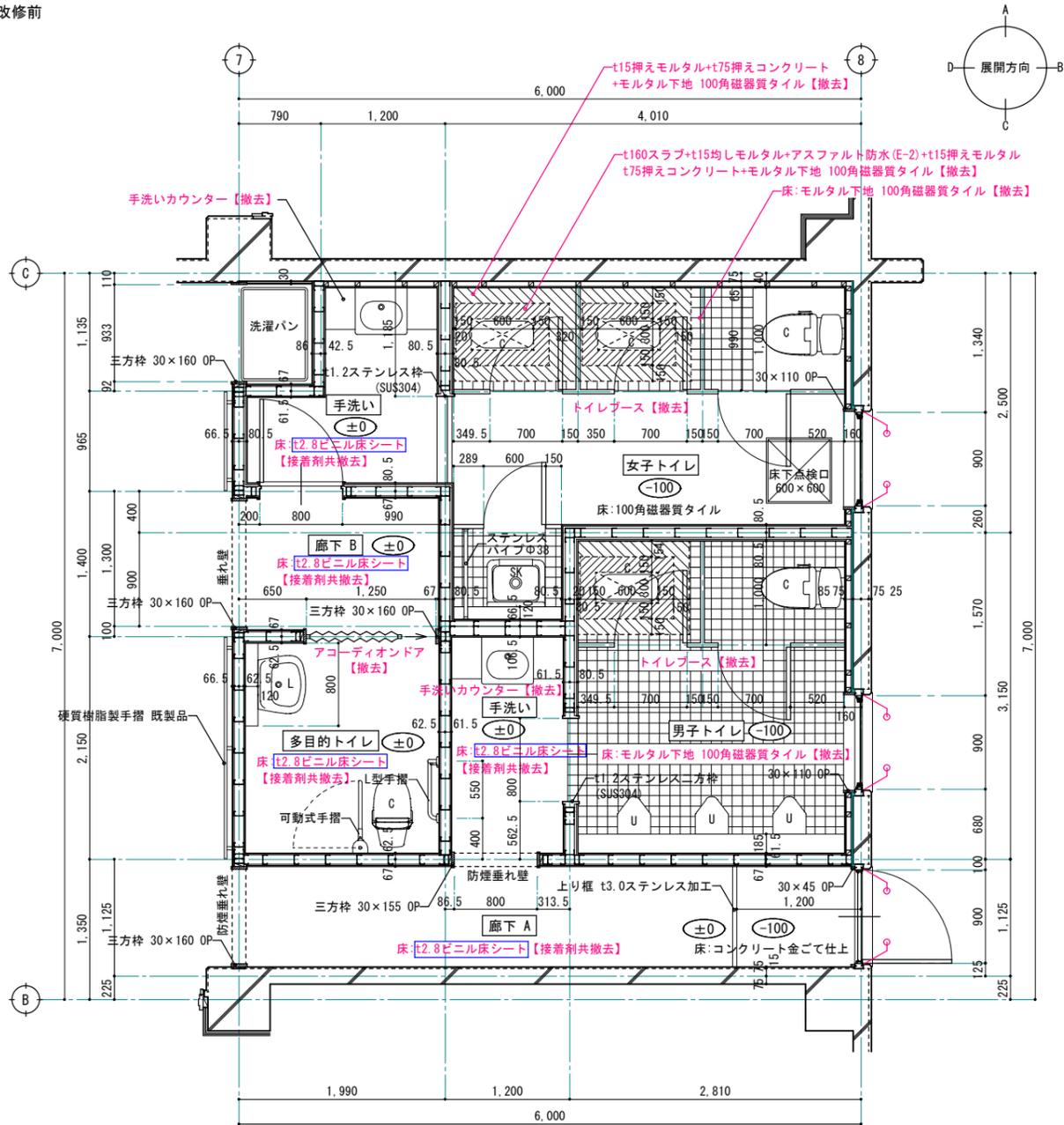


改修後 1階下足室 断面詳細図 S=1:30 (1:60)



下足室	CH=2400、CH=2700
床	t4カーペット
巾木	木製巾木 H=100 OP 木製巾木 下地調整の上、EP-G塗替え 集成材 H=100 EP-G
壁	A面:LGS50+t12.5+t9.5石膏ボード下地 薄付け仕上塗材 LGS65+t12.5石膏ボード下地 EP 既存下地調整(RC種)の上、EP B面:コンクリート打放し下地 薄付け仕上塗材 C面:コンクリート打放し下地 薄付け仕上塗材 既存下地調整(RC種)の上、EP LGS50+t12.5石膏ボード下地 EP D面:LGS65+t12.5石膏ボード下地 EP 既存下地調整(RC種)の上、EP
天井	LGS19下地 t9.5化粧石膏ボード 一部 LGS19下地 t9.5化粧石膏ボード 一部 LGS下地調整の上、t9.5化粧石膏ボード
備考	

改修前



改修前 1階トイレ平面詳細図 S=1:30 (1:60)

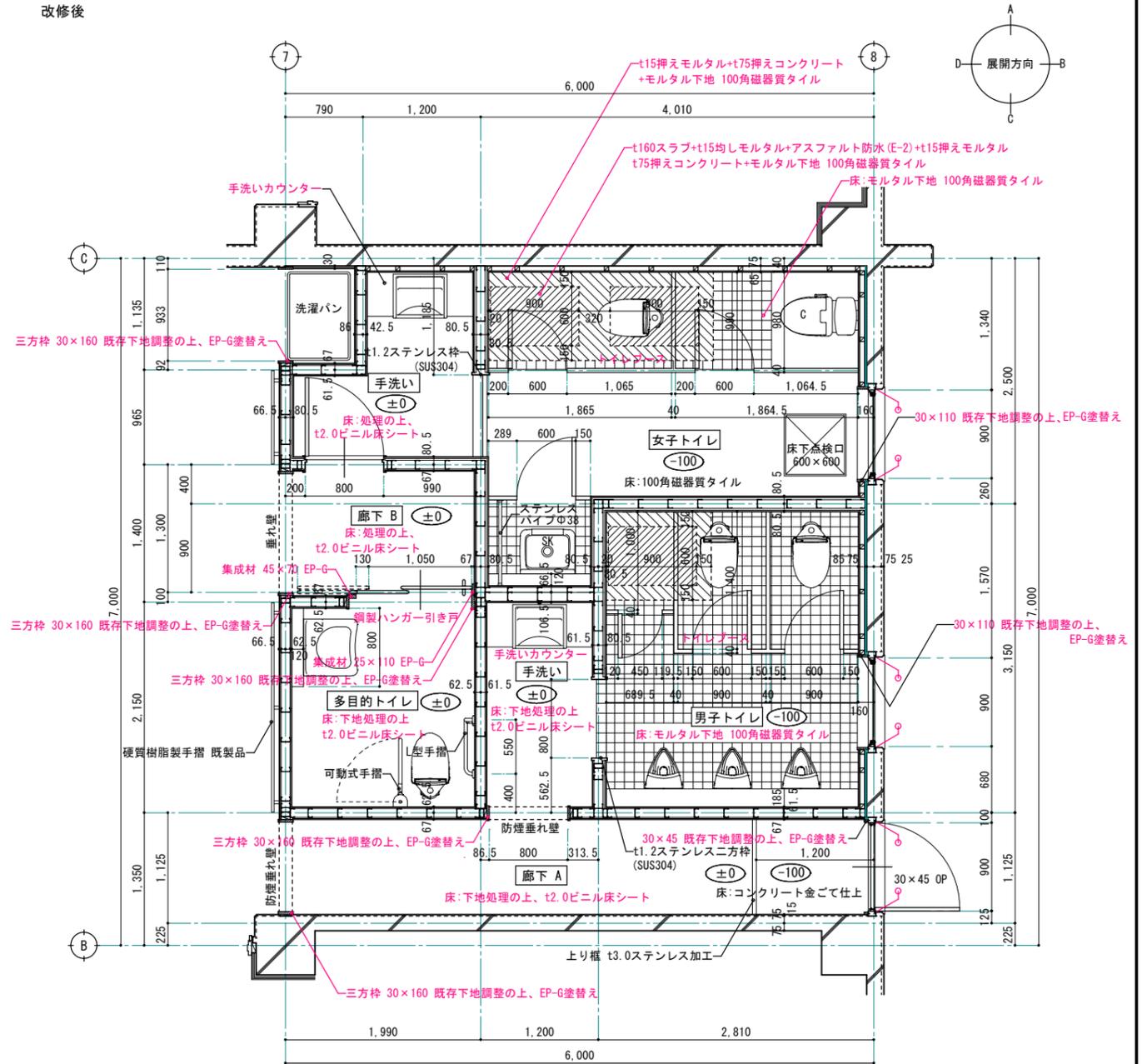
※ 赤字は、改修部分を表す。

※ シーリング【撤去】

和便器部分スラブ開口 (300×600) を表す。

- 石綿含有建材を示す。

改修後

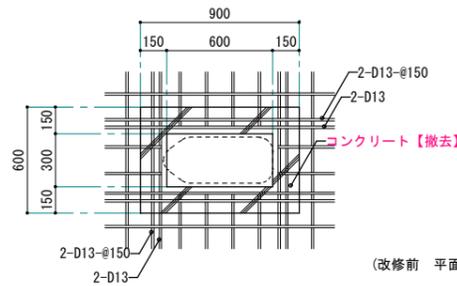


改修後 1階トイレ平面詳細図 S=1:30 (1:60)

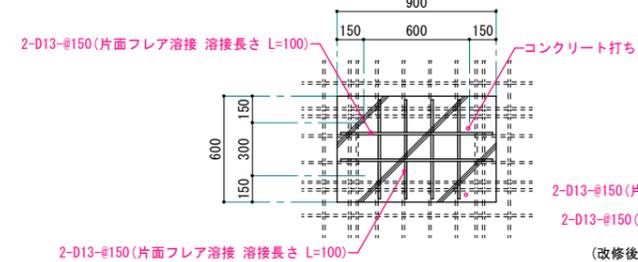
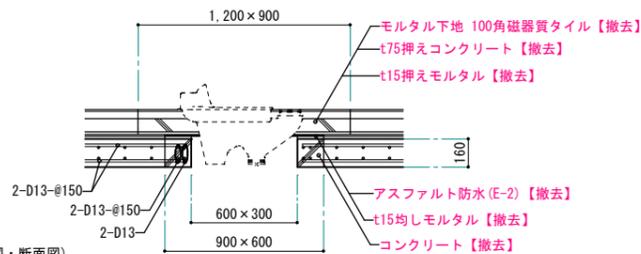
※ 赤字は、改修部分を表す。

※ シーリング【新設】

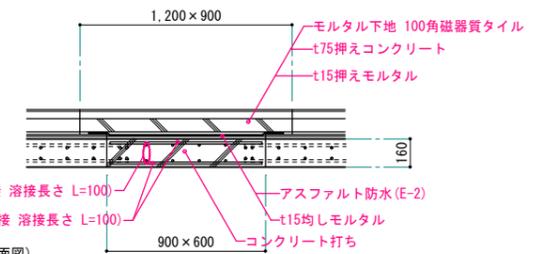
和式トイレ撤去部 補修図 S=1:20 (1:40)



(改修前 平面図・断面図)



(改修前 平面図・断面図)



1級建築士事務所 青森県知事登録第A1-1642号

株式会社 **イクラン** 一級建築士事務所
門前 孝治 1級建築士登録第213201号

〒036-8353
青森県弘前市下輪師町11
TEL 0172-38-1900
FAX 0172-39-6168

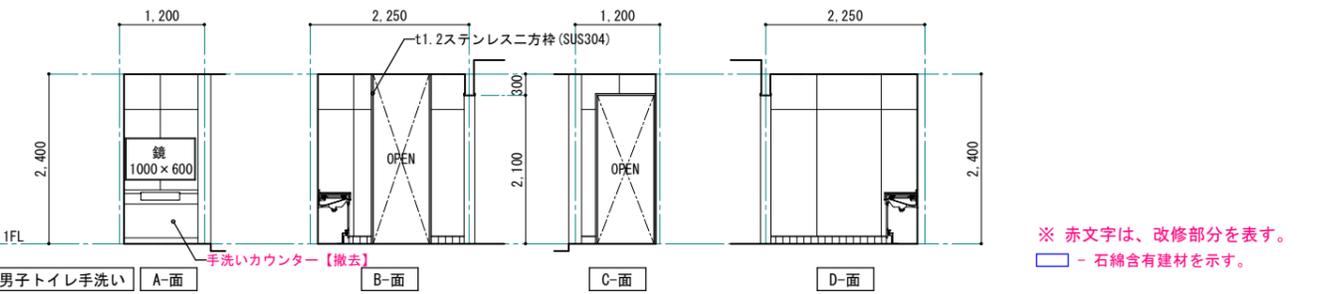
承認 設計 担当
縮尺 A1版 1:30
A3版 1:60
設計年月日 2024.03

工事名称 令和6年度 弘前職業能力開発校移転改修工事(建築工事)(ゼロ市債)
図面名称 改修前・改修後 1階トイレ平面詳細図

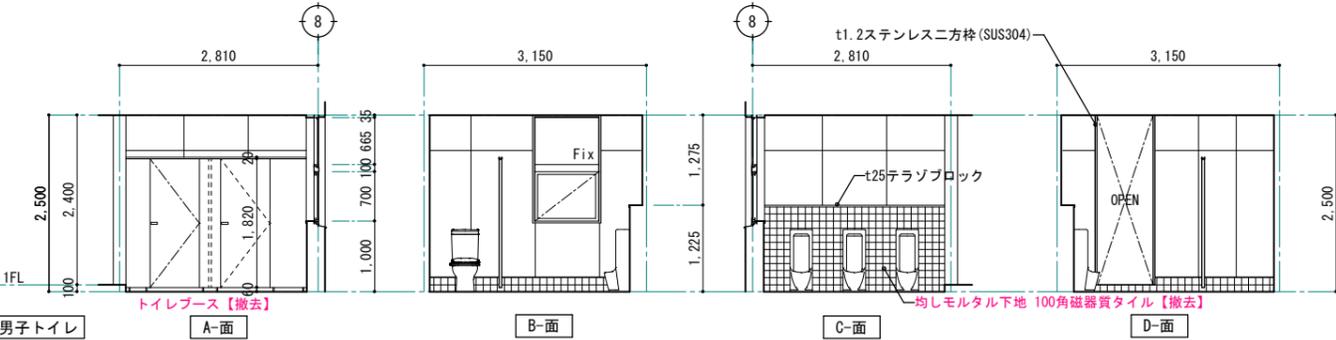
A-722

NO.

改修前



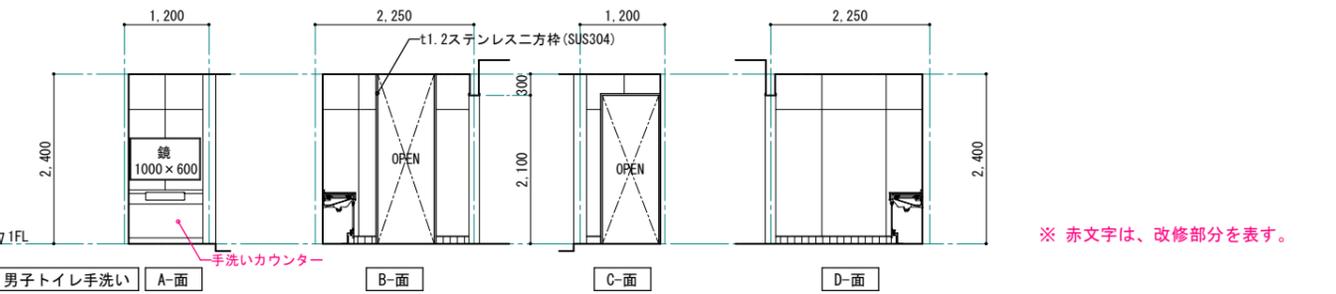
※ 赤文字は、改修部分を表す。
 □ - 石綿含有建材を示す。



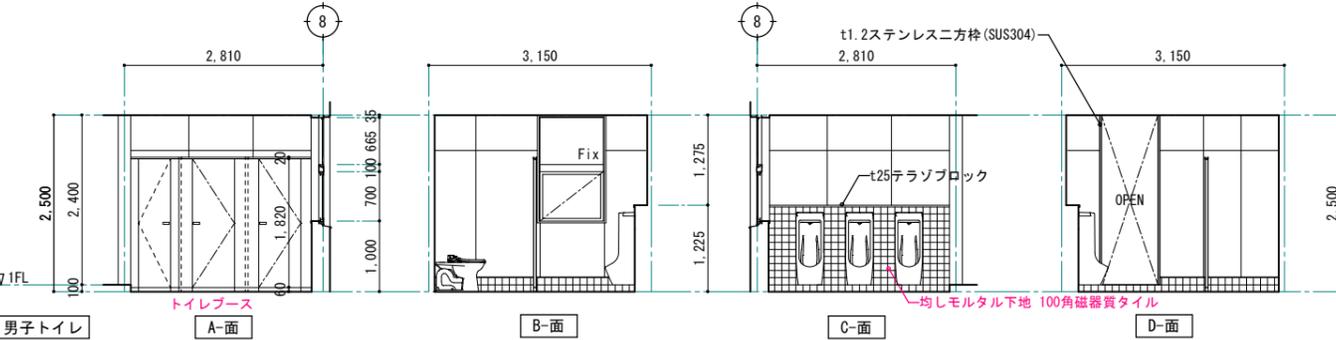
男子トイレ手洗い	CH=2400
床	t2.0ビニル床シート【撤去】
巾木	100角磁器質タイル H=100
壁	A面:LGS90+t12.5石膏ボード+t4フレキシブルボード下地 VP B面:LGS90+t12.5石膏ボード+t4フレキシブルボード下地 VP C面:LGS90+t12.5石膏ボード+t4フレキシブルボード下地 VP D面:LGS90+t12.5石膏ボード+t4フレキシブルボード下地 VP
天井	LGS19下地 t9.5化粧石膏ボード【撤去】
備考	手洗いカウンター【撤去】

男子トイレ	CH=2500
床	100角磁器質タイル【撤去】
巾木	100角磁器質タイル H=200 一部 100角磁器質タイル【撤去】
壁	A面:LGS90+LGS19+t12.5石膏ボード+t4フレキシブルボード下地 VP B面:木脚縁+t12.5石膏ボード+t4フレキシブルボード下地 VP C面:LGS90+t12.5石膏ボード+t4フレキシブルボード下地 VP D面:LGS90+LGS19+t12.5石膏ボード+t4フレキシブルボード下地 VP
天井	LGS19下地 t9.5化粧石膏ボード【撤去】
備考	トイレベース【撤去】

改修後

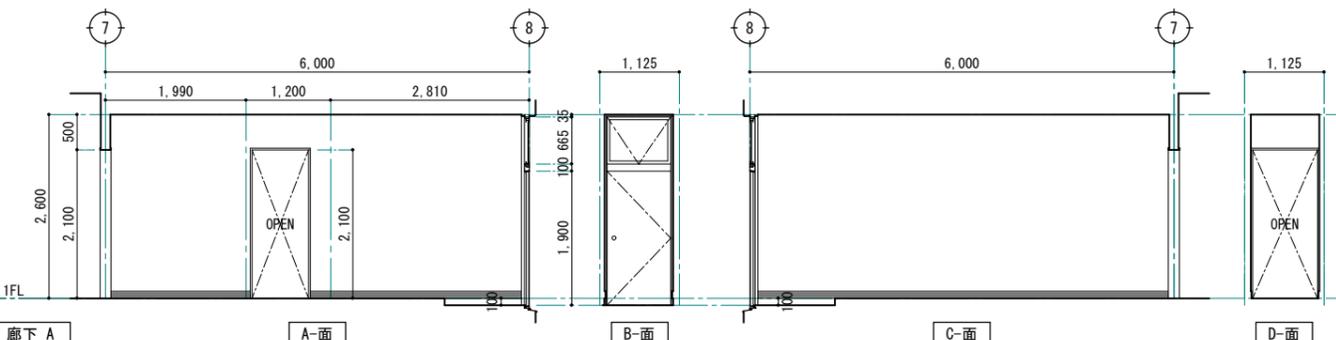
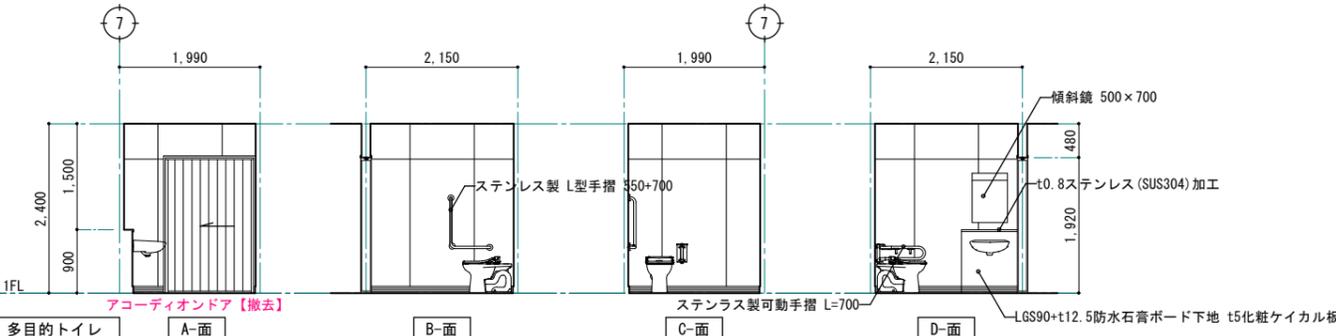


※ 赤文字は、改修部分を表す。



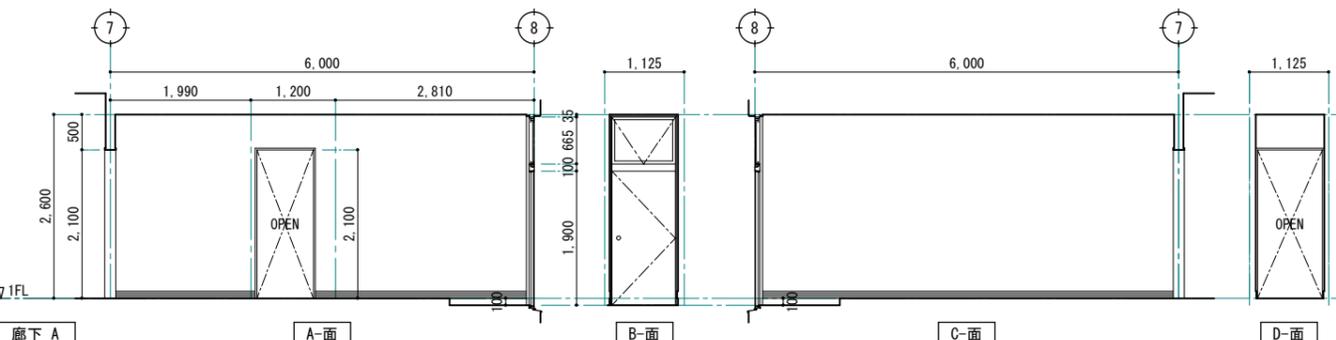
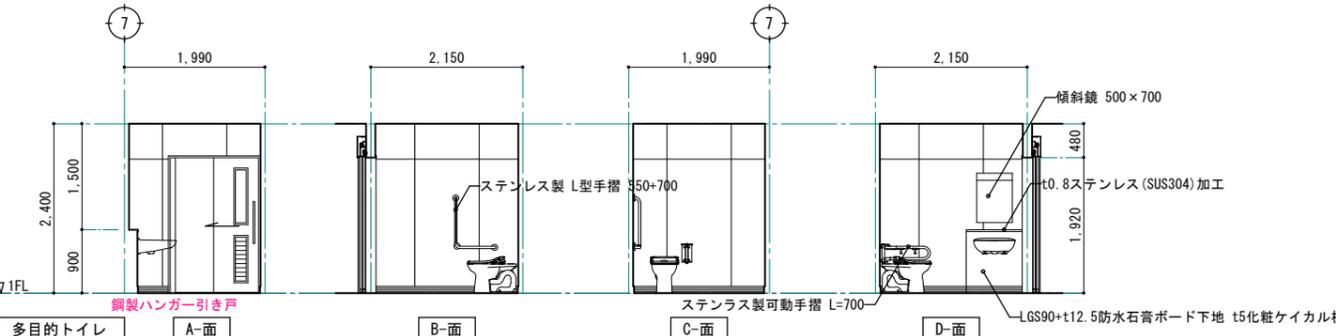
男子トイレ手洗い	CH=2400
床	t2.0ビニル床シート
巾木	100角磁器質タイル H=100
壁	A面:下地調整の上、EP塗替え B面:下地調整の上、EP塗替え C面:下地調整の上、EP塗替え D面:下地調整の上、EP塗替え
天井	LGS19下地 t9.5化粧石膏ボード
備考	手洗いカウンター

男子トイレ	CH=2500
床	100角磁器質タイル
巾木	100角磁器質タイル H=200 一部 100角磁器質タイル
壁	A面:下地調整の上、EP塗替え B面:下地調整の上、EP塗替え C面:下地調整の上、EP塗替え D面:下地調整の上、EP塗替え
天井	LGS19下地 t9.5化粧石膏ボード
備考	トイレベース



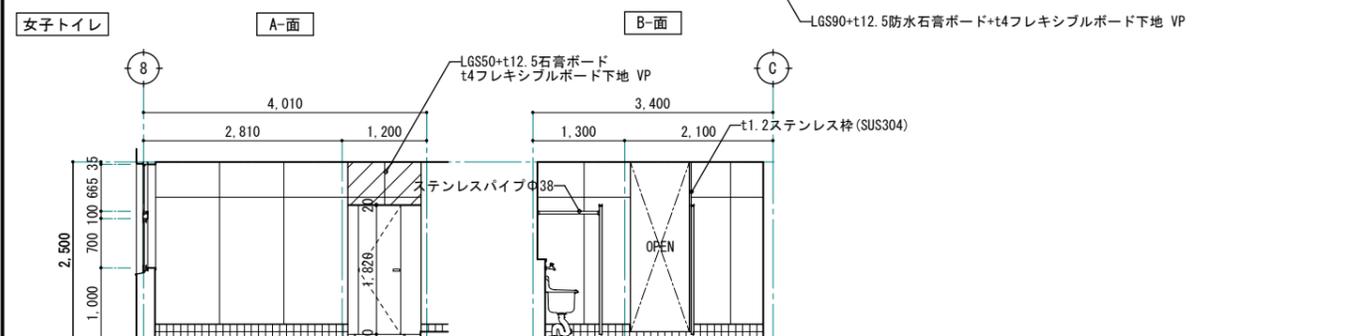
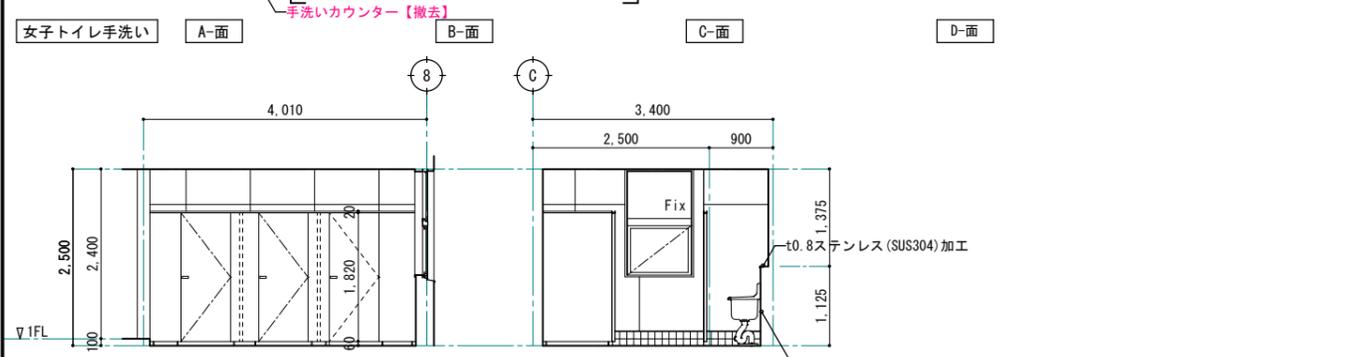
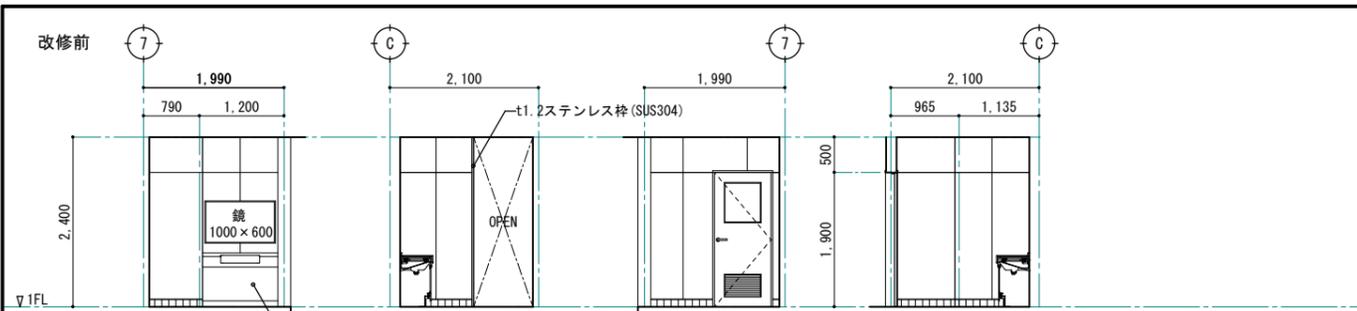
多目的トイレ	CH=2400
床	t2.0ビニル床シート【撤去】
巾木	木製巾木 H=100 OP
壁	A面:LGS90+t12.5石膏ボード下地 t5化粧ケイカル板(シーリング工法) B面:LGS90+t12.5石膏ボード下地 t5化粧ケイカル板(シーリング工法) C面:LGS90+t12.5石膏ボード下地 t5化粧ケイカル板(シーリング工法) D面:LGS90+t12.5石膏ボード下地 t5化粧ケイカル板(シーリング工法)
天井	LGS19下地【そのまま】 t9.5化粧石膏ボード【撤去】
備考	身障者用手摺ステンラス製(可動式、L型手摺)

廊下 A	CH=2600, CH=2700
床	t2.0ビニル床シート【撤去】
巾木	木製巾木 H=100 OP
壁	A面:LGS90+t12+t9.5石膏ボード下地 薄付け仕上塗材 C面:コンクリート打放し下地 薄付け仕上塗材 D面:LGS90+t12+t9石膏ボード下地 薄付け仕上塗材
天井	LGS19【そのまま】+t9石膏ボード下地 t9岩綿吸音板【撤去】
備考	

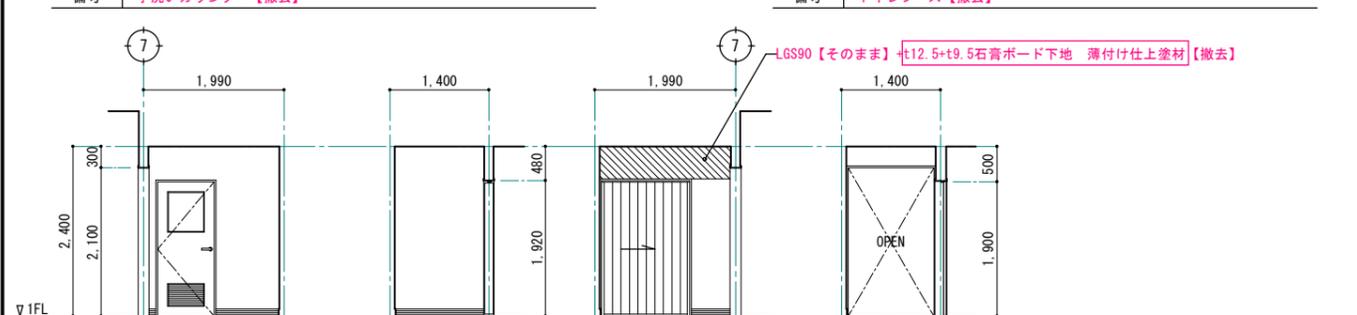


多目的トイレ	CH=2400
床	t2.0ビニル床シート
巾木	木製巾木 既存下地調整の上、EP-G塗替え
壁	A面:LGS90+t12.5石膏ボード下地 t5化粧ケイカル板(シーリング工法) B面:LGS90+t12.5石膏ボード下地 t5化粧ケイカル板(シーリング工法) C面:LGS90+t12.5石膏ボード下地 t5化粧ケイカル板(シーリング工法) D面:LGS90+t12.5石膏ボード下地 t5化粧ケイカル板(シーリング工法)
天井	LGS下地調整の上、t9.5化粧石膏ボード
備考	身障者用手摺ステンラス製(可動式、L型手摺)

廊下 A	CH=2600, CH=2700
床	t2.0ビニル床シート
巾木	木製巾木 既存下地調整の上、EP-G塗替え
壁	A面:既存下地調整(RC種)の上、EP塗替え C面:既存下地調整(RC種)の上、EP塗替え D面:既存下地調整(RC種)の上、EP塗替え
天井	LGS下地調整の上、t9.5化粧石膏ボード
備考	

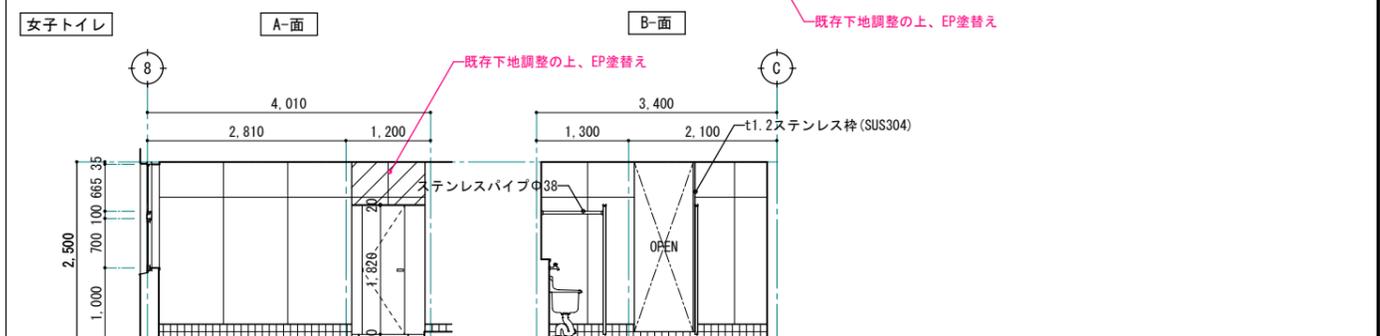
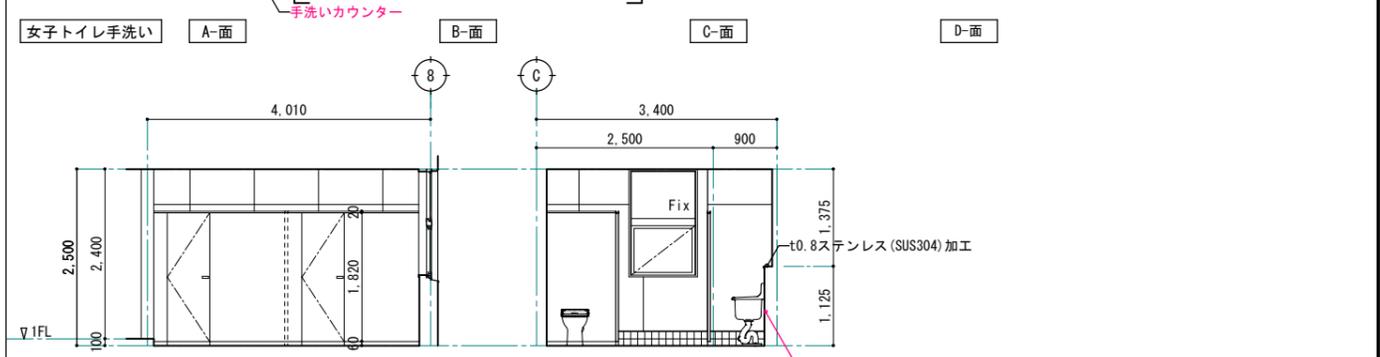
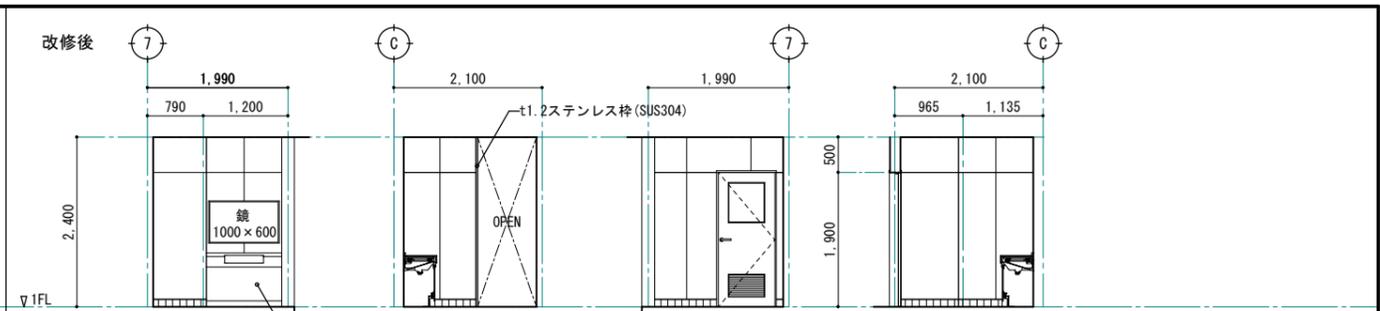


女子トイレ手洗い		CH=2400	女子トイレ		CH=2500
床	t2.0ビニル床シート	【撤去】	床	100角磁器質タイル 一部 100角磁器質タイル	【撤去】
巾木	100角磁器質タイル H=100		巾木	100角磁器質タイル H=200	
壁	A面:木胴縁+t12.5石膏ボード+t4フレキシブルボード下地 VP B面:LGS90+t12.5石膏ボード+t4フレキシブルボード下地 VP C面:LGS90+t12.5石膏ボード+t4フレキシブルボード下地 VP D面:LGS90+t12.5石膏ボード+t4フレキシブルボード下地 VP		壁	A面:木胴縁+t12.5石膏ボード+t4フレキシブルボード下地 VP B面:木胴縁+t12.5石膏ボード+t4フレキシブルボード下地 VP C面:LGS90+LGS19+t12.5石膏ボード+t4無石棉フレキシブルボード下地 VP D面:LGS90+LGS19+t12.5石膏ボード+t4フレキシブルボード下地 VP	
天井	LGS19下地 t9.5化粧石膏ボード	【撤去】	天井	LGS19下地 t9.5化粧石膏ボード	【撤去】
備考	手洗いカウンター	【撤去】	備考	トイレブース	【撤去】

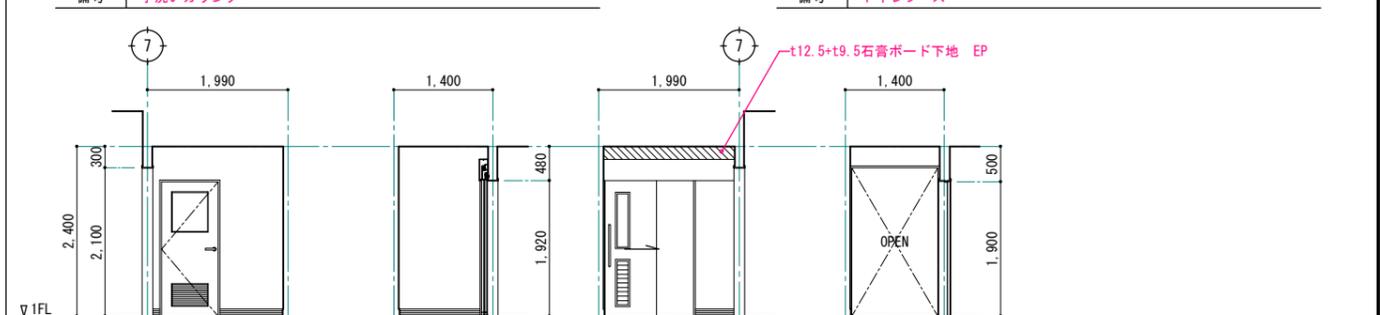


廊下 B		CH=2400	廊下 B		CH=2400
床	t2.0ビニル床シート	【撤去】	床	t2.0ビニル床シート	
巾木	木製巾木 H=100 OP		巾木	木製巾木 既存下地調整の上、EP-G塗替え	
壁	A面:LGS90+t12.5+t9.5石膏ボード下地 薄付け仕上塗材 B面:LGS90+t12.5+t9.5石膏ボード下地 薄付け仕上塗材 C面:LGS90+t12.5+t9.5石膏ボード下地 薄付け仕上塗材 D面:LGS90+t12.5+t9.5石膏ボード下地 薄付け仕上塗材		壁	A面:既存下地調整(RC種)の上、EP塗替え B面:既存下地調整(RC種)の上、EP塗替え C面:既存下地調整(RC種)の上、EP塗替え D面:既存下地調整(RC種)の上、EP塗替え	
天井	LGS19下地【そのまま】 t9.5化粧石膏ボード	【撤去】	天井	LGS下地調整 t9.5化粧石膏ボード	
備考			備考		

※ 赤字は、改修部分を表す。
 □ - 石綿含有建材を示す。
 □ - 石綿含有みなし材を示す。



女子トイレ手洗い		CH=2400	女子トイレ		CH=2500
床	t2.0ビニル床シート		床	100角磁器質タイル 一部 100角磁器質タイル	
巾木	100角磁器質タイル H=100		巾木	100角磁器質タイル H=200	
壁	A面:既存下地調整の上、EP塗替え B面:既存下地調整の上、EP塗替え C面:既存下地調整の上、EP塗替え D面:既存下地調整の上、EP塗替え		壁	A面:既存下地調整の上、EP塗替え B面:既存下地調整の上、EP塗替え C面:既存下地調整の上、EP塗替え D面:既存下地調整の上、EP塗替え	
天井	LGS19下地 t9.5化粧石膏ボード		天井	LGS19下地 t9.5化粧石膏ボード	
備考	手洗いカウンター		備考	トイレブース	



廊下 B		CH=2400	廊下 B		CH=2400
床	t2.0ビニル床シート		床	t2.0ビニル床シート	
巾木	木製巾木 既存下地調整の上、EP-G塗替え		巾木	木製巾木 既存下地調整の上、EP-G塗替え	
壁	A面:既存下地調整(RC種)の上、EP塗替え B面:既存下地調整(RC種)の上、EP塗替え C面:既存下地調整(RC種)の上、EP塗替え D面:既存下地調整(RC種)の上、EP塗替え		壁	A面:既存下地調整(RC種)の上、EP塗替え B面:既存下地調整(RC種)の上、EP塗替え C面:既存下地調整(RC種)の上、EP塗替え D面:既存下地調整(RC種)の上、EP塗替え	
天井	LGS下地調整 t9.5化粧石膏ボード		天井	LGS下地調整 t9.5化粧石膏ボード	
備考			備考		

※ 赤字は、改修部分を表す。